このたびはＲＶＲをお買い上げいただき，ありがとうございます。

J09200102413

この取扱説明書は，お客様のお車をいつも安全・快適に運転していただくための正しい取り扱いについて説明しています。
また，お車のお手入れや万一のときの処置についても記載してありますので，ご使用前に必ずお読みください。
「環境にやさしく安全なドライブのために」は重要ですので，しっかりお読みください。

安全に関する表示

- 運転者や他の人が傷害を受けるおそれがあることと，その回避方法をつぎの表示で記載しています。重要な事項ですので必ず読んでお守りください。

⚠警告　記載事項を守らないと，死亡や重大な傷害につながるおそれがあること。

⚠注意　記載事項を守らないと，傷害や事故につながるおそれがあること。

安全のためにしてはならない行為。（イラスト内に表示されています）

その他の表示

- お車に関することやその他のアドバイスは，つぎの表示で記載しています。

アドバイス　お車のために守っていただきたいこと。
知っておくと便利なこと。

タイプ別装備　グレードにより異なる装備やオプション装備に表示しています。

- 取扱説明書は車の中に保管してください。
- 保証および点検，整備内容については，別冊のメンテナンスノートをご覧ください。
- 三菱マルチコミュニケーションシステムの取り扱い要領については別冊の取扱説明書をご覧ください。
- ディスプレイオーディオの取り扱い要領については別冊の取扱説明書をご覧ください。
- お車をゆずられるときは，取扱説明書およびメンテナンスノートを車につけておいてください。

・装備仕様の変更などにより，本書の内容がお客様のお車と合わないことがありますので，あらかじめご了承ください。
・ご不明な点は，担当営業スタッフにお問い合わせください。

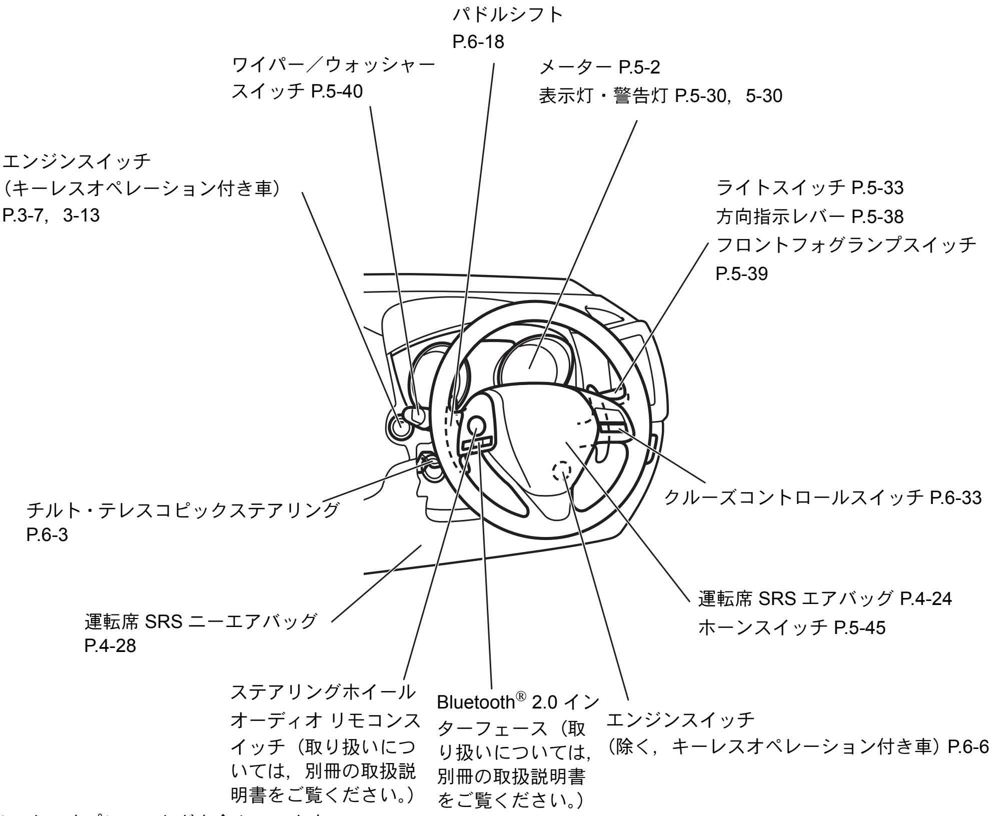
目次

絵で見る目次	1
安全なドライブのために	2
各部の開閉	3
安全装備	4
計器盤・スイッチ	5
運転装置	6
室内装備	7
エアコン	8
オーディオ	9
簡単な整備・車のお手入れ	10
寒冷時の取り扱い	11
もしものときの処置	12
サービスデータ	13
さくいん	14

1

ハンドルまわり

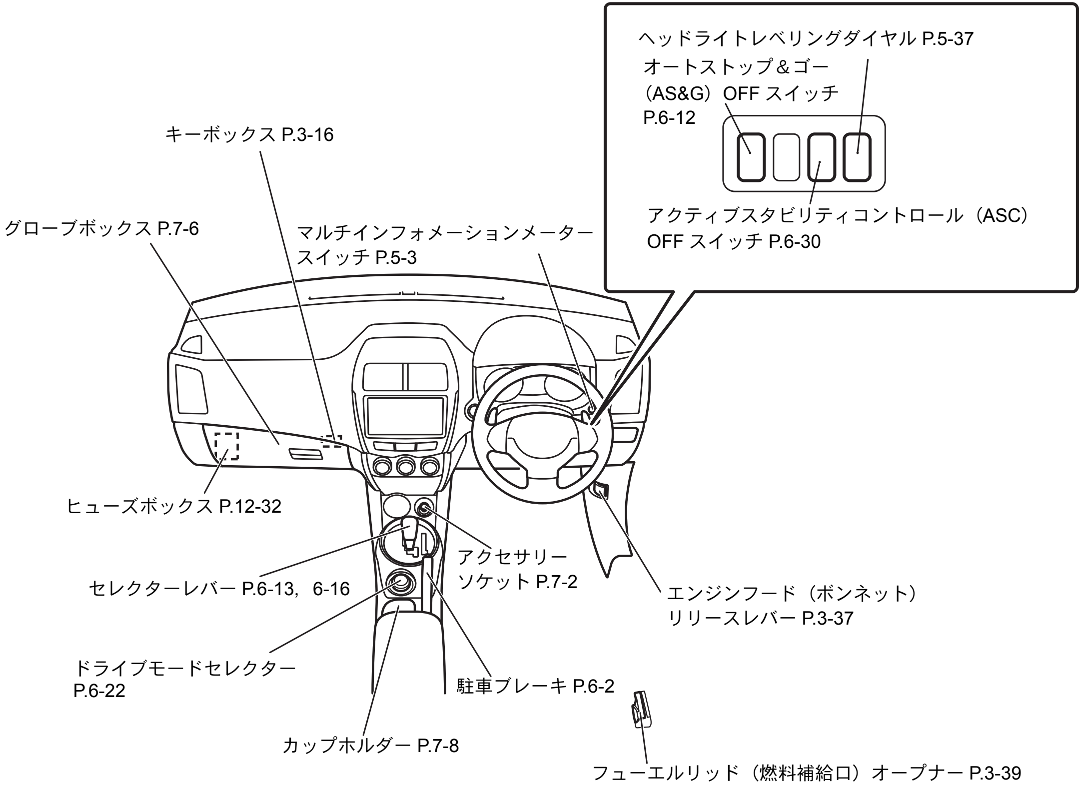
J00100800917



・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

計器盤まわり

J00100102985



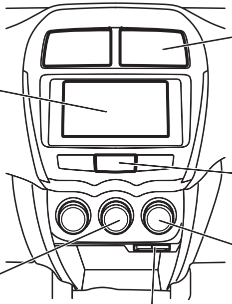
・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AF5101657

1

センターパネル

J00100201976

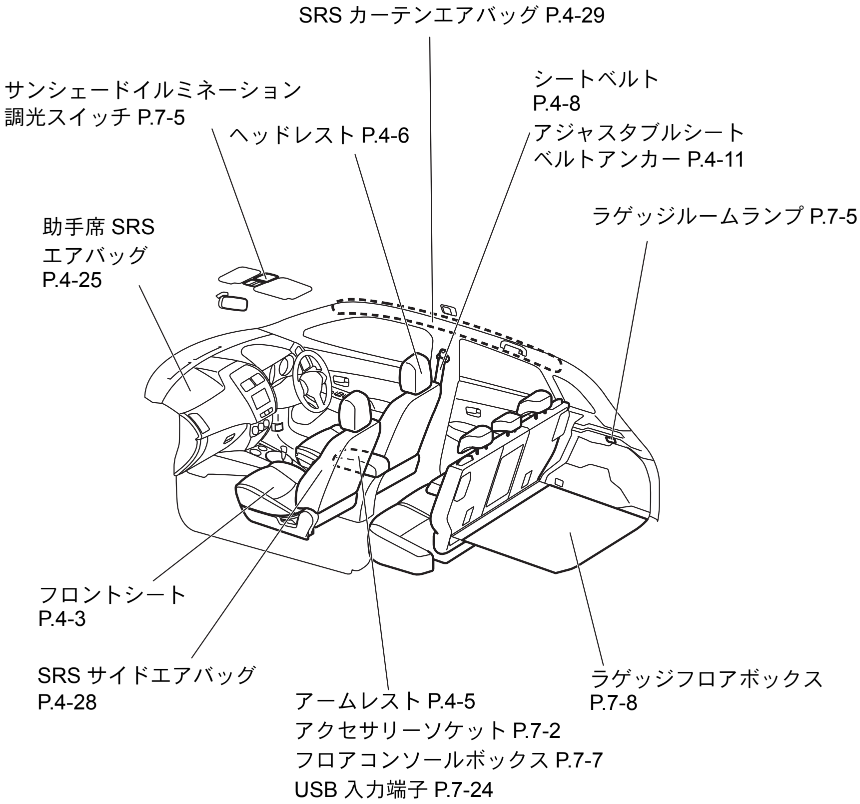


・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AF5101598

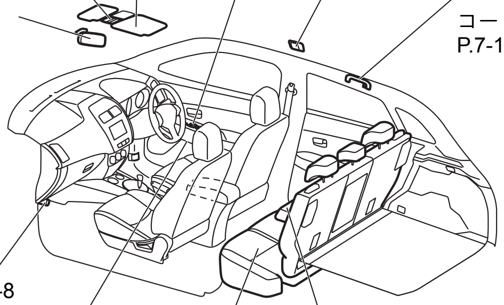
室内

J00100301717



・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AGF001456



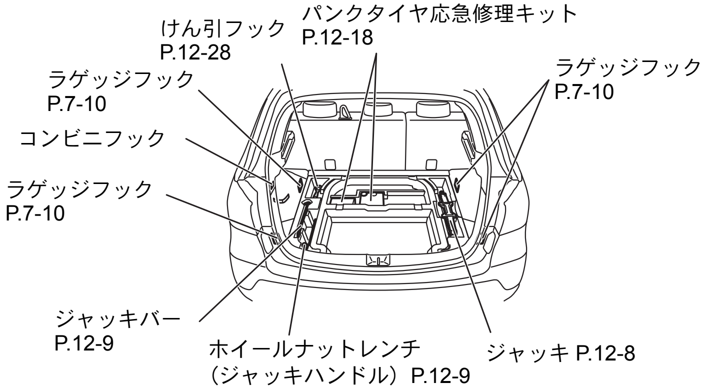
・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AGF001603

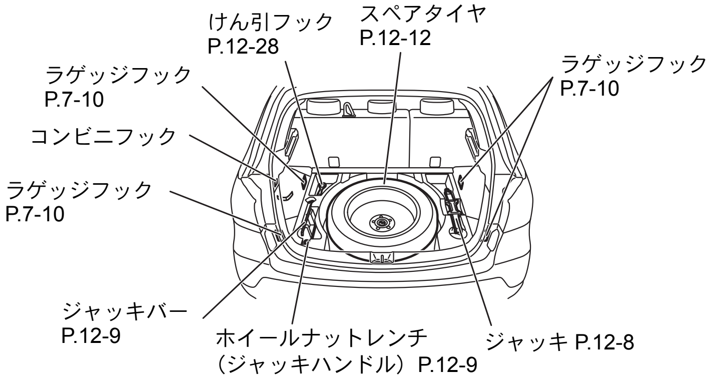
ラゲッジコンパートメント

J00100601592

< タイヤリペアキット付き車 >



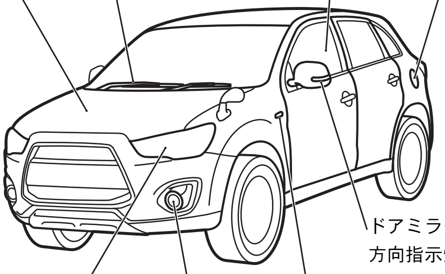
< スペアタイヤ付き車 >



AF5101585

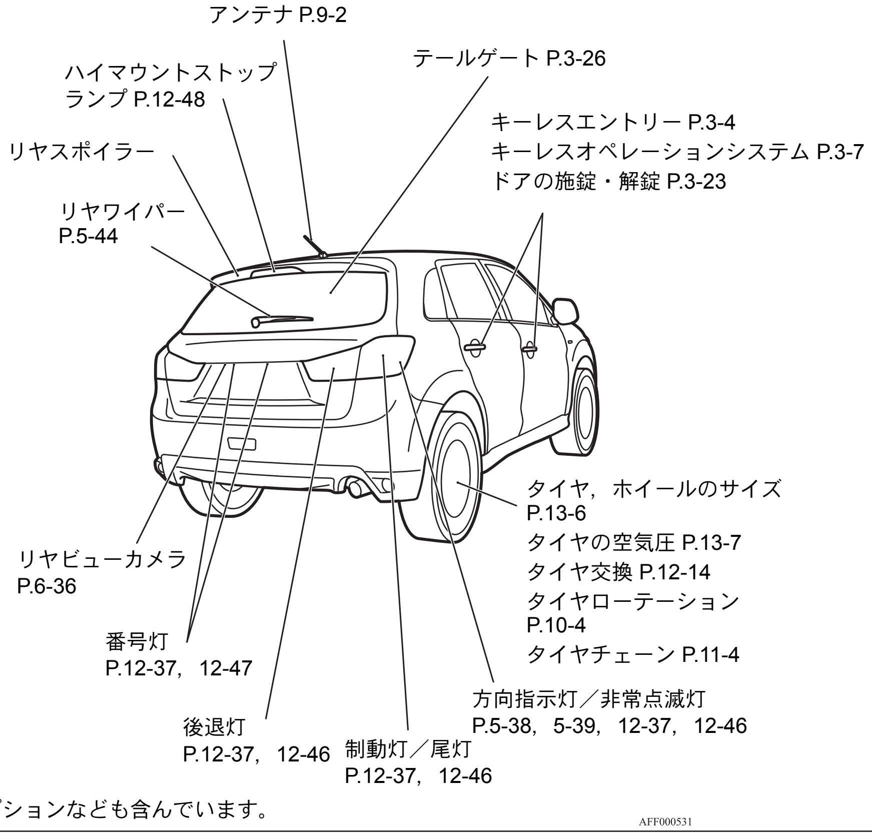
外まわり

J00100401952



・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AFF000528

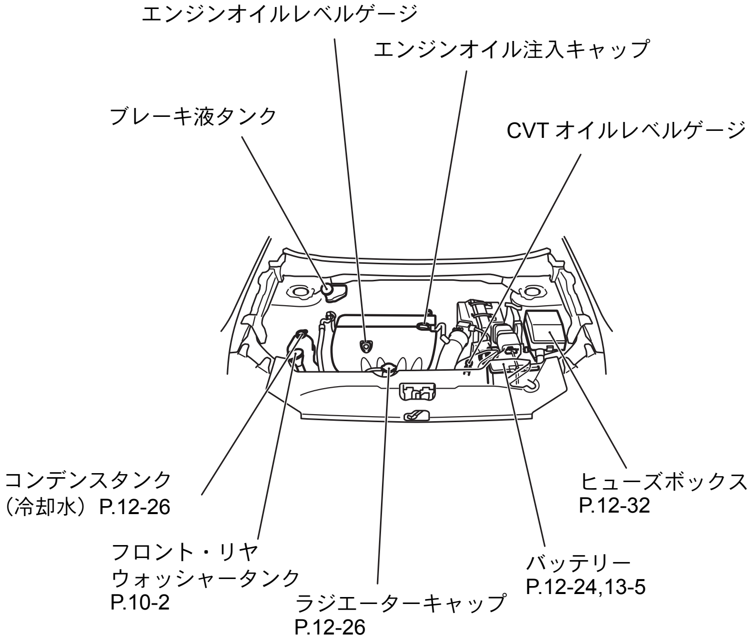


・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

1

エンジンルーム

J00100501201



安全なドライブのために

お車のご使用前に知っておいていただきたいこと，守っていただきたい「警告」「注意」をまとめて記載しています。
重要ですので，しっかりお読みください。

日常点検 2-2
経済的な運転をするために 2-3
機能を上手く使うために 2-3
環境保護のために守っていただきたいこと 2-4
出発前は 2-4
お子さまを乗せるときは 2-5
走行するときは 2-7
走行中に異常に気づいたら 2-10
CVT 車の取り扱い 2-11
駐停車するときは 2-12
こんなことにも注意 2-13
セルフ式ガソリンスタンドを利用するときは 2-15

2

日常点検

J00200100807

点検，整備を忘れずに

- 日常点検整備と定期点検整備は，お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。
事故や故障を未然に防ぐため必ず実施してください。
- 日常点検整備は，長距離を走行するときや，洗車，給油時などにお客様自身で行う点検整備です。
- 日常点検整備の項目および点検のしかたについては，別冊の「メンテナンスノート」に記載してありますので必ずお読みください。

サービスリマインダー

- 次回定期点検までの残り月数と残り距離をお知らせする機能です。
定期点検時期に近づくと，エンジンスイッチを LOCK から ON，または電源モードを OFF から ON にするとスパナマークが数秒間表示され，定期点検時期であることをお知らせします。
→「サービスリマインダーについて」P.5-12

エンジンルームを点検するときは

- エンジン回転中はエンジンルームに手を入れないでください。
手や衣服がドライブベルトなどに巻き込まれるおそれがあります。
- エンジンルーム内の部品には高温になるものがあります。
やけどをするおそれがありますので，各部が十分冷えてから点検してください。
- 排気ガスなどが定められた基準に合うように調整されていますので，アイドリング回転数などのエンジン調整は三菱自動車販売会社で行ってください。

ラジエーターやコンデンスタンク（冷却水）が熱いときは

- ラジエーターやコンデンスタンク（冷却水）が熱いときは，ラジエーターキャップを外さないでください。
蒸気や熱湯が吹き出しやけどをするおそれがあります。

燃料は指定されたものを補給

J00202001722

- 必ず指定のガソリンを補給してください。
JIS または揮発油の品質の確保に関する法律が定めたガソリン規格に適合している，「いい！スリー」や「バイオ・ガソリン」などのバイオ燃料混合ガソリンを使用することもできます。
→「メンテナンスデータ：燃料の量と種類」P.13-2
- 軽油，粗悪ガソリン，高濃度アルコール混合燃料，三菱自動車純正以外のガソリン添加剤や水分除去剤を使用しないでください。使用するとつぎのような状態になるおそれがあります。
  - エンジンの始動性悪化
  - ノッキングの発生
  - エンジン出力の低下
  - 排気制御システムの機能不良
  - 燃料系部品の損傷

三菱自動車販売会社で点検を受けて

J00202100133

- つぎの場合は車が故障しているおそれがあります。
  そのままにしておくと走行に悪影響をおよぼしたり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - いつもと違う音や臭いや振動がするとき
  - ブレーキ液が不足しているとき
  - 地面に油の漏れたあとが残っているとき

経済的な運転をするために

J00205100017

無駄な荷物を載せない

J00205700013

- 不要な荷物を降ろして重量を軽くしてください。

発進，加速はスムーズに

J00205800014

- 不必要な急発進，急加速，急減速など，アクセルペダルをバタつかせるような運転は避け，アクセルペダルの操作はゆるやかに行ってください。

スピードに応じた変速位置に

J00205900015

- 変速位置は，走行速度に応じた正しい位置を選択してください。

速度はできるだけ一定に

J00206000013

- 法定速度を守り，できるだけ一定のスピードで運転してください。

空ぶかしは禁物

J00206100014

- 空ぶかしは，燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となりますので避けてください。

駐車時はエンジンストップ

J00206200015

- 携帯電話の使用や休憩などで，長い間車を止めるときは，エンジンを止めてください。燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となります。

タイヤの空気圧は定期的にチェック

J00206300016

- タイヤの空気圧はこまめに点検し，常に規定の空気圧に調整してください。

エアコンは控えめに

J00206400017

- エアコンは燃費に影響します。
  冷やしすぎに注意して適温を心がけてください。

その他に気を付けること

J00206500018

- 車間距離を十分にとり，不必要なブレーキをかけないようにしてください。
- 下り坂では早めにアクセルペダルを戻し，エンジンブレーキを使用してください。
- 高速道路でも不必要な高速走行は避けてください。

機能を上手く使うために

J00205200018

携帯電話やパソコンなどの電子機器からの影響

J00205600012

- 車内で携帯電話を使用すると，オーディオから雑音が出ることがあります。
  このときは，携帯電話をオーディオからできるだけ離して使用してください。

- 車内や車の近くでパソコンなどの電子機器を使用すると，カーナビゲーションが正常に作動しないことがあります。
  このときは，電子機器を車からできるだけ離して使用してください。

環境保護のために守っていただきたいこと

J00205300019

廃棄物を処理するときは

J00205400010

- バッテリーは，鉛や希硫酸が使われています。
  使用済みのバッテリーは，新品バッテリーを購入した販売店に処分を依頼してください。
- タイヤを燃やすと有害なガスが発生します。
  使用済みのタイヤは，新品タイヤを購入した販売店に処分を依頼してください。
- エンジンオイルを地下や河川などに流すと，水質汚濁の原因となります。
  エンジンオイルを交換する場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 冷却水を地下や河川などに流すと，水質汚濁の原因となります。
  冷却水を交換する場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。

エアコンの冷媒ガスについて

J00205500011

- エアコン冷媒は，オゾン層を破壊させない代替フロンガスHFC-134a (R134a) を使用していますが，この代替フロンガスにも地球を温暖化させる働きがあります。エアコンの効きが悪い場合は三菱自動車販売会社でガス漏れの点検を行い，ガスの大気放出を防止してください。

出発前は

J00200202411

シートベルトは必ず着用

- 運転する前に必ずシートベルトを着用してください。
  →「シートベルト」P.4-8
- 同乗者にもシートベルトを着用させてください。

燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まない

- 燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まないでください。
  容器が破裂したり，蒸発ガスに引火し爆発するおそれがあります。

窓越しにエンジンをかけない

- 正しい運転姿勢で運転席に座り，エンジンをかける習慣をつけましょう。
- セレクターレバーがⓅの位置にあることを確認します。
  思わぬ事故を避けるため，ブレーキペダルを右足でしっかり踏んでエンジンをかける習慣をつけてください。
  →「エンジンをかける前に」P.2-11
- 窓越しなど車外からエンジンをかけないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転席の足元付近を点検

- ブレーキペダルの下に物がころがり込むと，ブレーキ操作ができなくなるおそれがあります。
  出発前に運転席の足元付近を点検してください。
- フロアマットはペダルに引っかからないよう，車にあったものを正しく敷いてください。
  →「フロアマット」P.7-10
  正しく敷かないと，ペダル操作の妨げになり，重大な事故につながるおそれがありますので，つぎのことをお守りください。
  - ずれないよう固定クリップなどで確実に固定する。

・ペダルをおおわない。
・重ねて敷かない。
・アクセルペダルの下に敷かない。

荷物を積むときは

- 荷物はできるだけ低くし，シートの高さ以上に積まないでください。
後方の確認ができなくなったり，急ブレーキをかけたとき，荷物が前方に飛び出してケガをするなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。
また，コーナリングのとき，車の揺れが大きくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- SRS カーテンエアバッグ付き車では，側面ガラス付近に荷物を積まないでください。SRS カーテンエアバッグが正常に膨らむのを妨げるおそれがあります。
- 重い荷物はできるだけ前の方に積んでください。
後ろの方が重くなるとハンドルが不安定になります。
- 荷物は荷くずれしないようにしっかりと固定してください。

ルーフレールに直接荷物を積まない

- 荷くずれを起こして思わぬ事故につながるおそれがあります。
走行安全上，ルーフレールに直接荷物を積んだり，不用意にロープをかけないでください。
- ルーフに荷物を積むときは，専用のルーフキャリアを使用してください。
その際は，重心が片寄らないようにバランスよく積んでください。

周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしない

- 周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしないでください。
排気ガスが車内や建物内などに充満して，ガス中毒になるおそれがあります。
- やむを得ないときは，換気を十分に行ってください。

フロントガラス前部の雪，落ち葉などは取り除く

- フロントガラス前部の外気取り入れ口に雪，落ち葉などが付いているときは取り除いてください。
そのままにしておくと，車内の換気が十分にできずガラスが曇り，視界が悪くなるおそれがあります。

お子さまを乗せるときは

J00200302568

お子さまは後席に座らせる

- 助手席ではお子さまの動作が気になり運転の妨げになるだけでなく，お子さまが運転装置に触れて，重大な事故につながるおそれがあります。
- やむを得ず助手席にお子さまを乗せるときでも，つぎのことをお守りください。
・必ずシートベルトを着用する
・シートをできるだけ後方に下げる
・シートに深く腰かけて，背もたれに背中がついた正しい姿勢で座らせる

- お子さまがシートベルトやチャイルドシートを使用せずにインストルメントパネルの前に立っていたり，助手席に正しい姿勢で座っていなかったりすると，SRS エアバッグが膨らむ際，SRS エアバッグにより，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

お子さまにもシートベルトを必ず着用させる

- ひざの上にお子さまを抱かないでください。
  急ブレーキをかけたときや衝突したときなど，腕だけでは十分に支えることができず，お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 後席でも必ずシートベルトを着用してください。

お子さまにはチャイルドシートを使用する

- シートベルトを着けたとき，肩部ベルトが首，あご，顔などに当たる場合や，腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまには，体格に合ったチャイルドシートを使用してください。
  →「チャイルドシート」P.4-15
  通常のシートベルトでは，衝突のとき強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 6 才未満のお子さまは，チャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。

お子さまの安全のための装備

- お子さまの安全のため，つぎのような装備があります。
  使い方を一度お読みになって，お子さまの安全にお役立てください。

ISO FIX 対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカー

- この車は 2006 年 10 月 1 日施行の保安基準（国連の安全基準に準拠）に適合した ISO FIX 対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーを標準装備しています。
  →「チャイルドシート」P.4-15

セーフティー機構付サンシェード

タイプ別装備

- 万一，お子さまが手や首などをはさんだとき，自動的にサンシェードが少し開きます。
  →「セーフティー機構」P.3-37

ロックスイッチ

- ロックスイッチを ON にすると，助手席，後席のパワーウインドウスイッチを操作してもドアガラスは開閉できなくなります。
  →「ロックスイッチ」P.3-35

チャイルドプロテクション

- ドアにあるレバーを施錠側にしておくと，後席ドアが車内から開けられなくなります。
  →「チャイルドプロテクション（後席ドア安全施錠装置）」P.3-25

ドア，ウインドウ，サンシェード, シートの操作は大人が行う

- 手や顔などをはさまないよう注意して操作してください。
- お子さまが誤って操作しないよう，パワーウインドウにはロックスイッチをお使いください。

窓から手や顔を出させない

- 窓から手や顔を出していると，車外の物などに当たったり，急ブレーキをかけたとき，重大な傷害を受けるおそれがあります。

お子さまをシートベルトで遊ばせない

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
  ベルトを身体に巻き付けたりして遊んでいると，窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
  万一，シートベルトが外せなくなったときは，はさみなどでベルトを切断してください。

車から離れるときはお子さまも一緒に

- お子さまだけを車内に残さないでください。
  炎天下での車内は高温となり，熱射病などのおそれがあります。
- 車内にキーを残したままにしておくと，お子さまのいたずらにより，パワーウインドウなど電装品の誤操作，車の発進，火災など，重大な事故につながるおそれがあります。

お子さまを荷室で遊ばせない

- 荷室は人が乗る構造になっておりません。
  お子さまを乗せたり，遊ばせたりしないでください。
  万一の場合，重大な事故につながるおそれがあります。

走行するときは

J00200400608

発進するときは

- 駐車後や信号待ちなどで停車したあとは，子どもや障害物など，車のまわりの安全を十分確認してから発進してください。
- 車をバックさせるときは目で後方を確認してください。
  バックミラーでは確認できない死角があります。

同乗者はシートを倒して寝ころばない

- 走行中，同乗者はシートを倒して寝ころばないでください。
シートを倒して寝ころんでいると，急ブレーキをかけたときや衝突したときなど，身体がシートベルトの下にもぐり込み，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

走行中はエンジンを止めない

- 走行中にエンジンを止めると，ブレーキの効きが悪くなったり，ハンドルが非常に重くなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。

急発進，急加速，急ブレーキ，急ハンドルは避けて

- 急ブレーキや急ハンドルは車両のコントロールができなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
スピードを控えめにし，ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。

雨天時や水たまりを走行するときは

J00202200538

- 雨天時やぬれた道路ではスピードを控えめにし，ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。
特に雨の降りはじめは路面が滑りやすいため注意してください。
- 水たまり走行後や洗車後，ブレーキに水がかかると一時的にブレーキの効きが悪くなることがあります。
ブレーキの効きが悪いときは，前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。
- わだちなど水のたまっている場所を高速で走行すると，ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。
- タイヤがすり減っていたり，空気圧が適正でないと，スリップしたり，ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

ハイドロプレーニング現象とは...

- 水のたまっている道路を高速で走行するとき，あるスピード以上になるとタイヤが路面の水を排除できず，水上を滑走する状態になり，車のコントロールが効かなくなる現象。

冠水路などは走行しない

J00204801056

- 冠水した道路や深い水たまりなどは走行しないでください。エンスト，電装品のショート，エンジン破損などの原因になります。
万一，冠水路などを走行し，水に浸かってしまったときは，必ず三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

下り坂ではエンジンブレーキを併用

J00202300744

- ぬれた道路や凍結した道路での急激なエンジンブレーキは避けてください。
スリップして重大な事故につながるおそれがあります。

- 長い下り坂でフットブレーキのみを多く使用すると，ベーパロックやフェード現象を起こし，ブレーキの効きが悪くなることがあります。
  坂の勾配に応じて必ずエンジンブレーキを併用してください。

エンジンブレーキとは...

- 走行中，アクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ力のことで，低速ギヤほどよく効きます。
  スポーツモード走行中に 3 速，2 速または 1 速に入れてください。

ベーパロックとは...

- ブレーキ液がブレーキの摩擦熱により過熱されて沸騰することにより気泡が発生し，ブレーキペダルを踏んでも気泡を圧縮するだけでブレーキが効かなくなる現象。

フェード現象とは...

- ブレーキパッドまたはブレーキライニングの摩擦面が過熱されることにより摩擦力が低下し，ブレーキの効きが悪くなる現象。

ブレーキペダルをフットレストがわりにしない

J00202400110

- ブレーキペダルに常に足をのせ，フットレストがわりにすることは避けてください。
  ブレーキ部品が早く摩耗したり，ブレーキが過熱して，効きが悪くなるおそれがあります。

スタック（立ち往生）したときは

J00202600242

- スタックしたときは，タイヤを高速で回転させないでください。
  タイヤがバースト（破裂）したり，異常過熱により，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  →「こんなことでお困りのときは！：タイヤがスリップして発進できない」P.12-4

寒冷時にブレーキの効きが悪くなったときは

J00202700168

- 寒冷時や雪道走行ではブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。
  ブレーキの効きが悪いときは，前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。

段差などを通過するときは

J00202800329

- 段差などを通過するときは，できるだけゆっくり走行してください。
  段差や凹凸のある路面を通過するときの衝撃によりタイヤおよびホイールを損傷するおそれがあります。
  またつぎのような場合，車体，バンパー，マフラーなどを損傷するおそれがありますので十分注意してください。
  - 駐車場の出入り口
  - 路肩や車止めのある場所
  - 勾配の急な場所
  - わだちのある道路

2

走行中に異常に気づいたら

J00200500771

万一，走行中にエンストしたときは

●走行中にエンストしたときは，運転操作に変化がおきますので，つぎの点に注意して車を安全な場所に止めてください。

• ブレーキ倍力装置が働かなくなるため，ブレーキの効きが非常に悪くなります。
  通常よりブレーキペダルを強く踏み続けてください。
  ブレーキペダルから足を離し，再び踏み直すと，ブレーキの効きがさらに悪くなります。
• 万一，スピードが落ちないときは，駐車ブレーキを慎重にかけてください。
  このときも，ブレーキペダルは強く踏み続けて下さい。
• パワーステアリング装置が働かなくなるため，ハンドルが非常に重くなります。

走行中にタイヤがパンクまたはバースト（破裂）したときは

●走行中にタイヤがパンクまたはバーストすると，車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
ハンドルをしっかり持ち，徐々にブレーキをかけてスピードを落としてください。

●つぎのようなときは，パンクやバーストが考えられます。

• ハンドルがとられるとき
• 異常な振動があるとき
• 車両が異常に傾いたとき

警告灯が点灯または点滅したときやマルチインフォメーションディスプレイ内に警告表示されたときは

●警告灯が点灯または点滅したときやマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示されたときは安全な場所に停車し，適切な処置をしてください。
→「インフォメーション画面表示一覧」P.5-22
→「警告灯が点灯または点滅したときは！」P.12-2
点灯または点滅もしくは表示したまま走行すると，思わぬ事故を引き起こしたり，エンジンなどを損傷するおそれがあります。

車体床下に強い衝撃を受けたときは

● 車体床下に強い衝撃を受けたときは，すぐに安全な場所に車を止めて下まわりを点検してください。
ブレーキ液や燃料の漏れ，損傷などがあると，思わぬ事故につながるおそれがあります。
漏れや損傷などが見つかったときは，そのまま使用せず三菱自動車販売会社にご連絡ください。

CVT 車の取り扱い

J00200600639

CVT 車の特性

クリープ現象とは…

● セレクターレバーをⓅ，Ⓝ以外に入れると動力がつながった状態となり，アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出すオートマチック車（CVT 車）特有の現象。

キックダウンとは…

● 走行中にアクセルペダルを深く踏み込むと，自動的に変速比が切り換わり急加速ができます。これをキックダウンといいます。

ブレーキペダルは右足で

● 左足でのブレーキ操作は，緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず，重大な事故につながるおそれがあります。

エンジンをかける前に

J00201100543

● アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。
アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。
● セレクターレバーがⓅの位置にあることを確認してください。

エンジンをかけるときは

J00201200469

● ブレーキペダルを右足で踏んだままエンジンをかけます。
アクセルペダルを踏まないとエンジンがかかりにくいときは，エンジンをかけてから足をブレーキペダルに踏みかえます。
→「キーレスオペレーションシステム : エンジンの始動／停止」P.3-13
→「エンジンのかけ方」P.6-7

エンジン始動後

J00201300226

● エンジン始動直後は，自動的にエンジン回転数が高くなり，クリープ現象が強くなります。
ブレーキペダルをしっかり踏んでください。

セレクターレバーを操作するときは

J00201400331

● ブレーキペダルを右足で踏んだままセレクターレバーを操作します。
● アクセルペダルを踏み込みながらセレクターレバーを操作しないでください。
急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

2

● Ⓡに入れるとブザーが鳴ります。
ブザーは車の外には聞こえませんので注意してください。

発進するときは

J00201500273

● 発進するときは，ブレーキペダルから徐々に足を離し，アクセルペダルをゆっくり踏み込んでください。

走行中は

J00201600173

● 走行中は，セレクターレバーをⓃに入れないでください。
誤ってⓅ，Ⓡに入れてしまったり，エンジンブレーキがまったく効かなくなり，思わぬ事故の原因になります。
また，トランスミッションの故障の原因になります。

停車中は

J00201700246

● エアコン作動時などは，自動的にエンジン回転数が高くなり，クリープ現象が強くなります。
ブレーキペダルをしっかり踏んでください。
● 停車中は，むやみに空ぶかしをしないでください。
万一，セレクターレバーがⓅ，Ⓝ以外に入っていた場合，思わぬ急発進の原因になります。

駐車するときは

J00201800540

● 駐車するときは，ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れます。
● 車が完全に止まらないうちにⓅに入れると，急停止してけがをするおそれがあります。
また，トランスミッションの故障の原因になります。
● 車から離れるときは，必ずエンジンを止めてください。
エンジンをかけたままにしておくと，万一，セレクターレバーがⓅ，Ⓝ以外に入っていた場合，クリープ現象で車がひとりでに動き出したり，乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み，急発進するおそれがあります。

その他に気をつけること

J00201900219

● 車を少し移動させるときでも，正しい運転姿勢をとり，ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。
● 少しだけ後退したときなどは，セレクターレバーがⓇに入っていることを忘れてしまうことがあります。
後退した後は，すぐにⓇからⓅまたはⓃに戻す習慣をつけましょう。
● 車を後退させるときは，身体を後ろにひねった姿勢になり，ペダルの操作がしにくくなります。
ブレーキペダルが確実に踏めるように注意してください。
● 切り返しなどでⒹからⓇ，ⓇからⒹと何度もレバーを操作するときは，そのつどブレーキペダルをしっかりと踏み，車を完全に止めてから行ってください。
車が動いているうちにⓅやⓇに入れると，トランスミッションの故障の原因になります。

駐停車するときは

J00200701129

燃えやすいものの近くには車を止めない

● 枯草や紙など燃えやすいものの近くには車を止めないでください。
走行後の排気管は高温になっているため，火災になるおそれがあります。

長時間のアイドリングは避ける

- 長く停車するときは，エンジンを止めてください。
燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となります。

車から離れるときは

- 車から離れるときは，必ずセレクターレバーをⓅに入れ，駐車ブレーキをかけ，エンジンを止め，キーを携帯し，ドアを施錠してください。
無人で車が動き出したり，盗難のおそれがあります。
また，施錠していても車内に貴重品を置いたままにしないでください。

車を移動するときは必ずエンジンを始動する

- エンジンがかかっていないと，ブレーキの効きが非常に悪くなったり，ハンドル操作が非常に重くなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。
坂道で車を移動させるときも，必ずエンジンをかけてください。

仮眠するときは必ずエンジンを止める

- 排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。
- 無意識にセレクターレバーを動かしたり，アクセルペダルの踏み込みにより，不用意な発進など，重大な事故につながるおそれがあります。
- 無意識にアクセルペダルを踏み続けたときに，オーバーヒートを起こしたり，エンジンや排気管などの異常過熱により，火災事故が発生するおそれがあります。

坂道に駐車するときは

- 坂道に駐車するときは，駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れてください。さらに輪止めをすると効果があります。
輪止めは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。
- 急な坂道での駐車は避けてください。
無人で車が動き出すなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。

雪が積もった場所や降雪時に駐車するときは必ずエンジンを止める

- エンジンがかかった状態で，車のまわりに雪が積もると排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。

ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けない

- ハンドル操作力が重くなることがあります。
→「電動パワーステアリング」P.6-29

こんなことにも注意

J00200901349

運転中にハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用しない

- 運転中，運転者が自動車電話や携帯電話を使用すると周囲の状況に対する注意が不十分になり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 運転中，運転者がハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用することは法律で禁止されています。

2

オーディオまたはカーナビゲーションの操作は停車してから

- 走行中にオーディオまたは，カーナビゲーションなどの操作をしないでください。
操作に気をとられて思わぬ事故につながるおそれがあります。

喫煙しながらの運転は控える

- 喫煙しながらの運転は控えてください。
注意がおろそかになり，思わぬ事故を招くことがあります。

車内にライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しない

- 強い直射日光にさらされると車内が高温になるため，ライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しないでください。
ライターなどの可燃物は自然発火したり，炭酸飲料やビールなどの缶は破裂するおそれがあります。また，プラスチックレンズまたはプラスチック素材のメガネは変形，ひび割れをおこすおそれがあります。

アクセサリー取り付け時の注意

- ウインドウガラスなどにアクセサリーをつけたり，インストルメントパネルの上に芳香剤などを置かないでください。
運転の妨げになったり，吸盤や芳香剤の容器がレンズの働きをして火災など，思わぬ事故の原因となります。
- 塗装が施されている部分にはアクセサリーなどをつけないでください。
吸盤に含まれる特殊な成分により，塗装面がはがれたり，変色したりするおそれがあります。

タイヤ，ホイールは指定サイズを使用

- タイヤ，ホイールのサイズなどは三菱自動車工業が国土交通省に届け出をしています。
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。
→「タイヤ，ホイールのサイズ」P.13-6
- ホイールは，リムサイズやオフセット（インセット）量が同じでも，車体に干渉するため使えないときがあります。
お手持ちのものを使われるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

エンジンをかけたままジャッキアップをしない

- エンジンをかけたままジャッキアップをすると，ジャッキから車体が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

違法改造はしない

- 法律で認められている改造以外は行わないでください。
また，三菱自動車純正以外の部品を装着すると，車の性能や機能に影響し，思いがけない事故が発生するおそれがあります。

電装品や無線機などの注意

- 電装品や無線機などを取り付けるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。
  配線が車体に干渉したり，保護ヒューズがないなど取付け方法が適切でない場合，電子機器部品に悪影響をおよぼしたり，火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

ルーフキャリアに荷物を積むときは

- キャリア脱着や荷物積み降ろし作業のときは，車体の一点に強い力がかからないよう注意してください。
  力のかけぐあいや場所によっては，万一の場合，車体がへこむおそれがあります。

セルフ式ガソリンスタンドを利用するときは

J00201000395

燃料の取り扱いに注意

- 燃料を補給するときは火気厳禁です。
  燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
  - 必ずエンジンを止めてください。
  - たばこ，ライター，携帯電話などは使用しないでください。
- 気化した燃料を吸わないように注意してください。燃料には有毒な成分を含んでいるものもあります。
- 給油中はドアおよびドアガラスを閉めてください。車内に気化した燃料が侵入するおそれがあります。
- 燃料をこぼさないように注意してください。塗装の変色，シミ，ひび割れの原因になります。付着したときは，柔らかい布などでふき取ってください。

静電気は確実に除去する

- フューエルキャップを外す前に車体や給油機の金属部分に触れて，必ず身体の静電気を除去してください。
  静電気を帯びていると，放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。
- リッド（補給口）の開口，フューエルキャップの取り外しなど，給油操作は必ず一人で行い，補給口に他の人を近づけないでください。
  複数で行うと他の人が帯電していた場合，気化した燃料に引火するおそれがあります。
- 給油が終わるまで補給口から離れないでください。途中，シートに座るなどすると，再帯電するおそれがあります。

フューエルキャップの取り扱いに注意

- フューエルキャップを開けるときは，急激に回さないでください。燃料タンク内の圧力により，補給口から燃料が吹き返すおそれがあります。
- フューエルキャップをゆるめたときにシューッという音がしたときは，音がしなくなるまで待ってから，フューエルキャップをゆっくり回してください。
- フューエルキャップを閉めたときは，確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと燃料が漏れ，火災になるおそれがあります。
- 三菱自動車純正以外のフューエルキャップは使用しないでください。

ガソリンスタンドの注意事項を守る

- ガソリンスタンドに掲示されている注意事項を守ってください。

- 補給口に給油ノズルを確実に差し込んでください。
  給油ノズルが正しく差し込まれていないと，燃料がこぼれるおそれがあります。
- 給油ノズルが自動的に停止したら給油を終了してください。
  つぎ足しを繰り返すと燃料があふれ出るおそれがあります。
- 給油方法についてご不明な点は，ガソリンスタンドの係員にご相談ください。

各部の開閉

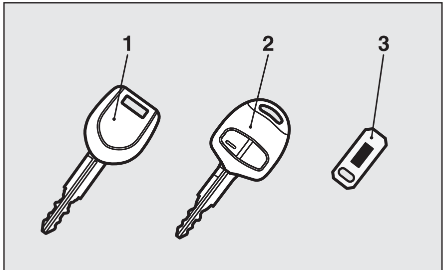
キー 3-2
エンジンイモビライザー（盗難防止装置）............................ 3-3
キーレスエントリー 3-4
キーレスオペレーションシステム 3-7
ドア 3-23
センタードアロック 3-24
チャイルドプロテクション（後席ドア安全施錠装置）........ 3-25
テールゲート 3-26
セキュリティーアラーム 3-28
パワーウインドウ 3-34
サンシェード 3-36
エンジンフード（ボンネット）.. 3-37
フューエルリッド（燃料補給口）.. 3-38

3

キー

J00400101242

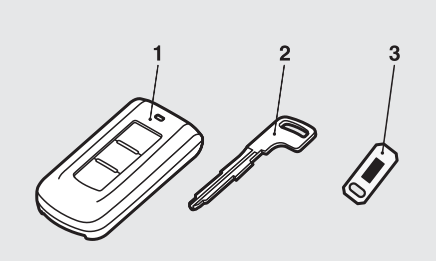
除く，キーレスオペレーションシステム付き車



AGA007684

1- エンジンイモビライザー用キー
2- エンジンイモビライザーおよびキーレスエントリー用キー
3- キーナンバープレート

キーレスオペレーションシステム付き車



AGA011744

1- キーレスオペレーションキー（エンジンイモビライザーおよびキーレスエントリー機能付き）
2- エマージェンシーキー
3- キーナンバープレート

⚠警告

- 航空機内にキーを持ち込むときは，機内でキーのスイッチを押さないでください。スイッチを押すと電波が発信され，航空機の運航に悪影響をおよぼすおそれがあります。
  かばんなどに入れて持ち込むときも，簡単にスイッチが押されないようにしてください。

アドバイス

- キー（除く，エマージェンシーキー）は信号発信機が内蔵された精密な電子機器部品です。故障を防ぐため，つぎの点をお守りください。
  - ダッシュボードの上など直射日光が当たる場所には放置しない
  - 分解，改造をしない
  - キーを無理に曲げたり，強い衝撃を与えない
  - 水にぬらさない
  - 磁気を帯びたキーホルダーなどを近づけない
  - オーディオ，パソコン，テレビなど磁気を帯びた機器の近くに置かない
  - 携帯電話や無線機，高周波医療機器など強い電波を発する機器の近くに置かない
  - 超音波洗浄器などで洗浄しない
- 電池交換のとき以外はキーを不用意に分解しないでください。分解，改造したキーを使用することは法律で禁止されています。
  また，必ず日本国内でご使用ください。

アドバイス

- 万一，キーを紛失したときは，盗難などを防ぐため，ただちに三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，キーナンバーを三菱自動車販売会社へ連絡していただければ，キーを作ることができます。キーナンバーはキーナンバープレートに打刻してあります。キーナンバープレートは，キーとは別に大切に保管してください。
- あらかじめ登録されたキー以外ではエンジンがかかりません。
  →「エンジンイモビライザー」P.3-3
- セキュリティーアラームを「作動する」に設定したときは，つぎの点にご注意ください。
  →「セキュリティーアラーム」P.3-28
  - セキュリティーアラームをシステム作動可能状態にしているときは，キーやドアのロックノブを使って解錠した後ドアを開けると警報が作動します。
  - セキュリティーアラームを「作動する」に設定していても，キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能を使わないで施錠した場合はシステム準備状態になりません。

エンジンイモビライザー（盗難防止装置）

J00400200389

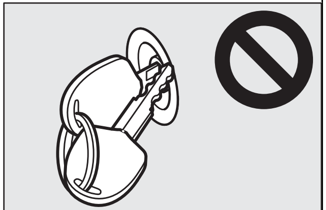
エンジンイモビライザー（盗難防止装置）は，車両盗難防止のため，あらかじめ登録されたキー以外ではエンジンがかからないようにした装置です。

アドバイス

- つぎのようなときは，車がキーからの信号を受信できずエンジンがかからないことがあります。
  - キーグリップに金属製のリングをのせたままのとき

AGZ000345

  - キーグリップと他のキーの金属部分が接しているとき



AGZ000576

アドバイス

  - キーが他のエンジンイモビライザー用キーと重なっている，または近いとき

AGZ000361

このようなときは，キーに接している金属や他のキーを取り除いてから，再度エンジンをかけます。エンジンがかからないときは，三菱自動車販売会社にご連絡ください。

- 強い電波を発する物や設備の近くでは正しく作動しないことがあります。
- キーを紛失したときや，新しいキーを作りたいときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。除く，キーレスオペレーションシステム付き車は，同じ車両で最大 8 本までキーを登録できます。また，キーレスオペレーションシステム付き車は，キーレスオペレーションキーを最大 4 個まで登録できます。このとき残りのすべてのキーとお車を三菱自動車販売会社へお持ちください。

キーレスエントリー

タイプ別装備

J00400301345

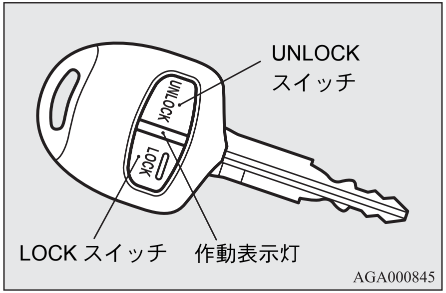
3

キーレスオペレーションシステム付き車

キーレスオペレーションシステム付き車のキーレスエントリーについては「キーレスオペレーションシステム：キーレスエントリー」をお読みください。→P.3-19

除く, キーレスオペレーションシステム付き車

リモコンスイッチですべてのドアおよびテールゲートの施錠・解錠，およびドアミラーを操作することができます。



ドアおよびテールゲートの施錠・解錠

LOCK スイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠し，UNLOCK スイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。
UNLOCKスイッチを押して解錠しても約30 秒以内にドアおよびテールゲートを開けなければ自動的に施錠されます。

アドバイス

- つぎのようなときはリモコンスイッチは作動しません。
  - •エンジンスイッチにキーが差してあるとき
  - •ドア，テールゲートが開いている，または半ドアのとき（解錠操作のみ可能）
- リモコンスイッチを押すと作動表示灯が点灯します。
- UNLOCK　スイッチを押すと車幅灯が約30 秒点灯します。
  詳しくは「ウェルカムライト」をお読みください。→P.5-36
- キーレスエントリーのリモコンスイッチですべてのドアおよびテールゲートを施錠・解錠すると，ドアミラーは自動格納・自動復帰します。
  詳しくは「ドアミラー」をお読みください。→P.6-4

アドバイス

- セキュリティーアラームを「作動する」に設定しているときは，施錠と同時にシステム準備状態，続いてシステム作動可能状態になります。
  詳しくは「セキュリティーアラーム」をお読みください。→P.3-28
- 運転席ドア限定アンロック機能を使って，UNLOCK スイッチで解錠するドアを運転席のみに限定することができます。この機能を使いたいときは「運転席ドア限定アンロック機能の設定のしかた」をお読みください。→P.3-6
- UNLOCK スイッチを押した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

施錠・解錠時の作動確認

つぎの通り作動を確認することができます。ただし，ルームランプの点灯はフロントルームランプのスイッチがDOORの位置にあるときに限られます。

施錠時：非常点滅灯が 1 回点滅
解錠時：ルームランプが約 15 秒間点灯し，非常点滅灯が 2 回点滅

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を施錠時のみ，または解錠時のみにする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を働かなくする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）の点滅回数を変更する。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

ドアミラーの格納・復帰

LOCK スイッチを押して施錠した後，約30秒以内にLOCKスイッチをさらに続けて2回押すとドアミラーが格納されます。
UNLOCK スイッチを押して解錠した後，約 30 秒以内に UNLOCK スイッチをさらに続けて 2 回押すとドアミラーは元の位置に戻ります。

工場出荷時は上記の操作をしても作動しません。
作動させたいときは，ドアミラーの設定を「キーレスエントリーまたはキーレスオペレーションシステムに連動（LOCK で格納，UNLOCK で復帰）」以外に変更する必要があります。
→「ドアミラー」P.6-4
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

アドバイス

- つぎのようなときはリモコンスイッチによるドアミラーの格納・復帰はできません。
  - エンジンスイッチにキーが差してあるとき
  - ドア，テールゲートが開いている，または半ドアのとき
- リモコンスイッチによるドアミラーの操作をできなくすることができます。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- リモコンスイッチは車から約 1m 以内で作動します。

  近くに TV 塔や変電所，放送局があるなど周囲の状況により作動距離が変わることがあります。

アドバイス

- リモコンスイッチを紛失したときや，新しいリモコンスイッチを作りたいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  最大 8 個まで作ることができます。
- つぎのときは電池の消耗が考えられます。
  - 正しい距離でリモコンスイッチを押しても施錠・解錠しないとき
  - 作動表示灯が暗い，または点灯しないとき

  電池が消耗した場合は，新しい電池に交換してください。
  →「電池交換のしかた」P.3-7

運転席ドア限定アンロック機能

J00432800043

運転席以外のドアからの不正侵入を防止するため，キーレスエントリーのUNLOCKスイッチで解錠するドアを運転席のみに限定することができます。
この機能をありにした場合，UNLOCK スイッチを続けて 2 回押すことにより，すべてのドアおよびテールゲートを解錠することが可能です。

3

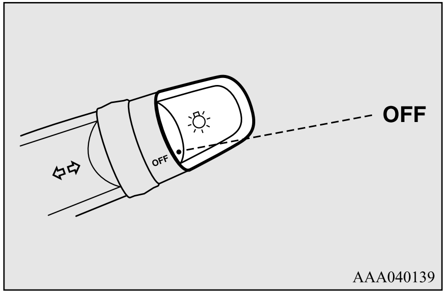
工場出荷時は，すべてのドアおよびテールゲートが解錠する設定になっています。
設定を変更するときは「運転席ドア限定アンロック機能の設定のしかた」の手順にしたがって操作してください。
→P.3-6

運転席ドア限定アンロック機能の設定のしかた

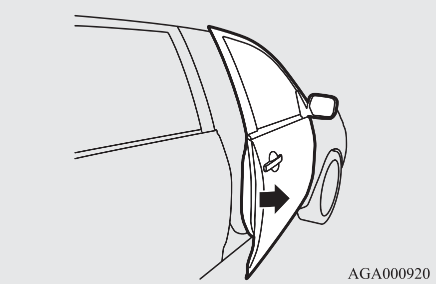
J00432900060

UNLOCKスイッチを押す回数により解錠するドアの設定を変更することができます。つぎの手順にしたがって操作してください。

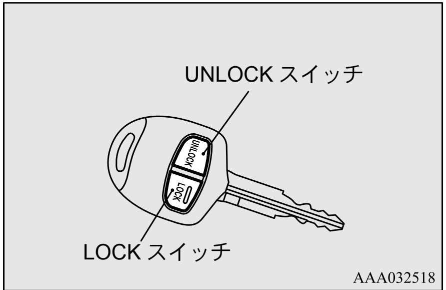
1. エンジンスイッチからキーを抜きます。
2. ライトスイッチをOFF位置にして，運転席ドアを開いたままにします。



AAA040139


AGA000920

3. LOCKスイッチを押し続けます。
4. 約 4 秒経過後に，UNLOCK スイッチを押し続けます。
5. LOCK スイッチを離したあとにUNLOCK スイッチを離します。
（3. ～ 5. の操作は 10 秒以内に行ってください。）



AAA032518

6. 設定状態をブザーの回数によって確認します。

ブザーの回数	運転席ドア限定アンロック機能の設定状態
1 回（機能なし）	UNLOCK スイッチを 1 回押すとすべてのドアおよびテールゲートを解錠する（工場出荷状態）
2 回（機能あり）	UNLOCK スイッチを 1 回押すと運転席ドアのみ解錠し，続けて 2 回押すとすべてのドアおよびテールゲートを解錠する

やり直すときは手順3.からもう一度操作してください。

アドバイス

- 運転席ドア限定アンロック機能の設定のしかたがわかりにくいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。

電池交換のしかた

J00415100201

⚠警告

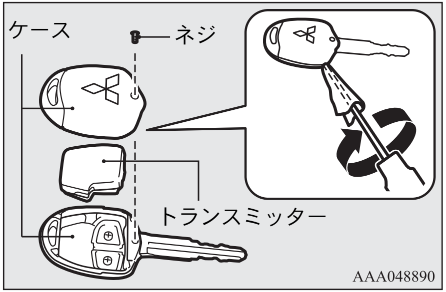
- 電池および取り外した部品は，誤ってお子さまが飲み込まないように注意してください。

アドバイス

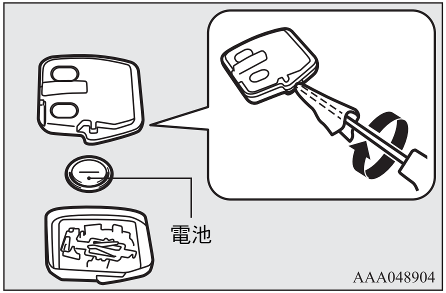
- 電池交換をする際は，キーを破損するおそれがあるため，三菱自動車販売会社での交換をおすすめします。
- キーは信号発信機が内蔵された精密な電子機器部品です。故障を防ぐため，内部の金属部分や回路に触れないでください。また水やゴミを付着させないでください。
- 電池は三菱自動車販売会社，時計店またはカメラ店などでお買い求めください。

使用電池：CR1616

1. 電池交換をする前に部屋のドアノブ等の金属部分に触れて，身体の静電気を除去してください。
2. 三菱マークを上にしてネジを取り外します。
先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んでケースを外し，トランスミッターを取り出します。



3. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んでトランスミッターを開きます。
新しい電池は－極を上にして取り付けます。



4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

キーレスオペレーションシステム

タイプ別装備

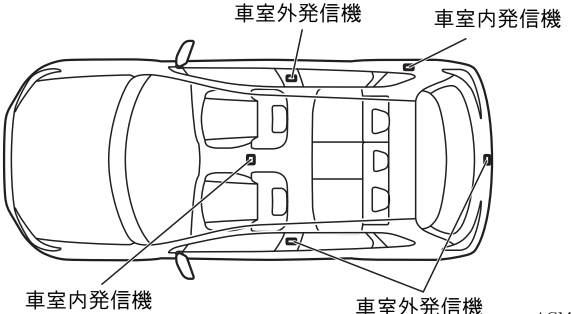
J00407400494

キーレスオペレーションシステムは，キーレスオペレーションキーを携帯するだけで，ドアおよびテールゲートの施錠・解錠操作やエンジンの始動操作ができるシステムです。
また，キーレスオペレーションキーはキーレスエントリーのリモコンスイッチとしても使えます。
→「キーレスオペレーションシステム : キーレスエントリー」P.3-19

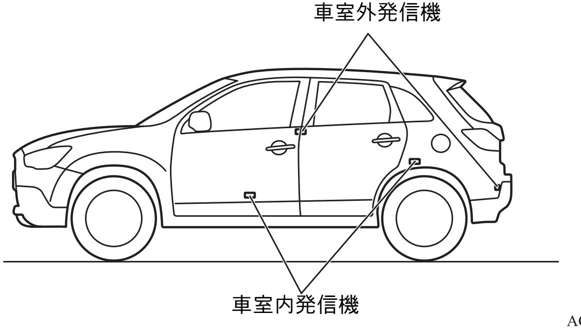
キーレスオペレーションキーは必ず運転者が携帯してください。ドアおよびテールゲートの施錠・解錠やエンジンの始動など車を操作するために必要ですので，車から離れるときは必ずキーレスオペレーションキーを携帯していることを確認してから施錠するようにしてください。

⚠警告

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を使用している方は，車室外発信機・車室内発信機から約 22 cm 以内に近づかないようにしてください。キーレスオペレーションシステムに使用している電波が植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。



AGM013407



AGM013410

⚠警告

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用している方は，キーレスオペレーションシステムに使用している電波による影響について医療用電気機器製造業者などに確認してからご使用ください。電波が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。

キーレスオペレーションシステムでできる操作をつぎのように変更することができます。（キーレスエントリーとしての操作は可能です）
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

- ドアおよびテールゲートの施錠・解錠操作のみできるようにする
- エンジンの始動操作のみできるようにする
- キーレスオペレーションシステムを働かないようにする。

キーレスオペレーションシステムでできる操作を変更した場合，作動している発信機はつぎの通りです。

- ドアおよびテールゲートの施錠・解錠操作のみ：車室外発信機および車室内発信機
- エンジンの始動操作のみ：車室内発信機

アドバイス

- キーレスオペレーションキーは微弱な電波を使用しています。
  つぎのような場合，正しく作動しなかったり，不安定な作動となることがあります。
  - 近くにＴＶ塔や変電所，放送局，空港など強い電波を発する設備があるとき
  - 携帯電話や無線機などの通信機器やパソコンなどの電化製品と一緒に携帯しているとき
  - キーレスオペレーションキーが金属製のものに接したり，覆われているとき
  - 近くでキーレスエントリーを使用しているとき
  - キーレスオペレーションキーの電池が消耗しているとき
  - 強い電波，ノイズのある場所に置いたとき

  エンジンを始動するときは，キーレスオペレーションキーをキーボックスに差し込んで操作してください。
  →「キーレスオペレーションキーが正常に作動しないときは（電池切れなど）」P.3-16
  ドアの施錠・開錠するときは，エマージェンシーキーを使用してください。
  →「キーレスオペレーション機能を使わずに操作するときは」P.3-18

3

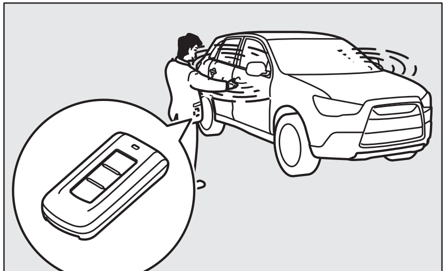
アドバイス

- キーレスオペレーションキーは，車両との通信のために常時受信動作をしているため，キーレスオペレーションキーの使用に関係なく常に電池を消耗しています。使用状況にもよりますが，電池の寿命は約 1 年～ 3 年です。電池が消耗した場合は，新しい電池に交換してください。
→「電池交換のしかた」P.3-22
- キーレスオペレーションキーは，常時受信動作をしているため，強い電波の受信は電池の消耗につながります。テレビ，パソコンなどの電化製品の近くには置かないでください。

キーレスオペレーションシステムの作動範囲について

J00407500365

キーレスオペレーションキーを携帯してキーレスオペレーションシステムの作動範囲内に入り，ドアまたはテールゲートのスイッチを押すと ID コードの照合を行います。
車両とキーレスオペレーションキーの ID コードが一致した場合のみ，ドアおよびテールゲートの施錠・解錠操作やエンジンの始動操作が可能になります。



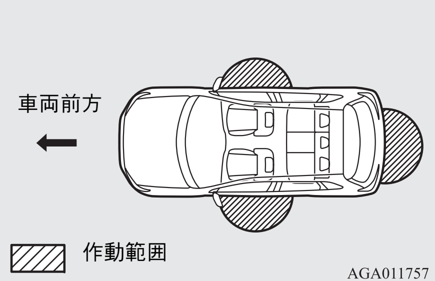
AGA012725

アドバイス

- キーレスオペレーションキーの電池が消耗しているときや，強い電波またはノイズのある場所などでは，作動範囲が狭くなったり，不安定な作動となることがあります。

ドアおよびテールゲートを施錠・解錠するときの作動範囲

作動範囲は運転席ドア，助手席ドアおよびテールゲートのハンドルから周囲約 70 cm 以内です。



AGA011757

アドバイス

- キーレスオペレーションキーを検知しているドアおよびテールゲートの操作でのみ施錠・解錠ができます。
- キーレスオペレーションキーがフロントドア，ドアガラス，テールゲートに近づきすぎているときは作動しないことがあります。
- キーレスオペレーションキーが運転席ドア，助手席ドアおよびテールゲートのハンドルから周囲約 70 cm 以内でも，地面の近くや高い場所にあるときは，作動しないことがあります。

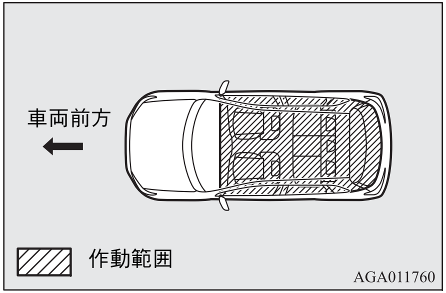
アドバイス

- キーレスオペレーションキーが作動範囲内にあれば，キーレスオペレーションキーを携帯していない人でも，運転席ドア，助手席ドアおよびテールゲートの操作でドアおよびテールゲートの施錠・解錠ができます。

エンジンを始動する，電源モードを切り換えるときの作動範囲

J00407600223

作動範囲は車室内です。



アドバイス

- キーレスオペレーションキーが作動範囲内にあっても，グローブボックスなどの小物入れやインストルメントパネル周辺，ドアポケットまたはラゲッジルームなどにあるときは，エンジン始動ができないことがあります。

アドバイス

- キーレスオペレーションキーが車外にあっても，ドアやドアガラスに近づきすぎているときは，エンジン始動または電源モードの切り換えができることがあります。

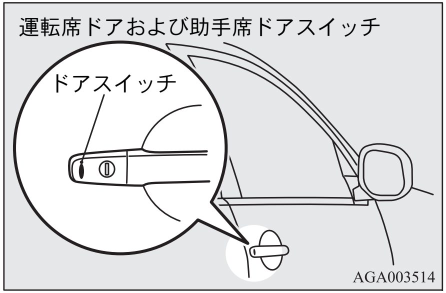
キーレスオペレーション機能を使って操作するときは

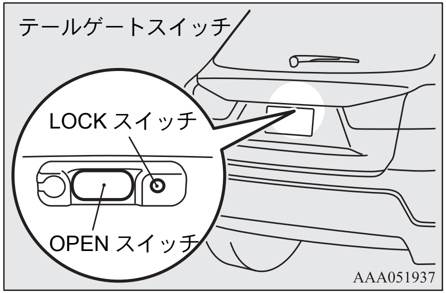
J00407700530

ドアおよびテールゲートの施錠

キーレスオペレーションキーを携帯しているとき，作動範囲内で運転席ドアおよび助手席ドアのドアスイッチを押す，またはテールゲートの LOCK スイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠します。つぎの項も合わせてお読みください。

→「ドア」P.3-23
→「センタードアロック」P.3-24
→「テールゲート」P.3-26





アドバイス

- ドアスイッチおよびテールゲートのLOCKスイッチで施錠すると，ドアミラーは自動格納します。
  詳しくは「ドアミラー」をお読みください。→P.6-4
- つぎのようなときは，キーレスオペレーション機能は作動しません。

アドバイス

- 車内にキーレスオペレーションキーがあるとき
- ドア，テールゲートが開いている，または半ドアのとき
- 電源モードが OFF 以外のとき

● セキュリティーアラームを「作動する」に設定しているときは，施錠と同時にシステム準備状態，続いてシステム作動可能状態になります。
詳しくは「セキュリティーアラーム」をお読みください。→P.3-28

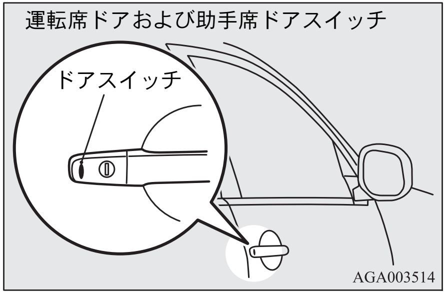
● 施錠の確認をテールゲートでしたいときは，施錠後約 3 秒以内にテールゲートの OPEN スイッチを押してください。施錠後約 3 秒以上過ぎて OPEN スイッチを押すと，ドアおよびテールゲートは解錠されます。

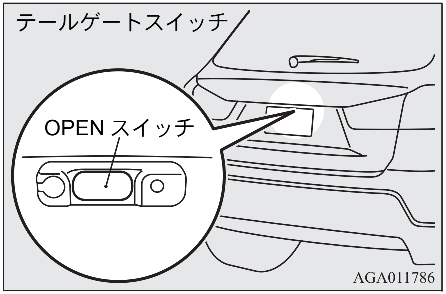
● 施錠の確認ができる時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

ドアおよびテールゲートの解錠

キーレスオペレーションキーを携帯しているとき，作動範囲内で運転席ドアおよび助手席ドアのドアスイッチを押す，またはテールゲートの OPEN スイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。

運転席または助手席のドアスイッチを押して解錠した後，約 30 秒以内にドアまたはテールゲートを開けなければ自動的に施錠されます。つぎの項も合わせてお読みください。
→「ドア」P.3-23
→「センタードアロック」P.3-24
→「テールゲート」P.3-26





アドバイス

● ドアスイッチおよびテールゲートの OPEN スイッチで解錠すると，ドアミラーは自動復帰します。
詳しくは「ドアミラー」をお読みください。→P.6-4

● テールゲートの OPEN スイッチを押すと，解錠と同時にテールゲートが少し開くため，約 30 秒間操作しなくても，自動的に施錠されることはありません。

● つぎのようなときは，キーレスオペレーション機能は作動しません。
- ドア，テールゲートが開いている，または半ドアのとき
- 電源モードが OFF 以外のとき

● 運転席ドア限定アンロック機能を使って，運転席ドアスイッチで解錠するドアを運転席のみに限定することができます。この機能を使いたいときは「運転席ドア限定アンロック機能の設定のしかた」をお読みください。→P.3-21

● 解錠した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

施錠・解錠時の作動確認

つぎの通り作動を確認することができます。ただし，ルームランプの点灯はフロントルームランプのスイッチが DOOR 位置，またはリヤルームランプ タイプ別装備 の

スイッチが中間（●）の位置にあるときに限られます。

施錠時：　非常点滅灯が 1 回点滅し，ブザーが 1 回鳴る
解錠時：　ルームランプが約15秒点灯し，非常点滅灯が 2 回点滅し，ブザーが 2 回鳴る

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を施錠時のみ，または解錠時のみにする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）およびブザーを働かなくする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）の点滅回数を変更する。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

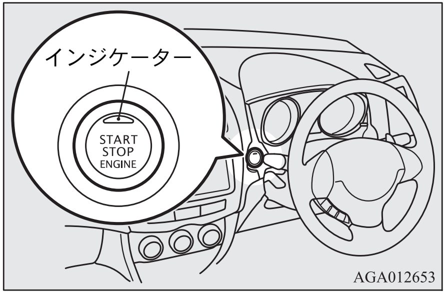
エンジンの始動／停止

J00433300029

車両盗難防止のため，あらかじめ登録されたキーレスオペレーションキー以外ではエンジンがかかりません。（エンジンイモビライザー機能）

キーレスオペレーションキーを携帯しているとき , エンジンの始動ができます。

「運転装置 : エンジンのかけ方」も合わせてお読みください。
→P.6-7



AGA012653

⚠警告

- エンジンスイッチ上のインジケーターが橙色に点滅したときは，絶対に走行しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
  ただちに三菱自動車販売会社へご連絡ください。

⚠注意

- エンジンスイッチに引っかかりがあるときは，エンジンスイッチの操作をせず，ただちに三菱自動車販売会社へご連絡ください。

アドバイス

- エンジンスイッチは奥まで確実に押してください。押し方が不十分な場合は，電源モードの切り換えやエンジンの始動ができない場合があります。確実に操作すれば，エンジンスイッチを押し続ける必要はありません。

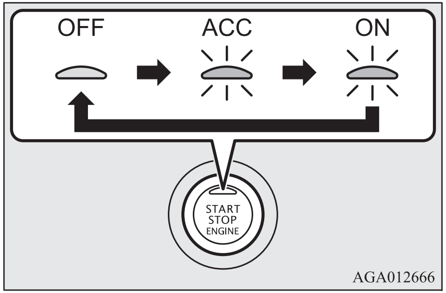
エンジンスイッチの電源モードと働き

OFF	スイッチ上のインジケーターは消灯します セレクターレバーがⓅ以外のときは OFF になりません
ACC	エンジンを止めたままでもオーディオ，アクセサリーソケットなどが使用できるモード スイッチ上のインジケーターが橙色に点灯します
ON	すべての電気系統が働くモード スイッチ上のインジケーターが緑色に点灯します エンジン回転中は消灯します

電源モードの切り換え方

ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチを押すと , 電源モードが「OFF」→

「ACC」→「ON」→「OFF」の順に切り換わります。



アドバイス

- エンジン停止時は電源モードをOFF にしてください。エンジンを止めたままオーディオなどの電気製品を使用したり，電源モードを長時間ACC またはON のままにしておくと，バッテリー上がりを起こし，エンジンの始動やハンドルロックの作動および解除ができなくなります。
- バッテリーを外しても電源モードの状態は記憶されます。バッテリーを再接続したときは，電源が絶たれる前の電源モードの状態に戻ります。修理などでバッテリーを外すときは，必ず電源モードをOFF にしてから行ってください。

  バッテリー上がりのときに，バッテリーが上がる前の電源モードの状態がわからない場合は十分注意をしてください。

アドバイス

- キーレスオペレーションキーが車室内にないと電源モードを OFF から ACC，またはONに切り換えることはできません。

  →「エンジンを始動する，電源モードを切り換えるときの作動範囲」P.3-11

ACC 電源オートカット機能

電源モードが ACC のままで約 30 分経過すると，オーディオなど ACC の状態で作動する装備の電源を自動的にカットする機能です。

ACC の状態でエンジンスイッチを操作すると，再び電源が入ります。

アドバイス

- つぎの通り機能を変更することができます。
  - 電源カットするまでの時間を約 60 分間に変更する。
  - 電源カットの機能を働かなくする。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

ハンドルロック

エンジンスイッチを押して電源モードをOFF にした後，ドアを開くとハンドルが固定されます。

解除するときはエンジンスイッチを押します。

⚠警告

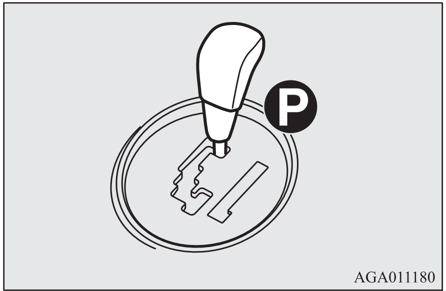
- 走行中にエンストしたときは，車が安全な場所に停車するまでドアを開いたりしないでください。ハンドルロックが作動する可能性があるため，重大な事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 電源モードがOFFのときにつぎの操作を行うとハンドルが固定されます。
  - いずれかのドアを開くまたは閉じる（除く，テールゲート）
  - キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能の操作でドアやテールゲートを施錠する
- ハンドルロックが解除されないときは，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示します。ハンドルを左右に動かしながら再度エンジンスイッチを押してください。

エンジンのかけ方

1. 正しい運転姿勢をとります。
   ブレーキペダルが確実に踏め，ハンドル操作が楽にできるように，シート位置を調整します。
   →「フロントシート」P.4-3
2. 駐車ブレーキがかかっていることを確認します。
3. セレクターレバーがⓅにあることを確認します。



AGA011180

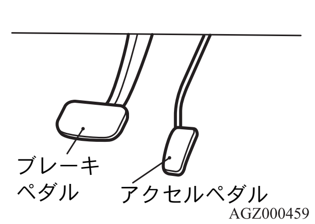
アドバイス

- セレクターレバーがⓅまたはⓃ以外ではエンジンがかかりません。
  安全のため車輪が固定できるⓅでエンジンをかけてください。

4. ブレーキペダルを右足で踏み，エンジンスイッチを押してエンジンをかけます。

⚠警告

- アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。
  アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。



AGZ000459

アドバイス

- どの電源モードのときでもエンジンが始動できます。
- エンジンの始動操作をしてすぐにエンジンスイッチから手を離すと，エンジン始動のために最大で約15秒間スターチングモーターが回り続けます。
  スターチングモーターが回転中に再度エンジンスイッチを押すと，スターチングモーターが止まります。

アドバイス

エンジンスイッチを押したままでも，最大で約30秒間スターチングモーターが回り続けます。
エンジンがかからないときは，しばらくしてから再度エンジンの始動操作を行ってください。エンジンやスターチングモーターが止まらないうちに始動の操作を繰り返すと関連部品の故障の原因となります。

- エンジンが冷えているときや，再始動直後はエンジン保護のため高回転させたり，高速運転は避けてください。
- エンジンルームから，エンジン始動直後に特有の音が聞こえることがあります。エンジンが暖まれば音は止まります。
- エンジンがかからないときはつぎの手順にしたがってください。
  - ブレーキペダルを踏んだままアクセルペダルを半分程度踏みながらエンジンをかけてください。
  - エンジンがかかったらアクセルペダルをすみやかに戻してください。

エンジンの止め方

1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけます。
3. セレクターレバーをⓅに入れてから，エンジンスイッチを押してエンジンを止めます。

3

⚠警告

- 緊急を要する場合以外は走行中にエンジンを止めないでください。ブレーキの効きが悪くなったり，ハンドルが非常に重くなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。

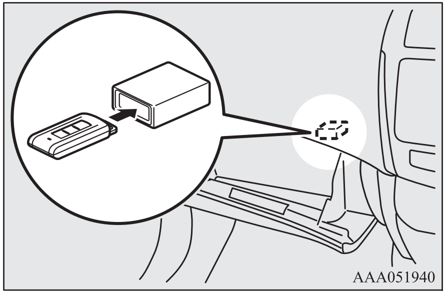
アドバイス

- 緊急時以外は走行中にエンジンスイッチを操作しないでください。万一，走行中にエンジンを緊急停止したい場合は，エンジンスイッチを3秒以上押し続けるか，素早く 3 回以上押してください。エンジンが止まり，電源モードが ACC になります。
- セレクターレバーがⓅ以外でエンジンを止めないでください。セレクターレバーがⓅ以外でエンジンを止めると，電源モードは ACC に切り換わり，OFF になりません。セレクターレバーをⓅに入れてから電源モードを OFF にしてください。

キーレスオペレーションキーが正常に作動しないときは（電池切れなど）

J00433600035

グローブボックス内のキーボックスにキーレスオペレーションキーを差し込みます。エンジンの始動，電源モードの切り換えが可能になります。
エンジンの始動後または電源モードの切り換え後は，キーボックスからキーレスオペレーションキーを抜いてください。



AAA051940

アドバイス

- キーに接している金属や他のキーを取り除いてからキーボックスにキーレスオペレーションキーを差し込んでください。車がキーからの信号を受信できずエンジンの始動や電源モードの切り換えができないことがあります。
- キーボックスにキーレスオペレーションキー以外のものを入れないでください。破損したり，正常に作動しなくなるおそれがあります。

キー抜き忘れ監視機構

電源モードが OFF のとき，キーボックスにキーレスオペレーションキーを差したまま運転席ドアを開くと，警告表示と約 3 秒間のブザーで警告し，キーの抜き忘れを知らせます。
また，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示します。

警告作動について

J00407800443

キーレスオペレーションシステムでは誤操作や車両盗難防止のため，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面の表示およびブザーで注意を促します。
警告作動をしたときは，必ず車両およびキーレスオペレーションキーの確認を行ってください。また，キーレスオペレーションシステムに異常がある場合も表示します。

つぎのような警告作動の場合は，三菱自動車販売会社にご連絡ください。

	●キーレスオペレーションシステムに異常があるとき
	●キーレスオペレーションキーの電池が消耗しているとき

つぎのような警告作動の場合は，一旦電源モードを OFF に戻し，再度エンジンをかけてください。
警告表示が消えないときは三菱自動車販売会社にご連絡ください。

	●エンジンイモビライザー（盗難防止装置）に何らかの異常が発生しています。

つぎのようなときにも警告作動しますが，正しい使い方をすれば表示は消えます。

● キーレスオペレーションキーと車両の ID コードの照合ができなかったとき

	ID コードの異なるキーレスオペレーションキーを携帯している，またはキーレスオペレーションキーが作動範囲内にないことが考えられます。
	→「キーレスオペレーションキー持ち出し監視機構」P.3-17

● ドアスイッチまたはテールゲートの LOCKスイッチを押しても施錠できないとき

	→「キー閉じ込め防止機構」P.3-18
	→「半ドア防止機構」P.3-18
	→「電源モード OFF 切り換え忘れ防止機構」P.3-18

キーレスオペレーションキー持ち出し監視機構

J00410600298

駐車中，かつ電源モードが OFF 以外のとき，いずれかのドアを開けてキーレスオペレーションキーを車内から持ち出した後ドアを閉めると，警告表示と 4 回鳴るブザーで警告します。

アドバイス

- ドアを開けずに窓からキーレスオペレーションキーを持ち出すと，キーレスオペレーションキー持ち出し監視機構は働きません。
- ドアを開けずに窓からキーレスオペレーションキーを持ち出したとき，キーレスオペレーションキー持ち出し監視機構を働かせることができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- エンジン始動の作動範囲内でキーレスオペレーションキーを携帯していても，周囲の環境または電波状態などにより，キーレスオペレーションキーと車両の ID コードの照合ができなかったときは，警告が作動することがあります。

キー閉じ込め防止機構

J00410700273

電源モードが OFF のとき，車内にキーレスオペレーションキーを置いたままますべてのドアおよびテールゲートを閉め，ドアスイッチおよびテールゲートの LOCK スイッチを押して施錠しようとすると，警告表示と約 3 秒間のブザーで警告し，ドアおよびテールゲートの施錠ができません。

アドバイス

- 必ずキーレスオペレーションキーを携帯していることを確認してから施錠するようにしてください。
  車内にキーレスオペレーションキーを置いたままでも，周囲の環境または電波状態などにより，施錠されることがあります。

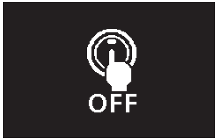
半ドア防止機構

J00410800216

電源モードが OFF のとき，いずれかのドアまたはテールゲートを完全に閉めずにドアスイッチおよびテールゲートの LOCK スイッチを押して施錠しようとすると，警告表示と約 3 秒間のブザーで警告し，ドアおよびテールゲートの施錠ができません。

電源モード OFF 切り換え忘れ防止機構

J00410900190



電源モードが OFF 以外のとき，すべてのドアおよびテールゲートを閉め，ドアスイッチおよびテールゲートの LOCK スイッチを押して施錠しようとすると，警告表示と約 3 秒間のブザーで警告し，ドアおよびテールゲートの施錠ができません。

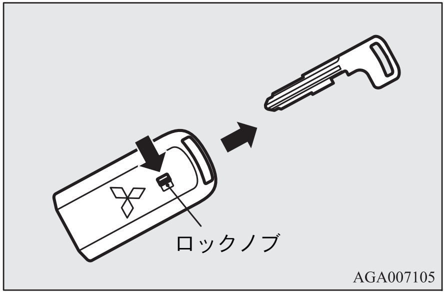
キーレスオペレーション機能を使わずに操作するときは

J00407900444

エマージェンシーキー

エマージェンシーキーはキーレスオペレーションキーに内蔵されています。
キーレスオペレーションキーの電池切れやバッテリー上がりなどによりキーレスオペレーション機能が使用できないとき，ドアの施錠・解錠操作をすることができます。

ロックノブを矢印の方向に押しながら，キーレスオペレーションキーからエマージェンシーキーを取り外します。



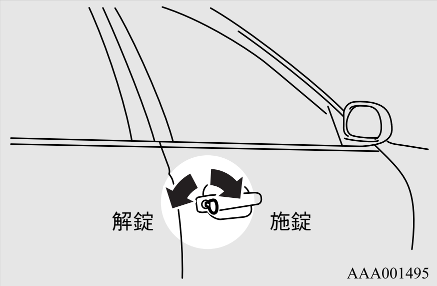
アドバイス

- エマージェンシーキーは緊急を要する場合のみご使用ください。
キーレスオペレーションキーの電池が切れたときなどはできるだけ早く電池交換をして，キーレスオペレーションキーとして使用するようにしてください。
→「電池交換のしかた」P.3-22
- エマージェンシーキーを使用した後は，必ずキーレスオペレーションキーに戻しておいてください。

ドアの施錠・解錠

エマージェンシーキーを車両前方に回すと施錠，車両後方に回すと解錠されます。

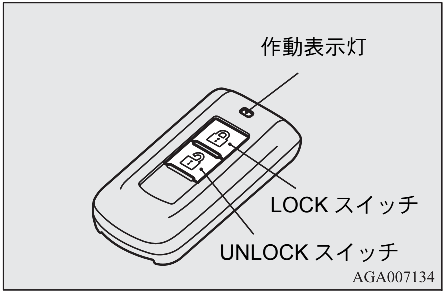
「ドア」も合わせてお読みください。→P.3-23



キーレスエントリー

J00408900500

キーレスオペレーションキーのスイッチですべてのドアおよびテールゲートの施錠・解錠，およびドアミラーを操作することができます。



ドアおよびテールゲートの施錠・解錠

LOCK スイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠し，UNLOCK スイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。
UNLOCKスイッチを押して解錠しても約30 秒以内にドアおよびテールゲートを開けなければ自動的に施錠されます。

アドバイス

- ドア，テーブルゲートが開いている，または半ドアのときは，キーレスオペレーションキーは作動しません。（解錠操作のみ可能）
- キーレスオペレーションキーのスイッチを押すと作動表示灯が点灯します。
- UNLOCK　スイッチを押すと車幅灯が約30 秒点灯します。
詳しくは「ウェルカムライト」をお読みください。→P.5-36
- キーレスオペレーションキーのスイッチですべてのドアおよびテールゲートを施錠・解錠すると，ドアミラーは自動格納・自動復帰します。
詳しくは「ドアミラー」をお読みください。→P.6-4
- セキュリティーアラームを「作動する」に設定しているときは，施錠と同時にシステム準備状態，続いてシステム作動可能状態になります。
詳しくは「セキュリティーアラーム」をお読みください。→P.3-28
- 運転席ドア限定アンロック機能を使って，UNLOCK スイッチで解錠するドアを運転席のみに限定することができます。この機能を使いたいときは「運転席ドア限定アンロック機能の設定のしかた」をお読みください。→P.3-21
- UNLOCK スイッチを押した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

3

施錠・解錠時の作動確認

つぎの通り作動を確認することができます。ただし，ルームランプの点灯はフロントルームランプのスイッチがDOOR位置，またはリヤルームランプ タイプ別装備 のスイッチが中間（●）の位置にあるときに限られます。

施錠時：非常点滅灯が1回点滅
解錠時：ルームランプが約15秒点灯し，非常点滅灯が2回点滅

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を施錠時のみ，または解錠時のみにする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を働かなくする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）の点滅回数を変更する。
  - キーレスエントリー操作時にブザーを鳴らす。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

ドアミラーの格納・復帰

LOCKスイッチを押して施錠した後，約30秒以内にLOCKスイッチをさらに続けて2回押すとドアミラーが格納されます。
UNLOCKスイッチを押して解錠した後，約30秒以内にUNLOCKスイッチをさらに続けて2回押すとドアミラーは元の位置に戻ります。

工場出荷時は上記の操作をしても作動しません。
作動させたいときは，ドアミラーの設定を「キーレスエントリーまたはキーレスオペレーションシステムに連動（LOCKで格納，UNLOCKで復帰）」以外に変更する必要があります。
→「ドアミラー」P.6-4
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

アドバイス

- ドア，テールゲートが開いている，または半ドアのときは，キーレスオペレーションキーによるドアミラーの格納・復帰はできません。
- キーレスオペレーションキーのスイッチによるドアミラーの操作をできなくすることができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

アドバイス

- キーレスオペレーションキーのスイッチによる操作は車から約1m以内で作動します。
  近くにTV塔や変電所，放送局があるなど周囲の状況により作動距離が変わることがあります。
- キーレスオペレーションキーを紛失したときや，新しいキーレスオペレーションキーを作りたいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。最大4個まで作ることができます。
- つぎのときは電池の消耗が考えられます。
  - 正しい距離でリモコンスイッチを押しても施錠・解錠しないとき
  - 作動表示灯が暗い，または点灯しないとき

  電池が消耗した場合は，新しい電池に交換してください。
  →「電池交換のしかた」P.3-22

運転席ドア限定アンロック機能

J00433000042

運転席以外のドアからの不正侵入を防止するため，キーレスオペレーションキーのスイッチまたはキーレスオペレーション機能で解錠されるドアを運転席のみに限定することができます。

この機能をありにした場合，キーレスオペレーションキーの UNLOCK スイッチ，または運転席ドアのスイッチを続けて 2 回押すことにより，すべてのドアおよびテールゲートを解錠することが可能です。

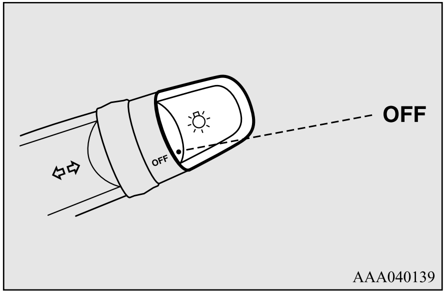
> 工場出荷時は, すべてのドアおよびテールゲートが解錠する設定になっています。
> 設定を変更するときは「運転席ドア限定アンロック機能の設定のしかた」の手順にしたがって操作してください。
> →P.3-21

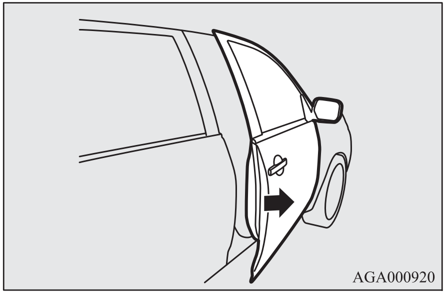
運転席ドア限定アンロック機能の設定のしかた

J00433100043

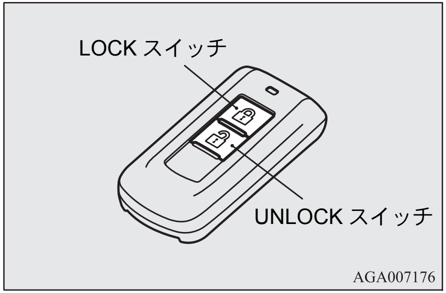
キーレスオペレーションキーのUNLOCK スイッチ，または運転席ドアのスイッチを押す回数により解錠するドアの設定を変更することができます。つぎの手順にしたがって操作してください。

1. 電源モードを OFF にします。
2. ライトスイッチを OFF 位置にして, 運転席ドアを開いたままにします。





3. LOCK スイッチを押し続けます。
4. 約 4 秒経過後に，UNLOCK スイッチを押し続けます。
5. LOCK スイッチを離したあとに UNLOCK スイッチを離します。
   (3. ～ 5. の操作は 10 秒以内に行ってください。)



6. 設定状態をブザーの回数によって確認します。

ブザーの回数	運転席ドア限定アンロック機能の設定状態
1 回（機能なし）	● UNLOCK スイッチを 1 回押すとすべてのドアおよびテールゲートを解錠する ● 運転席ドア，助手席ドアのスイッチを押す，またはテールゲートの OPEN スイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠する （工場出荷状態）
2 回（機能あり）	● UNLOCK スイッチまたは運転席ドアのスイッチを 1 回押すと運転席ドアのみ解錠し，続けて 2 回押すとすべてのドアおよびテールゲートを解錠する

やり直すときは手順3.からもう一度操作してください。

アドバイス

● 運転席ドア限定アンロック機能の設定のしかたがわかりにくいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。

電池交換のしかた

J00408000152

⚠警告

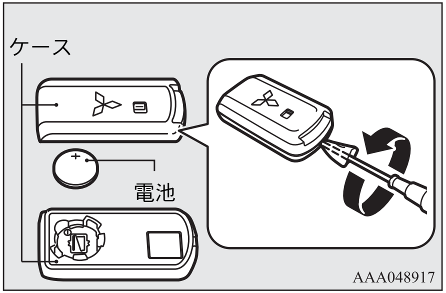
● 電池および取り外した部品は，誤って子さまが飲み込まないように注意し てください。

アドバイス

● 電池交換をする際は，キーを破損するおそれがあるため，三菱自動車販売会社での交換をおすすめします。
● キーは信号発信機が内蔵された精密な電子機器部品です。故障を防ぐため，内部の金属部分や回路に触れないでください。また水やゴミを付着させないでください。
● 電池は三菱自動車販売会社，時計店またはカメラ店などでお買い求めください。

使用電池：CR2032

1. 電池交換をする前に部屋のドアノブ等の金属部分に触れて，身体の静電気を除去してください。
2. エマージェンシーキーを取り外します。
   →「エマージェンシーキー」P.3-18
3. 三菱マークを上にして，先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んでケースを開きます。



4. 新しい電池は＋極を上にして取り付けます。
5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

ドア

J00400400541

⚠警告

- 車から離れるときは，火災や盗難などを未然に防ぐため，必ずエンジンを止めドアを施錠してください。
  法的にも義務付けられています。
  お子さま連れのときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
  また車内に貴重品を置いたままにしないでください。
- 走行する前にすべてのドアが確実に閉まっていることを確認してください。半ドアのときは，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に半ドア警告が表示されます。
  確実に閉まっていないと，走行中にドアが開いて乗員が車外に放り出されるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

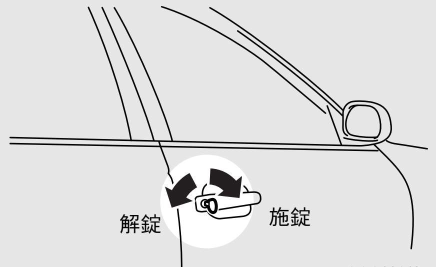
- 運転席のドアが開いているときは，キー閉じ込め防止のため運転席ドアのキーまたはロックノブを使って施錠しようとしても運転席のドアは施錠できません。

車外から施錠･解錠するときは

J00404400783

キーを使って施錠･解錠するときは（運転席ドア）

キーを車両前方に回すと施錠，車両後方に回すと解錠されます。



AAA001495

アドバイス

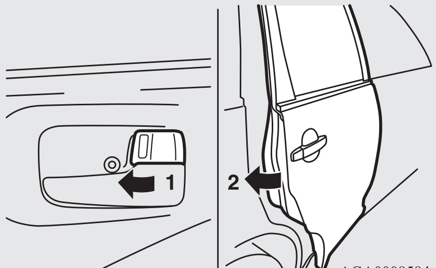
- キーレスオペレーションシステム付き車は，エマージェンシーキーを使って施錠･解錠をすることができます。
  →「エマージェンシーキー」P.3-18

アドバイス

- キーを使って施錠・解錠したときは，運転席ドアのみ施錠・解錠します。
  すべてのドアおよびテールゲートを施錠・解錠するときは，センタードアロック，キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能の操作で施錠・解錠してください。
  →「センタードアロック」P.3-24
  →「キーレスエントリー」P.3-4，P.3-19
  →「キーレスオペレーション機能を使って操作するときは」P.3-11

キーを使わずに施錠するときは（助手席，後席ドア）

1. ドア内側のロックノブを車両前方に倒し，
2. ドアを閉じます。



AGA0008584

3

キー抜き忘れ防止機構

J00404500553

除く，キーレスオペレーションシステム付き車

A タイプ

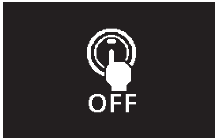
B タイプ

エンジンスイッチを切り，キーを差したまま運転席ドアを開くとキー抜き忘れ警告ブザーが断続的に鳴り，キーの抜き忘れを知らせます。
また，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示します。

電源モード OFF 戻し忘れ防止機構

J00408700263

キーレスオペレーションシステム付き車

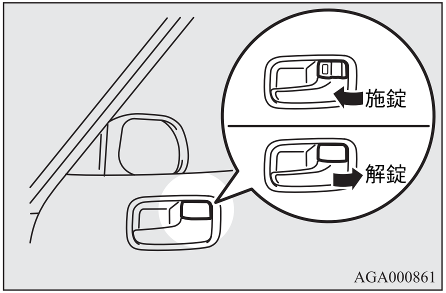


エンジンが止まっている，かつ電源モードが OFF 以外のとき，運転席ドアを開くと警告ブザーが断続的に鳴り，電源モードが OFF に切り換えられていないことを知らせます。
また，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示します。

車内から施錠･解錠するときは

J00404600785

ロックノブを車両前方へ倒すと施錠し，車両後方へ戻すと解錠します。



オーバーライド機構

運転席ドアはロックノブを車両前方に倒したままでも，室内側のドアハンドルを引くとドアを開けることができます。

センタードアロック

J00400500991

つぎの操作ですべてのドアおよびテールゲートの施錠・解錠ができます。

アドバイス

- 運転席のドアが開いているときは，キー閉じ込め防止のためセンタードアロックスイッチを使って施錠しようとしても運転席のドアは施錠できません。

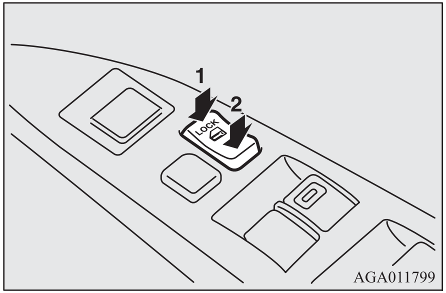
アドバイス

- 運転席ドアのキーを使って施錠・解錠したときは，運転席ドアのみ施錠・解錠します。
- 施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いてセンタードアロックが一時的に作動しなくなることがあります。
このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

センタードアロックスイッチを使って施錠・解錠するときは

J00412200025

センタードアロックスイッチ（1）側を押すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠し，（2）側を押すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。



AGA011799

解錠するときは

J00415300144

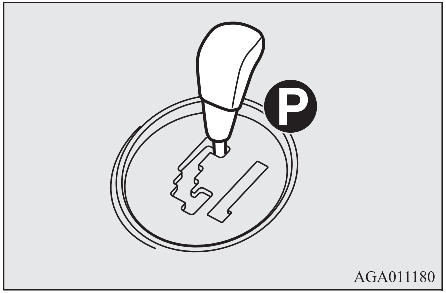
> エンジンスイッチを使って解錠する機能と，セレクターレバーを使って解錠する機能のいずれかを設定することができます。これらの機能は工場出荷時は「解錠しない」に設定されています。「解錠する」に変更したいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。

エンジンスイッチを使って解錠するときは

エンジンスイッチを LOCK または電源モードをOFFにするとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。

セレクターレバーを使って解錠するときは

エンジンスイッチまたは電源モードが ON のときにセレクターレバーをⓅに入れるとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。

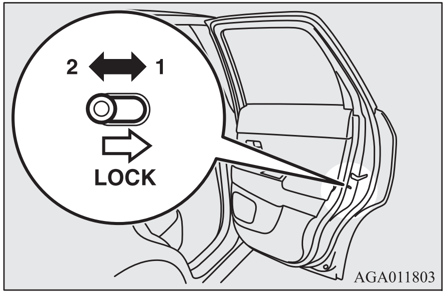


AGA011180

チャイルドプロテクション（後席ドア安全施錠装置）

J00400600673

レバーを施錠側（1）にしてドアを閉めると，ドアのロックノブの位置に関係なく，車内からはドアが開けられなくなります。
安全上，お子さまを乗せるときにご使用ください。



1- 施錠
2- 解錠

ドアを開けるときは車外のドアハンドルで開けます。

アドバイス

- 万一の場合など車内からドアを開けたいときは，ドアのロックノブを解錠状態にしてドアガラスを下げ，窓から手を出して車外のドアハンドルを引いてください。

テールゲート

J00401100893

警告

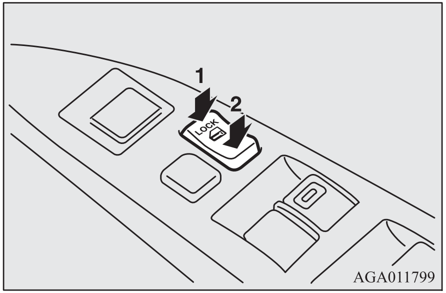
- ラゲッジコンパートメントは人が乗る構造になっておりません。お子さまを乗せたり，遊ばせたりしないでください。万一の場合，重大な事故につながるおそれがあります。
- 走行前に必ずテールゲートが確実に閉じていることを確認してください。
  開けたまま走行すると，車内に排気ガスが侵入し，一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
- テールゲートを開閉するときは，まわりに人がいないことを確認し，頭をぶつけたり，手や首などをはさまないように注意してください。

注意

- ラゲッジルームの荷物を出し入れするときは，排気管の後方に立たないでください。排気熱によりやけどをするおそれがあります。

施錠・解錠するときは

センタードアロックスイッチ（1）側を押すとテールゲートおよびすべてのドアが施錠し，（2）側を押すとテールゲートおよびすべてのドアが解錠します。

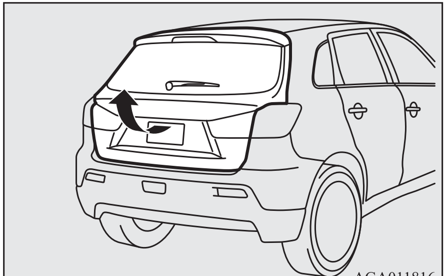


アドバイス

- 施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いてセンタードアロックが一時的に作動しなくなることがあります。
  このようなときはしばらくしてから（約 1 分後）操作してください。

車外から開けるときは

解錠後，テールゲートを持ち上げます。


AGA011816

⚠注意

● テールゲートを開けるときはまわりに人がいないことを確認してください。

アドバイス

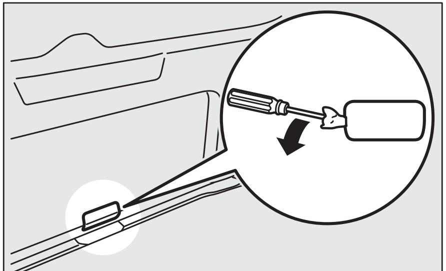
● OPEN スイッチを押した後すぐに開けないと，テールゲートは持ち上がりません。その場合はもう一度 OPEN スイッチを押してテールゲートを持ち上げます。
● バッテリーが上がったり，または外しているときは，テールゲートを開けることはできません。

車内から開けるときは

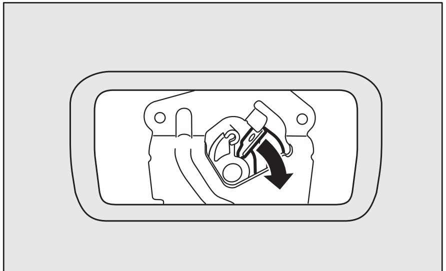
車内からもテールゲートを開けることができます。

バッテリー上がりなどで車外から開けられなくなったときにご使用ください。

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどをインサイドリリースレバーのカバーの切り欠き部に差し込んでカバーを外します。


AGA011829

2. インサイドリリースレバーを矢印の方向に下げます。


AGA011832

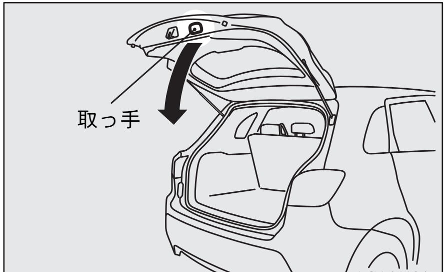
3. テールゲートを押しながら開けます。

⚠注意

● 通常はインサイドリリースレバーのカバーは閉じておいてください。カバーが開いたままだと荷物などがレバーに当たり，テールゲートが開いて思わぬ事故につながるおそれがあります。

閉めるときは

テールゲートの取っ手に手をかけてテールゲートを途中まで引き下げた後，取っ手から手を離してテールゲートを軽く押しつけます。



AGA011845

⚠注意

● テールゲートの取っ手に手をかけたまま直接テールゲートを閉じないでください。手や腕をはさみ，けがをするおそれがあります。

3

⚠注意

- テールゲートを閉じた後は，必ずテールゲートが確実に閉じていることを確認してください。走行中に開くと，荷物が落ちて思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- テールゲートを支えるためのガススプリングがつぎの位置についています。

AGZ001557

損傷や作動不良を防止するため，つぎのことをお守りください。
- ガススプリングに手をかけてテールゲートを閉めたり，押したり引いたりしないでください。
- ビニール片，テープなどがガススプリングに付着しないようにしてください。
- ひもなどをガススプリングに巻き付けないでください。
- ガススプリングに物をかけないでください。

セキュリティーアラーム

J00401201093

セキュリティーアラームは，車両内への不正侵入防止のため，キーレスエントリーまたは，キーレスオペレーション機能で解錠せずにドアやテールゲートを開けたとき，またはエンジンフードを開けたときに警報を作動させ，周囲に異常を知らせるシステムです。

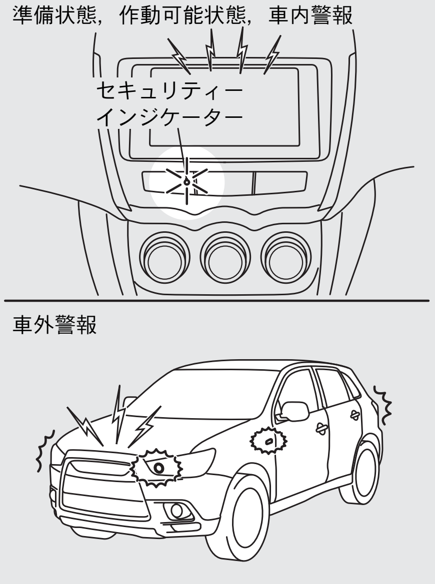
工場出荷時は，セキュリティーアラームが「作動しない」に設定されています。
設定を変更するときは「セキュリティーアラームの設定変更のしかた」の手順にしたがって操作してください。→P.3-29

アドバイス

- キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能以外の操作で（キーやセンタードアロックスイッチを使って）すべてのドアおよびテールゲートを施錠したときは，このシステムは働きません。
- 三菱自動車純正部品以外の部品を装着すると，セキュリティーアラームに影響をおよぼすおそれがあります。

システムの基本状態

セキュリティーアラームにはシステム準備状態，システム作動可能状態，警報作動，システム作動解除の 4 つの状態があります。
それぞれの状態に応じて，ブザー，セキュリティーインジケーター，非常点滅灯またはホーンがつぎの通り作動します。



AGE000957

システム準備状態：約 20 秒間

（ブザーが断続的に鳴り，セキュリティーアラームインジケーターが点滅する）

キーレスエントリーの LOCK スイッチを押す，またはキーレスオペレーション機能ですべてのドアおよびテールゲートを施錠した後，システム作動可能状態になるまでの準備時間です。
車内に荷物を忘れたり，ドアガラスを閉め忘れたのに気がついて，一時的にキーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能を使わずにドアを開けたときに警報しないよう，この状態を設定しています。

システム作動可能状態

（ブザーは停止し，セキュリティーインジケーターの点灯時間が短くなり，点滅し続ける）

システム準備状態が過ぎると，システム作動可能状態になります。
作動可能状態のとき，不正にドアなどが開けられると警報が作動し，周囲に異常を知らせます。

警報作動

車内警報（約 10 秒間）：

ブザーが鳴り，車内に異常を知らせます。

車外警報（約 30 秒間）：

非常点滅灯が点滅し，ホーンが鳴り，周囲に異常を知らせます。

→「警報作動」P.3-33

アドバイス

- 警報が停止した後も警報作動する状況が繰り返されると，車外警報が再び作動します。

システム作動解除

システム準備状態，システム作動可能状態のときにシステムの作動を解除することができます。
また，警報が作動しているときも警報作動を解除することができます。
→「システム作動の解除のしかた」P.3-32
→「警報作動の解除のしかた」P.3-34

アドバイス

- 他の人にお車を貸されるときや，セキュリティーアラームの作動について知らない人が運転されるときは，セキュリティーアラームについて十分ご説明いただくか，セキュリティーアラームを「作動しない」に設定してください。セキュリティーアラームについて知らない人が誤って解錠すると，警報が作動し，周囲への迷惑となります。

セキュリティーアラームの設定変更のしかた

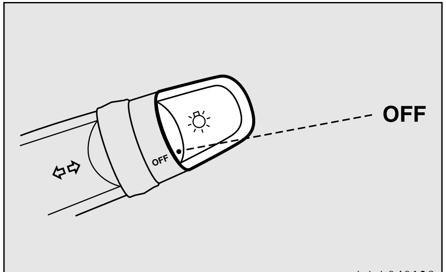
J00402700926

セキュリティーアラームの設定を「作動する」または「作動しない」のいずれかに変更することができます。つぎの手順にしたがって設定を変更してください。

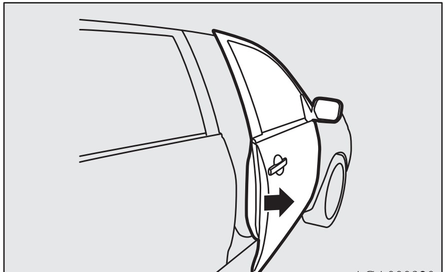
1. 除く，キーレスオペレーションシステム付き車は，エンジンスイッチからキーを抜きます。
   キーレスオペレーションシステム付き車は，電源モードを OFF にします。

3

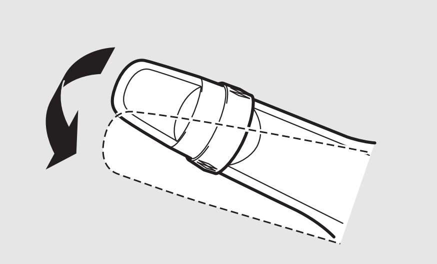
2. ライトスイッチをOFF位置にして，運転席ドアを開いたままにします。



AAA040139


AGA000920

3. フロントワイパー・ウォッシャースイッチを手前に引いたまま保持します。
（エンジンスイッチがLOCK，　または電源モードが OFF のため，ウォッシャー液は出ません。）


AAA023176

4. 約 10 秒経過するとブザーが鳴りますが，フロントワイパー・ウォッシャースイッチは手前に引いたまま保持してください。
（フロントワイパー・ウォッシャースイッチを離すと，設定変更モードが無効になります。
やり直すときは手順3.からもう一度操作してください。）

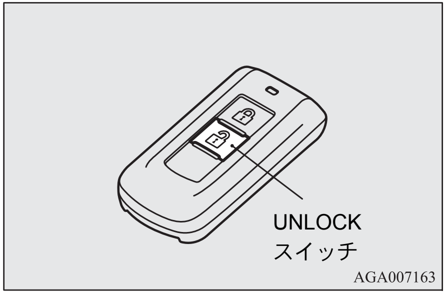
5. ブザーが鳴り止んだら，フロントワイパー・ウォッシャースイッチを手前に引いたままキーレスエントリーの UNLOCK スイッチを押してセキュリティーアラームの設定状態を選択します。
設定状態は UNLOCK スイッチを押すごとに切り換わり，ブザーの回数によって確認できます。

除く，キーレスオペレーションシステム付き車

AAA036330

3

キーレスオペレーションシステム付き車



AGA007163

ブザーの回数	セキュリティーアラームの設定状態
1 回	警報作動しない
2 回	警報作動する

6. つぎのいずれかの操作でシステム設定変更モードが終了します。
   - フロントワイパー・ウォッシャースイッチを離す
   - 運転席ドアを閉じる
   - ライトスイッチを OFF 位置以外にする
   - 設定を変更しないまま約 30 秒経過する
   - エンジンスイッチにキーを差す
     (除く，キーレスオペレーションシステム付き車)
   - 電源モードを ON にする
     (キーレスオペレーションシステム付き車)

アドバイス

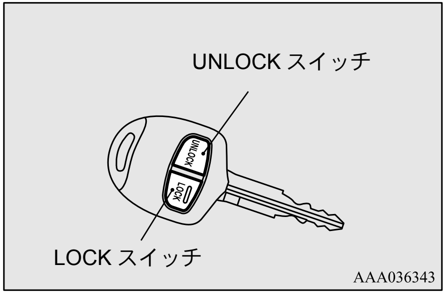
- セキュリティーアラームの設定変更がわかりにくいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- セキュリティーアラームを「作動する」に設定した場合も，万一のため，車を離れるときは車内に貴重品を置いたままにしないでください。

セキュリティーアラームのセットのしかた

J00402800842

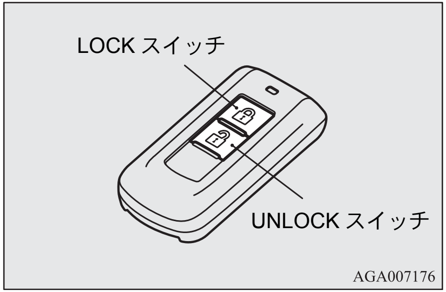
あらかじめセキュリティーアラームを「作動する」に設定した後，つぎの手順でシステム作動可能状態にセットします。

除く，キーレスオペレーションシステム付き車



AAA036343

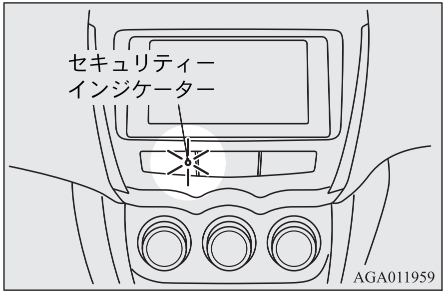
キーレスオペレーションシステム付き車



AGA007176

除く，キーレスオペレーションシステム付き車は，エンジンスイッチからキーを抜きます。
キーレスオペレーションシステム付き車は，電源モードを OFF にします。

2. 車両から出てすべてのドア，テールゲートおよびエンジンフードを閉じます。
3. キーレスエントリーのLOCKスイッチを押す，またはキーレスオペレーション機能ですべてのドアおよびテールゲートを施錠します。
キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能による施錠操作で，システム準備状態になります。このとき確認のためのブザーが断続的に鳴り，オーディオパネル内のセキュリティーインジケーターが点滅します。



アドバイス

- キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能以外の操作で（キーやセンタードアロックスイッチを使って）すべてのドアおよびテールゲートを施錠したときは，システム準備状態になりません。
- エンジンフードが開いているときは，セキュリティーインジケーターが点灯し，システム作動可能状態になりません。
エンジンフードを閉めるとシステム準備状態になり，約 20 秒後にシステム作動可能状態になります。

4. 約 20 秒後，ブザーが止まり，セキュリティーインジケーターの点滅速度が遅くなり始めたらシステム作動可能状態です。システム作動可能状態中は，セキュリティーインジケーターは点滅し続けます。

アドバイス

- 車内に人が乗っている状態，またはドアガラスが開いた状態でもセキュリティーアラームは作動します。警報の思わぬ作動を防ぐため，車内に人が乗っている状態ではシステム作動可能状態にしないでください。

システム作動の解除のしかた

J00402900797

システム準備状態またはシステム作動可能状態のときに，つぎの方法でシステム作動を解除することができます。

- キーレスエントリーの UNLOCK スイッチを押す
- エンジンスイッチまたは電源モードを ON または ACC にする
- システム準備状態のとき，いずれかのドア，テールゲートを開けるか，除く，キーレスオペレーションシステム付き車は，エンジンスイッチにキーを差し込む
- キーレスオペレーションキーを携帯し，ドアスイッチまたはテールゲートの OPEN スイッチで解錠する (キーレスオペレーションシステム付き車)

アドバイス

- システム準備状態のときにエンジンフードを開けるとシステム準備状態が中断し，エンジンフードを閉めるとシステム準備状態に戻ります。
- システム準備状態のときにバッテリー端子を外すと記憶は消去されます。

> **アドバイス**
> - キーレスエントリーのリモコンスイッチは 8 個まで，キーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチは 4 個まで登録できます。
>   登録済みのリモコンスイッチであれば，セットしたリモコンスイッチと別のリモコンスイッチを使ってもシステムを解除することができます。
>   リモコンスイッチの追加登録については三菱自動車販売会社にお問い合わせください。
> - キーレスエントリーの作動距離は約 1 m です。正しい距離でスイッチを押しても施錠，解錠およびセキュリティーアラームのセット，解除ができないときには電池の消耗が考えられます。新しい電池に交換してください。
>   →「電池交換のしかた」P.3-7，3-22
> - UNLOCKスイッチまたはドアスイッチを押して解錠しても約30秒以内にドアおよびテールゲートを開けなければ自動的に施錠されます。このときもシステム準備状態になります。
>   UNLOCKスイッチまたはドアスイッチを押した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

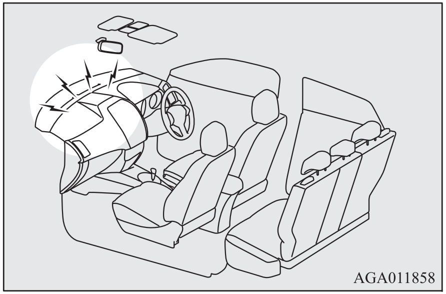
警報作動

J00403001053

システム作動可能状態のときに，キーレスエントリーの操作またはキーレスオペレーション機能で解錠せずに，いずれかのドア，テールゲートまたはエンジンフードを開けると警報作動します。

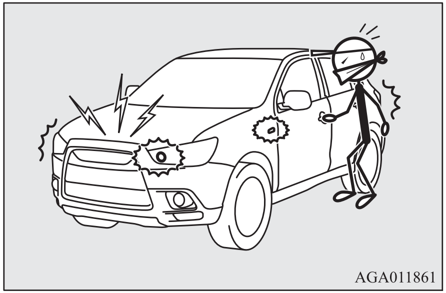
1. 車内警報が約 10 秒間作動します。

> **アドバイス**
> - システム作動可能状態のときにエンジンフードを開けると車内警報は作動せず，すぐに車外警報が作動します。
> - 車内警報の時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。



AGA011858

2. 車外警報が約 30 秒間作動します。
   非常点滅灯が点滅し，ホーンが断続的に鳴ります。



AGA011861

3. 警報が停止した後も警報作動する状況が繰り返されると，車外警報が再び作動します。

アドバイス

- 警報作動中はマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に表示されます。
  Aタイプ

  Bタイプ

警報作動の解除のしかた

J00403100536

つぎの方法で警報作動を止めることができます。

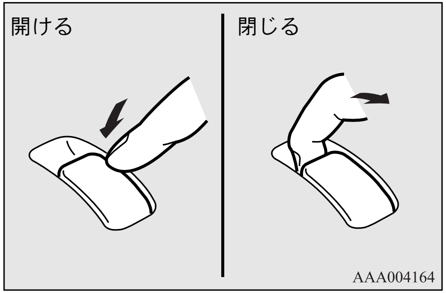
- キーレスエントリーの LOCK または UNLOCK スイッチを押す
  〔LOCK スイッチを押したとき，すべてのドアおよびテールゲートが閉じていれば施錠し，再びシステム準備状態になります〕
- エンジンスイッチまたは電源モードを ON または ACC にする
- キーレスオペレーションキーを携帯し，キーレスオペレーション機能でドアおよびテールゲートを施錠または解錠する（キーレスオペレーションシステム付き車）

アドバイス

- 車内警報中にドアまたはテールゲートを閉じても警報作動は解除されません。
- エンジンスイッチまたは電源モードを ON にしたときブザーが 4 回鳴り，セキュリティーインジケーターが 4 回点滅したときは，駐車中に警報が作動したことを示しています。
  盗難にあっていないかお車の中を確認してください。
- バッテリーを外しても警報作動の記憶は消去されません。
  一時的にバッテリーを外して警報作動しないようにしても，バッテリーを再び接続するとすぐに警報し，周囲に異常を知らせます。

パワーウインドウ

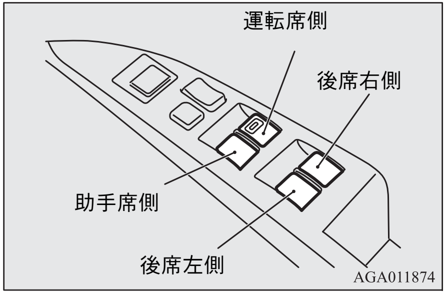
J00401500741



⚠警告

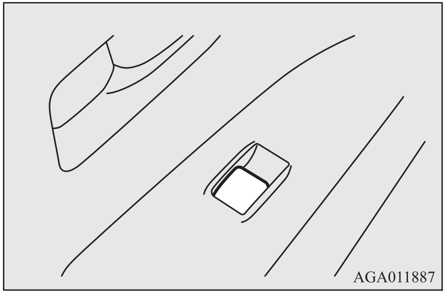
- パワーウインドウを閉じるときは，安全のため同乗者が窓から顔や手を出していないことを確認してください。
- 安全のためパワーウインドウの操作はお子さまではなく大人が行ってください。
  車を離れるときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
  車内にキーを残したままにしておくと，お子さまがいたずらをして手や首をはさむおそれがあります。

運転席スイッチ



運転席スイッチで全席のドアガラスの開閉をすることができます。
エンジンスイッチまたは電源モードがONのときにスイッチを押すと開き, 引き上げると閉まります。
運転席ドアガラスは，運転席側のスイッチを強く押したり，強く引き上げると自動的に全開，全閉します。
途中で止めたいときはスイッチを反対方向に操作します。

助手席 , 後席スイッチ



エンジンスイッチまたは電源モードがONのときにスイッチを押すと開き, 引き上げると閉まります。
後席ドアガラスは全開しません。

タイマー機構

J00405200616

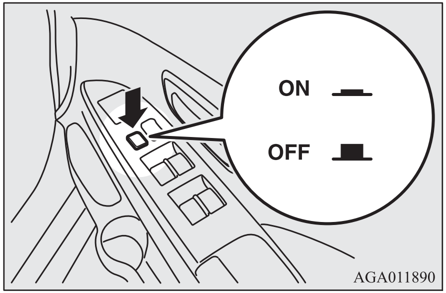
エンジンを止めた後でも約30秒間はドアガラスを開閉することができます。ただし，この時間内に運転席ドアまたは助手席ドアを開けるとドアガラスの開閉はできなくなります。

ロックスイッチ

J00404300623

お子さまを乗せるときはロックスイッチをONにしてください。
助手席，後席スイッチを操作してもドアガラスは開閉できなくなります。
解除するときはもう一度押します。

3



アドバイス

- ロックスイッチがONのときは, 運転席スイッチでは運転席ドアガラスのみ開閉することができます。

セーフティー機構

J00403201693

運転席ドアガラス

万一，手や首などをはさんだ場合は安全のため自動的にドアガラスが少し下がります。
ドアガラスが下がった後，再度スイッチを引き上げるとドアガラスを閉めることができます。

⚠注意

- ドアガラスを確実に閉めるため，閉め切り直前ではセーフティー機構が働かないようになっています。指などをはさまないように注意してください。
- パワーウインドウスイッチを引き上げている間は，セーフティー機構は働きません。
  手や首をはさまないように注意してください。
- 手や首などをはさんで故意にセーフティー機構を働かせないでください。
  万一，手や首をはさんだ場合，重大な事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 環境や走行条件により，手や首などをはさんだときと同じ衝撃が加わると，セーフティー機構が働くことがあります。
- バッテリーを外したとき，またはパワーウインドウのヒューズを外したときは，セーフティー機構が働かなくなります。
  また，運転席ドアガラスが自動的に完全に開かなくなったり，閉じなくなったりします。
  この場合は，つぎの操作をすれば正常に戻ります。
  運転席ドアガラスが完全に閉じるまで，繰り返し運転席スイッチを引き上げてください。つぎに，いったんスイッチから手を離し，再度約 1 秒間スイッチを引き上げて保持してください。

サンシェード

タイプ別装備

J00401800412

⚠警告

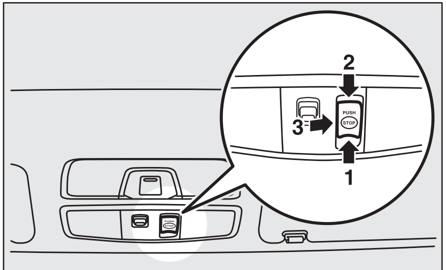
- サンシェードを開閉するときは，同乗者の頭部や指などをはさまないように注意してください。サンシェードにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 走行中はサンシェード収納口に顔などを近づけないでください。急ブレーキをかけたときに，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 安全のためサンシェードの操作はお子さまではなく大人が行ってください。
  車を離れるときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
  車内にキーを残したままにしておくと，お子さまがいたずらをして頭部や指などをはさむおそれがあります。

⚠注意

- パノラマガラスルーフの上にものを置いたり，落としたりしないでください。ガラスが破損するおそれがあります。
- サンシェード収納口および両サイドにある天井とサンシェード開口部のすき間に重いものをかけたり，手をかけてぶら下がるなどの大きな力を加えないでください。サンシェードが破損するおそれがあります。

アドバイス

- サンシェードが全開または全閉した後はスイッチを押し続けないでください。
- サンシェードスイッチを押してもサンシェードが動かないときは，すぐにスイッチから手を離しサンシェードに何かはさまれていないか確かめてください。
  何もはさまれていないのにサンシェードが動かないときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- エンジンをかけずに何度もサンシェードを開閉するとバッテリーが上がることがあります。なるべくエンジンがかかっているときに操作してください。
- 長時間駐車するときはサンシェードを閉めてください。サンシェードを開けたままで長時間炎天下に駐車すると車室内の温度が大変高くなります。



AGA011904

開けるときは

エンジンスイッチまたは電源モードがONのとき，スイッチを（1）の方向に押すと開きます。
スイッチを(1)の方向に長く押すと全開します。
途中で止めたいときは，もう一度スイッチを(1), (2)または(3)の方向に押します。

閉めるときは

エンジンスイッチまたは電源モードがONのとき，スイッチを（2）の方向に押すと閉まります。
スイッチを(2)の方向に長く押すと全閉します。
途中で止めたいときは，もう一度スイッチを(1), (2)または(3)の方向に押します。

セーフティー機構

J00403500279

万一，手や首などをはさんだ場合は安全のため自動的にサンシェードが数 cm 開きます。サンシェードが開いた後スイッチでサンシェードを閉めることができます。

⚠注意

- サンシェードを確実に閉めるため，閉め切り直前ではセーフティー機構が働かないようになっています。指などをはさまないように注意してください。

アドバイス

- 環境や走行条件により，手や首などをはさんだときと同じ衝撃が加わると，セーフティー機構が働くことがあります。

エンジンフード（ボンネット）

J00402100874

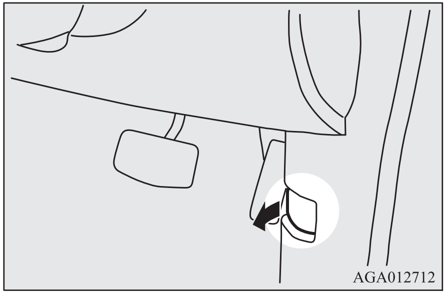
開けるときは

1. ワイパーアームが立っているときはワイパーアームを倒します。

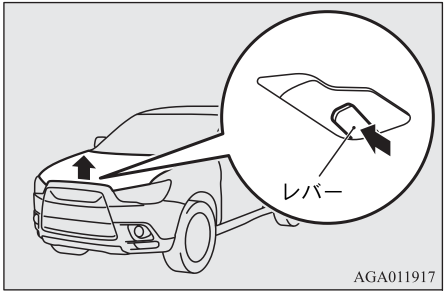
アドバイス

- ワイパーアームが立った状態でエンジンフードを開けるとエンジンフードに傷がつくおそれがあります。

2. 計器盤右下にあるレバーを引くとエンジンフードが少し浮き上がります。


AGA012712

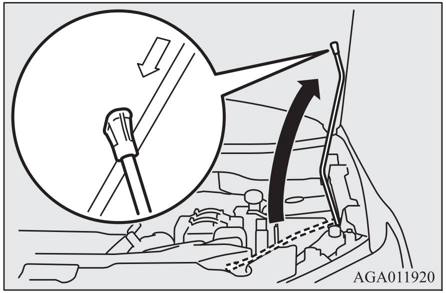
3. エンジンフードのすき間に手を入れ，前端中央部のレバーを左へ押しながらエンジンフードを持ち上げます。



AGA011917

3

4. 支持棒をエンジンフードの穴に差し込みエンジンフードを確実に固定します。

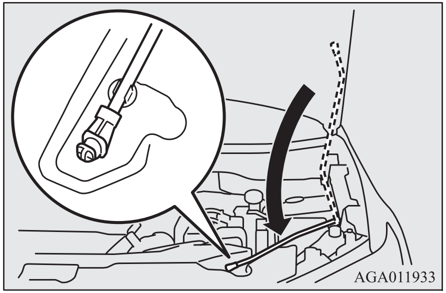


⚠注意

- 風の強いときにエンジンフードを開けていると，風にあおられて支持棒が外れることがあります。特に風の強いときはご注意ください。
- 支持棒は必ず所定の穴に差し込んでください。所定以外の箇所に掛けると支持棒が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

閉めるときは

1. エンジンフードを支えながら支持棒を穴から外してクリップに固定します。



2. エンジンフードを少し持ち上げた位置（約 20cm）から離します。

⚠注意

- 手や物をはさまないように注意してください。

3. エンジンフードが完全に閉じていることを確認します。

⚠注意

- 走行前に必ずエンジンフードが確実に閉じていることを確認してください。
完全に閉じていないまま走行するとエンジンフードが開くおそれがあります。

⚠注意

- エンジンフードが開いたまま走行するとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示が表示されます。
A タイプ

B タイプ

アドバイス

- エンジンフードを手で強く押しつけないでください。力のかけぐあいや場所によっては，万一の場合，車体がへこむおそれがあります。

フューエルリッド（燃料補給口）

J00402300674

フューエルリッド（燃料補給口）は車両の左側後方にあります。

⚠警告

- 燃料を補給するときは火気厳禁です。燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
  - 必ずエンジンを止めてください。
  - たばこ，ライター，携帯電話などは使用しないでください。
- フューエルキャップを外す前に車体や給油機の金属部分に触れて，必ず身体の静電気を除去してください。
  静電気を帯びていると，放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。
- リッド（補給口）の開口，フューエルキャップの取り外しなど，給油操作は必ず一人で行い，補給口に他の人を近づけないでください。
  複数で行うと他の人が帯電していた場合，気化した燃料に引火するおそれがあります。
- 給油が終わるまで補給口から離れないでください。途中，シートに座るなどすると，再帯電するおそれがあります。

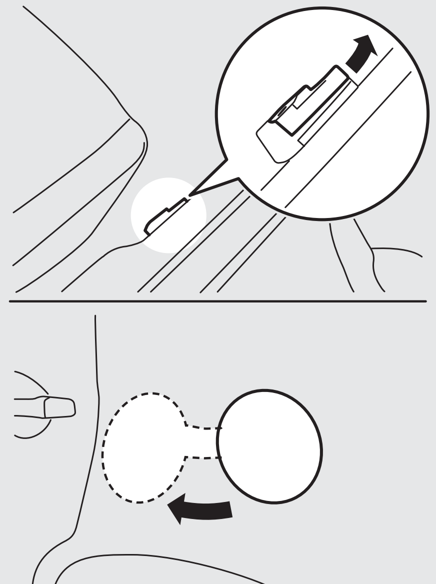
アドバイス

- 燃料は必ず指定された燃料をご使用ください。
  →「燃料は指定されたものを補給」P.2-2
  →「メンテナンスデータ:燃料の量と種類」P.13-2

開けるときは

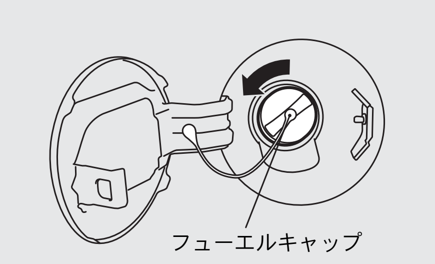
J00405000555

1. 運転席右下のレバーを引き上げてリッド（補給口）を開けます。



AGE000960

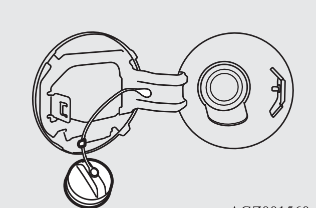
2. フューエルキャップのつまみを持ち，ゆっくり左に回して外します。



AGA011946

アドバイス

- フューエルキャップのひもをリッド裏側のフックにかけてキャップを固定することができます。



AGZ001560

3

3

⚠警告

- 急激にフューエルキャップを回さないでください。燃料タンク内の圧力により，補給口から燃料が吹き返すおそれがあります。
- フューエルキャップをゆるめたときにシューッという音がしたときは，音がしなくなるまで待ってから，フューエルキャップをゆっくり回してください。

閉めるときは

J00405100149

1. フューエルキャップをカチッカチッと音がするまで右に回して閉めます。

⚠警告

- フューエルキャップが確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと燃料がもれ，火災になるおそれがあります。

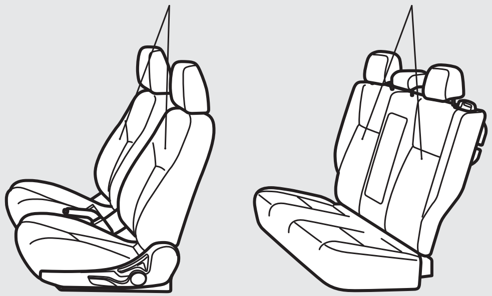
2. フューエルリッドを手で軽く押して閉めます。

安全装備

シート.. 4-2
シート調整 4-2
フロントシート 4-3
リヤシート 4-6
ヘッドレスト.. 4-6
荷室の作り方.. 4-7
シートベルト.. 4-8
プリテンショナー機構／
　フォースリミッター機構付シートベルト 4-14
チャイルドシート.. 4-15
SRS エアバッグ 4-22

シート

J00509902296



フロントシート

- 前後調整 P.4-3
- 背もたれの角度調整 P.4-4
- 上下調整（運転席）P.4-4
- アームレスト（ひじ掛け）
  タイプ別装備 P.4-5
- フロントシートヒーター
  タイプ別装備 P.4-5

リヤシート

- アームレスト（ひじ掛け）
  タイプ別装備 P.4-6

シート調整

J00500200377

シート各部の調整は走行前に行ってください。

⚠警告

- シートの調整は必ず走行前に行ってください。走行中にシートを調整すると必要以上に動くことがあり，重大な事故につながるおそれがあります。

⚠警告

- シートの調整をした後は，シートが確実に固定されていることを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き，重大な事故につながるおそれがあります。
- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

- シートの調整は必ず大人が行ってください。お子さまが操作すると思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- シートを操作しているときは，シートの下や動いている部分に手足を近づけないでください。

フロントシート

J00500300772

正しい運転姿勢がとれるように，つぎの点に注意してシートを調整してください。

AAE000089

⚠警告

- 背もたれと背中の間にクッションなどを入れないでください。
  正しい運転姿勢がとれないため，思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

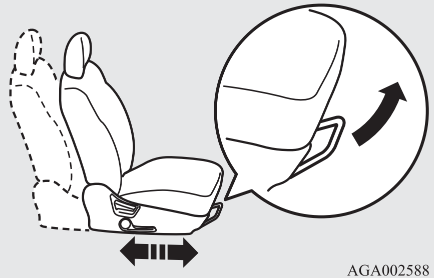
- 後方へシートを移動したり，背もたれを倒すときは乗員に注意してください。

前後調整

J00500400483

手動式

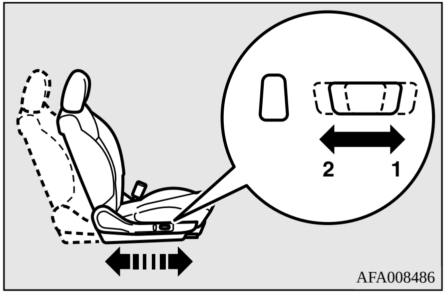
レバーを引いたまま調整します。
調整後はシートを前後に軽くゆすり，シートが確実に固定されたことを確認します。



AGA002588

電動式

スイッチを前後に操作している間，作動します。



1- シートが前側へ動きます。
2- シートが後側へ動きます。

アドバイス

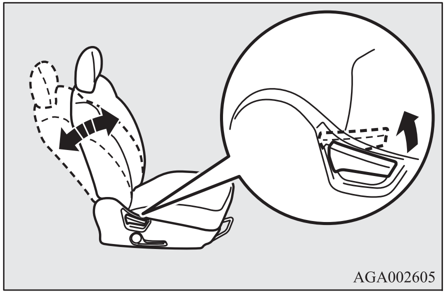
- バッテリ上がりを防止するため，パワーシートはエンジンをかけた状態で操作してください。

背もたれの角度調整

J00500500602

手動式

レバーを引いたまま調整します。
調整後は背もたれを軽くゆすり，背もたれが確実に固定されたことを確認します。

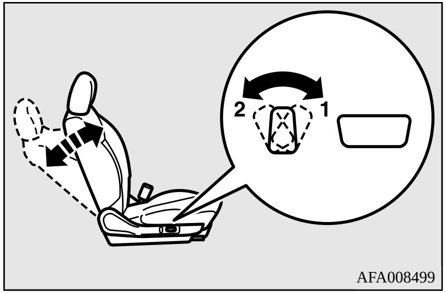


⚠注意

- レバーを操作するときは，背もたれに身体を添わせるか，手を添えて行ってください。
  背もたれが急に戻り顔などにあたるおそれがあります。

電動式

スイッチの上部を前後に操作している間，作動します。



1- 背もたれが起きます。
2- 背もたれが倒れます。

アドバイス

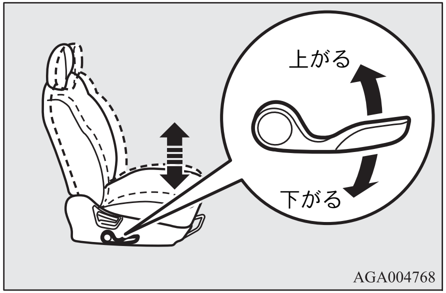
- バッテリ上がりを防止するため，パワーシートはエンジンをかけた状態で操作してください。

上下調整（運転席）

J00500600674

手動式

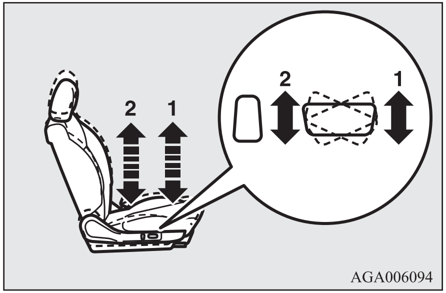
レバーを繰り返し操作して調整します。



AGA004768

電動式

スイッチを上下に操作している間，作動します。
スイッチ全体を上下させるとシート全体が動きます。



AGA006094

1- 前側を操作するとシート前端が動きます。

2- 後側を操作するとシート後端が動きます。

アドバイス

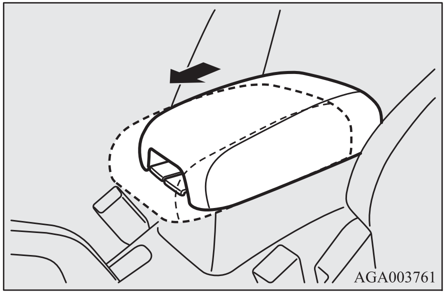
- バッテリ上がりを防止するため，パワーシートはエンジンをかけた状態で操作してください。

アームレスト（ひじ掛け）

タイプ別装備

J00501000398

フロアコンソールボックスのフタを前後に動かしてアームレストとして使用できます。

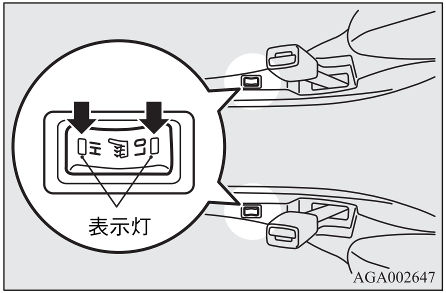

AGA003761

フロントシートヒーター

タイプ別装備

J00501300274

エンジンスイッチまたは電源モードが ON のときにスイッチを LO または HI にするとヒーターが作動し，スイッチ内の表示灯が点灯します。



AGA002647

HI	- 急速暖房
LO	- 通常暖房
OFF（中立）	- 暖房停止

注意

- エンジン停止状態での連続使用はバッテリー上がりの原因になります。
- 長時間の連続使用は低温やけど（水ぶくれなど）の原因になります。特につぎのような方は注意してください。
  - 乳幼児，お子さま，お年寄，病気の方，身体の不自由な方

注意

- ・皮膚の弱い方
- ・疲労の激しい方
- ・飲酒した方およびねむけをさそう薬を飲んだ方（かぜ薬など）
- ●重い荷物をシートの上に置いたり，針やくぎなどをシートに刺したりしないでください。
- ●毛布や座ぶとんなど保温性のよいものをシートにかけないでください。過熱の原因となります。
- ●シートを手入れするとき，ベンジン，ガソリン，およびアルコールなどの有機溶剤を使用しないでください。シート表面およびヒーターの損傷原因となります。
- ●水，ジュースなどをこぼしたときは十分乾かしてから使用してください。

アドバイス

- ●ご使用にならないときはスイッチを OFF（中立）にしてください。
- ●スイッチのHI 側は消費電力が大きいのでシートが適温に暖められたら LO または OFF にしてください。

リヤシート

J00511200074

警告

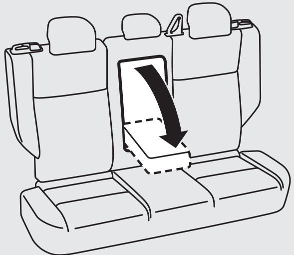
- ●リヤシートに座る場合は，ヘッドレストを下げた状態で走行しないでください。衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。走行前に必ずヘッドレストを上げてください。

アームレスト（ひじ掛け）

タイプ別装備

J00511500048

手前に倒して使用します。
元に戻すときは，確実に固定するまで後ろに押しつけます。



AGA011584

アドバイス

- ●アームレストの上に乗ったり座ったりしないでください。アームレストが破損するおそれがあります。
- ●アームレストを倒すとカップホルダー（後席用）があります。
→「カップホルダー」P.7-8

ヘッドレスト

J00503400631

警告

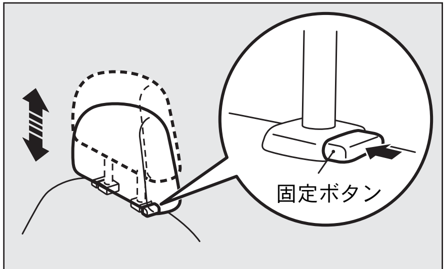
- ●ヘッドレストの固定できる高さを超えて使用しないでください。
万一のとき安全確保に役立ちません。
- ●背もたれと背中の間にクッションなどを入れると安全確保に役立ちません。
- ●ヘッドレストを取り外したままで走行しないでください。衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。走行前に必ず取り付けてください。

上下調整

J00532400170

ヘッドレストを調整するときは，ヘッドレストの中央部をできるだけ耳の高さになるように調整します。
耳の高さに届かない場合（特に背の高い人など）は，固定できる範囲で一番高い位置に調整してください。

上げるときはそのまま引き上げ，下げるときは固定ボタンを押しながら下げます。



AGA006137

取り外すときは

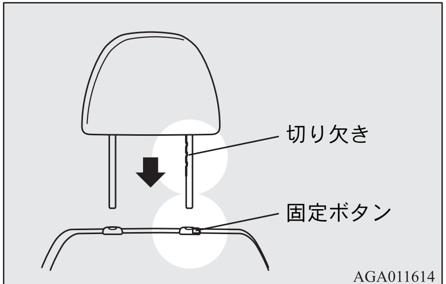
J00508900107

固定ボタンを押したまま，いっぱいに引き上げて取り外します。

取り付けるときは

J00509001489

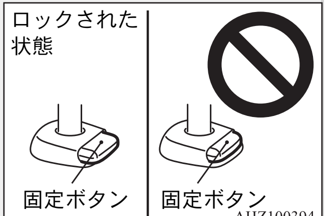
切り欠きのあるヘッドレストステーが，固定ボタン側になるように取り付け，固定ボタンを押しながら差し込みます。



AGA011614

⚠注意

- ヘッドレストを取り付けた後，固定ボタンがロックされていることを確認してください。



AHZ100394

⚠注意

- シートによりヘッドレストの形状や大きさが異なります。前後の向きを確認して間違えないように取り付けてください。

AHZ100408

荷室の作り方

J00503500371

⚠警告

- シートを折りたたんだり，または元に戻したときは，シートが確実に固定されていることを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き，重大な事故につながるおそれがあります。
- 走行中に荷室に人が乗ったり，お子さまを遊ばせないでください。
  急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにシートが後方へ倒れ，重大な傷害を受けるおそれがあります。

4

⚠注意

- 室内にはシートの高さ以上に荷物を積まないでください。また荷物は確実に固定してください。
後方が確認できなくなったり，急ブレーキをかけたときなどに荷物が前方に飛び出して思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを折りたたんだり，または元に戻すときは，必ず大人が行ってください。
お子さまが操作すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを操作するときは，手足をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。

アドバイス

- フロントシートの背もたれが後方に倒れているときは，通常の位置に戻してください。

リヤシートの背もたれの前倒し

J00511900127

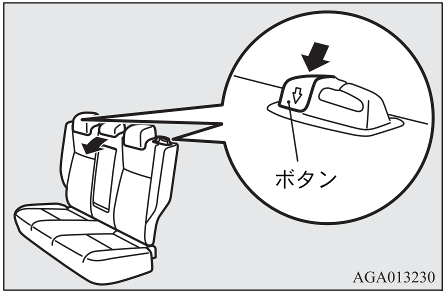
リヤシートのロック解除ボタンにより，リヤシートの背もたれを倒すことができます。

アドバイス

- 背もたれは片側ずつ操作できます。

倒すときは

リヤシートのロック解除ボタンを押しながら，背もたれを前方に倒します。



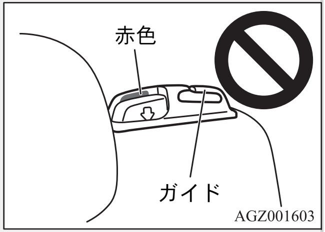
戻すときは

J00513201091

1. シートベルトがガイドから外れているときは，シートベルトをガイドに通します。
2. 背もたれを確実にロックするまで起こします。
3. 背もたれが確実に固定されていることおよびシートベルトがガイドを通っていることを確認します。

⚠注意

- ロック解除ボタンの後方に赤色が見えるときは，背もたれが確実に固定されていません。背もたれを前後に軽くゆすり，確実に固定してください。



シートベルト

J00505100573

シートベルトは万一の場合，運転者と同乗者の安全を守ります。シートベルトはつぎの使用方法，注意を守り，運転する前に必ず着用してください。

AAE000092

⚠警告

- 肩部ベルトは脇の下を通さないで，肩に十分かかるように着用してください。ベルトが肩に十分かかっていないと衝突したときなどに身体が前方に投げ出され，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 腰部ベルトは腹部にかけないでください。衝突したときなどに腹部などに強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠警告

- ベルトは 1 人用です。2 人以上で使用しないでください。衝突のときなどにベルトが正常に働かず，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 車に乗るときは必ず全員がシートベルトを着用してください。ベルトを着用しないと急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに身体がシートに保持されず，車外に投げ出されたりして，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトは上体を起こして，シートに深く腰かけた状態で着用してください。正しい姿勢で着用しないと十分な効果を発揮しないおそれがあります。正しい姿勢については「フロントシート」を参照してください。→ P.4-3
- シートベルトはねじれのないように着用してください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり，衝突したときなどに局部的に強い力を受けてシートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ハンドルやインストルメントパネルに必要以上に近づいて運転しないでください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあります。

⚠警告

- お子さまでもシートベルトを必ず着用させてください。ひざの上でお子さまを抱いていても，急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに十分に支えることができず，お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

AAZ000116

- 妊娠中の女性や疾患のある方も，万一のときのためにシートベルトを着用してください。ただし，局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので，医師にご相談のうえ注意事項を確認してからご使用ください。
  妊娠中の方は，腰部ベルトを腹部を避けて腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩部ベルトは確実に肩を通し，腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。
- シートベルトを着用する場合は洗たくばさみやクリップなどでベルトにたるみをつけないでください。ベルトにたるみがあると十分な効果を発揮しないおそれがあります。

4

⚠警告

- ほつれや切り傷ができたり，金具部などが正常に動かなくなったときは，シートベルトを交換してください。異常がある状態で使用すると衝突時に正常に動かず，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- 万一，事故にあって，シートベルトに強い衝撃を受けた場合は，外観に異常がなくても必ず交換してください。軽い事故の場合も三菱自動車販売会社で点検を受けてください。ベルト自体が壊れている場合があり，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- シートベルトを修理または交換する場合は三菱自動車販売会社へご相談ください。
- バックルや巻き取り装置の内部に異物などを入れないようにしてください。またシートベルトの改造や取り付け，取り外しをしないでください。衝突したときなどに十分な効果を発揮できないおそれがあります。
- ベルトが汚れた場合は，中性洗剤を使用してください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤の使用や漂白，染色は絶対にしないでください。
  シートベルトの性能が落ち，十分な効果を発揮できなくなるおそれがあります。

3 点式シートベルト

J00505200239

ベルトの長さを調整する必要はありません。ベルトは身体の動きに合わせて伸縮しますが，強い衝撃を受けたときは，ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

アドバイス

- ベルトをすばやく引き出すことにより，ベルトがロックするか確認できます。

着用するときは

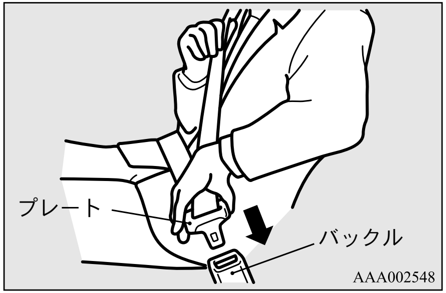
J00507800301

1. プレートを持ってシートベルトをゆっくりと引き出します。
   リヤシート左右席の場合，シートベルトがガイドから外れていたら，ガイドに通してからシートベルトをゆっくりと引き出します。

アドバイス

- シートベルトがロックしたまま引き出せないときは，一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ，再度ゆっくりと引き出してください。

2. ベルトがねじれていないか確認した後，プレートをバックルにカチッと音がするまではめ込みます。

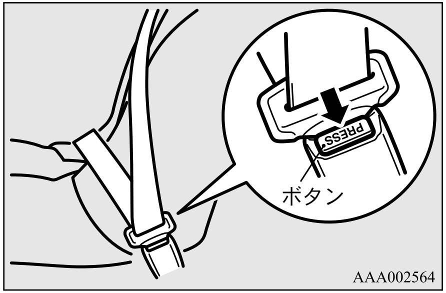


3. 腰部ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ，ベルトを引いて腰部に密着させます。

外すときは

J00507900344

プレートを持ってバックルのボタンを押します。
ベルトは自動的に巻き取られますので，プレートに手を添えて，ゆっくり戻してください。



⚠警告

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
  ベルトを身体に巻き付けたりして遊んでいると，窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
  万一，シートベルトが外せなくなったときは，はさみなどでベルトを切断してください。

シートベルト警告

J00509700711

警告灯

警告表示　A タイプ

警告表示　B タイプ

運転席のシートベルトを着用しないままエンジンスイッチまたは電源モードを ON にすると，警告灯が点灯し，約 6 秒間ブザーが鳴ってシートベルトの着用を促します。
そのままシートベルトを着用せずに走行したとき，エンジンスイッチまたは電源モードを操作してから約 1 分が経過していると警告灯が点灯・点滅を繰り返し，ブザーが断続的に鳴ります。また，同時にマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面にも警告表示が表示されます。
警告灯／警告表示とブザーの警告は約 90 秒で止まります。
その後，シートベルトを着用しないまま停車・発進を繰り返すと，発進するたびに警告灯／警告表示とブザーによってシートベルトの着用を促します。また，走行中にシートベルトを外しても同じようにシートベルトの着用を促します。
シートベルトを着用すれば警告は止まります。

4

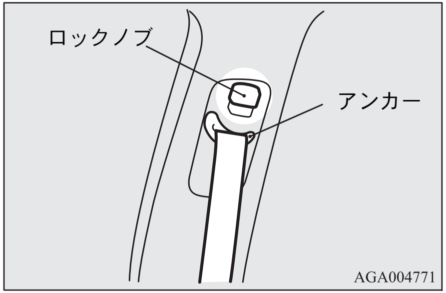
ベルトが首，顔に当たるときは（アジャスタブルシートベルトアンカー）

J00508000342

フロントシート

肩部ベルトの高さを調整することができます。
ベルトが首，顔に当たったり，肩から外れて腕にかかってしまうときに調整してください。
ロックノブを押したままアンカーを上下に動かして調整します。
調整後はアンカーが固定されていることを確認します。

4



⚠警告

● アンカーを調整するときは，肩部ベルトが首に当たらず，肩の中央に十分かかるように調整してください。また，調整後はアンカーが確実に固定されていることを確認してください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮できず，重大な傷害を受けるおそれがあります。

分離格納式シートベルト

J00513400083

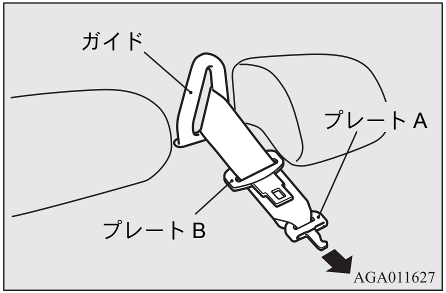
分離格納式シートベルトは，リヤシート中央席に装備されています。
ベルトの長さを調整する必要はありません。ベルトは身体の動きに合わせて伸縮しますが，強い衝撃を受けたときは，ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

アドバイス

● ベルトをすばやく引き出すことにより，ベルトがロックするか確認できます。

着用するときは

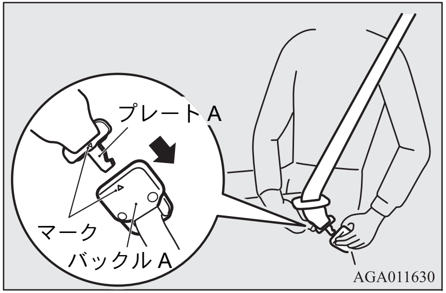
1. プレート A を持ってシートベルトをゆっくりと引き出し、ガイドに通します。



アドバイス

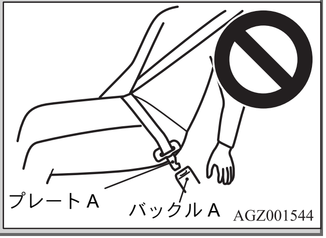
● シートベルトがロックして引き出せないときは，ベルトを強く引いてから一度ベルトをゆるめて，再度ゆっくりと引き出してください。

2. ベルトがねじれていないか確認した後，プレート A とバックル A のマークを合わせてカチッと音がするまではめ込みます。

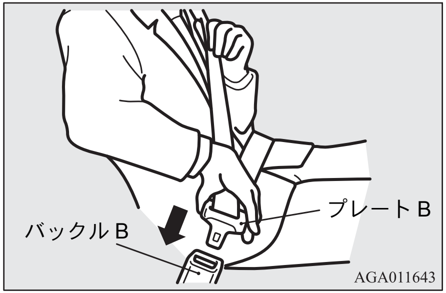


⚠警告

● シートベルトを使用するときは、必ずプレート A がバックル A に差し込まれた状態にしてください。結合しない状態で使用すると、シートベルトが十分な効果を発揮できず、命にかかわる重大な障害を受けるおそれがあります。

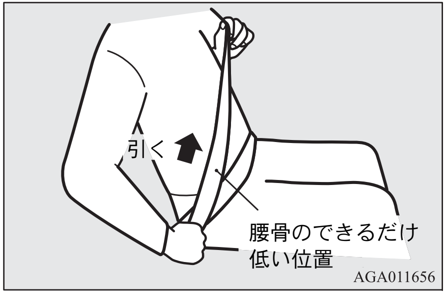


3. プレート B をバックル B にカチッと音がするまではめ込みます。



AGA011643

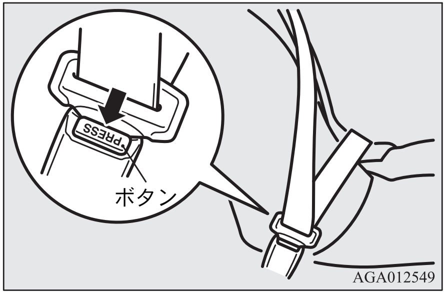
4. 腰部ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ，ベルトを引いて腰部に密着させます。



AGA011656

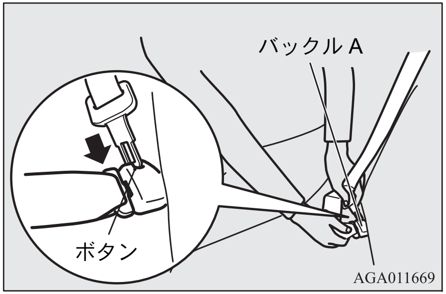
外すときは

1. プレート B を持って、バックル B のボタンを押します。



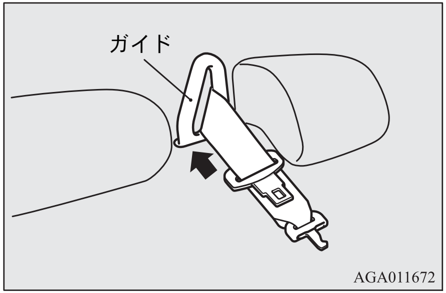
AGA012549

2. プレート B を使ってバックル A のボタンを押し、シートベルトとバックルを分離します。



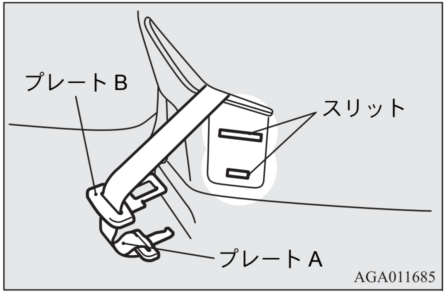
AGA011669

3. シートベルトを巻き取りながら、シートベルトをガイドから外します。



AGA011672

4. シートベルトを格納します。シートベルトがすべて巻き取られたら，プレート B を上側のスリットへ、プレート A を下側のスリットへ差し込みます。



AGA011685

プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト

J00505702137

4

プリテンショナー付シートベルトは，運転席および助手席に装備されています。

プリテンショナー機構

プリテンショナー機構は，エンジンスイッチまたは電源モードが ON のときに運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方および側方（SRS サイドエアバッグ／ SRS カーテンエアバッグ付き車）より受けたときに，シートベルトを瞬時に引き込み，シートベルトの効果をいっそう高める装置です。

⚠警告

- プリテンショナー付シートベルトの効果を十分に発揮させるため，つぎのことをお守りください。
  - シートを正しい位置に調整してください。
    →「フロントシート」P.4-3
  - シートベルトを正しく着用してください。
    →「シートベルト」P.4-8

⚠警告

- プリテンショナー付シートベルトやフロアコンソール付近の修理，カーオーディオ等の取り付けをする場合はプリテンショナー機構に影響をおよぼすおそれがありますので，三菱自動車販売会社にご相談ください。

⚠注意

- 廃車するときは三菱自動車販売会社へご相談ください。プリテンショナー付シートベルトが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。

アドバイス

- プリテンショナー付シートベルトはシートベルトを装着していなくても，前方および側方（SRS サイドエアバッグ／ SRS カーテンエアバッグ付き車）からの強い衝撃を受けると作動します。
- プリテンショナー付シートベルトは一度作動すると再使用できません。
  三菱自動車販売会社で運転席，助手席側を同時に交換してください。

フォースリミッター機構

衝突時に，シートベルトにかかる荷重を効果的に吸収し，乗員への衝撃をやわらげる装置です。

SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告

警告灯

警告表示　A タイプ

警告表示　B タイプ

正常なとき警告灯は，エンジンスイッチまたは電源モードをを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。

SRS エアバッグまたはプリテンショナー機構に異常があるとき，警告灯は点灯します。また，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面にも警告表示が表示されます。

⚠警告

- 警告灯がエンジンスイッチまたは電源モードを ON にしても点灯しない場合や点灯したままの場合，または走行中に警告表示される場合は，事故のときに SRS エアバックやプリテンショナー付シートベルトが正しく作動せず，重大な傷害を受けたり，死亡したりするおそれがあります。ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

チャイルドシート

J00506002212

⚠警告

- シートベルトは，大人の体格に合わせて設計されています。シートベルトを着けたとき肩部のベルトが首，あご，顔などに当たる場合や，腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまは通常のシートベルトでは衝突のとき強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。体格に合ったチャイルドシートを使用してください。
- 6 才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。

⚠警告

- チャイルドシートはリヤシートに装着してご使用ください。

⚠注意

- 後方へシートを移動したり背もたれを倒すときは，チャイルドシートに座ったお子さまに十分注意してください。
お子さまがシートとチャイルドシートの間にはさまれるおそれがあります。
- 取り付けたチャイルドシートの前にあるシートを調整するときは，チャイルドシートと干渉しないように注意してください。

ISO FIX 対応 * チャイルドシート

J00506101795

チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーが装備された座席専用のチャイルドシートです。専用バーおよびアンカーを使用してチャイルドシートを固定します。車両のシートベルトでチャイルドシートを固定する必要はありません。
* この車は 2006 年 10 月 1 日施行の保安基準（国連の安全基準に準拠）に適合した ISO FIX 対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーを標準装備しています。

選択の目安

下の表から，着席位置に応じてチャイルドシートを選択してください。

シート位置別チャイルドシートの適合性一覧表
（ISO FIX 対応チャイルドシート固定専用バーおよび テザーアンカーでの取り付け）

4

質量グループ （お子さまの体重）		サイズ等級	固定具	車両 ISO FIX 位置 リヤシート左右席
キャリコット		F	ISO/L1	X
		G	ISO/L2	X
0	10 kgまで	E	ISO/R1	X
0+	13 kgまで	E	ISO/R1	IL*1
		D	ISO/R2	X
		C	ISO/R3	X
I	9 ～ 18 kg	D	ISO/R2	X
		C	ISO/R3	X
		B	ISO/F2	IUF
		B1	ISO/F2X	IUF, IL*2
		A	ISO/F3	IUF
II	15 ～ 25 kg			X
III	22 ～ 36 kg			X

サイズ等級の説明

サイズ等級	固定具	お子さまの大きさ	使用の向き	形状，大きさ
A	ISO/F3	幼児	前	全高
B	ISO/F2	幼児	前	低型
B1	ISO/F2X	幼児	前	低型
C	ISO/R3	幼児	後ろ	大型
D	ISO/R2	幼児	後ろ	小型
E	ISO/R1	乳児	後ろ	—

サイズ等級	固定具	お子さまの大きさ	使用の向き	形状，大きさ
F	ISO/L1	乳児	左	キャリコット
G	ISO/L2	乳児	右	キャリコット

⚠注意

- チャイルドシートを取り付けるときは，ヘッドレストを取り外してください。

記号の説明

- IUF: 国連の安全基準 UN-R44 に適合している汎用型（ユニバーサル）ISO FIX 対応の前向きチャイルドシートのみが取り付け可能です。
- IL: 以下のリストに示す三菱自動車純正チャイルドシートの取り付けが可能です。
- X: チャイルドシートを取り付けることはできません。

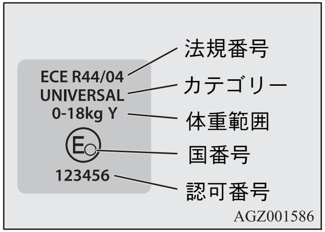
三菱自動車純正チャイルドシート

ご購入，ご使用に関しては三菱自動車販売会社へご相談ください。

記号	純正部品番号	UN-R44 認可番号
IL*1	MZ525277（チャイルドシート本体） MZ525276（ベースシート）	E1-04301146
IL*2	MZ525280	E1-04301133

アドバイス

● UN-R44 に適合したチャイルドシートには，つぎの認可マークが表示されています。



除く，ISO FIX 対応チャイルドシート

J00506201998

車両のシートベルトを使用して固定するチャイルドシートです。

選択の目安

下の表から，着席位置に応じてチャイルドシートを選択してください。

シート位置別チャイルドシートの適合性一覧表
（シートベルト使用による取り付け）

質量グループ（お子さまの体重）		助手席	リヤシート	
			左右席	中央席
0	10 kgまで	X	U	X
0+	13 kgまで	X	U, L*1	L*1
Ⅰ	9 ～ 18 kg	L*2	U, L*2	L*2

質量グループ（お子さまの体重）		助手席	リヤシート	
			左右席	中央席
II & III	15 ～ 36 kg	L*3	U, L*3	X

前向きチャイルドシートを助手席に取り付ける場合は可能な限り助手席を後方へ移動してください。

4

⚠注意

- チャイルドシートを取り付けるときは，ヘッドレストを取り外してください。

記号の説明

- U: 国連の安全基準 UN-R44 に適合している汎用型（ユニバーサル）カテゴリーのチャイルドシートのみが取り付け可能です。
- L: 以下のリストに示す三菱自動車純正チャイルドシートの取り付けが可能です。
- X: チャイルドシートを取り付けることはできません。

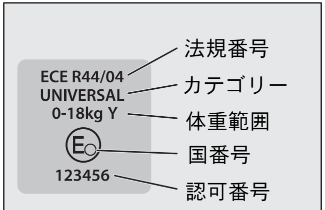
三菱自動車純正チャイルドシート

ご購入，ご使用に関しては三菱自動車販売会社へご相談ください。

記号	純正部品番号	UN-R44 認可番号
L*1	MZ525277	E1-04301146
L*2	MZ525280	E1-04301133
L*3	MZ525270	E1-04301169

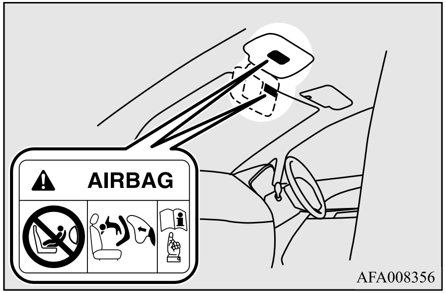
アドバイス

- UN-R44 に適合したチャイルドシートには，つぎの認可マークが表示されています。



AGZ001586

助手席へのチャイルドシート取り付け時の注意



AFA008356

⚠警告

- 助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。
  また，前後向きとも装着可能なシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。
  助手席 SRS エアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられて，お子さまが死亡，または重大な傷害を受けるおそれがあります。

AHZ100121

⚠警告

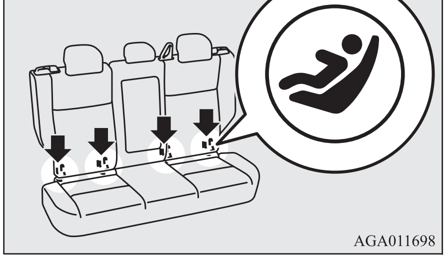
- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合は，助手席を一番後ろの位置にし，前向き装着のチャイルドシートを取り付けてください。

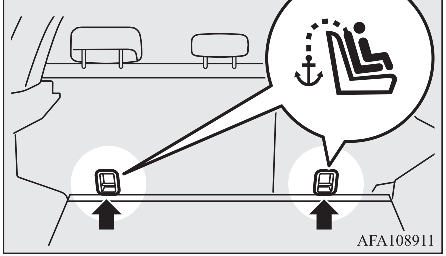
AHZ100134

ISO FIX対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーでの取り付け方

J00506302000

固定専用のバーはリヤシートクッションと背もたれの間に，テザーアンカーはリヤシートクッション後方に，それぞれ装備されています。





⚠警告

- 固定専用バーおよびテザーアンカーはチャイルドシートを固定するために装備されています。その他の装備品の固定には使用しないでください。

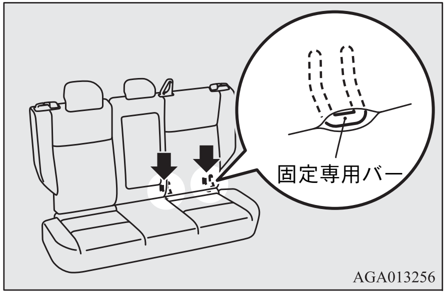
取り付けるときは

チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートを取り付けます。

⚠警告

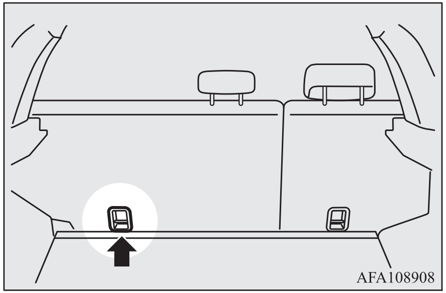
- チャイルドシートを取り付けるときは，固定専用バーおよびテザーアンカー周辺に異物がないこと，シートベルトなどのかみ込みがないことを確認してください。異物があるとチャイルドシートが固定されず，衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。
- リヤシートの背もたれを倒した状態でチャイルドシートを取り付けないでください。
  また，チャイルドシートが取り付けられているときは，シートの調整はしないでください。

1. チャイルドシートを取り付けたい側のヘッドレストを取り外します。
   →「ヘッドレスト」P.4-6
2. リヤシートクッションと背もたれのすき間を手で少し広げて，固定専用バーの位置を確認します。

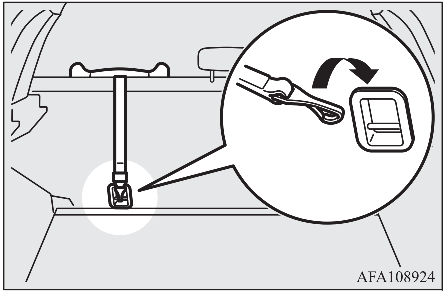


3. チャイルドシートを固定専用バーに取り付けます。
   トップテザー付きチャイルドシートの場合は，手順 4 から 6 を行ってください。
   トップテザーが無いチャイルドシートの場合は，手順6を行ってください。

4. リヤシートクッション後方にあるテザーアンカーの位置を確認します。


AFA108908

5. テザーベルトのフックをテザーアンカーに掛け，テザーベルトを締めて確実に固定します。


AFA108924

6. チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されたことを確認します。

取り外すときは

チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートを取り外します。

シートベルトでの取り付け方

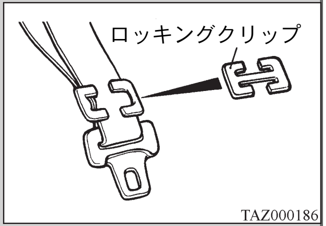
J00506502161

チャイルドシートを取り付けるときは，つぎの手順で確実に取り付けてください。

取り付けるときは

⚠警告

- チャイルドシートの種類によって取り付け方法が異なります。
  必ずチャイルドシートの取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。
  チャイルドシートによってはチャイルドシートに付属のロッキングクリップでの固定が必要です。



TAZ000186

1. チャイルドシートを取り付けたい席に置き，ヘッドレストを取り外します。
   →「ヘッドレスト」P.4-6
2. チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートをシートベルトで固定します。
   リヤシート左右席の場合，シートベルトがガイドから外れていたら，ガイドに通してからシートベルトをゆっくりと引き出します。
3. チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されていることを確認してください。

取り外すときは

プレートをバックルから外して，シートベルトをチャイルドシートから取り外します。
ベルトは自動的に巻き取られますので，プレートに手を添えて，ゆっくり戻してください。

SRS エアバッグ

J00506602292

SRS とは Supplemental Restraint System の略語で補助拘束装置の意味です。
エンジンスイッチまたは電源モードが ON のときに作動します。

運転席, 助手席SRSエアバッグ

運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに，シートベルトの働きを補って，運転者または助手席同乗者の頭部や胸部への衝撃をやわらげる装置です。

運転席 SRS ニーエアバッグ

運転者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに膨らみ，シートベルトの働きを補って，運転者の脚部を受け止めることで姿勢を制御し，身体全体の保護効果を高める装置です。

SRS サイドエアバッグ

タイプ別装備

運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両側面から受けたときに膨らみ，運転者または助手席同乗者の胸などの上体への衝撃をやわらげる装置です。

SRS カーテンエアバッグ

タイプ別装備

運転者および同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両側面から受けたときに膨らみ，運転者および同乗者の主に頭部への衝撃をやわらげる装置です。

⚠警告

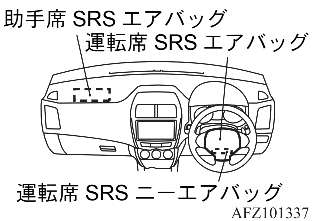
- SRS エアバッグはシートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。
  シートベルトをしていないと急ブレーキなどで身体が前方へ放り出されることがあり，その際に SRS エアバッグが膨らむとその強い衝撃で命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。シートベルトはつぎの理由により必ず着用してください。
  - SRS エアバッグが膨らんだとき，シートベルトがあなたの身体を正しい位置に保ちます。
  - SRS エアバッグが作動しないときでも，シートベルトによりけがを軽減することができます。

⚠警告

- シートは正しい位置に調整し，背もたれに背中をつけた正しい姿勢でシートに座ってください。
  SRS エアバッグは非常に速い速度で膨らむため，SRS エアバッグに近づきすぎた姿勢で乗車しているとSRSエアバッグが膨らむ際，エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRS エアバッグ構成部品およびその周辺は膨らんだ後，高温になりますのでさわらないでください。やけどをするおそれがあります。

⚠注意

- SRS エアバッグが収納されている部分に傷がついていたり，ひび割れがあるときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。

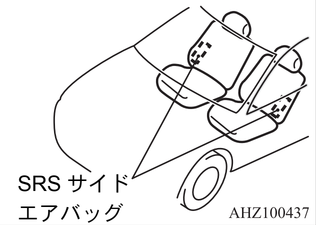


AFZ101337

AHZ100424

⚠注意

- SRS　サイドエアバッグ付き車は，エアバッグが収納されているシート部分に生地のやぶれ，縫いほつれなどがあるときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。



AHZ100437

アドバイス

- SRS エアバッグは非常に速い速度で膨らむため，SRS エアバッグとの接触によりすり傷や打撲などを受けることがあります。

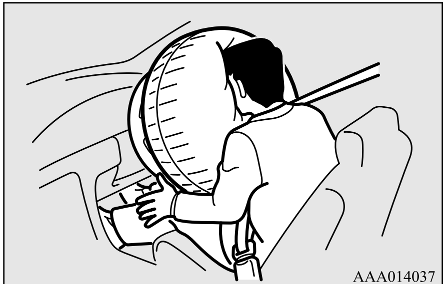
アドバイス

- SRS エアバッグが膨らむときかなり大きな音がし，白煙が出ますが火災ではありません。また人体への影響もありません。ただし，呼吸器系の疾患がある人や皮膚が弱い人の場合，一時的にのどや皮膚に刺激を感じることがあります。また，残留物（カスなど）が目や皮膚など身体に付着したときは，できるだけ早く水で洗い流してください。
  皮膚が弱い人の場合，まれに皮膚を刺激することがあります。
- 膨らんだSRSエアバッグはすぐにしぼむので運転席，助手席 SRS エアバッグおよびSRSサイドエアバッグは視界を妨げません。
- SRS エアバッグは一度膨らむと再使用できません。三菱自動車販売会社で SRS エアバッグ構成部品を交換してください。
- 衝撃や助手席SRSエアバッグが膨らむことにより，前面ガラスが破損する場合があります。

運転席 SRS エアバッグ

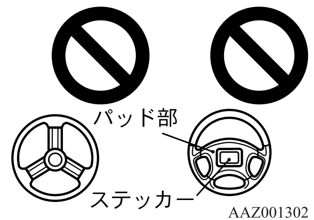
J00506700619

運転席SRSエアバッグはハンドルの中に装備されています。


AAA014037

⚠警告

- ハンドルの交換や，パッド部にステッカーを貼ったり，カバーを付けることはしないでください。SRS エアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。



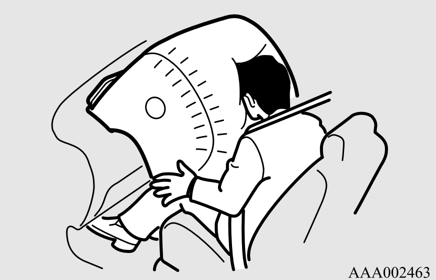
AAZ001302

- ハンドルに顔や胸を近づけた姿勢で運転しないでください。
  SRS エアバッグが膨らむ際，エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

助手席 SRS エアバッグ

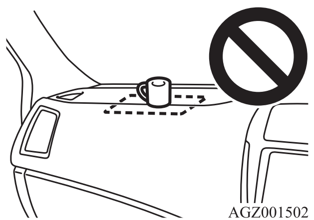
J00506802281

助手席SRSエアバッグはグローブボックス上のインストルメントパネルの中に装備されています。
助手席SRSエアバッグは同乗者がいなくても運転席SRSエアバッグと同時に作動します。


AAA002463

⚠警告

- インストルメントパネルの上に物を置いたり，前面ガラスやルームミラーにアクセサリーなどを取り付けたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。
  また，インストルメントパネルの上にステッカーを貼ったりしないでください。SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げるおそれがあります。


AGZ001502

4

4

⚠警告

- お子さまを乗せるときには，必ずつぎのことをお守りください。SRS エアバッグが膨らむときの強い衝撃でお子さまの命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
  - お子さまは後席に座らせて必ずシートベルトを着用させてください。
  - シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまには，チャイルドシートをリヤシートに装着してご使用ください。
  - 6 才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。
  - 助手席に乳児用シート（ベビーシート）など後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。
    また，幼児用シート（チャイルドシート）など前後向きとも装着可能なシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。
    助手席 SRS エアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられて，お子さまが死亡，または重大な傷害を受けるおそれがあります。

AHZ100121

  - 助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートを取り付けることを禁止するラベルが，サンバイザーに貼り付けてあります。

AFZ001059

⚠警告

- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り 付ける場合は，助手席を一番後ろの位置にし，前向き装着のチャイルドシートを取り付けてください。

AHZ100134

4

⚠警告

- 助手席同乗者はシートの前端に座ったり，インストルメントパネルに手や足を乗せたり，顔や胸を近づけた姿勢で座らないでください。また，お子さまをインストルメントパネルの前に立たせたり，ひざの上に抱いたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむ際，SRS エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

TAZ000085

TAZ000098

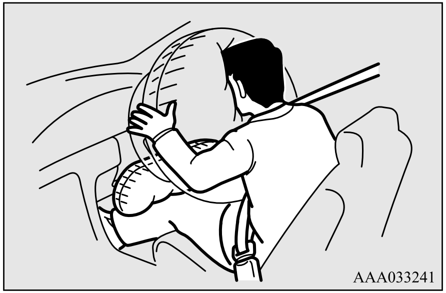
⚠警告

- 助手席同乗者は，かばんなどの荷物をひざの上にかかえるなど，SRS エアバッグとの間に物を置いたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむ際に物が飛ばされ重大な傷害を受けるおそれがあります。

運転席 SRS ニーエアバッグ

J00512900111

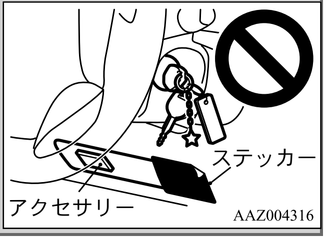
運転席SRSニーエアバッグはハンドル下のインストルメントパネルの中に装備されています。



AAA033241

⚠警告

- ハンドル下のインストルメントパネルにステッカーなどを貼ったり，アクセサリーを取り付けたりしないでください。また，キーに重い物やとがった物，かたい物を取り付けないでください。
SRS ニーエアバッグが正常に膨らむのを妨げたり，膨らむときにこれらのものが飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。



AAZ004316

SRS サイドエアバッグ

タイプ別装備

J00507001485

SRS サイドエアバッグは運転席，助手席各シートの背もたれの中に装備されており，衝撃を受けた側のみ作動します。
また，衝撃を受けた側に同乗者がいなくても作動します。

AAA012873

⚠警告

- フロントシート背もたれのSRSサイドエアバッグ格納部に手，足，顔を近づけたり，ドアにもたれかかるような姿勢で座らないでください。
また，お子さまなどに後席からフロントシートの背もたれを抱えたような姿勢はさせないでください。
SRS サイドエアバッグが膨らむ際，エアバッグにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

AAZ000233

⚠警告

AAZ000060

AAZ000305

⚠警告

- 三菱自動車純正のSRSサイドエアバッグ専用シートカバー以外は使用しないでください。
また，シートのエアバッグが収納されている付近にカップホルダーなどのカー用品を取り付けたり，ステッカー等を貼らないでください。
SRS サイドエアバッグが膨らむのを妨げたり，膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。

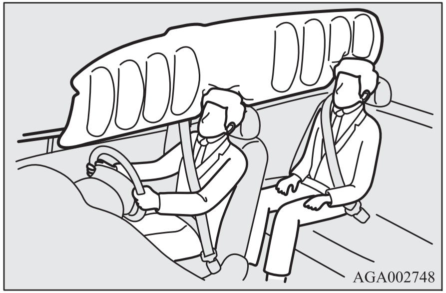
AAZ000262

SRS カーテンエアバッグ

タイプ別装備　J00507500441

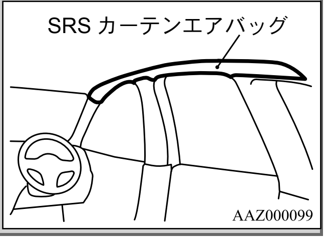
SRS カーテンエアバッグはフロントピラー，リヤピラーおよびルーフサイド部の中に装備されており，衝撃を受けた側のみ作動します。また，衝撃を受けた側に同乗者がいなくても作動します。

4


AGA002748

⚠警告

- フロントピラー，リヤピラーおよびルーフサイド部の SRS カーテンエアバッグ収納部に近づいたり，ドアにもたれかかるような姿勢で座らないでください。
SRS カーテンエアバッグが膨らむ際，エアバッグにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
特にお子さまには注意してください。



AAZ000099

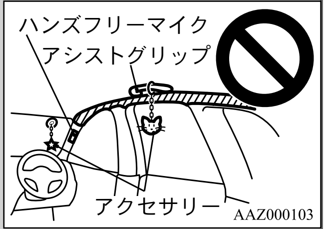
⚠警告

AAZ000060

AAZ000305

⚠警告

- 前面ガラス，側面ガラス，フロントピラー，リヤピラー，ルーフサイド部およびアシストグリップなどのSRSカーテンエアバッグ展開部周辺にステッカー等を貼りつけたり，アクセサリーやハンズフリーマイクなどを取り付けたりしないでください。
SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げたり，膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。



AAZ000103

- 荷物を積むときは，側面ガラス付近に積まないでください。SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げるおそれがあります。

SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告

J00507302124

警告灯

警告表示　A タイプ

警告表示　B タイプ

正常なとき警告灯は，エンジンスイッチまたは電源モードをを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。
SRS　エアバッグまたはプリテンショナー機構に異常があるとき，警告灯は点灯します。また，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面にも警告表示が表示されます。

⚠警告

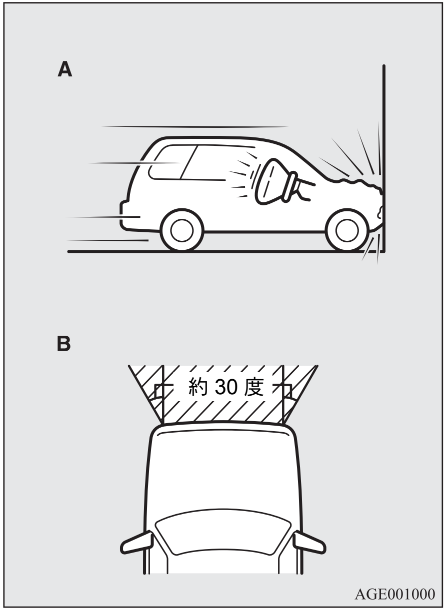
- 警告灯がエンジンスイッチまたは電源モードを ON にしても点灯しない場合や点灯したままの場合，または走行中に警告表示される場合は，事故のときに SRS エアバックやプリテンショナー付シートベルトが正しく作動せず，重大な傷害を受けたり，死亡したりするおそれがあります。ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

運転席，助手席 SRS エアバッグおよび運転席SRS ニーエ アバッグの作動条件

J00506900581

作動するとき

乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに作動します。



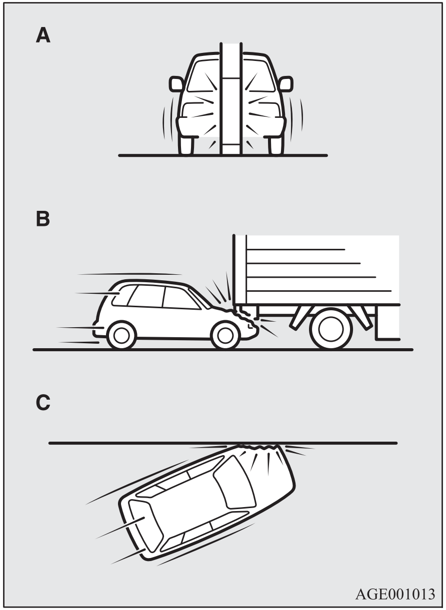
A- 約 25km/h 以上の速度でコンクリートのような固い壁に正面から衝突したとき
B- 車両の前方左右約 30 度以内の方向から強い衝撃（A と同等）を受けたとき

アドバイス

- コンクリートのような固い壁でなく，衝撃を吸収できるもの（車やガードレールのように変形，移動するもの）に衝突した場合は，エアバッグが作動するときの衝突速度（車速）は高くなります。

作動しないことがあるとき

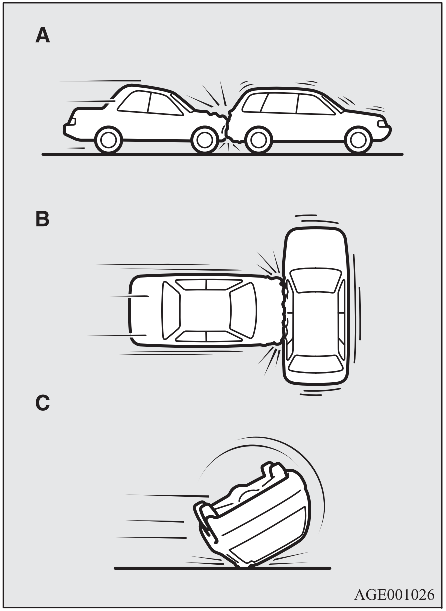
衝突により車両前部が大きく変形しても，衝突した位置や角度，衝突したものの形状や状態などによって SRS エアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさと SRS エアバッグの作動は必ずしも一致しません。



A- 電柱や立木など狭い範囲に衝突したとき
B- 車トラックなどの荷台へ潜り込んだとき
C- 斜め前方から衝突したとき

作動しないとき

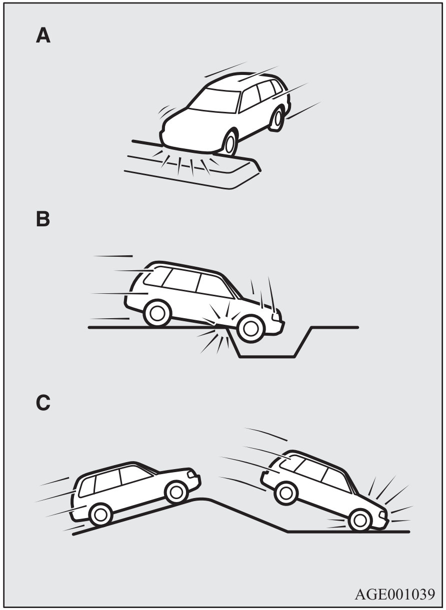
SRS エアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。
また，一度作動した SRS エアバッグは，2 回目以降の衝突では再作動しません。



A- 追突されたとき
B- 側面から追突されたとき
C- 横転，転覆したとき

作動することがあるとき

走行中，車両下部に強い衝撃を受けたときに作動することがあります。



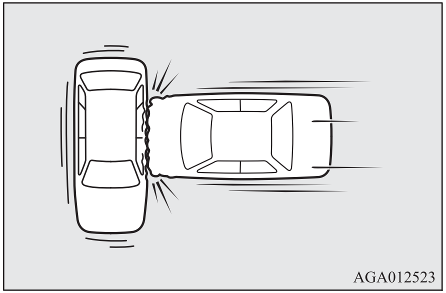
A- 中央分離帯や縁石などに衝突したとき
B- 深い穴や溝に落ちたとき
C- ジャンプして地面にぶつかったとき

SRS サイドエアバッグ，SRS カーテンエアバッグの作動条件

J00507100287

作動するとき

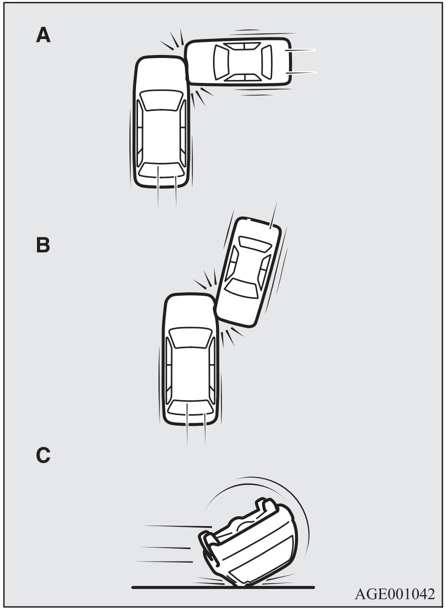
乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両側方から受けたときに作動します。



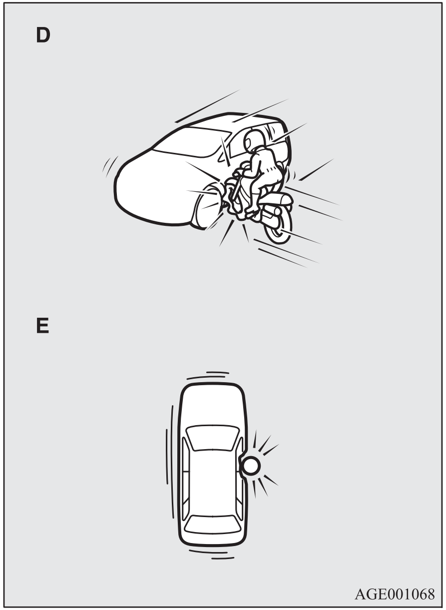
横方向から車体中央に強い衝撃を受けたとき

作動しないことがあるとき

衝突により車両側面が大きく変形しても，衝突した位置や角度，衝突したものの形状や状態などによってSRSサイドエアバッグおよび SRS カーテンエアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさと SRS サイドエアバッグおよび SRS カーテンエアバッグの作動は必ずしも一致しません。



A- 客室部以外の側面に衝撃を受けたとき
B- 斜め側方から衝撃を受けたとき
C- 横転や転覆したとき

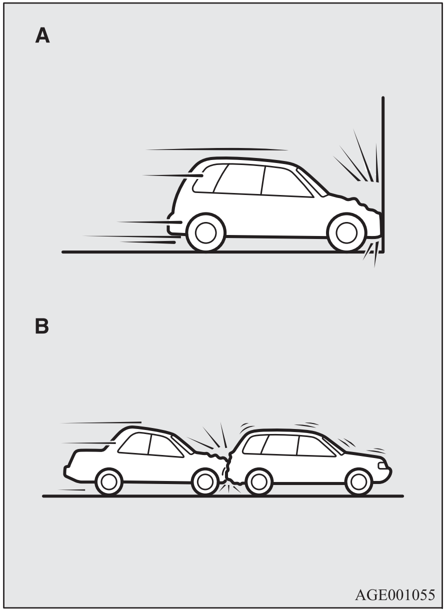


D- 側面にバイクが衝突したとき
E- 電柱などに衝突したとき

作動しないとき

SRS サイドエアバッグおよび SRS カーテンエアバッグが膨らんでも 乗員保護の効果がないため作動しませ ん。

また，一度作動した SRS サイドエアバッグおよび SRS カーテンエア バッグは，2 回目以降の衝突では再作動 しません。



A- 正面衝突されたとき
B- 追突されたとき

取り扱い上の注意

J00507401867

⚠注意

- つぎの修理または部品の取り付けをするときは，SRS エアバッグに影響をおよぼしたり，SRS エアバッグが思いがけなく作動しけがをするおそれがありますので，三菱自動車販売会社へご相談ください。
  - 運転席，助手席 SRS エアバッグ：
    ハンドル周り，インストルメントパネル，フロアコンソール付近の修理，カーオーディオなどの取り付け，および車両前部の修理
  - 運転席 SRS ニーエアバッグ：
    ハンドル下インストルメントパネル，およびその付近の修理
  - SRS サイドエアバッグ（タイプ別装備）：
    前席シート，センターピラーおよびその付近の修理
    前席シートの表皮の張り替え
  - SRS カーテンエアバッグ（タイプ別装備）：
    フロントピラー，センターピラー，リヤピラー，ルーフサイド部，およびその付近の修理
- 廃車するときは三菱自動車販売会社へご相談ください。SRS エアバッグが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。

⚠注意

- 電気テスターを使って，エアバッグの回路診断はしないでください。SRS エアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- 無線機の電波などは，SRS エアバッグを作動させるコンピューターに悪影響を与えるおそれがありますので，無線機などを取り付けるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- サスペンションを改造しないでください。車高が変わったり，サスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- つぎのSRSエアバッグ展開部付近を強くたたくなど，過度の力を加えないでください。
  SRS エアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
  - ステアリングパッド
  - インストルメントパネル上部
  - フロントシート側面
  - フロントピラー
  - センターピラー
  - リヤピラー
  - ルーフサイド部

アドバイス

- お車をゆずられるときはSRSエアバッグ装着車であることを説明し，取扱説明書を車につけておいてください。

イベントデータレコーダー (EDR) について

J00512600075

本車両は，SRS エアバッグシステムを制御するためのコンピューターを搭載しています。
当該コンピューターは，当システムが正常に作動しているかどうかを常に診断するとともに，衝突のときや衝突に近い状態のときにおいて車両の速度やブレーキペダルの状態などのデータを記録・蓄積する EDR を備えています。

EDR は，一般的なデータレコーダーとは異なり，会話などの音声や映像は記録しません。
三菱自動車および三菱自動車が委託した第三者は，EDR に記録されたデータを，車両衝突安全性能の向上などを目的として取得・利用することがあります。

なお，三菱自動車および三菱自動車が委託した第三者は，取得したデータをつぎの場合を除き，第三者へ提示することはありません。

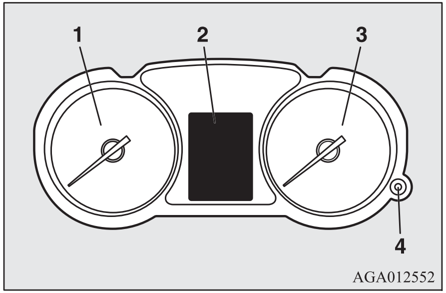
- 車両の該当データ記録時の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令など，法的強制力のある要請に基づく場合
- 使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

計器盤・スイッチ

メーター 5-2
マルチインフォメーションディスプレイ 5-2
表示灯・警告灯・インフォメーション画面表示一覧 5-20
表示灯 5-30
警告灯 5-30
インフォメーション画面表示 5-31
ライトスイッチ 5-33
ヘッドライトレベリング 5-37
方向指示レバー 5-38
非常点滅灯スイッチ 5-39
フロントフォグランプスイッチ 5-39
ワイパー／ウォッシャースイッチ 5-40
リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ 5-45
ホーンスイッチ 5-45

メーター

J00600100856



1- タコメーター →P.5-2
2- マルチインフォメーションディスプレイ → P.5-2
インフォメーション画面表示一覧 → P.5-20
3- スピードメーター →P.5-2
4- メーター照度調整ボタン →P.5-2

スピードメーター

J00600200163

走行速度を示します。

タコメーター

J00600300148

毎分のエンジン回転数を示します。

アドバイス

- 指針がレッドゾーン（赤色表示部）にはいらないようにしてください。エンジンの寿命が短くなり，破損するおそれがあります。

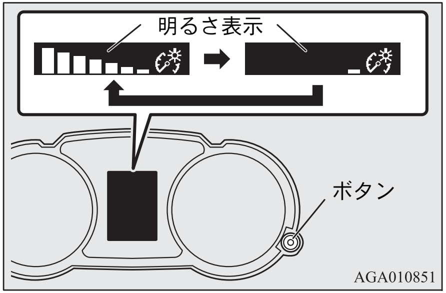
メーター照度調整ボタン

J00606600390

ボタンを押すたびに，音が鳴りメーターの明るさを変えることができます。

アドバイス

- 尾灯の点灯･消灯に応じてそれぞれ8段階ずつ調整することができます。
- ライトスイッチがOFF以外の位置にあるときは，車外の明るさに応じてメーターの照明が自動的に調整した明るさに切り換わります。（オートライト付き車）
- エンジンスイッチをLOCKに，または電源モードを OFF にしても，メーターの明るさの状態を記憶しています。
- 車幅灯点灯時にボタンを約 1 秒以上押すと，照明の明るさが一番明るい状態に変わります。
もう一度ボタンを約 1 秒以上押すと，元の明るさに戻ります。



マルチインフォメーションディスプレイ

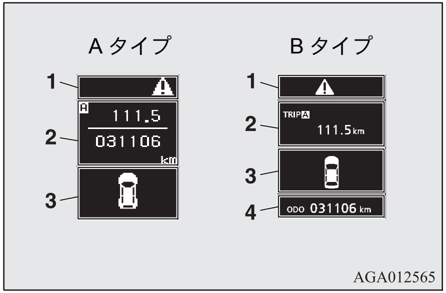
J00607100259

マルチインフォメーションディスプレイは各種警告，オドメーター，トリップメーター，平均・瞬間燃費，平均車速などを表示します。

画面表示

J00619600062

エンジンスイッチがACCもしくはLOCKの状態，または電源モードが ACC もしくは OFF の状態での表示



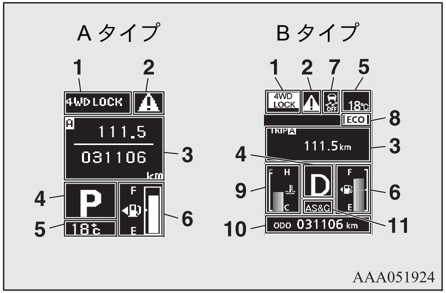
1- ⚠マーク表示画面
→P.5-9

2- インフォメーション画面
→P.5-4
割り込み表示画面
→P.5-8

3- 半ドア警告表示
→P.5-9

4- オドメーター
→P.11

エンジンスイッチまたは電源モードがON の状態での表示



1- ドライブモードインジケーター タイプ別装備
→P.6-23

2- ⚠マーク表示画面
→P.5-9

3- インフォメーション画面
→P.5-6
割り込み表示画面
→P.5-8

4- セレクターレバー位置表示
→P.6-16

5- 外気温表示画面
→P.5-11

6- 燃料残量表示画面
→P.5-10

7- ASC OFF 表示画面 タイプ別装備
→P.6-31

8- ECO（エコ）ランプ
→P.5-11

9- エンジン冷却水温表示
→P.5-10

10- オドメーター
→P.5-11

11- AS&G 表示画面
→6-9
AS&G OFF 表示画面
→6-12

アドバイス

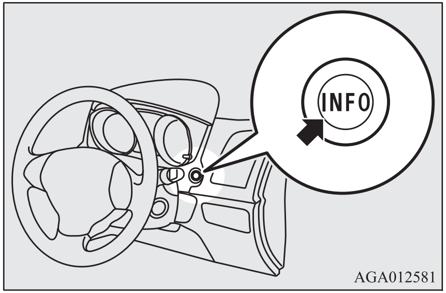
- 燃料単位，温度単位や表示言語などの設定を変更することができます。
→「機能設定画面」P.5-15

マルチインフォメーションメータースイッチ

J00607200191

マルチインフォメーションメータースイッチを操作するたびに音が鳴り，マルチインフォメーションディスプレイの各種警告，サービスリマインダー，平均・瞬間燃費，平均車速などの表示を切り換えることができます。
また，マルチインフォメーションディスプレイに表示される言語，および単位をマルチインフォメーションメータース

イッチで操作することにより変更することができます。

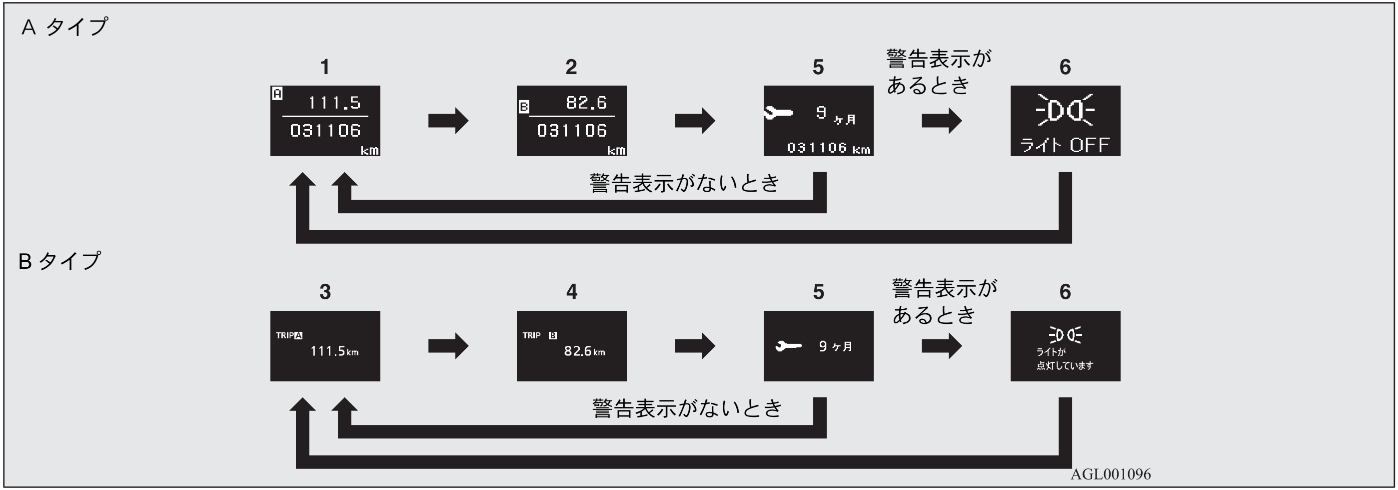


5

インフォメーション画面（エンジンスイッチが LOCK のとき，または電源モードが OFF のとき）

J00607400180

マルチインフォメーションメータースイッチを軽く押すごとにつぎの順で表示画面が切り換わります。

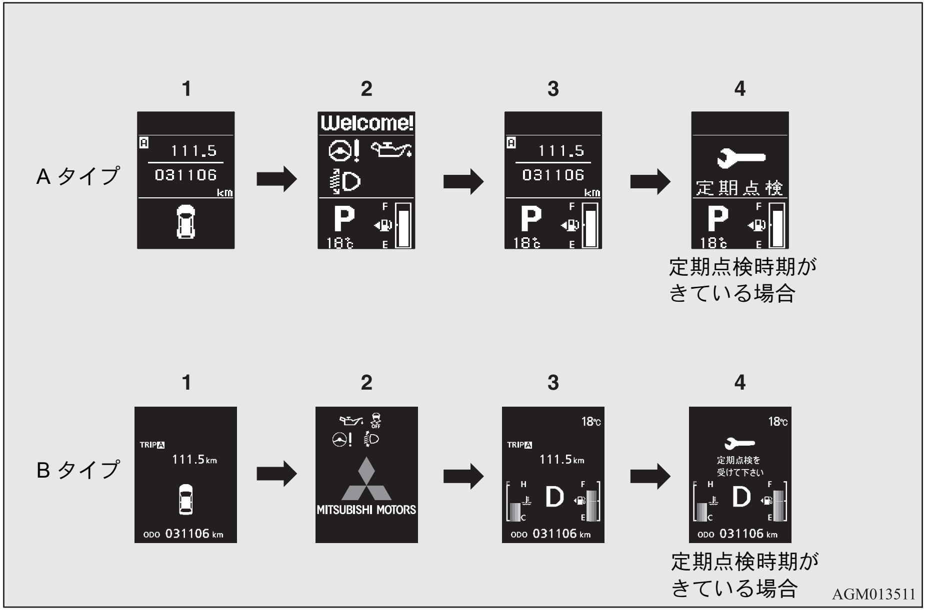


1- オドメーター／トリップメーター A
2- オドメーター／トリップメーター B
3- トリップメーター A
4- トリップメーター B
→「オドメーター」P.5-11,「トリップメーター」P.5-11
5- サービスリマインダー
→ P.5-12
6- 警告表示画面の再表示
→ P.5-8

インフォメーション画面（エンジンスイッチを LOCK から ON にしたとき，または電源モードを OFF から ON にしたとき）

J00607300219

エンジンスイッチを LOCK から ON にする，または電源モードを OFF から ON にすると，つぎの順で表示画面が切り換わります。

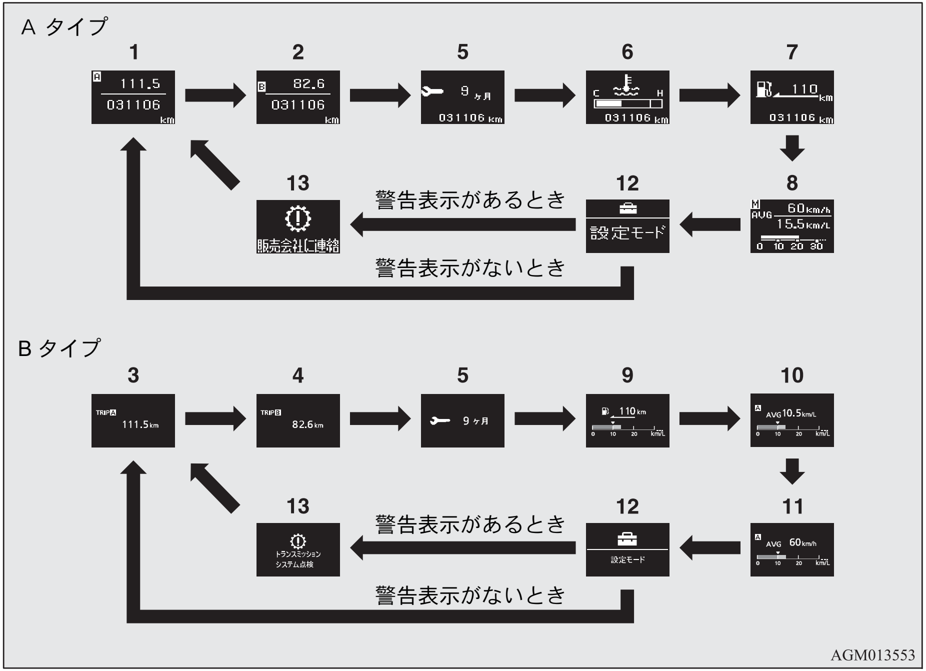


1- エンジンスイッチ LOCK 時画面／電源モード OFF 時画面
2- システムチェック画面 → P.5-13
3- エンジンスイッチ ON 時画面／電源モード ON 時画面
4- サービスリマインダー → P.5-12

インフォメーション画面（エンジンスイッチまたは電源モード ON のとき）

J00608200231

マルチインフォメーションメータースイッチを軽く押すごとにつぎの順で表示画面が切り換わります。



1- オドメーター／トリップメーター A

2- オドメーター／トリップメーター B

3- トリップメーター A

4- トリップメーター B

→「オドメーター」P.5-11

→「トリップメーター」P.5-11

5- サービスリマインダー

→ P.5-13

6- エンジン冷却水温表示

→ P.5-14

7- 航続可能距離表示

8- 平均車速表示・平均燃費表示・瞬間燃費表示

9- 航続可能距離表示・瞬間燃費表示

10- 平均燃費表示・瞬間燃費表示

11- 平均車速表示・瞬間燃費表示
→「航続可能距離表示」P.5-14
→「平均車速表示」P.5-14
→「平均燃費表示」P.5-12
→「瞬間燃費表示」P.5-10

12- 機能設定画面
→ P.5-15

13- 警告表示画面の再表示
→ P.5-8

アドバイス

- 機能設定画面は運転中にマルチインフォメーションメータースイッチで操作しても表示されません。必ず安全な場所に車を止めてから操作してください。
  →「機能設定画面」P.5-15
- 各システムの異常などお知らせしたい情報が発生したとき，音が鳴って表示画面が切り換わります。
  →「割り込み表示画面」P.5-8

割り込み表示画面

J00608300173

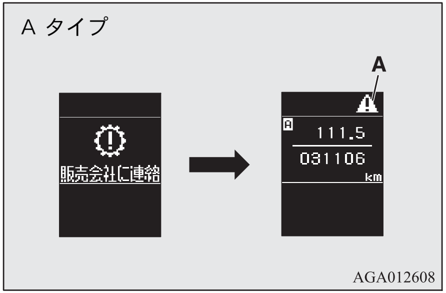
警告表示

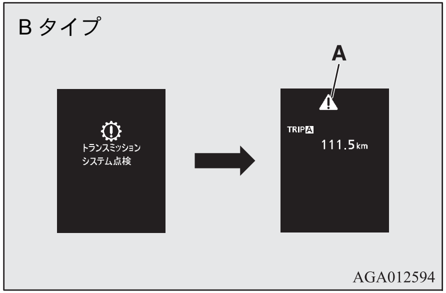
各システムの異常などお知らせしたい情報が発生したとき，音が鳴ってインフォメーション画面が警告表示画面に切り換わります。
警告一覧を参照して必要な処置を行ってください。
→「警告表示一覧」P.5-22

警告表示の要因が解除されると，警告表示は自動的に消えます。

警告表示する前の画面表示に戻すときは

警告表示の要因が解消されなくても，警告表示する前の画面表示に戻すことができます。
マルチインフォメーションメータースイッチを押すと警告表示する前の画面に切り換わり，⚠マーク（A）を表示します。





アドバイス

- 画面右上にまたはマークが表示されている警告表示画面を切り換えることができます。切り換えたいときはつぎの通りマルチインフォメーションメータースイッチを押します。
  - : 軽く押します。
  - : 約 2 秒以上押します。

警告表示画面の再表示

⚠マーク（A）が表示されているときに，マルチインフォメーションメータースイッチを軽く数回押すと，いったん切り換えた警告表示画面を再表示することができます。

その他の割り込み表示

各システムの作動状態をインフォメーション画面に表示します。
詳しくは警告一覧表示の該当ページをお読みください。
→「その他割り込み表示」P.5-28

⚠マーク表示画面

J00608000167

マルチインフォメーションメータースイッチを押して警告表示画面を切り換えると表示されます。
もしくは表示されている以外に警告がある場合にも表示します。

警告表示の要因が解消されると，⚠マークは自動的に消えます。

アドバイス

- ⚠マークが表示されているときにインフォメーション画面に警告表示画面を再表示することができます。
  →「インフォメーション画面（エンジンスイッチがLOCKのとき，または電源モードが OFF のとき）」P.5-4
  →「インフォメーション画面（エンジンスイッチまたは電源モード ON のとき）」P.5-6

半ドア警告表示

J00607800227

A タイプ

B タイプ

いずれかのドアおよびテールゲートが完全に閉められていないときに開いているドアまたはテールゲートを表示します。
エンジンスイッチまたは電源モードが ON のとき，半ドアのまま車速が約 8km/h 以上になるとブザーが 4 回鳴り，半ドアを知らせます。

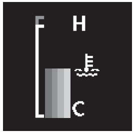
⚠注意

- 走行する前に，警告表示が消灯していることを確認してください。

エンジン冷却水温表示

J00619700018

A タイプ　　B タイプ



エンジン冷却水の温度を示します。

冷却水の温度が高くなると，が点滅します。

水温表示に注意して走行してください。

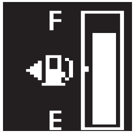
⚠注意

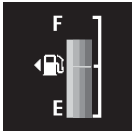
- オーバーヒートしたときにはが点滅表示します。この場合，バーグラフはレッドゾーンにかかっています。
  ただちに安全な場所に車を止め，処置してください。
  →「オーバーヒートしたときは！」P.12-26

燃料残量表示画面

J00608600235

A タイプ　　B タイプ





燃料の残量を表示します。

F- 満タンです
（2WD 車 : 約 63L，4WD 車 : 約 60L）

E- 燃料を補給してください。

⚠警告

- 燃料を入れるときは必ずエンジンを止めてください。たばこ，ライターなど火気は使用しないでください。

⚠注意

- 燃料切れを起こすと触媒装置に悪影響を与えるおそれがあります。警告表示が出たら早めに燃料を補給してください。

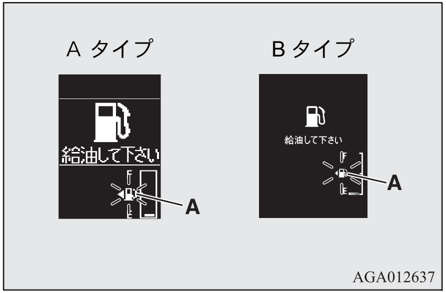
アドバイス

- 燃料補給後，表示が安定するまで少し時間がかかります。

アドバイス

- エンジンスイッチまたは電源モードが ON のまま燃料を補給すると，正しい燃料残量が表示できません。

燃料残量警告表示



燃料が約10L以下になると，インフォメーション画面が燃料残量警告表示の割り込み表示に切り換わり，燃料残量表示の（）マーク（A）がゆっくり（1 秒間に約 1 回）点滅します。

インフォメーション画面の燃料残量警告表示は数秒後にもとの画面に戻ります。

さらに燃料が約 5L 以下になると，インフォメーション画面が燃料残量警告表示に切り換わり，燃料残量表示の（）マーク（A）が早く点滅（1 秒間に約 2 回）します。警告表示が出たら早めに燃料を補給してください。

→「フューエルリッド（燃料補給口）」P.3-38
→「燃料の量と種類」P.13-2

アドバイス

- 坂道やカーブなどでは，タンク内の燃料が移動するため，正しく表示しないことがあります。

フューエルリッド位置表示

フューエルリッド（燃料補給口）が車体の左側についていることを示しています。

→「フューエルリッド（燃料補給口）」P.3-38

ECO（エコ）ランプ（カラーマルチインフォメーションディスプレイ付き車）

J00619800019

燃費に良い運転状態のときに表示されます。

外気温表示画面

J00608500117

車外温度を表示します。

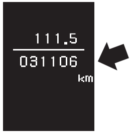
アドバイス

- 表示単位をお好みの設定（℃または°F）に変更することができます。
  →「温度単位の変更」P.5-17
- 走行条件などにより，実際の車外温度と異なった表示をすることがあります。

オドメーター（積算距離計）

J00607500022

A タイプ　　B タイプ



走行した総距離を表示します。

トリップメーター（区間距離計）

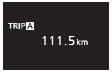
J00607500035

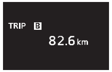
A タイプ

トリップメーター A　トリップメーター B

B タイプ

トリップメーター A　トリップメーター B





2 点間の走行距離を表示します。

＜トリップメーターA, トリップメーターB の使用例＞

トリップメーター A で自宅を出発してからの距離を測りながら，トリップメー

ターBで途中の経由地からの距離を測ることができます。

リセットするときは

表示を 0 に戻すときはマルチインフォメーションメータースイッチを約 2 秒以上押し続けます。この場合，表示されている方だけリセットされます。
＜例＞
トリップメーターAが表示されていれば，トリップメーター A だけリセットされます。

アドバイス

- トリップメーターA, B 共に 9999.9km まで計測することができます。
9999.9km を超えると 0.0km に戻ります。
- バッテリー端子を外すと，トリップメーターの A 表示，B 表示とも記憶が消去され，表示が 0.0km に戻ります。

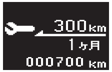
サービスリマインダーについて

J00609800191

新車 1ヶ月点検，新車 6ヶ月点検とその後の 12ヶ月ごとの定期点検までの時期を表示します。点検時期が近づいたときは，"---" を表示して知らせます。

1. つぎの定期点検までの時期を表示します。

A タイプ

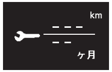


B タイプ

2. 点検時期が近づいたことを知らせます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

A タイプ

B タイプ



このときエンジンスイッチを LOCK から ON，または電源モードを OFF から ON にするとインフォメーション画面に警告表示が数秒間表示されます。

A タイプ

B タイプ

3. 三菱自動車販売会社で点検を受けると，つぎの定期点検までの時期を表示します。

A タイプ

B タイプ

アドバイス

- 距離は100km単位，期間は1ヶ月単位で減少します。
- 新車 6ヶ月点検を過ぎると，期間のみを表示します。
- サービスリマインダーの設定を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

リセットするときは

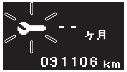
エンジンスイッチが LOCK のとき，または電源モードが OFF のときに，"---" 表示をリセットすることができます。リセットするとつぎの定期点検までの時期を表示し，エンジンスイッチを LOCK から ON にしたとき，または電源モードを OFF から ON にしたときに表示されていた「定期点検」は表示されなくなります。

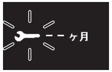
1. マルチインフォメーションメータースイッチを軽く数回押して，インフォメーション画面をサービスリマインダー表示画面に切り換えます。

A タイプ　B タイプ

2. マルチインフォメーションメータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して を点滅表示させます。（点滅中，約 10 秒間何も操作しないともとの表示画面に戻ります。）

A タイプ　B タイプ





3. 点滅中にマルチインフォメーションメータースイッチを軽く押すと “---” が “CLEAR” 表示に変わります。その後，つぎの定期点検までの時期を表示します。

A タイプ　B タイプ

注意

- 日常点検整備と定期点検整備は，お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。
事故や故障を未然に防ぐために必ず実施してください。

アドバイス

- “---” 表示はエンジンスイッチまたは電源モードが ON のときはリセットできません。
- “---”表示後，一定距離および一定期間が経過すると自動的にリセットされてつぎの定期点検までの時期を表示します。
- 誤ってリセットした場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。

システムチェック画面

J00619900010

A タイプ　B タイプ

エンジンスイッチまたは電源モードを ON にすると約 4 秒間システムチェック画面を表示します。異常がなければエンジンスイッチまたは電源モード ON 時画面を表示します。異常があるときは警告表示画面に切り換わります。

→「警告表示一覧」P.5-22

アドバイス

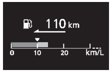
- お客様の装備によりシステムチェック画面表示は異なります。

5

航続可能距離表示

J00620000011

A タイプ　B タイプ



おおよその航続可能距離（あと何 km または何 miles 走行できるか）を表示します。

航続可能距離が約 50km（30miles）未満になると “---” を表示します。

早めに燃料を補給してください。

アドバイス

- 航続可能な距離は，燃費データをもとに割り出しますが，道路状況，運転のしかたなどにより変動しますので表示された値はあくまでも参考としてご利用ください。また，バッテリー端子を外したときは，今までの燃費データが消去され，それまでとは異なった値が表示されることがあります。

アドバイス

- 燃料を補給すると航続可能距離が更新されます。ただし，給油量が少ないと正しい数値が表示されませんので，給油するときはできるだけ満タンにしてください。
- 非常に急な坂道で停車した場合，まれに航続可能距離の値が変動することがあります。これは坂道でタンク内の燃料が移動したためで，故障ではありません。
- 単位表示をお好みの設定（km または miles）に変更することができます。
→「機能設定画面」P.5-15

平均車速表示

J00620100012

A タイプ

B タイプ

リセットしてから現在までの平均車速を表示します。
リセットモードにはマニュアルリセットモードとオートリセットモードの 2 種類があります。
→「平均燃費・平均車速のリセットモードの変更」P.5-16
平均車速表示設定の変更方法は「機能設定画面」をお読みください。→ P.5-15

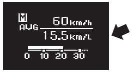
アドバイス

- オートリセットモードおよびマニュアルリセットモードの各モード別に平均車速表示と平均燃費表示をリセットすることができます。
- 平均車速が測定できないときは “---” を表示します。
- 単位表示をお好みの設定（km/h または mph）に変更することができます。
→「機能設定画面」P.5-15
- バッテリーを外すと，オートリセットモードおよびマニュアルリセットモードの平均車速表示の記憶は消去されます。

平均燃費表示

J00620200013

A タイプ



B タイプ

リセットしてから現在までの平均燃費を表示します。
リセットモードにはマニュアルリセットモードとオートリセットモードの 2 種類があります。
→「平均燃費・平均車速のリセットモードの変更」P.5-16
平均燃費表示設定の変更方法は「機能設定画面」をお読みください。→ P.5-15

瞬間燃費計にある▼印は，平均燃費を表します。（B タイプ）

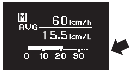
アドバイス

- オートリセットモードおよびマニュアルリセットモードの各モード別に平均車速表示と平均燃費表示をリセットすることができます。
- 平均燃費が測定できないときは “---” を表示します。
- 平均燃費は走行状態（道路状況，運転のしかたなど）により変化します。実際の燃費と表示燃費が異なることがありますので，あくまでも参考としてご利用ください。
- バッテリーを外すと，オートリセットモードおよびマニュアルリセットモードの平均燃費表示の記憶は消去されます。
- 単位表示をお好みの設定｛L/100km，mpg（US），mpg（UK）または km/L｝に変更することができます。
→「機能設定画面」P.5-15

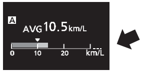
瞬間燃費表示

J00620300014

A タイプ



B タイプ



走行中，バーグラフで瞬間燃費を表示します。
平均燃費より瞬間燃費が上回わると瞬間燃費のバーグラフは緑色で表示されます。（B タイプ）
瞬間燃費が平均燃費を上回るように意識することで燃費の良い運転を心がけることができます。

アドバイス

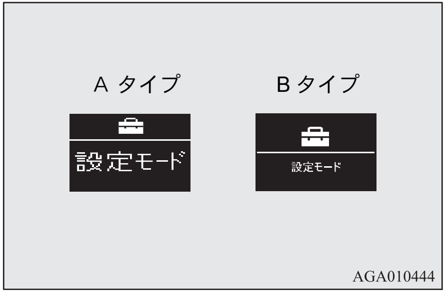
- 瞬間燃費が測定できないときはバーグラフは表示されません。
- 単位表示をお好みの設定｛L/100km，mpg（US），mpg（UK）または km/L｝に変更することができます。
  →「機能設定画面」P.5-15
- バーグラフの緑表示をやめることができます。（B タイプ）
  →「瞬間燃費表示の変更」P.5-19

機能設定画面

J00620400031

「表示言語」，「温度単位」，「燃費単位」，「平均燃費・車速リセット方法」などをお好みの設定に変更することができます。
つぎの手順にしたがって操作してください。

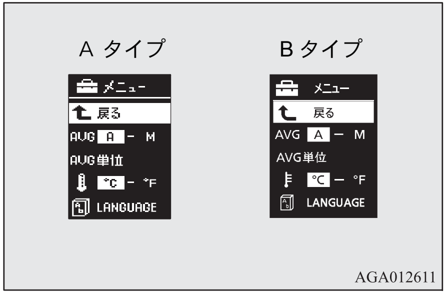
1. 安全な場所に停車します。
   駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れます。
2. マルチインフォメーションメータースイッチを軽く数回押してインフォメーション画面を機能設定画面に切り換えます。
   →「インフォメーション画面」P.5-6



アドバイス

- 安全のため停車してから操作してください。
  走行中にマルチインフォメーションメータースイッチを押しても機能設定画面は表示されません。

3. マルチインフォメーションメータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。



アドバイス

- メニュー画面を機能設定画面に戻すときは再度マルチインフォメーションメータースイッチを長く（約 2 秒以上）押します。
- メニュー画面を表示した後，何も操作をしないで約15秒以上放置すると機能設定画面に戻ります。

4. メニュー画面で変更したい項目を選択し，お好みの設定に変更します。
   詳しい操作方法についてはつぎの項をお読みください。

   →「平均燃費・平均車速のリセットモードの変更」P.5-16

→「燃費表示単位の変更」P.5-16
→「温度単位の変更」P.5-17
→「表示言語の変更」P.5-17
→「操作音の設定」P.5-18
→｛「休憩して下さい」表示が出るまでの時間の変更｝P.5-18
→「出荷時の設定に戻す」P.5-19
→「方向指示音の変更」P.5-18
→「瞬間燃費表示の変更（カラーマルチインフォメーションディスプレイ付き車）」P.5-19

平均燃費・平均車速のリセットモードの変更

J00620600017

平均燃費・平均車速表示のモード条件を「オートリセットモード」または「マニュアルリセットモード」に切り換えることができます。

1. マルチインフォメーションメータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「機能設定画面」P.5-15
2. マルチインフォメーションメータースイッチを軽く押して AVG A - M「AVG（平均燃費・平均車速設定）」を選択します。
3. マルチインフォメーションメータースイッチを長く（約 2 秒以上）押すごとに，A（オートリセットモード）→M（マニュアルリセットモード）→A（オートリセットモード）と切り換わります。選択したモード条件に設定が変更されます。

マニュアルリセットモード

- 平均燃費，平均車速を表示しているときに，マルチインフォメーションメータースイッチを長押しすると，そのときに表示している平均燃費表示，平均車速表示をリセットします。

オートリセットモード

- 平均燃費，平均車速を表示しているときに，マルチインフォメーションメータースイッチを長押しすると，そのときに表示している平均燃費表示，平均車速表示をリセットします。
- エンジンスイッチまたは電源モードがつぎの状態のとき，平均燃費表示または平均車速表示を自動でリセットします。
  [除く，キーレスオペレーションシステム付き車]
  エンジンスイッチが約 4 時間以上 ACC または LOCK の状態
  [キーレスオペレーションシステム付き車]
  電源モードが約 4 時間以上 ACC または OFF の状態

アドバイス

- オートリセットモードおよびマニュアルリセットモードの各モード別に平均車速表示と平均燃費表示をリセットすることができます。
- バッテリーを外すと，オートリセットモードおよびマニュアルリセットモードの平均車速表示，平均燃費表示の記憶は消去されます。

燃費表示単位の変更

J00620700018

燃費の表示単位を切り換えることができます。選択した燃費単位に合わせて，距離，速度，量の単位も合わせて切り換わります。

1. マルチインフォメーションメータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「機能設定画面」P.5-15
2. マルチインフォメーションメータースイッチを軽く押して AVG単位「AVG 単位（燃料表示単位設定）」を選択します。
3. マルチインフォメーションメータースイッチを長く (約 2 秒以上) 押して,「AVG 単位 (燃料表示単位設定)」を表示します。
4. マルチインフォメーションメータースイッチを軽く押して希望の表示を選択します。
5. マルチインフォメーションメータースイッチを長く（約 2 秒以上）押すと選択した単位に設定が変更されます。

アドバイス

- 航続可能距離，平均燃費，平均車速，瞬間燃費の表示単位は切り換わりますが指針（スピードメーター），オドメーター（積算距離計），トリップメーター（区間距離計）の単位は切り換わりません。
- バッテリーを外すと単位設定の記憶は消去され，自動的に km/L に設定されます。

選択した燃費単位に合わせて，つぎの組み合わせで距離・速度の単位も切り換わります。

燃費	距離（航続可能距離）	速度（平均速度）
km/L	km	km/h
L/100km	km	km/h
mpg （US）	mile（s）	mph
mpg （UK）	mile（s）	mph

温度単位の変更

J00620800019

温度の表示単位を切り換えることができます。

1. マルチインフォメーションメータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「機能設定画面」P.5-15
2. マルチインフォメーションメータースイッチを軽く押して °C - °F「(温度単位設定)」を選択します。
3. マルチインフォメーションメータースイッチを長く（約 2 秒以上）押すごとに, °C→ °F→ °C と切り換わります。選択した温度単位に設定が変更されます。

アドバイス

- バッテリーを外すと単位設定の記憶は消去され，自動的に °C に設定されます。

表示言語の変更

J00620900010

マルチインフォメーションディスプレイに表示する言語を切り換えることができます。

1. マルチインフォメーションメータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「機能設定画面」P.5-15
2. マルチインフォメーションメータースイッチを軽く押して LANGUAGE「LANGUAGE（言語設定）」を選択します。
3. マルチインフォメーションメータースイッチを長く (約 2 秒以上) 押して,「LANGUAGE（言語設定）」を表示します。

4. マルチインフォメーションメータースイッチを軽く押して，希望の言語を選択します。
5. マルチインフォメーションメータースイッチを長く（約 2 秒以上）押すと選択した言語に設定が変更されます。

アドバイス

- バッテリーを外すと言語設定の記憶は消去され，自動的に日本語に設定されます。
- 言語設定で “---” を選択すると警告表示や割り込み表示のときに警告メッセージを表示しません。

操作音の設定

J00621000018

マルチインフォメーションメータースイッチ，メーター照度調整ボタンの操作音を鳴らなくすることができます。

1. マルチインフォメーションメータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
→「機能設定画面」P.5-15
2. マルチインフォメーションメータースイッチを軽く押して ON - OFF「(操作音の設定)」を選択します。
3. マルチインフォメーションメータースイッチを長く（約 2 秒以上）押すたびに，ON（操作音あり）→OFF（操作音なし）→ON（操作音あり）と切り換わります。選択した条件に設定が変更されます。

アドバイス

- バッテリーを外すと操作音設定の記憶は消去され，自動的に ON（操作音あり）に設定されます。
- 操作音の設定はマルチインフォメーションメータースイッチ，メーター照度調整ボタンの操作音を消すだけのもので警告表示等の音を消すことはできません。

「休憩して下さい」表示が出るまでの時間の変更

J00621100035

表示が出るまでの時間を変更することができます。

1. マルチインフォメーションメータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
→「機能設定画面」P.5-15
2. マルチインフォメーションメータースイッチを軽く押して アラーム「アラーム（休憩時間の設定）」を選択します。
3. マルチインフォメーションメータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して「アラーム（休憩時間の設定)」を表示します。
4. マルチインフォメーションメータースイッチを軽く押して，表示が出るまでの時間を選択します。
5. マルチインフォメーションメータースイッチを長く（約 2 秒以上）押すと選択した時間に設定が変更されます。

アドバイス

- バッテリーを外すと設定の記憶は消去され，自動的に OFF に設定されます。
- エンジンスイッチまたは電源モードを OFF にすると運転時間はリセットされます。

方向指示音の変更

J00621200036

方向指示器の音色を変更することができます。

1. マルチインフォメーションメータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「機能設定画面」P.5-15
2. マルチインフォメーションメータースイッチを軽く押して 1 − 2「（方向指示音の変更）」を選択します。
3. マルチインフォメーションメータースイッチを長く（約 2 秒以上）押すたびに 1（方向指示音 1）→ 2（方向指示音 2）→ 1（方向指示音 1）と選択した方向指示音に設定が変更されます。

瞬間燃費表示の変更（カラーマルチインフォメーションディスプレイ付き車）

J00621300011

瞬間燃費のバーグラフ表示を変更することができます。

1. マルチインフォメーションメータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「機能設定画面」P.5-15
2. マルチインフォメーションメータースイッチを軽く押して ON − OFF「（瞬間燃費表示の変更）」を選択します。
3. マルチインフォメーションメータースイッチを長く（約 2 秒以上）押すたびに ON（バーグラフ緑表示有り）→ OFF（バーグラフ緑表示無し）→ ON（バーグラフ緑表示有り）と選択したバーグラフ表示に設定が変更されます。

出荷時の設定に戻す

J00621400038

各種機能設定を工場出荷時の設定に戻すことができます。

1. マルチインフォメーションメータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「機能設定画面」P.5-15
2. マルチインフォメーションメータースイッチを軽く押して リセット「リセット（工場出荷時の設定に戻す）」を選択します。
3. マルチインフォメーションメータースイッチを長く（約 5 秒以上）押すと，ブザーが鳴りすべての機能設定が工場出荷時の設定に戻ります。

アドバイス

- 工場出荷時の設定はつぎの通りです
  - 平均燃費・平均車速のリセットモード：A（AUTO リセット）
  - 燃費表示単位：km/L
  - 温度単位：°C（摂氏）
  - 表示言語：日本語
  - 操作音：ON（操作音あり）
  - 「休憩して下さい」表示：OFF
  - 「方向指示音」：方向指示音 1
  - 「瞬間燃費色替え（カラーマルチインフォメーションディスプレイ付き車）」：ON

5

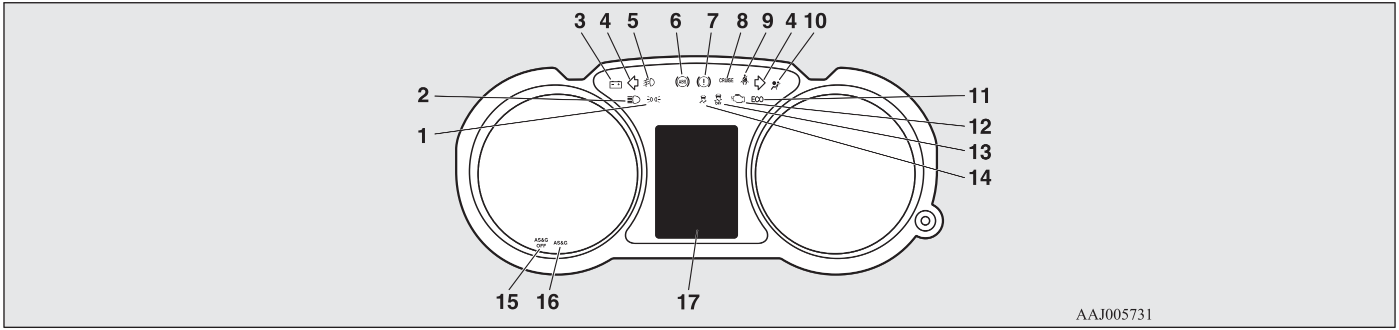
表示灯・警告灯・インフォメーション画面表示一覧

J00601500772

表示灯・警告灯一覧

J00609900466

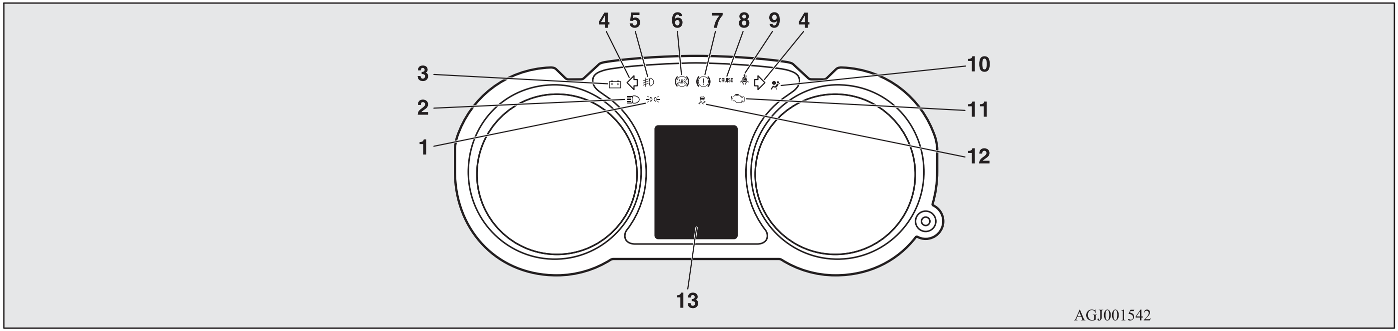
除く，カラーマルチインフォメーションディスプレイ付き車



1- 車幅灯表示灯 → P.5-30
2- ヘッドライト上向き表示灯 → P.5-30
3- 充電警告灯 → P.5-31
4- 方向指示表示灯／非常点滅表示灯 → P.5-30
5- フロントフォグランプ表示灯 タイプ別装備 → P.5-30
6- ABS 警告灯 → P. 6-28
7- ブレーキ警告灯 → P.5-30
8- クルーズコントロール表示灯 タイプ別装備 → P.6-33
9- シートベルト警告灯 → P. 4-11
10- SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯 → P.4-30
11- ECO（エコ）ランプ → P.5-30
12- エンジン警告灯 → P.5-31
13- アクティブスタビリティコントロール (ASC)OFF 表示灯 タイプ別装備 → P.6-31

14- アクティブスタビリティコントロール (ASC) 作動表示灯 [タイプ別装備] → P.6-31
15- オートストップ＆ゴー (AS&G) OFF 表示灯 → P.6-9
16- オートストップ＆ゴー (AS&G) 表示灯 → P.6-12
17- インフォメーション画面表示一覧 → P.5-22

カラーマルチインフォメーションディスプレイ付き車



1- 車幅灯表示灯 → P.5-30
2- ヘッドライト上向き表示灯 → P.5-30
3- 充電警告灯 → P.5-31
4- 方向指示表示灯／非常点滅表示灯 → P.5-30
5- フロントフォグランプ表示灯 [タイプ別装備] → P.5-30
6- ABS 警告灯 → P.6-28
7- ブレーキ警告灯 → P.5-30
8- クルーズコントロール表示灯 [タイプ別装備] → P.6-33
9- シートベルト警告灯 → P.4-11
10- SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯 → P.4-30
11- エンジン警告灯 → P.5-31
12- アクティブスタビリティコントロール (ASC) 作動表示灯 [タイプ別装備] → P.6-31
13- インフォメーション画面表示一覧 → P.5-22

インフォメーション画面表示一覧

J00609400126

ランプ類の消し忘れなどお知らせしたい情報が発生したとき，音が鳴ってつぎの画面に切り換わります。該当ページを参照して必要な処置を行ってください。
警告表示の要因が解消されると，警告表示は自動的に消えます。
→「警告表示一覧」P.5-22
→「その他の割り込み表示」P.5-28

アドバイス

- つぎのようなとき，まれに数秒間，警告ブザーとともにインフォメーション画面に警告を表示することがあります。
  これは，強い電磁波，ノイズ等を受けたことによって起こるもので，機能上の問題はありません。
  - 違法無線や電線の火花，レーダー施設等の非常に強い電磁波を受けたとき
  - 車載電気機器（後付け品含む）の作動時に発生する異常電圧や静電気の放電などがあったとき

  ただし，何回も警告表示したときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

警告表示一覧

J00610001406

画面		要因	処置（参照先）
Aタイプ	**Bタイプ**		
		● 電動パワーステアリングの制御装置に何らかの異常が発生しています。	● できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 「電動パワーステアリング警告表示」 →P.6-30
		● いずれかのドアおよびテールゲートが完全に閉められていません。 開いているドアが表示されています。	● ドアおよびテールゲートを閉めてください。 「半ドア警告表示」 →P.5-9

画面		要因	処置（参照先）
A タイプ	B タイプ		
		● セキュリティーアラームが警報作動しています。	「セキュリティーアラーム」→P.3-28
—		● エンジンイモビライザー（盗難防止装置）に何らかの異常が発生しています。	● 一旦電源モードを OFF に戻し，再度エンジンをかけてください。 警告表示が消えないときは，最寄りの三菱自動車販売会社へご連絡ください。
—		● ハンドルがロックされています。	● エンジンスイッチを押してください。 「エンジンの始動／停止：ハンドルロック」→P.3-13
—		● ハンドルロックに何らかの異常が発生しています。	● ただちに安全な場所に停車し，最寄りの三菱自動車販売会社へご連絡ください。
—		● シフトレバーがⓅ以外の位置にあるときにエンジン停止操作をしています。	● 電源モードを OFF にするときは，シフトバーをⓅに入れてください。 「エンジンの始動／停止：エンジンの止め方」→P.3-13
—		● ハンドルがロックされていない状態で運転席ドアが開いています。	「エンジンの始動／停止：ハンドルロック」 →P.3-13
—		● 電源システムに何らかの異常が発生しています。	● ただちに安全な場所に停車し，最寄りの三菱自動車販売会社へご連絡ください。

5

画面		要因	処置（参照先）
A タイプ	B タイプ		
―		●電源モードが OFF 以外の状態のときに運転席ドアが開いています。	●電源モードを OFF にしてください。 「電源モード OFF 切り換え忘れ防止機構」→P.3-18
―	 	●キーレスオペレーションシステムに何らかの異常が発生しています。	「警告作動について」→P.3-16
―		●キーレスオペレーションキーが検知できません。	●グローブボックス内のキーボックスにキーレスオペレーションキーを差し込んでください。 「キーレスオペレーションキーが正常に作動しないときは (電池切れなど)」→P.3-16
―		●グローブボックス内のキーボックスからキーレスオペレーションキーを抜き忘れています。	●グローブボックス内のキーボックスからキーレスオペレーションキーを抜いてください。
		●エンジンスイッチからキーを抜き忘れています。	●キーを抜いてください。 「キー抜き忘れ防止機構」 →P.3-24

画面		要因	処置（参照先）
A タイプ	B タイプ		
		● ライト類を消し忘れています。	「ヘッドライトオートカット機能（自動消灯）」 →P.5-34
		● ブレーキ液が不足しています。 ● ブレーキ装置に何らかの異常が発生しています。	● ただちに安全な場所に停車し，最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。 「ブレーキ警告表示」 →P.5-31
		● ABS に何らかの異常が発生しています。	● 急ブレーキや高速走行を避け，車を安全な場所に停車して処置を行ってください。 「ABS 警告」→P.6-28
		● エンジンフード（ボンネット）が開いています。	● エンジンフード（ボンネット）を閉めてください。 「エンジンフード（ボンネット）」 →P.3-37
		● オーバーヒートしています。	● 安全な場所に停車し処置を行ってください。「オーバーヒートしたときは！」 →P.12-26
		● オートマチックトランスミッション（CVT）オイルの温度が高くなっています。	「INVECS- Ⅲ CVT」 →P.6-13
		● 電子制御4WD 機構が高温になっています。	「ドライブモードインジケーター」 →P.6-23

5

画面		要因	処置（参照先）
A タイプ	B タイプ		
		●運転席のシートベルトを着用しないままエンジンスイッチまたは電源モードを ON にしています。	●シートベルトを着用してください。 「シートベルト警告」→P.4-11
		●燃料系統に何らかの異常が発生しています。	●三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
		●燃料の残量が少なくなっています。	●早めに燃料を補給してください。 「燃料残量警告表示」→P.5-10
		●駐車ブレーキをかけたまま走行しています。	●駐車ブレーキを解除してください。 「ブレーキ警告表示」→P.5-31
		●エンジンオイルの循環系統に何らかの異常が発生しています。	●ただちに安全な場所に停車し，三菱自動車販売会社へご連絡ください。 「油圧警告表示」 →P.5-32
		●充電系統に何らかの異常が発生しています。	●ただちに安全な場所に停車し，三菱自動車販売会社へご連絡ください。 「充電警告表示」 →P.5-32
		●SRS エアバッグまたはプリテンショナー機構に何らかの異常が発生しています。	●ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 「プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト：SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告」→P.4-14

画面		要因	処置（参照先）
A タイプ	B タイプ		
		● ヘッドライトオートレベリングに何らかの異常が発生しています。	● 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 「ヘッドライト（光軸調整機構付）警告表示」 →P.5-38
		● アクティブスタビリティコントロール（ASC）に何らかの異常が発生しています。	● 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 「ASC 警告表示」→P.6-32
		● ヒルスタートアシストシステムに何らかの異常が発生しています。	● 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 「ヒルスタートアシスト」→P.6-26
		● 電子制御4WD 機構に何らかの異常が発生しています。	● 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 「ドライブモードインジケーター」 →P.6-23
		● CVT に何らかの異常が発生しています。	● ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 「警告表示」→P.6-15
		● 車外温度が 0 °C（32 °F）以下になっています。	● 路面の凍結に注意して走行してください。 ● 警告表示が出ていなくても路面が凍結している場合がありますので走行には気をつけてください。

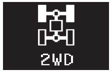
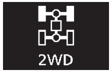
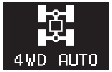
その他の割り込み表示

J00610200355

画面		要因	処置（参照先）
A タイプ	B タイプ		
―		● エンジン始動時にシフトレバーがⓅまたはⓃ以外にあるか，ブレーキペダルが踏まれずにエンジンスイッチが押されています。	● エンジンを始動させるときはシフトレバーをⓅに入れ，ブレーキペダルを踏みながらエンジンスイッチを押してください。 「エンジンの始動／停止」→ P.3-13

5

各システムの作動状態をインフォメーション画面に表示します。
詳しくは各システムの該当ページをお読みください。

画面		システムの作動状態	参照先
A タイプ	B タイプ		
		● アクティブスタビリティコントロール（ASC）が作動したとき	「アクティブスタビリティコントロール（ASC）」→ P.6-30
		● ドライブモードセレクターで「2WD」モードを選択したとき	「電子制御 4WD 機構」→ P.6-22
		● ドライブモードセレクターで「4WD オート」モードを選択したとき	
		● ドライブモードセレクターで「4WD ロック」モードを選択したとき	

定期点検の時期をお知らせします。

画面		処置
A タイプ	B タイプ	
		三菱自動車販売会社で点検を受けてください。詳しくは「サービスリマインダーについて」P.5-12 をお読みください。

休憩時間を設定することができます。

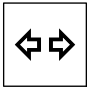
画面		処置
A タイプ	B タイプ	
		安全な場所に停車し，エンジンを止めて休憩してください。 長距離走行の途中で休憩をとるための，目安としてご使用ください。 運転を開始してから表示がでるまでの時間を設定することができます。 → {「休憩して下さい」表示が出るまでの時間の変更} P.5-18 設定した時間が経過すると，表示とブザーで知らせます。その後休憩しないまま運転を続けると，約 5 分ごとにブザーが鳴り，休憩をとるようにうながします。 ● つぎの場合は，運転した時間がリセットされ，もとの表示画面に戻ります。その後，再び設定した時間が経過すると表示とブザーで休憩をとるようにうながします。 • 3 回目のブザーが鳴る • エンジンスイッチまたは電源モードを OFF にする • マルチインフォメーションメータースイッチを長く（約 2 秒以上）押し続ける

表示灯

J00601600151

方向指示表示灯／非常点滅表示灯

J00601700341



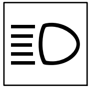
つぎの場合に点滅します。
- 方向指示レバーを操作し，方向指示灯を作動させたとき。
  →「方向指示レバー」P.5-38
- 非常点滅灯スイッチを押し，非常点滅灯を作動させたとき。
  →「非常点滅灯スイッチ」P.5-39
- 走行中に急ブレーキを踏んで，自動的に非常点滅灯が作動したとき。
  →「緊急制動信号システム」P.6-25

アドバイス

- 急ブレーキ以外の操作で点滅が異常に早くなったときは，方向指示灯の球切れが考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ヘッドライト上向き表示灯

J00601800081

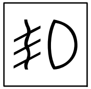


ヘッドライトを上向きにすると点灯します。

フロントフォグランプ表示灯

タイプ別装備

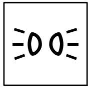
J00601900226



フロントフォグランプを点灯させると表示灯が点灯します。

車幅灯表示灯

J00602100238



車幅灯を点灯させると表示灯が点灯します。

ECO（エコ）ランプ（除く，カラーマルチインフォメーションディスプレイ付き車）

J00620500016

燃費に良い運転状態のときに表示されます。

警告灯

J00602500115

ブレーキ警告灯

J00602600943

エンジンスイッチまたは電源モードを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。
走行する前に，必ず警告灯が消えていることを確認してください。
エンジンをかけても，つぎのようなときは点灯します。
- 駐車ブレーキをかけたままのとき
- ブレーキ液が不足しているとき
- ブレーキ力配分機能の異常

⚠注意

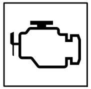
- つぎの場合はブレーキの効きが悪くなったり，急ブレーキをかけたとき車体姿勢が不安定になるおそれがありますので，急ブレーキや高速走行を避けただちに車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へご連絡ください。
  - 駐車ブレーキをかけても点灯しないときや戻しても消灯しないとき。
  - 走行中ブレーキ警告灯が点灯したまま消灯しないとき。

⚠注意

- ・ブレーキ警告灯と ABS 警告灯が同時に点灯したとき。
  →「走行中に警告を表示したときは：ABS 警告とブレーキ警告を表示したときは」P.6-29
- ブレーキの効きが悪い場合はつぎの処置により車を止めてください。
  - ・ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。
    ブレーキペダルが奥まで踏み込まれた状態になることがありますが，そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
  - ・万一，ブレーキが効かないときは，エンジンブレーキでスピードを落としてから駐車ブレーキを慎重にかけてください。
    このとき後続車に注意をうながすため，ブレーキペダルを踏んでストップランプを点灯させてください。

エンジン警告灯

J00602700654



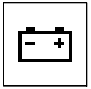
エンジン制御システム，または CVT 制御システムに異常があると点灯または点滅します。
正常なときはエンジンスイッチまたは電源モードを ON にすると点灯し，エンジンをかけると消灯します。

⚠注意

- エンジン回転中に点灯したときは，高速走行を避けてできるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。走行中はアクセルペダルを踏んでもスピードが出なくなることがあります。停車時はアイドリング回転数が高くなり，クリープ現象が強くなることがあるため，しっかりとブレーキペダルを踏んでください。

充電警告灯

J00602800310



充電系統に異常があると点灯します。また，マルチインフォメーションディスプレイにも警告表示します。
正常なときはエンジンスイッチまたは電源モードを ON にすると点灯し，エンジンをかけると消灯します。

⚠注意

- エンジン回転中に点灯したときは，ただちに安全な場所に停車し，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

インフォメーション画面表示

J00608900049

ブレーキ警告表示

J00609001334

警告表示 A タイプ

警告表示 B タイプ

駐車ブレーキをかけたまま走行すると警告表示します。また，メーター内の警告灯は駐車ブレーキをかけているだけで点灯します。

⚠注意

- 駐車ブレーキをかけたまま運転するとブレーキが過熱し，ブレーキの効きが悪くなるとともにブレーキが故障する原因になります。
  警告表示がでたときは駐車ブレーキを解除してください。

警告表示 A タイプ

警告表示 B タイプ

エンジンスイッチまたは電源モードが ON のときにブレーキ液が不足していると警告表示します。
またメーター内の警告灯も点灯します。

⚠注意

- 走行中，警告表示したまま消灯しないときはブレーキの効きが悪くなるおそれがありますので，ただちに車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へご連絡ください。
- ブレーキ警告表示がブレーキ警告灯，ABS 警告灯と同時に警告表示したときは，ブレーキ力の配分機能も作動しないことがあるため，急ブレーキをかけたときに車体姿勢が不安定になるおそれがあります。急ブレーキや高速走行を避け，ただちに車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へご連絡ください。
- ブレーキの効きが悪い場合はつぎの処置により車を止めてください。
  - ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。
    ブレーキペダルが奥まで踏み込まれた状態になることがありますが，そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
  - 万一，ブレーキが効かないときは，エンジンブレーキでスピードを落としてから駐車ブレーキを慎重にかけてください。
    このとき後続車に注意をうながすため，ブレーキペダルを踏んでストップランプを点灯させてください。

充電警告表示

J00609200153

警告表示
A タイプ

警告表示
B タイプ

充電系統に異常があるとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示します。また，メーター内の警告灯も点灯します。

⚠注意

- エンジン回転中に警告表示したときは，ただちに安全な場所に停車し，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

油圧警告表示

J00609300154

警告表示
A タイプ

警告表示
B タイプ

エンジン回転中，エンジンオイルの圧力が低下するとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示します。

⚠注意

- エンジンオイルが不足したまま運転したり，エンジンオイルの量が正規であっても警告表示したままで運転するとエンジンが焼き付き，破損するおそれがあります。
- エンジンの回転中に警告表示したときは，ただちに安全な場所に停車しエンジンを止め，エンジンオイルの量を点検してください。
  (点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。)
- エンジンオイル量が正常で警告表示したときは，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

アドバイス

- 油圧警告表示はオイル量を示すものではありません。オイル量の点検は必ずオイルレベルゲージで行ってください。

ライトスイッチ

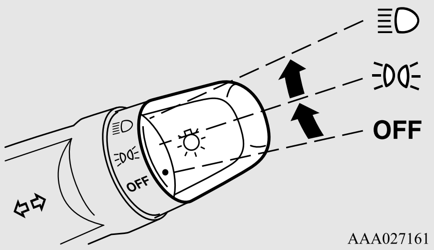
J00604001065

手動で使うときは

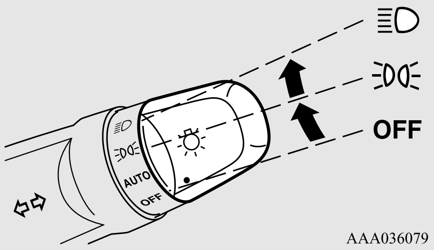
エンジンスイッチまたは電源モードの状態に関係なく使用できます。
レバー先端のツマミを回すと下表の○印のランプが点灯します。

ツマミの位置		
ヘッドライト	○	—
車幅灯	○	○
尾灯	○	○
番号灯	○	○
計器類照明灯	○	○

オートライトコントロールなし



オートライトコントロール付き



注意

- 点灯中および消灯直後は，レンズの表面が高温になっているため触らないでください。やけどをするおそれがあります。

アドバイス

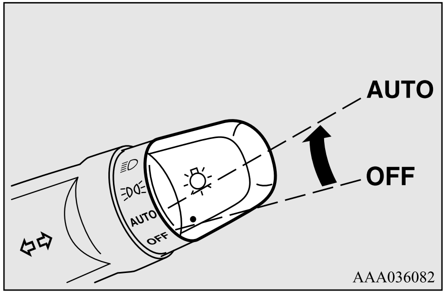
- 雨の日や洗車後などにレンズ内側が曇ることがあります。これは湿気の多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で，機能上の問題はありません。ランプを点灯すると熱で曇りは取れます。ただし，ランプ内に水がたまっているときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

5

自動で使うときは（オートライトコントロール）

タイプ別装備

エンジンスイッチまたは電源モードがONのときに使用できます。レバー先端のツマミをAUTO位置にすると，車外の明るさに応じてヘッドライト，車幅灯，尾灯，番号灯などが自動的に点灯・消灯します。
エンジンスイッチまたは電源モードをOFFにすると自動的に消灯します。

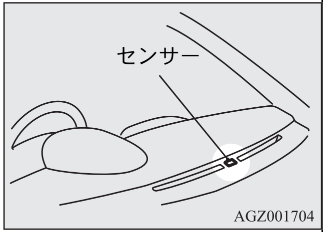


アドバイス

- 自動点灯センサーの感度を調整することができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- フロントフォグランプ付き車は, AUTOの位置でフロントフォグランプが点灯しているとき, エンジンスイッチまたは電源モードを OFF にすると, フロントフォグランプも自動消灯します。

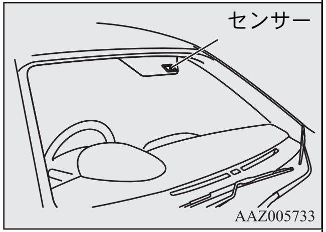
アドバイス

- 除く, レインセンサー付き車は自動点灯・消灯装置のセンサーの上には物を置いたり, ガラスクリーナーなど吹きかけないでください。
  センサーが車外の明るさを検知できなくなり, ライトが自動に点灯・消灯しなくなるおそれがあります。



アドバイス

- レインセンサー付き車は, フロントガラスにステッカーやラベルを貼ってセンサーを覆わないでください。
  センサーが車外の明るさを検知できなくなり, ライトが自動に点灯・消灯しなくなるおそれがあります。



  フロントガラスの交換・センサー付近のガラス補修をするときは, 三菱自動車販売会社にご相談ください。
- AUTO の位置で点灯・消灯しないときは, 手動スイッチを操作し, 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ヘッドライト [*1] オートカット機能（自動消灯）

J00606000958

[*1] ヘッドライトやフォグランプなどの車外照明

● ライトスイッチが≣Dまたは≡D0≡の位置でも，エンジンスイッチまたは電源モードを OFF にし，運転席ドアを開くと，ランプ類が自動的に消灯します。

[キーを使ってエンジンをかけているとき]

- キーを抜き運転席ドアを開いた場合は，ブザーが鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。
- キーを差したまま運転席ドアを開いた場合は，ブザーが断続的に鳴り，キーの抜き忘れを知らせます。

[キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているとき]

- 電源モードを OFF にして運転席ドアを開いた場合は，ブザーが鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。
- 電源モードが OFF 以外のときに運転席ドアを開いた場合は，ブザーが断続的に鳴り，電源モードの戻し忘れを知らせます。

● ライトスイッチが≣Dまたは≡D0≡の位置でも，エンジンスイッチまたは電源モードを OFF にし，運転席ドアを開かないまま約 3 分たつとランプ類が自動的に消灯します。

降車後，照明として利用するときは

降車後も約 3 分間ランプ類を点灯させておくことができます。

1. ライトスイッチを OFF にし，エンジンスイッチを LOCK に，または電源モードを OFF にします。
   さらに，キーを使ってエンジンをかけているときはエンジンスイッチからキーを抜きます。
2. ライトスイッチを≣Dの位置にし, 降車します。

アドバイス

● ライトスイッチを≡D0≡位置にすると降車後照明として利用できません。（自動消灯せず通常通り，ランプ類が点灯し続けます。）

● キーを使ってエンジンをかけているときは，運転席から降車するときキーが抜かれていればライト消し忘れ警告ブザーが鳴り，キーが差さっていればキー抜き忘れ警告ブザーが鳴りますが，ドアを閉じれば止まります。（マルチインフォメーションディスプレイ内にも警告表示します。）

アドバイス

● キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているときは，運転席から降車するとき電源モードが OFF のときはライト消し忘れ警告ブザーが鳴り，OFF 以外のときはエンジンスイッチ戻し忘れ警告ブザーが鳴りますが，ドアを閉じれば止まります。（マルチインフォメーションディスプレイ内にも警告表示します。）

3. 約 3 分後にランプ類が自動消灯します。

アドバイス

● つぎの機能を変更することができます。

- ライトスイッチが≡D0≡位置でも降車後照明として利用できるようにする。
- ランプ類のオートカット機能を働かなくする。

詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

5

ライト消し忘れブザー

J00606100281

キーを使ってエンジンをかけているとき

ライトスイッチが≣Dまたは≡D0≡の位置のままでキーを抜き，運転席のドアを開くと，ブザーが鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。

キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているとき

ライトスイッチが≣Dまたは≣D≣の位置のままで電源モードをOFFにして運転席のドアを開くと，ブザーが鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。

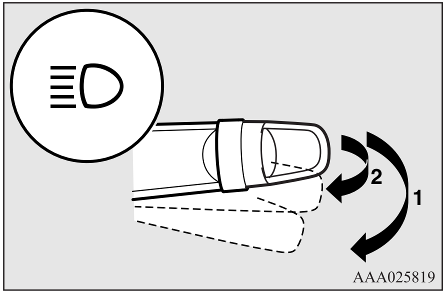
5

どちらのときも，ヘッドライトオートカット機能が働く，ライトスイッチをOFF にする，またはドアを閉じればブザーは止まります。

上下切り換え

J00606200497

レバーを（1）まで引くたびにヘッドライトの照らす方向が上向き，下向きと交互に切り換わります。
レバーを（2）まで軽く引くと，引いている間ヘッドライトが上向きになり，メーター内の表示灯も点灯します。



AAA025819

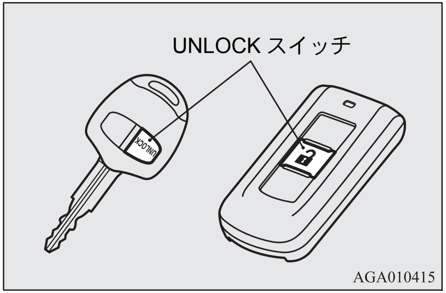
アドバイス

- ライトスイッチが OFF 位置でも，レバーを（2）まで軽く引いている間ヘッドライトが上向きで点灯します。
- ヘッドライトを上向きにしたまま戻し忘れても，次回ライトスイッチを≣Dの位置にすると必ず下向きで始まります。

ウェルカムライト

J00618800230

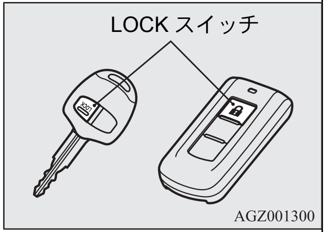
ライトスイッチがOFFまたはAUTO（オートライト付き車）の位置のとき，キーレスエントリーキーまたはキーレスオペレーションキーのUNLOCKスイッチを押すと，車幅灯が約 30 秒間点灯します。
オートライト付き車は，車外が暗いときのみ点灯します。



AGA010415

アドバイス

- ウェルカムライトが作動中に，つぎの操作を行うとウェルカムライトが停止します。
  - キーレスエントリーキーまたはキーレスオペレーションキーのLOCKスイッチを押したとき



AGZ001300

  - ライトスイッチを≣D≣または≣Dの位置にしたとき
  - エンジンスイッチまたは電源モードを ON の状態にしたとき

アドバイス

- つぎの通り機能を変更することができます。
  - ・ヘッドライト（ロービーム）の点灯を追加する。
  - ・ウェルカムライトを働かなくする。

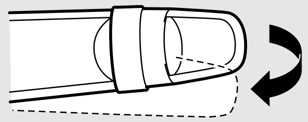
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

カミングホームライト

J00618900228

エンジンスイッチを LOCK に，または電源モードを OFF にした後, 約 30 秒間ヘッドライト (ロービーム) を点灯させておくことができます。

1. ライトスイッチを OFF または AUTO（オートライト付き車）の位置にします。
2. エンジンスイッチを LOCK に, または電源モードを OFF にします。さらに, キーを使ってエンジンをかけているときはエンジンスイッチからキーを抜きます。
3. エンジンスイッチを LOCK に, または電源モードを OFF にしてから約 60 秒以内に，方向指示レバーを手前に引きます。



AFA007258

4. ヘッドライト (ロービーム) が約 30 秒間点灯します。消灯した後，再度約 30 秒間点灯させたい場合は，エンジンスイッチを LOCK に, または電源モードを OFF にしてから約 60 秒以内のときは，レバーを手前に引いてください。また，約 60 秒以上のときは，手順 1 から操作してください。

アドバイス

- カミングホームライトが作動中に，つぎの操作を行うとカミングホームライトが停止します。
  - ・レバーを手前に引いたとき
  - ・ライトスイッチを または の位置にしたとき

アドバイス

  - ・エンジンスイッチまたは電源モードを ON の状態にしたとき
- つぎの機能を変更することができます。
  - ・ヘッドライトの点灯時間を調整する。
  - ・カミングホームライトを働かなくする。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

5

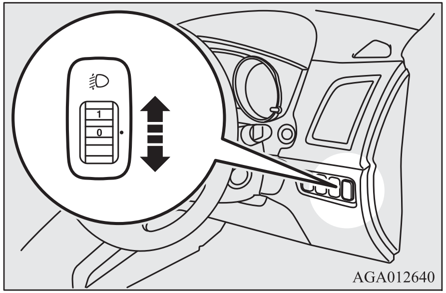
ヘッドライトレベリング

J00604100867

ヘッドライトレベリングダイヤル

除く, ディスチャージヘッドライト付き車

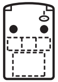
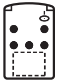
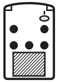
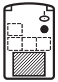
ヘッドライトの照らす方向（光軸）は，乗員の人数や荷物の重さなどによって変化します。人や荷物をのせて，ヘッドライトの光軸がいつもより上向きになった場合は，ダイヤルを回してヘッドライトの光軸を下向きに調整します。ダイヤルの数字が大きくなるほど下向きになります。



乗員の人数や荷物の重さに応じて下記の表を目安にダイヤル位置を調整してください。
人や荷物を降ろした後は，必ずダイヤルを “0” の位置に戻してください。

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。
  走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

乗員やラゲッジコンパートメントの積載状態		ダイヤル位置
	運転席乗車時 運転席 + 助手席乗車時	0
	全席乗車時	1
	全席乗車時 + ラゲッジコンパートメント最大積載時	2
	運転席乗車時 + ラゲッジコンパートメント最大積載時	3

アドバイス

- 車検等で光軸調整をするときは，ダイヤルを “0” の位置（光軸が一番上向きの位置）にしてから行ってください。

ヘッドライトオートレベリング

J00610400168

ディスチャージヘッドライト付き車

乗員の人数や荷物の重さなどによる車両姿勢の変化に応じて，ヘッドライトの照らす方向（光軸）を自動的に調整する装置です。
エンジンスイッチまたは電源モードが ON のときにヘッドライトが点灯すると，停車時にヘッドライトの光軸を自動的に調整します。

ヘッドライト（光軸調整機構付）警告表示

警告表示 A タイプ

警告表示 B タイプ

ヘッドライトオートレベリングに何らかの異常があるとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示します。

⚠注意

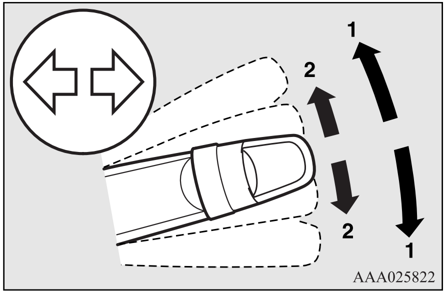
- 警告表示したときは装置の故障が考えられますので，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

方向指示レバー

J00604200998

エンジンスイッチまたは電源モードが ON のときにレバーを（1）まで操作する

と，方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。
レバーはハンドルを戻すと自動的に戻ります。ゆるいカーブなどで戻らないときは手で戻してください。
車線変更などのときは，レバーを（2）まで軽く操作すると操作している間だけ方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。また，レバーを（2）まで軽く操作し，すぐ離すと 3 回，方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。



1- 方向指示
2- 車線変更

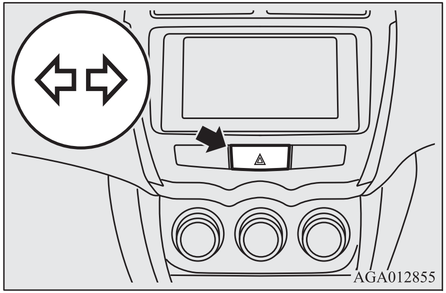
アドバイス

- 点滅が異常に早くなったときは，方向指示灯の球切れが考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- つぎの機能を変更することができます。
  - エンジンスイッチまたは電源モードが ON または ACC のときにレバーを操作すると，方向指示灯とメーター内の表示灯を点滅させる。
  - 車線変更時，方向指示灯の 3 回点滅機能を働かなくする。
  - 車線変更時，方向指示灯の 3 回点滅機能のレバー操作時間を調整する。
- 方向指示器の音色を変更することができます。
  →「方向指示音の変更」P.5-18
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

非常点滅灯スイッチ

J00604300713

故障したときなど，やむを得ず路上に車を止めたいときに使用します。
スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅し，メーター内の表示灯も点滅します。もう一度押すと消灯します。



アドバイス

- エンジンがかかっていないときに長時間使用するとバッテリーが上がり，エンジンがかからなくなることがあります。
- スイッチを押して非常点滅灯を点滅させているときは，緊急制動信号システムは作動しません。
  →「緊急制動信号システム」P.6-25

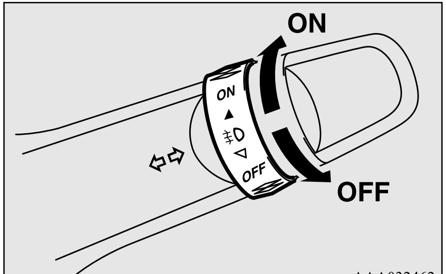
フロントフォグランプスイッチ

タイプ別装備

J00604500454

霧の出ているとき，雨や雪などの降る夜間など視界が悪いときに使用します。
ヘッドライトまたは尾灯が点灯しているときにノブを上に回すと，フロントフォグランプが点灯し，メーター内の表示灯

も点灯します。消灯するときはノブを下に回します。



AAA032462

アドバイス

- ヘッドライトと尾灯が消灯すると，フロントフォグランプも自動消灯します。
  再度点灯させたいときは，ヘッドライトまたは尾灯が点灯しているときに，もう一度ノブを上に回します。

ワイパー／ウォッシャースイッチ

J00604800936

⚠注意

- 寒冷時にウォッシャーを使用するとガラスに噴きつけられたウォッシャー液が凍結し，視界を妨げることがあります。ウォッシャー使用前にヒーターやリヤウインドウデフォッガーを使って，ガラスを暖めてください。

アドバイス

- ガラスがほこりや泥で汚れているときは，洗車するかウォッシャー液を噴射してからワイパーを使用してください。
  汚れたままでワイパーを動かすとガラスに傷がつくことがあります。
- ウォッシャー液が出ないとき，ウォッシャースイッチを操作し続けるとポンプが故障するおそれがあります。ウォッシャー液量やノズルのつまりを点検してください。
  →「ウォッシャー液の点検・補給」P.10-2

アドバイス

- 凍結などでワイパーブレードがガラスに張り付いたまま作動させないでください。ガラスに張り付いたまま作動させるとワイパーブレードを傷めたり，ワイパーモーターが故障するおそれがあります。
  凍結のおそれがあるときや長時間ワイパーを使用しなかったときは，ワイパーブレードがガラスに張り付いていないことを確認してください。
- ワイパーを作動中，積雪等によりワイパーブレードが途中で止まったときはワイパースイッチをOFFにしてもモーターに電流が流れておりエンジンスイッチをLOCKに，または電源モードをOFFにしないとモーターが焼き付くことがあります。必ず車を安全な場所に止めてエンジンスイッチをLOCKに，または電源モードをOFFにし，ワイパーブレードが作動できるように積雪等を取り除いてください。

フロントワイパースイッチ

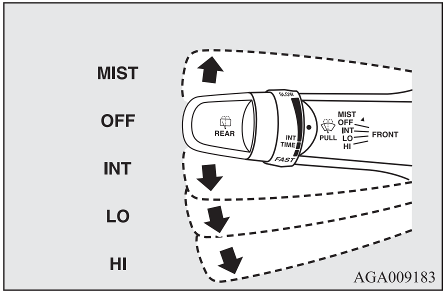
J00615400310

アドバイス

- 後方の視界を確保するため，フロントワイパーが作動中にセレクターレバーを Ⓡ に入れると，リヤワイパーが自動的に数回作動します。
  →「リヤワイパー / ウォッシャースイッチ」P.5-44

除く，レインセンサー付き車

エンジンスイッチまたは電源モードが ON または ACC のときに使用できます。



AGA009183

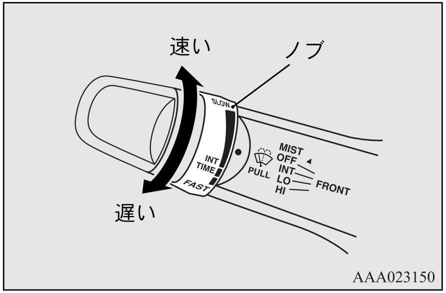
MIST	1 回作動（ワイパーミスト機能）
OFF	停止
INT	間けつ作動（車速感応） 車速に応じてワイパーが間けつ作動します。 車速が速くなると間けつ時間が短くなります。
LO	低速作動
HI	高速作動

アドバイス

- 車速感応の機能を働かなくすることができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

間けつ時間の調整のしかた

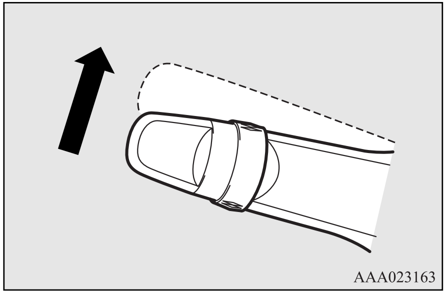
レバーが INT（間けつ作動）位置のときにノブを回すと間けつ時間を調整できます。



AAA023150

ワイパーミスト機能

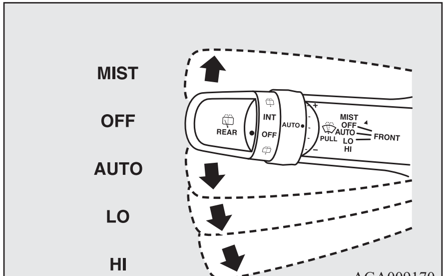
レバーを MIST 位置に上げて離すとワイパーが 1 回だけ作動します。霧雨のときなどにご使用ください。レバーを MIST 位置に上げている間はワイパーが連続作動します。


AAA023163

レインセンサー付き車

エンジンスイッチまたは電源モードが ON または ACC のときに使用できます。

5



AGA009170

MIST	1 回作動 （ワイパーミスト機能）
OFF	停止
AUTO	自動作動（雨滴感応） 雨の程度に応じて, 自動的にワイパーが作動します。
LO	低速作動
HI	高速作動

アドバイス

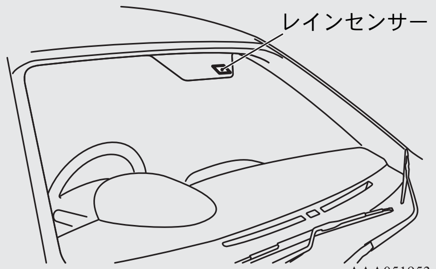
- つぎの機能を変更することができます。
  - 自動作動（雨滴感応）を間欠作動（車速感応）に 変更する。
  - 自動作動（雨滴感応）を間欠作動（除く車速感応）に変更する。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

レインセンサー

エンジンスイッチまたは電源モードが ON のときに使用できます。レバーを AUTO の位置にすると，雨の程度（雪やその他の液体，ほこりなどを含む）をレインセンサーが感知し，ワイパーが自動作動します。

ただし，つぎのような場合，フロントガラスに傷がついたり，ワイパーブレードを傷めるおそれがありますので，レバーを OFF の位置にしてください。

- 晴れた日が続き，フロントガラスが汚れているとき
- 空気が乾燥し，フロントガラスが汚れているとき



AAA051953

⚠注意

- エンジンスイッチまたは電源モードが ON の位置で，レバーが AUTO の位置のとき，つぎのような場合，ワイパーが自動作動することがあります。
  手や指をはさむと，けがをしたり，ワイパーを損傷するおそれがありますのでエンジンスイッチを LOCK に，または電源モードを OFF にするか，レバーを OFF にして，レインセンサーを停止するよう注意してください。
  - フロントガラス掃除の際，レインセンサーをフロントガラス越しに触れたとき。
  - フロントガラス掃除の際，レインセンサーをフロントガラス越しに拭いたとき。
  - 自動洗車機を使用するとき。
  - フロントガラスに衝撃を与えたとき。
  - レインセンサーに衝撃を与えたとき。

アドバイス

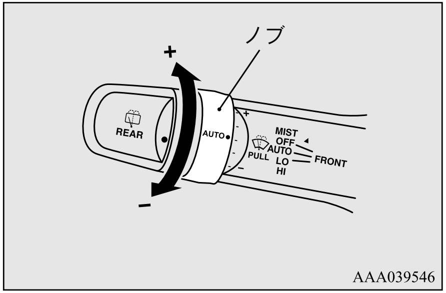
- ワイパーのゴム部分を保護するため，エンジン始動後，車両を止めた状態で，外気温が低いとき（約 0°C 以下のとき）ワイパーは作動しません。

アドバイス

- フロントガラスにステッカーやラベルを貼ってセンサーを覆わないでください。また，フロントガラスにコーティングをしないでください。センサーが雨を検知できなくなり，ワイパーが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- つぎのような場合は，レインセンサーの故障が考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - 雨の程度が変化しているにもかかわらず，ワイパーが一定間隔作動しているとき。
  - 雨が降っているにもかかわらず，ワイパーが 動 かないとき。
- レインセンサー上部のウインドウガラスに虫や異物などが付着したり，ウインドウガラスが凍結しているときは，ワイパーが自動的に作動することがあります。
  ワイパーでフロントガラスの付着物を取り除けないときは，ワイパーが自動的に停止します。ワイパーを作動させたいときは，レバーを LO または HI の位置にしてください。
  また，強い直射日光や電磁波等の原因によってもワイパーが自動的に作動することがあります。ワイパーを停止させたいときは，レバーを OFF の位置にしてください。
- フロントガラスの交換・センサー付近のガラス補修をするときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

雨滴感応の調整のしかた

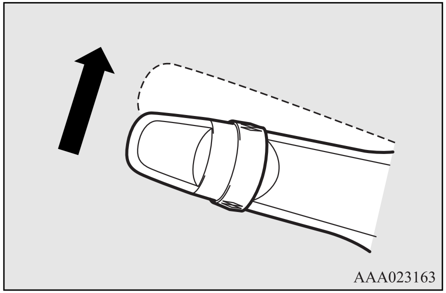
レバーが AUTO の位置のときに，ノブを回すとレインセンサーの感度を調整できます。



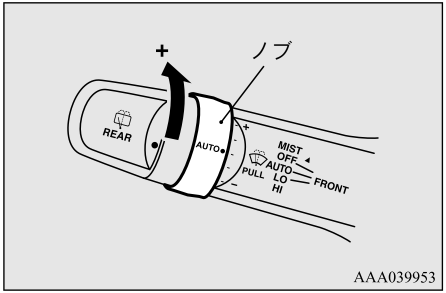
+　高感度（雨に反応しやすい）
-　低感度（雨に反応しにくい）

ワイパーミスト機能

つぎのようにレバーまたは，ノブを操作するとワイパーが 1 回だけ作動します。霧雨のときなどにご使用ください。
エンジンスイッチまたは電源モードが ON または ACC のときにレバーを MIST 位置に上げて離すとワイパーが 1 回だけ作動します。
レバーを MIST 位置に上げている間はワイパーが連続作動します。



エンジンスイッチまたは電源モードが ON のとき，レバーを AUTO の位置にして，ノブを + 側に回すとワイパーが 1 回作動します。



5

フロントウォッシャースイッチ

J00604900823

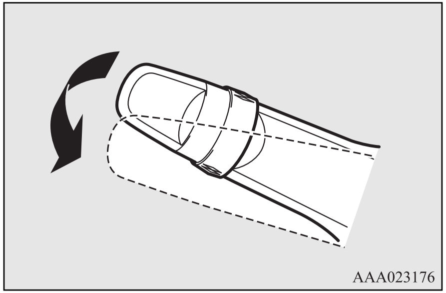
エンジンスイッチまたは電源モードがONまたはACCのときに使用できます。

レバーを手前に引いている間，ウォッシャー液が噴射します。

ワイパーが作動していないときや間けつ作動中にウォッシャー液を噴射するとワイパーが数回作動します。さらに約 6 秒後にワイパーがもう 1 回作動します。

また，レバーを手前に引いてすぐに離すと，自動的にウォッシャー液を数回に分けて噴射しながらワイパーが数回作動します。（インテリジェントウォッシャー）さらに約 6 秒後にワイパーがもう 1 回作動します。

ワイパー作動中にレバー操作すると，インテリジェントウォッシャーは停止します。



アドバイス

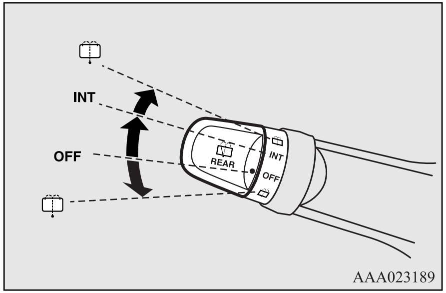
- ワイパーを作動させずにウォッシャー液を噴射するときは，レバーを手前に引いた状態でエンジンスイッチまたは電源モードを ON または ACC にするとワイパーは連動せず，ウォッシャー液のみが噴射します。
- つぎの機能を変更することができます。
  - ウォッシャー液を噴射しても常時ワイパーを連動させないようにする。
  - インテリジェントウォッシャーを働かなくする。
  - 約6秒後にワイパーがもう1回作動する機能を働かなくする。

  詳しくは三菱販売会社にご相談ください。

リヤワイパー／ウォッシャースイッチ

J00605000951

エンジンスイッチまたは電源モードがONまたはACCのときに使用できます。



レバー先端のツマミを回すとつぎの通り作動します。

INT　間けつ作動
数回作動し，その後約 8 秒おきに作動

OFF　停止

（ウォッシャー記号）　この位置に回している間，ウォッシャー液を噴射。同時にワイパーが数回作動。

アドバイス

- フロントワイパーまたはリヤワイパーが作動中にセレクターレバーをⓇに入れると，リヤワイパーが自動的に数回作動します。（自動作動モード）
  リヤワイパーは自動的に作動した後，レバー先端のツマミがOFF位置にあれば停止し，INT 位置にあれば間けつ作動に戻ります。
  また，リヤワイパーが INT 位置で作動中にセレクターレバーをⓇに入れるときだけ 自動作動モードが作動するように変更すること ができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- ワイパーを作動させずウォッシャー液を噴射するときは，レバー先端のツマミをの位置に回した状態でエンジンスイッチまたは電源モードをONまたはACCにするとワイパーは連動せず，ウォッシャー液のみが噴射します。
- レバー先端のツマミがOFF位置にあるとき，約 1 秒以内に INT 位置に 2 回繰り返し回して INT 位置で止めると，リヤワイパーが連続作動します。（連続作動モード）
  ツマミをOFFの位置にすると連続作動は止まります。
- つぎの機能を変更することができます。
  - ワイパーの間けつ作動時間を調整する。
  - ウォッシャー液を噴射しても常時ワイパーを連動させない。

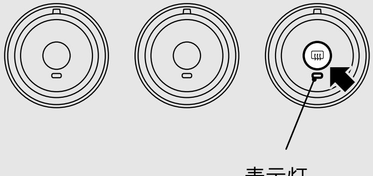
アドバイス

詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ

J00605501823

リヤガラスにプリントされた電熱線でガラスを暖めて曇りを取ると同時に，ガラス表面の霜や氷を取り除きやすくします。
エンジンがかかっているときにスイッチを押すと作動し，表示灯が点灯します。
もう一度押すとスイッチが切れます。
スイッチを押すたびに音が鳴ります。



AFA008532

デフォッガースイッチを押すと同時にドアミラーの曇りも取ることができます。
→「ヒーテッドドアミラー」P.6-5

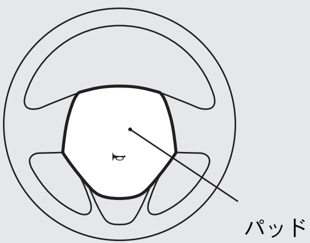
アドバイス

- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたらスイッチを切ってください。
  万一，スイッチを切り忘れても約 20 分後に自動的に切れます。
- リヤガラス付近に物を置かないでください。車の振動で物が当たると電熱線が切れることがあります。
- リヤガラスの内側を清掃するときは，電熱線を傷つけないように柔らかい布を使い電熱線に沿ってふいてください。

ホーンスイッチ

J00605600612

ハンドルのパッドを押すとホーン（警音器）が鳴ります。



AAA053784

5

運転装置

駐車ブレーキ 6-2
チルト・テレスコピックステアリング 6-3
ルームミラー 6-3
ドアミラー 6-4
サイドアンダーミラー 6-5
エンジンスイッチ 6-6
エンジンのかけ方 6-7
オートストップ & ゴー (AS&G) 6-9
CVT 6-13
CVT 車の運転のしかた 6-19
電子制御 4WD 機構 6-22
4WD 車の上手な運転 6-24
4WD 車取り扱い上の注意 6-24
緊急制動信号システム 6-25
ヒルスタートアシスト 6-26
ブレーキアシスト 6-27
アンチロックブレーキシステム（ABS） 6-27
電動パワーステアリング 6-29
アクティブスタビリティコントロール（ASC） 6-30
クルーズコントロール（自動定速走行装置） 6-32
リヤビューカメラ 6-36

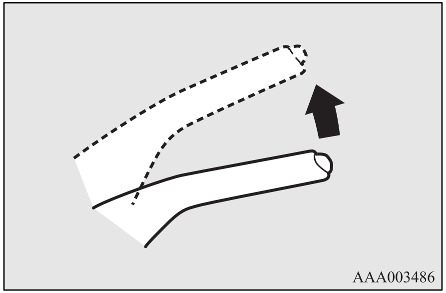
駐車ブレーキ

J00700100929

かけるときは

ブレーキペダルを踏んだまま，ボタンを押さずに駐車ブレーキレバーをいっぱいまで引きます。

6



AAA003486

⚠注意

- 坂道に駐車するときは駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れてください。

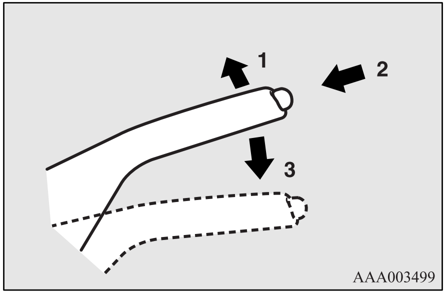
⚠注意

- 駐車ブレーキをかけるときはブレーキペダルをしっかり踏み，完全に車を止めてから駐車ブレーキレバーを引いてください。
  車が動いているうちに駐車ブレーキレバーを引くと後輪がロックして車体姿勢が不安定になるおそれがあります。また駐車ブレーキの故障の原因になります。

解除するときは

1. ブレーキペダルを踏んだまま，レバーを少し引き上げ
2. ボタンを押したまま
3. 完全に戻します。

解除したときはメーター内のブレーキ警告灯が消灯していることを確認してください。



AAA003499

⚠注意

- 駐車ブレーキをかけたまま運転するとブレーキが過熱し，ブレーキの効きが悪くなるとともにブレーキが故障する原因になります。

アドバイス

- 駐車ブレーキが完全に解除されていない状態で運転すると，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示が表示されます。
  A タイプ

  B タイプ

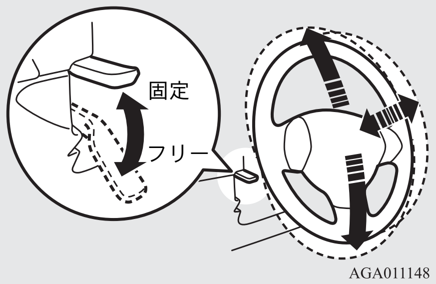
チルト・テレスコピックステアリング

J00700200438

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。
  走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドルを手で支えてレバーを押し下げ，ハンドルを前後，上下に動かして調整します。
レバーをいっぱいまで引き上げると固定できます。
調整後はハンドルを前後，上下に動かして固定されていることを確認してください。
固定が不十分だとハンドル位置が突然変わり，思わぬ事故につながるおそれがあります。



AGA011148

ルームミラー

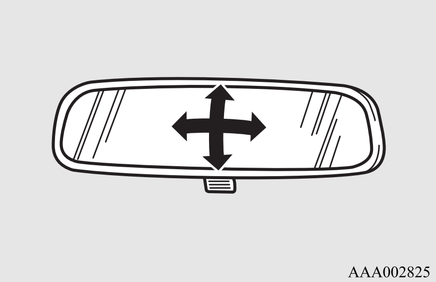
J00700300556

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。
  走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

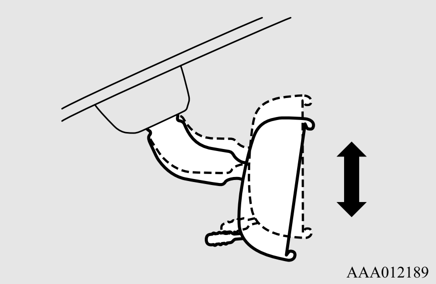
ミラーの角度調整

ミラーの本体を上下左右に動かして調整します。


AAA002825

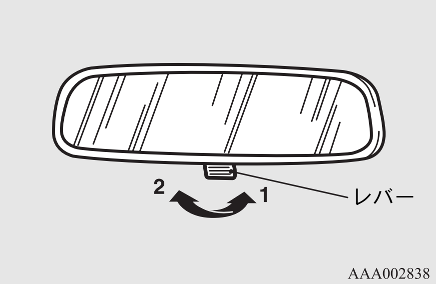
ミラーの上下位置調整

ミラーの本体を上下方向に動かして調整します。


AAA012189

防眩切り換え

レバーを動かしてミラーの位置を切り換えることができます。



AAA002838

1- 通常はレバーを前方に押した状態で使用します。
2- 後続車のライトがまぶしいときはレバーを手前に引きます。

ドアミラー

J00700500910

ミラーの角度調整

J00718200091

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。
- ドアミラーは凸面鏡を採用しています。
  凸面鏡は平面鏡に比べ，物が遠くに見え，実際と距離感覚が異なりますので注意してください。

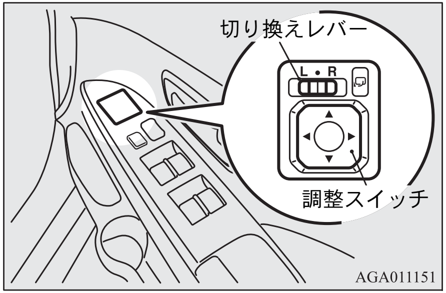
6

エンジンスイッチまたは電源モードが ON または ACC の状態のときに操作できます。

1. 切り換えレバーを調整したい方向に動かします。
   L: 左側ミラーの調整
   R: 右側ミラーの調整
2. 調整スイッチを押して角度を調整します。

アドバイス

- 調整が終わったら切り換えレバーは中央の位置に戻してください。



ドアミラーの格納・復帰

J00718300106

⚠注意

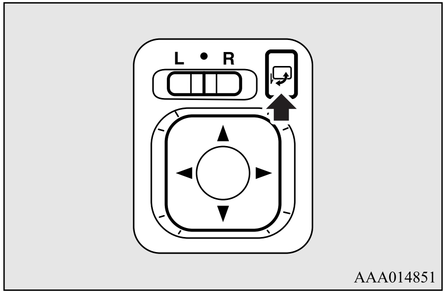
- ミラーを倒したままで運転しないでください。ミラーによる後方確認ができず思わぬ事故につながるおそれがあります。

格納スイッチによるミラーの格納・復帰

J00718400152

エンジンスイッチまたは電源モードが ON または ACC の状態のときに操作できます。
格納スイッチを押すとミラーが格納されます。
もう一度押すともとの位置に戻ります。

エンジンスイッチを LOCK の状態にした後，または電源モードを OFF の状態にした後でも，約 30 秒間はミラーを格納・復帰することができます。



⚠注意

- ミラーは手で倒すことも戻すこともできますが，格納スイッチの操作で倒したミラーは手で戻さず，再度格納スイッチを押してミラーを元の位置に戻してください。
  格納スイッチで倒したミラーを手で戻すとミラーの固定が不完全になり，走行中の振動および風の影響などでミラーが動き，後方の確認ができなくなります。

アドバイス

- ミラーが動いているときは手などをはさまないように注意してください。

アドバイス

- ミラーは手で倒すことも，戻すこともできます。
- 凍結などによりドアミラーが動かないときはミラー格納スイッチを何回も操作しないでください。モーターが焼き付くことがあります。

格納スイッチの操作以外によるミラーの格納・復帰

J00718400279

除く，キーレスオペレーションシステム付き車

キーレスエントリーのリモコンスイッチですべてのドアおよびテールゲートを施錠・解錠するとミラーが自動格納・自動復帰します。

→「キーレスエントリー」P.3-4

キーレスオペレーションシステム付き車

キーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチまたはキーレスオペレーション機能を使ってすべてのドアおよびテールゲートを施錠・解錠するとミラーが自動格納・自動復帰します。

→「キーレスエントリー」P.3-19

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。
  - 運転席ドアを閉め，エンジンスイッチまたは電源モードを ON または ACC にすると自動復帰する。
    また，エンジンスイッチを LOCK にした後，または電源モードを OFF にした後，運転席ドアを開くと自動格納する。
  - 走行スピードが 30 km/h になると自動復帰する。
  - 格納スイッチ以外での操作をできなくする。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

ヒーテッドドアミラー

タイプ別装備　J00706800407

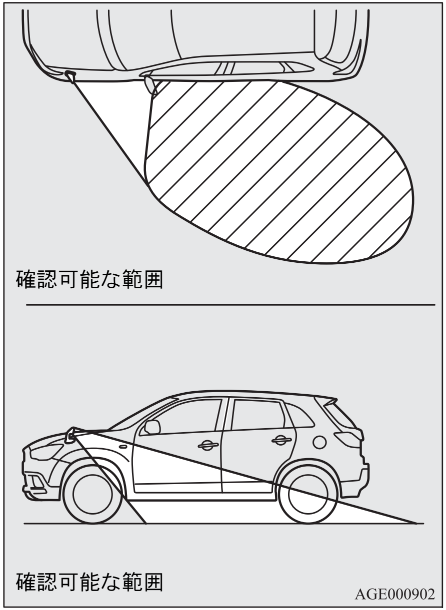
エンジンがかかっているときにリヤウインドウデフォッガースイッチを押すと，ドアミラー内部のヒーターが作動し，ミラーの曇りを取ることができます。
ヒーターは約 20 分後に自動的に切れます。

→「リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ」P. 5-45

サイドアンダーミラー

J00700600184

発進時またはごく低速時に助手席側の車両側面を確認するときに使用します。



⚠注意

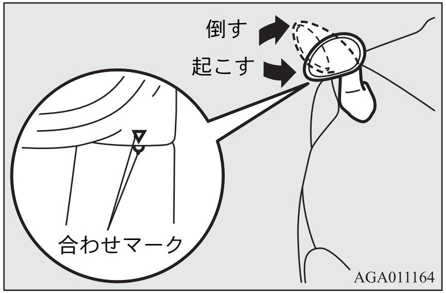
- 後方の確認はルームミラー，ドアミラーで行ってください。

⚠注意

- 車の直前，後方および左斜め前方は運転席からでは十分に確認しにくい箇所です。駐車場などで前進または後退を行うときはミラーだけにたよらず，一度車から降りて周りの状況をよく確認して車を動かしてください。
- 信号待ちなどで一旦停止したときでも周りの状況に注意し，安全を十分に確認してから発進してください。

サイドアンダーミラーの倒し方，起こし方

狭いところへ駐車するときなど，サイドアンダーミラーを手で車両前方に倒すことができます。
起こすときは，サイドアンダーミラー上部と下部の合わせマークが合う位置まで戻します。



⚠注意

- サイドアンダーミラーを倒したままで運転しないでください。

アドバイス

- サイドアンダーミラーの鏡面は固定式であり，鏡面を動かしてミラーの調整はできません。

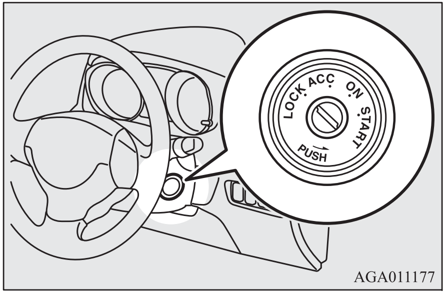
エンジンスイッチ

J00700802089

キーレスオペレーションシステム付き車

キーレスオペレーションシステム付き車のエンジンスイッチについては「エンジンの始動／停止：エンジンスイッチの電源モードと働き」をお読みください。→P.3-13

除く，キーレスオペレーションシステム付き車



各位置の働き

LOCK	ハンドルがロックされる位置 キーが抜き差しできます
ACC	エンジンを止めたままでもオーディオ，アクセサリーソケットなどが使用できる位置

ON	エンジン回転中の位置すべての電気系統が働きます
START	エンジンを始動する位置 エンジンがかかったら，キーから手を離してください。自動的に ON の位置へ戻ります

アドバイス

- エンジン停止時はエンジンスイッチを LOCK にしてください。エンジンスイッチを ON または ACC のままオーディオなどの電気製品を長時間使用すると，バッテリー上がりを起こし，エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジンが回転しているときは，エンジンスイッチを START の位置に回さないでください。スターチングモーターが破損することがあります。
- エンジンスイッチが LOCK から ACC に回らないときはハンドルを軽く左右に動かしながらエンジンスイッチを回してください。

ACC 電源オートカット機能

J00713800148

エンジンスイッチが ACC のままで約 30 分経過すると，オーディオなど ACC の位置で作動する装置の電源を自動的にカットする機能です。
ACC の位置からエンジンスイッチを操作すると，再び電源が入ります。

アドバイス

- つぎの通り機能を変更することができます。
  - 電源カットするまでの時間を約 60 分間に変更する。
  - 電源カットの機能を働かなくする。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

キーを抜くときは

J00706200528

ACC の位置でキーを押しながら LOCK まで回して抜きます。
セレクターレバーがⓅでないとキーを抜くことはできません。

エンジンのかけ方

J00700901650

⚠警告

- 車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしないでください。排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。
- 排気音が変わったり，車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えない場合は排気系や燃料系の異常が考えられますので，必ず三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠注意

- 窓越しなど車外からエンジンをかけないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジン回転中にエンジン警告灯が点灯または点滅したときは，高速走行を避けてできるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  →「エンジン警告灯」P.5-31

アドバイス

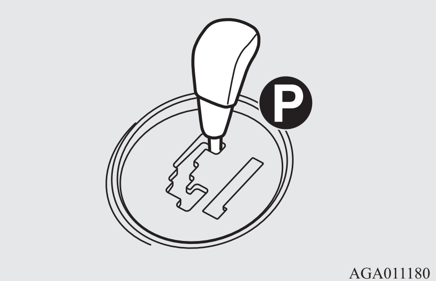
- 除く，キーレスオペレーションシステム付き車は，バッテリー上がりやスターチングモーターの故障を防ぐため，STARTにして10秒以上スターチングモーターを回さないでください。10秒以上たってもエンジンがかからなかったときは，一旦キーをLOCKに戻し，2～3秒待ってから再度エンジンをかけてください。エンジンやスターチングモーターが止まらないうちに始動の操作をくり返すと関連部品の故障の原因となります。
- エンジンが冷えているときや，再始動直後はエンジン保護のため高回転させたり，高速運転は避けてください。
- エンジンルームから，エンジン始動直後に特有の音が聞こえることがあります。エンジンが暖まれば音は止まります。

キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけるとき

キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけるときの操作については「エンジンの始動／停止」をお読みください。→ P.3-13

エンジンイモビライザー用キーまたはキーレスエントリー用キーを使ってエンジンをかけるとき

1. 正しい運転姿勢をとります。
   ブレーキペダルが確実に踏め，ハンドル操作が楽にできるように，シート位置を調整します。
   →「フロントシート」P.4-3
2. 駐車ブレーキがかかっていることを確認します。
3. セレクターレバーがⓅにあることを確認します。



AGA011180

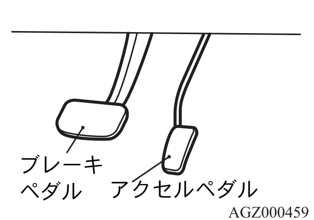
アドバイス

- セレクターレバーがⓅまたはⓃ以外ではエンジンがかかりません。
  安全のため車輪が固定できるⓅでエンジンをかけてください。

4. ブレーキペダルを右足で踏みます。
5. エンジンスイッチにキーを差し込み，STARTに回してエンジンをかけます。

⚠警告

- アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。
  アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。



AGZ000459

アドバイス

- エンジンがかからないときはつぎの手順にしたがってください。
  - ブレーキペダルを踏んだまま，アクセルペダルを半分程度踏みながらエンジンをかけてください。
  - エンジンがかかったらアクセルペダルをすみやかに戻してください。

オートストップ ＆ ゴー (AS&G)

J00723000068

オートストップ＆ゴー (AS&G) は，信号待ちや渋滞などで停車する際に，エンジンスイッチを使用することなく自動的にエンジンを停止および再始動して，排気ガスの排出を削減するとともに燃費効率を向上させます。

⚠注意

- 車を長時間停車させたり，車から離れるときは，エンジンスイッチを LOCK にしてエンジンを停止させてください。

AS&G を起動するには

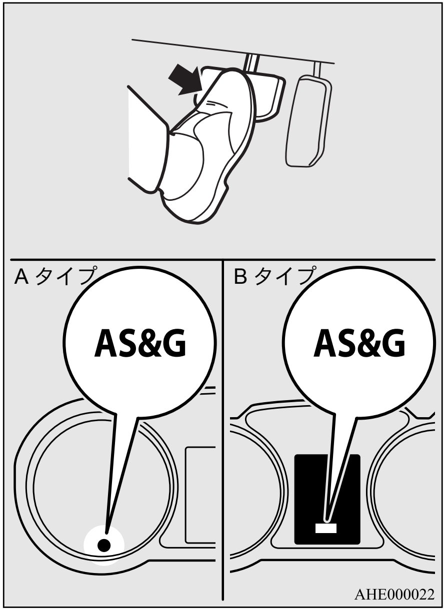
J00723100030

AS&G は，エンジンスイッチまたは電源モードを ON にすると自動的に起動します。
AS&G を非作動にするには AS&G OFF スイッチを押します。詳しくは「AS&G を非作動にするには」をお読みください。→ P.6-12

エンジンを自動で停止させるには

J00723201201

1. 走行中にブレーキペダルを踏み込んで，停車させます。
2. 完全に停車し，ブレーキペダルがしっかり踏み込まれていると，AS&G表示／表示灯が点灯して，エンジンが自動的に停止します。



アドバイス

- エンジンが自動的に停止すると，運転操作に変化が起きます。つぎの点に十分注意してください。
  - パワーアシストが作動しなくなり，ハンドルが重くなります。

⚠注意

- エンジンが停止した場合，必ずつぎの注意事項を守ってください。エンジンが自動的に再始動した際に，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - 運転席を離れたり，エンジンフードを開けたりしないでください。運転者がシートベルトを外し，ドアを開けて運転席を離れたり，エンジンフードが開いていると，AS&G表示／表示灯が点滅して警告ブザーが鳴り，運転者に知らせます。この状態になると，ドアを閉めてシートベルトを着用したり，エンジンフードを閉めても，エンジンは自動的に再始動しません。
  ブレーキペダルを踏み込みながら，セレクターレバーをⓅに入れ，エンジンスイッチを START に回して，またはエンジンスイッチを押してエンジンを始動します。詳しくは「エンジンのかけ方」をお読みください。
  →P.3-13，P.6-7

6

アドバイス

- つぎのようなときは，車を停止してもAS&Gは作動せず，エンジンは自動的に停止しません。
  - 運転者がシートベルトを着用していないとき
  - 運転席のドアが開いているとき
  - 駐車ブレーキをかけているとき
  - エンジンフードが開いているとき
  - エンジンが自動的に再始動してから，速度が5km/h以上になっていないとき
  - ブレーキペダルを踏む力が弱いとき
  - ブレーキペダルを繰り返し踏み込んだり，通常より強めに踏み込んだりして，ブレーキの負圧が低いとき
  - 勾配が急な場所で停車したとき
  - エンジンスイッチでエンジンをかけてから，30秒未満のとき
  - エンジンが自動的に再始動してから10秒以内に再停車したとき
  - セレクターレバーがⒹ以外のとき
  - エンジン冷却水の温度が低いとき
  - 車外の気温が3°C以下のとき
  - 車内の温度が高いときに，エアコンを使用しているとき
  - エアコンの吹き出し口切り換えダイヤルが（曇り取り）の位置にあるとき
    詳しくは「ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは」をお読みください。→ P.8-8

アドバイス

  - 温度調整ダイヤルを最高温度または最低温度に設定して，エアコンをAUTO作動させているとき（オートエアコン付き車）
  - リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）や電装品が作動している場合や，エアコンの風量調整ダイヤルが風量強に設定されている場合など，消費電力が大きいとき
  - バッテリー性能が劣化などの理由により低下しているときや，バッテリー上がりなどにより充電した直後に走行したとき
  - エンジン警告灯が点灯しているとき
  - AS&G OFF表示／表示灯が点滅しているとき
  - (!)警告表示が点灯したとき
  - 作動表示／表示灯が点灯しているとき
  - ハンドル操作をしているとき
- エアコン作動中に AS&G が作動した場合，エンジンとエアコンコンプレッサの両方が停止し，送風のみとなるため，ウインドウガラスが曇ることがあります。
  ウインドウガラスが曇ったときは，吹き出し口切り換えダイヤルを（曇り取り）の位置にして，エンジンを再始動させてください。
  →「吹き出し口切り換えダイヤル」8-3

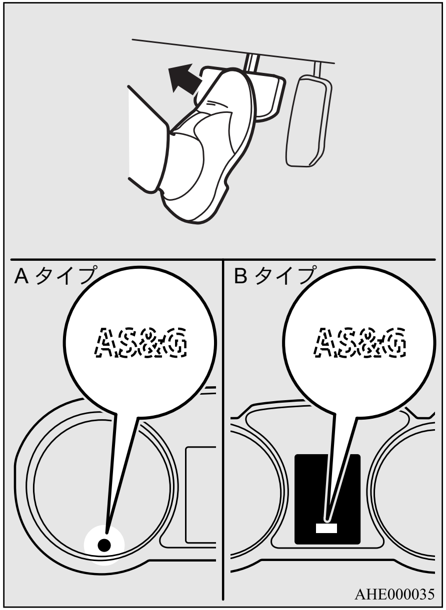
アドバイス

- エンジンが停止するたびにウインドウガラスが曇る場合は，AS&G OFFスイッチを押してAS&Gを非作動にすることをおすすめします。
  →「AS&Gを非作動にするには」6-12
- 車外の温度が高いときにエアコンが作動しているときは，温度調整ダイヤルを高めに設定すると，エンジンの自動停止時間が延長されます。

エンジンを自動で再始動させるには

J00723300117

ブレーキペダルから足を離すと，AS&G表示／表示灯が消灯して，エンジンが自動的に再始動します。



アドバイス

- エンジンを自動で再始動させたときに，ブレーキをかけた状態を一時的に保持して，クリープ現象などによる車両の不意な飛び出しを防ぐ機能が装備されています。セレクターレバーをⓃにすると，機能は解除されます。
  機能作動中に，車体下から作動音がしたり，ブレーキペダルにショックを感じることがありますが，これは機能が正常に作動していることを示すもので，異常ではありません。
- エンジンが自動的に再始動しない場合やエンストした場合，充電警告灯およびエンジン警告灯が点灯して，警告ブザーが鳴ります。この状態になると，ブレーキペダルから足を離してもエンジンは自動で再始動しません。
  ブレーキペダルを踏み込みながら，セレクターレバーをⓅに入れ，エンジンスイッチを START に回して，またはエンジンスイッチを押してエンジンを手動で始動してください。詳しくは「エンジンのかけ方」をお読みください。
  → P.3-13，P.6-7

注意

- つぎのようなときは，ブレーキペダルから足を離さなくてもエンジンが自動的に再始動します。エンジンの再始動時に思わぬ事故につながるおそれがありますので，十分ご注意ください。
  - エンジンが自動停止してから約3分経過したとき
  - 坂道を惰性で下るなど，車両が動き出したとき
  - ブレーキペダルを繰り返し踏み込んだり，通常より強めに踏み込んだりして，ブレーキの負圧が低いとき
  - エンジン冷却水の温度が低いとき
  - セレクターレバーをⓇまたはマニュアルゲートに入れたときは
  - エアコンスイッチを押して，エアコンを作動させたとき
  - 温度調整ダイヤルを使用して，エアコンの設定温度を大きく変更したとき
  - エアコンの吹き出し口切り換えダイヤルが（曇り取り）の位置にあるとき
    詳しくは「ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは」をお読みください。→ P.8-8
  - 温度調整ダイヤルを最高温度または最低温度に設定して，エアコンを AUTO 作動させているとき（オートエアコン付き車）
  - エアコンが作動しているときに，車内の温度が上昇して，エアコンのコンプレッサーが作動したとき
  - リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）や電装品が作動している場合や，エアコンの風量調整ダイヤルが風量強に設定されている場合など，消費電力が大きいとき

⚠注意

- バッテリーの充電量が低下したとき
- ハンドル操作をしたとき

アドバイス

- エンジンが自動停止しているときにブレーキペダルを強く踏み込み，セレクターレバーをすばやくⒹからⓅへ操作して，ブレーキペダルから足を離すと，AS&G表示／表示灯が点滅し，エンジン停止状態を保持することができます。
  この状態から，エンジンを自動で再始動させるときは，もう一度ブレーキペダルを踏み込みます。
- つぎのようなときは，AS&G を使ってエンジンを停止させていても，エンジンは自動で再始動しません。再始動する場合は，ブレーキペダルを踏み込みながら，セレクターレバーをⓅに入れ，エンジンスイッチを START に回して，またはエンジンスイッチを押してエンジンを手動で始動してください。詳しくは「エンジンのかけ方」をお読みください。
  → P.3-13，P.6-7
  - 運転者がシートベルトを外してドアを開け，運転席を離れたとき
  - 自動停止中にエンジンフードが開いたとき
- エンジンが自動的に再始動するとき，一時的にオーディオの音量が下がることがありますが，故障ではありません。

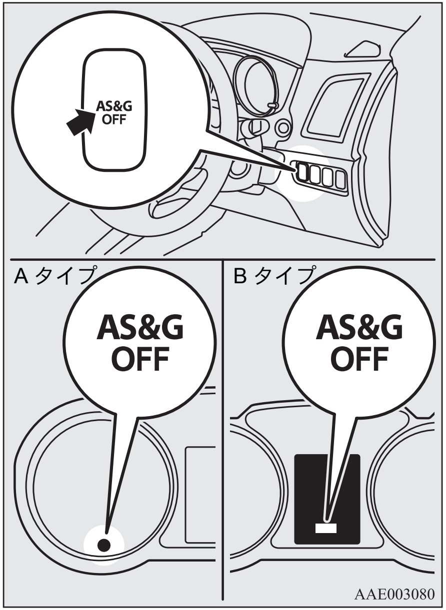
アドバイス

- エンジンが自動で停止している間，一時的にエアコンの風量が変化することがありますが，故障ではありません。

AS&G を非作動にするには

J00723400033

AS&G が起動しているときに AS&G OFF スイッチを押すと，AS&G OFF表示／表示灯が点灯して AS&G が非作動状態になります。もう一度 AS&G OFF スイッチを押すと，AS&G OFF表示／表示灯が消灯して，AS&G が再度起動します。



アドバイス

- この表示／表示灯は，エンジンスイッチを ON にした時も，数秒間点灯します。
- AS&G を使ってエンジンを自動停止させているときは，AS&G OFF スイッチを押しても，AS&G を非作動にすることはできません。

走行中に AS&G OFF 表示／表示灯が点滅したときは

J00723500034

走行中にAS&G OFF表示／表示灯が点滅したときは，AS&G に異常があるため，AS&G が正常に作動しません。
表示灯が点滅したまま消えないときや，たびたび点滅するときは，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

CVT

J00701400336

INVECS-III CVT

INVECS: Intelligent ＆ Innovative Vehicle Electronic Control System

CVT: Continuously Variable Transmission

INVECS-III CVT は，路面や走行状況に応じて，常に適切な変速比を無段階に自動選択し，低燃費で変速ショックのないスムーズな走行を実現します。

上り坂では

アクセルペダルを戻しても不必要なシフトアップを防止し，スムーズな走りを実現します。

下り坂では

状況に応じて変速比を変更して，運転者がブレーキペダルを踏む回数を低減します。

⚠注意

- エンジンブレーキの効きが弱いと感じたときは，必要に応じてブレーキペダルを踏んだり，スポーツモードを使ってシフトダウンしてください。
  なお，滑りやすい路面ではシフトダウンするとタイヤがスリップするおそれがありますので，常に道路状況に合った安全な運転を心がけてください。

スポーティ走行では

急加速，急減速をくりかえすスポーティな走行を行うと，通常走行に比べてシフトアップしにくくなります。これにより大きな駆動力で走行することができます。

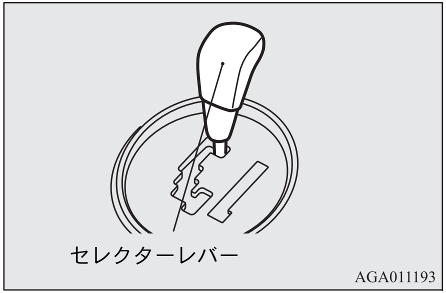
スポーツモード

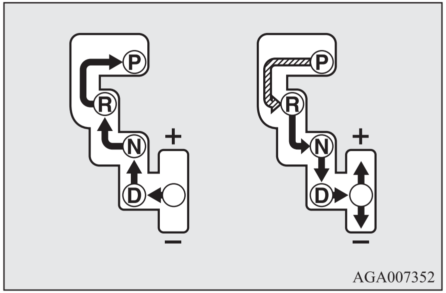
「スポーツモード」では，マニュアルトランスミッション感覚でスポーティな運転を楽しむことができます。
→「スポーツモード」P.6-16

「安全なドライブのために :CVT 車の取り扱い」も合わせてお読みください。
→ P.2-11

セレクターレバーの動かし方

J00701500601





AGA007352

⇩ ブレーキペダルを踏んだまま，セレクターレバーをゲートに沿って操作します。

⬇ セレクターレバーをゲートに沿って操作します。

⚠警告

- セレクターレバーをⓃ→ⒹまたはⓃ→Ⓡに操作するときは，安全のため必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

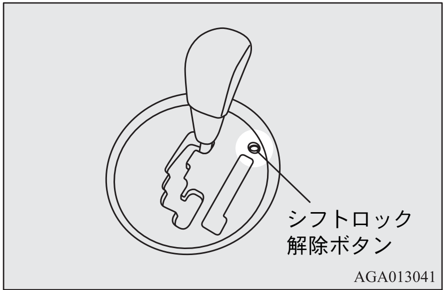
アドバイス

- レバーの操作は誤操作防止のため，各位置ごとにいったん止めて確実に行ってください。操作後は必ずマルチインフォメーションディスプレイ内の表示でポジションを確認してください。
- ブレーキペダルを踏んでいないと，シフトロック装置が働いてⓅから他の位置に操作できません。また，エンジンスイッチまたは電源モードがつぎの状態のときはブレーキペダルを踏んでもⓅから他の位置に操作できません。
  [除く，キーレスオペレーションシステム付き車]
  エンジンスイッチがLOCKまたはACCの状態。
  [キーレスオペレーションシステム付き車]
  電源モードが OFF または ACC の状態。
- ⇩ の操作はブレーキペダルを先に踏んでから行ってください。ブレーキペダルを踏む前に操作すると，セレクターレバーが動かなくなることがあります。
- ⒹからⓇ，ⓇからⒹおよびⓅに入れるときはブレーキペダルをしっかりと踏み，完全に車を止めてから入れてください。車が動いているうちにⓅやⓇに入れるとトランスミッションの故障の原因になります。

セレクターレバーをⓅから操作できないときは

万一，エンジンスイッチまたは電源モードが ON でブレーキペダルを踏んだ状態でも，Ⓟから他の位置に操作できないときは，バッテリー上がりやシフトロック装置の故障が考えられます。ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
また，お車を移動させる必要がある場合はつぎの手順でセレクターレバーを操作してください。

1. 駐車ブレーキがかかっていることを確認します。
2. エンジンをかけている場合は，エンジンを切ります。
3. ブレーキペダルを右足で踏みます。
4. シフトロック解除ボタンを押しながらセレクターレバーをⓃに入れます。

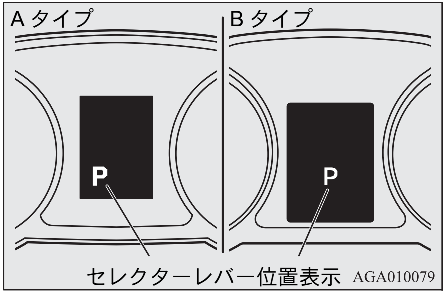


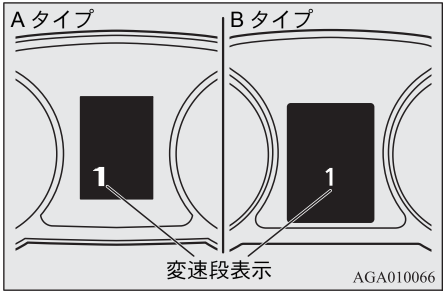
AGA013041

セレクターレバー位置表示

J00701600556

セレクターレバーの位置をマルチインフォメーションディスプレイに表示します。
スポーツモードで走行中は変速段を表示します。





警告表示

J00712201315

A タイプ

または

B タイプ

または

マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示が表示されたときは，つぎの方法で処置してください。

警告表示しているとき

オートマチックトランスミッション(CVT)オイルの温度が高くなっています。
高くなったオートマチックトランスミッション (CVT) オイルの温度を下げるためにエンジン制御が働き，エンジン回転数と車速が下がることがあります。
このようなときは，つぎのいずれかの方法で処置してください。

- 車速を下げて走行します。
- 車を安全な場所に止めてセレクターレバーをPに入れ，エンジンをかけたままエンジンフードを開けて冷やします。

しばらくしたら警告表示が消えるか確認します。
表示が消えればもとのように走行できます。
警告表示したままのときや，たびたび警告表示するときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

警告表示しているとき

トランスミッションに何らかの異常が発生し，安全装置が働いていると考えられます。ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

6

セレクターレバーの位置・働き（メインゲート）

J00701700313

P	（パーキング） 駐車およびエンジンをかけるとき	車輪が固定されます。駐車のときは必ず駐車ブレーキをかけてⓅにしてください。 除く，キーレスオペレーションシステム付き車は，Ⓟでのみエンジンスイッチを LOCK まで回すことができます。
R	（リバース） 後退させるとき	Ⓡにするとブザーが鳴り，Ⓡにあることを運転者に知らせます。

⚠注意

- ブザーは車外の人には聞こえませんのでご注意ください。

N	（ニュートラル） 中立	動力が伝達されません。 この位置でもエンジンをかけることができますが安全のためⓅで行ってください。
D	（ドライブ） 通常走行	発進から高速走行まで無段階に自動変速されます。

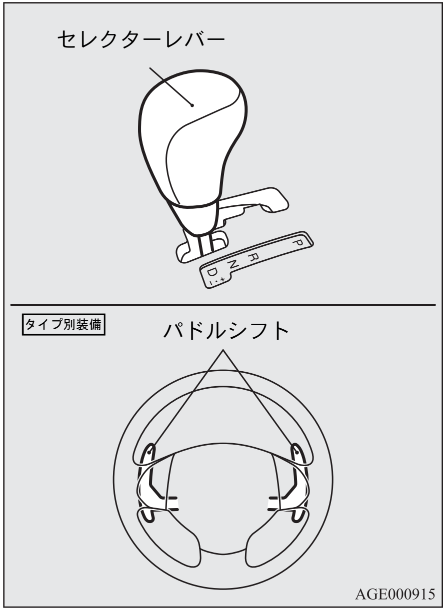
アドバイス

- マニュアルゲートの使い方は「スポーツモード」の項をご覧ください。→P.6-16

スポーツモード

J00701800314

スポーツモードでは，セレクターレバーまたはパドルシフト タイプ別装備 を操作するだけで，素早くシフトチェンジすることができます。



マニュアルトランスミッションと違って，アクセルペダルを踏み込んだままシフトチェンジをすることができます。
カーブの手前の軽快なシフトダウンによる減速と素早いコーナーの立ち上がりなど，スポーティなドライブを楽しむことができます。

⚠注意

- スポーツモードで走行中は，道路状況に合わせて，エンジン回転がレッドゾーンに入らないよう適切にシフトチェンジしてください。
- 滑りやすい路面ではシフトダウンするとタイヤがスリップするおそれがありますので，常に道路状況に合った安全な運転を心がけてください。
- 左右のパドルシフトを同時に操作すると，シフトチェンジしないことがあります。

アドバイス

- 1 速から 6 速の前進しか選択できません。後退，駐車するときはセレクターレバーを，Ⓡ, Ⓟに入れてください。
- スポーツモードで走行中に車速が下がると自動的にシフトダウンし，停車前に 1 速に入ります。
- セレクターレバーまたはパドルシフトを連続して操作すると変速段が連続して切り換わります。
- 走行性能を確保するため，車速によってはセレクターレバーまたはパドルシフトを操作してもシフトアップしない場合があります。また，エンジンの過回転を防止するため，車速によってはセレクターレバーまたはパドルシフトを操作してもブザーが鳴ってシフトダウンしない場合があります。

アドバイス

- エンジン回転数がレッドゾーン付近まで上昇すると，自動的にシフトアップすることがあります。

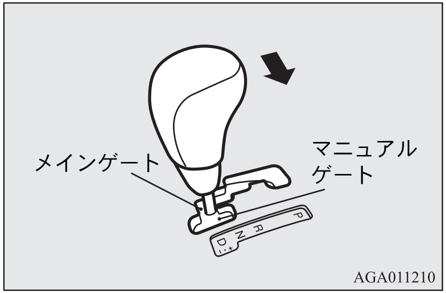
セレクターレバーを使って操作するとき

J00715800041

6

スポーツモードを選択するときは

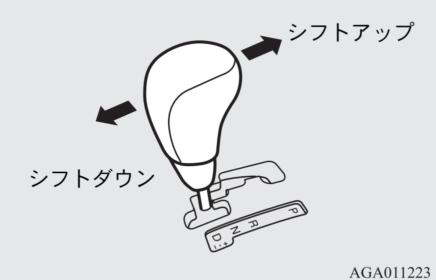
停車中または走行中にセレクターレバーをメインゲートのⒹからマニュアルゲートに入れることで，スポーツモードが選択されます。



シフトアップ，シフトダウンするときは

セレクターレバーを車両前方に押すごとに 1 段ずつシフトアップします。

また，セレクターレバーを車両後方に引くごとに 1 段ずつシフトダウンします。



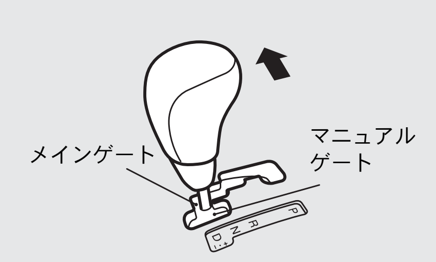
AGA011223

アドバイス

- パドルシフト付き車は，セレクターレバーの操作でスポーツモードを選択した後に，パドルシフトの操作でもシフトアップまたはシフトダウンすることができます。

Ⓓ走行に戻すときは

セレクターレバーをマニュアルゲートからメインゲートに入れるとⒹ走行に戻ります。



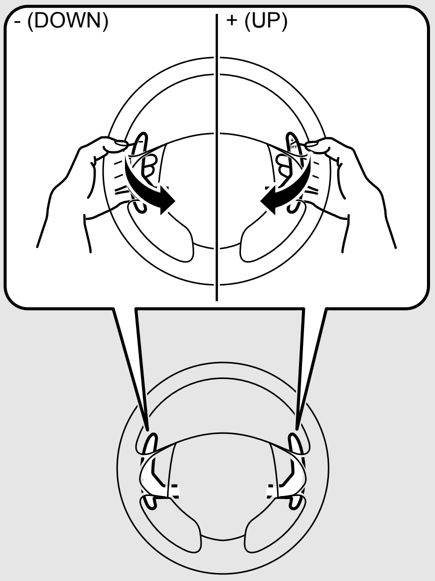
AGA011236

パドルシフトを使って操作するとき

タイプ別装備　J00715900068

スポーツモードを選択するときは

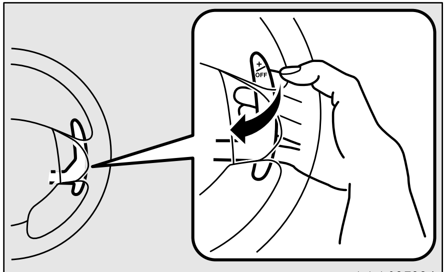
セレクターレバーをⒹに入れて停車しているときまたは走行中に，パドルシフトを手前に引くことで，スポーツモードが選択されます。



AAE001927

シフトアップするときは

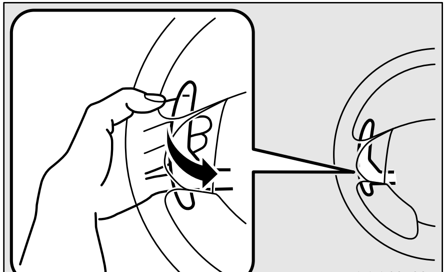
パドルシフトの＋ (UP) 側を引くごとに 1 段ずつシフトアップします。



AAA037324

シフトダウンするときは

パドルシフトの－ (DOWN) 側を引くごとに 1 段ずつシフトダウンします。

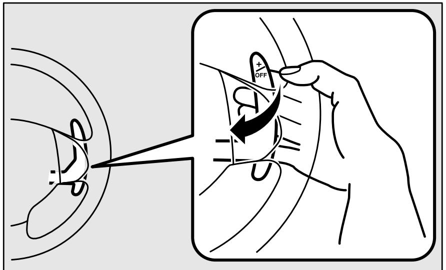

AAA037337

アドバイス

- パドルシフトの操作でスポーツモードを選択した後は，セレクターレバーの操作でもシフトアップまたはシフトダウンすることができます。

Ⓓ走行に戻すときは

パドルシフトの＋ (UP) 側を約 2 秒以上手前に引くと，Ⓓ走行に戻ります。



AAA037324

アドバイス

- セレクターレバーをⒹの位置に入れてパドルシフトの操作でスポーツモードを選択しているときは，停車すると自動的にⒹ走行へ戻ります。

アドバイス

- パドルシフトの操作でスポーツモードを選択しているとき，セレクターレバーをメインゲートからマニュアルゲートに入れ，その後再度メインゲートに入れると，スポーツモードが解除されⒹ走行に戻ります。

CVT 車の運転のしかた

6

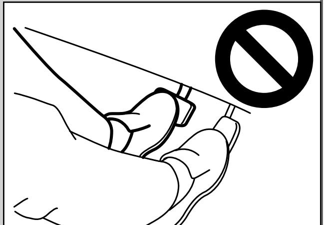
J00702901146

発 進

1. ブレーキペダルを右足で踏みます。

⚠警告

- ブレーキペダルは必ず右足で踏んでください。左足でのブレーキ操作は，緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず，重大な事故につながるおそれがあります。


AAZ002224

6

⚠注意

- セレクターレバーをⓅ, Ⓝ以外の位置（前進または後退の位置）に入れるとクリープ現象により，ブレーキペダルから足を離すとアクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。
  特にエアコン作動中などエンジン回転数が高くなるとクリープ現象が強くなりますので，よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。
  →「クリープ現象とは ...」P.2-11

2. セレクターレバーを前進はⒹ，後退はⓇに入れます。

⚠警告

- セレクターレバーの操作は必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

3. セレクターレバーの位置を確認します。

4. 周囲の安全を確認し，駐車ブレーキを解除します。
5. ブレーキペダルを徐々にゆるめ，アクセルペダルをゆっくりと踏み込んで発進します。

急な上り坂での発進

1. 車が動き出さないよう駐車ブレーキをかけたまま，ブレーキペダルから足を離します。
2. アクセルペダルをゆっくり踏みながら，車が動き出す感触を確認してから，駐車ブレーキを解除して発進します。

走 行

⚠警告

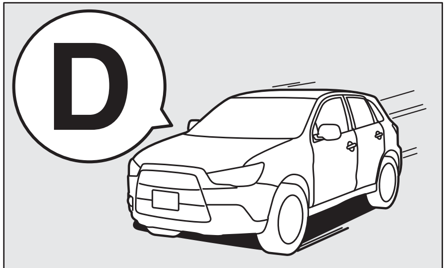
- 走行中はセレクターレバーをⓃに入れないでください。誤ってⓅ, Ⓡに入れてしまったり，エンジンブレーキが効かなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

⚠注意

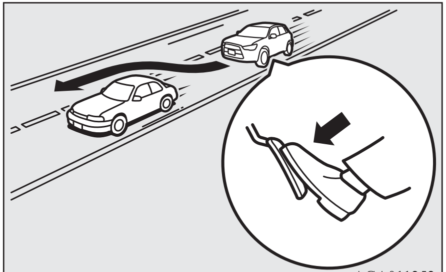
- セレクターレバーは走行状況に合った正しい位置で使用してください。
  坂道などで, 前進の位置（Ⓓまたはスポーツモード）にしたまま惰性で後退したり，後退の位置Ⓡにしたまま惰性で前進しないでください。
  エンストしてブレーキの効きが非常に悪くなったり，ハンドルが非常に重くなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

通常走行

セレクターレバーをⒹで走行します。
発進するとスピードに応じて自動的に変速されます。



AGA011249


AGA011252

セレクターレバーをマニュアルゲートに入れるかパドルシフトを操作すると，スポーツモードが選択され，マニュアルトランスミッションのような走行が楽しめます。
→「スポーツモード」P.6-16

急加速したいとき

アクセルペダルを深く踏み込みます。
自動的に変速比が切り換わって急加速ができます。これをキックダウンといいます。

停 車

1. セレクターレバーはⒹのままブレーキペダルをしっかりと踏みます。

⚠注意

- エアコン作動時などは，自動的にエンジン回転数が高くなり，クリープ現象が強くなります。ブレーキペダルをしっかり踏んでください。

2. 必要に応じて駐車ブレーキをかけます。

⚠注意

- 急な上り坂ではクリープ現象が働いても，車が後退することがあります。停止時はブレーキペダルを踏み，しっかりと駐車ブレーキをかけてください。

⚠注意

- 上り坂でブレーキペダルを踏まずに，アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つことはしないでください。トランスミッションの故障の原因になります。

3. 渋滞などで停車時間が長くなりそうなときはセレクターレバーをⓃに入れます。

⚠注意

- 停車中はむやみに空ぶかしをしないでください。万一，セレクターレバーがⓅ，Ⓝ以外に入っていると思わぬ急発進の原因になります。

4. 再発進するときは，セレクターレバーがⒹ位置にあることを確認してから発進してください。

駐 車

1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけます。

3. セレクターレバーをⓅに入れます。

⚠注意

- Ⓟでは車輪が固定されるため，車が動き出す心配がなく安全です。駐車時には必ずセレクターレバーがⓅに入っていることを確認してください。
- 車が完全に止まらないうちにⓅに入れると，急停止してけがをするおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

アドバイス

- 坂道では，まず駐車ブレーキをかけてからつぎにセレクターレバーをⓅに入れてください。駐車ブレーキをかけずにⓅに入れると発進時にセレクターレバーの操作力が重くなる場合があります。

4. エンジンを止めます。

⚠注意

- 車から離れるときは必ずエンジンを止めてください。
  エンジンをかけたままにしておくと，万一，セレクターレバーがⓅ以外に入っていた場合，クリープ現象で車がひとりでに動き出したり，乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み，急発進するおそれがあります。

電子制御 4WD 機構

タイプ別装備 J00711900132

電子制御 4WD 機構は, スイッチの操作により走行状況に合わせて 3 種類のドライブモードを選択できる 4WD システムです。

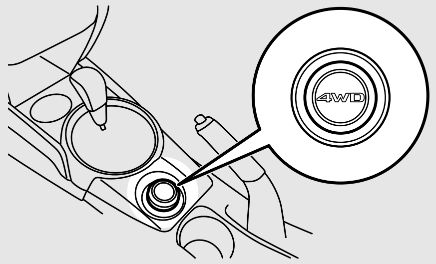
つぎのドライブモードが選択できます。

ドライブモード	働き
2WD	乾いた一般道路や高速道路を経済的に走行するときのモードです。 前輪駆動で走行します。
4WD オート	基本モードです。 走行状況に合わせて，4 輪すべての駆動力の配分を自動的にコントロールします。
4WD ロック	雪道または砂地など，タイヤがスリップしやすいときに使用するモードです。 大きな駆動力を後輪にも伝えるため，脱出を容易にするとともに全域で力強い走行ができます。

ドライブモードセレクター

J00712000286

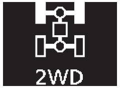
エンジンスイッチまたは電源モードが ON の状態のときスイッチを押すごとにドライブモードが「2WD」→「4WD オート」→「4WD ロック」→「2WD」の順に切り換わります。



AFA008516

ドライブモードを切り換えるとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に，割り込み表示でドライブモードが表示されます。
インフォメーション画面のドライブモードの表示は数秒後にもとの画面に戻ります。

6

ドライブモード	表示
2WD	
4WD オート	
4WD ロック	

⚠注意

- 雪道等で前輪を空転させたまま，スイッチを操作しないでください。車両が思わぬ方向に飛び出すおそれがあります。
- 乾いた舗装道路を「4WD ロック」モードで走行すると燃料の消費量が多くなったり，騒音，タイヤの早期摩耗を発生することがあります。
- 「2WD」モードで前輪を空転させたまま走行しないでください。
  駆動系部品が発熱して破損するおそれがあります。

アドバイス

- 走行中でも停車中でもドライブモードを切り換えることができます。

ドライブモードインジケーター

J00712100261

A タイプ

B タイプ

正常なときはエンジンスイッチまたは電源モードを ON にすると点灯し，エンジンをかけると数秒後にドライブモードを表示します。

各ドライブモードでの表示の点灯状態はつぎの通りです。

ドライブモード	ドライブモードインジケーター	
	「4WD」表示	「LOCK」表示
2WD	消灯	消灯
4WD オート	点灯	消灯
4WD ロック	点灯	点灯

⚠注意

- 選択されているドライブモードの表示が点滅した場合は，駆動系部品を保護するため自動的に前輪駆動になり，スイッチによるドライブモードの切り換えはできなくなります。
  このとき，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示が表示されます。
  A タイプ　B タイプ

  速度を控えめにし，しばらく走行して表示が消灯すればもとのように走行できます。約 5 分過ぎても点滅したままのときは，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- ドライブモードの表示が点滅し，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示が表示されたときは，電子制御 4WD 機構に何らかの異常が発生し，安全装置が働いていると考えられます。できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  A タイプ　B タイプ

6

⚠注意

- 同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄および摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると，駆動系部品の保護機能が働いて，ドライブモードが「4WD オート」モードに固定したり，「4WD」表示および「LOCK」表示が交互に点滅することがあります。

6

4WD 車の上手な運転

J00707400123

4WD車といってもどこでも走れるわけではありません。無理な運転はしないでください。
2WD 車と同様，ハンドル・ブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。

⚠注意

- オンロード専用車です。無理な運転はしないでください。
  - 砂地やぬかるみ等タイヤが空転しやすいところでの走行は避けてください。タイヤの空転を続けると駆動系部品に無理がかかり，重大な故障の原因となるおそれがあります。
  - 渡河などの水中走行はしないでください。

⚠注意

- ブレーキ性能は 2WD 車とあまり差はありません。極端な急ハンドル，急ブレーキは避けて十分な車間距離をとって走行してください。

4WD 車取り扱い上の注意

J00706601981

乾燥した舗装道路を走行するときは

⚠注意

- 乾いた舗装道路を「4WD ロック」モードで走行すると燃料の消費量が多くなったり，騒音を発生することがあります。

急なカーブを回るときは

「4WD ロック」モード時に急なカーブを低速で旋回した場合，ブレーキをかけた状態と同じような現象が発生することがあります。
これはタイトコーナーブレーキング現象と呼ばれているもので，4 輪のタイヤの軌跡（回転差）が違うために発生する 4 輪駆動車特有の現象です。

このような現象が発生したときには，ハンドルを直進状態に戻すか「2WD」または「4WD オート」モードに切り換えることによって解消することができます。

⚠注意

- 急旋回したときは，タイトコーナーブレーキング現象を起こし，運転しにくくなりますので，急な旋回は避けてください。

アドバイス

- タイトコーナーブレーキング現象が起きるとタイヤのスリップ音や駆動系のきしみ音などが発生することがあります。

タイヤ，ホイールについて

4WD 車は 4 輪に駆動力がかかるため，タイヤの状態が車の性能に大きく影響します。タイヤには細心の注意をしてください。

- 4 輪とも指定のタイヤ，ホイールを装着してください。
  →「タイヤ，ホイールのサイズ」P.13-6
- タイヤ，ホイールを交換するときは 4 輪とも交換してください。

- タイヤのローテーションは5,000kmごとに行ってください。
→「タイヤローテーション」P.10-4
- タイヤの空気圧は定期的に点検してください。
→「タイヤの空気圧」P.13-7

⚠注意

- 同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると，駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼き付きなどの重大な故障となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

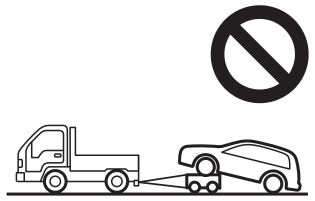
けん引について

けん引はできるだけ専門業者に依頼してください。
4WD 車は，必ず 4 輪を持ち上げてレッカー車で搬送するか， 4 輪接地の状態でけん引してください。
ただし，つぎの場合は三菱自動車販売会社にご連絡ください。

- エンジンが回っているのに車が動かない。または異音がする。
- 下まわりを点検し，オイルなどが漏れている。

⚠注意

- 前輪または後輪だけを持ち上げたけん引を行うと，駆動系部品が損傷したり，車がレッカー（台車）から飛び出すおそれがあります。
→「けん引」P.12-28


AFZ101340

- ドライブモードを「2WD」モードにしても，前輪または後輪だけを持ち上げたけん引はできません。

アドバイス

- レッカー車による搬送は，別冊の「メンテナンスノート」を見て三菱自動車販売会社へ依頼してください。

ジャッキアップするときは

⚠注意

- ジャッキアップ中はエンジンをかけたり，ジャッキアップした車輪を回転させないでください。
接地しているタイヤが回ってジャッキから車体が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

緊急制動信号システム

J00721300083

急ブレーキ時に，非常点滅灯を自動的に速く点滅させることで後続車に注意をうながし，追突の可能性を低減させる装置です。
緊急制動信号システムが作動すると，メーター内の非常点滅表示灯も同時に速く点滅します。

⚠注意

- ABS警告またはASC警告が表示されているときは，緊急制動信号システムが作動しないことがあります。
→「ABS 警告」P.6-28
→「ASC 警告表示」P.6-32

アドバイス

- [緊急制動信号システムの作動条件]
  つぎの条件がそろったときに作動します。
  - 車速が約 55km/h 以上のとき
  - ブレーキペダルが踏み込まれ，車両の減速度やアンチロックブレーキシステム(ABS) の作動状況から，システムが急ブレーキだと判断したとき

  [緊急制動信号システムの作動停止条件]
  つぎのいずれかの条件で作動を停止します。
  - ブレーキペダルから足を離したとき
  - 非常点滅灯スイッチを押したとき
  - 車両減速度やABSの作動状況から，システムが急ブレーキではないと判断したとき

ヒルスタートアシスト

タイプ別装備　J00721800075

ヒルスタートアシストは，急な上り坂で発進するときに起こる車両の後退を防止し，発進を容易にする装置です。ブレーキペダルからアクセルペダルに踏み換えるとき，ブレーキをかけた状態を約 2 秒間保持します。

⚠注意

- ヒルスタートアシストを過信しないでください。
  極端に急な上り坂，凍結した上り坂，ぬかるんだ上り坂など路面の状態によっては車両が後退することがあります。
  また，停止するときにブレーキペダルの踏み方が不十分であったり，乗員の人数，荷物の重さなどによってヒルスタートアシストが作動しないことがあります。
- ヒルスタートアシストは 2 秒以上車両の後退を防止することはできません。
- 上り坂でブレーキペダルを踏み込まずに，ヒルスタートアシストを使って停止状態を保つことはしないでください。
  思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ヒルスタートアシストが作動中に，エンジンスイッチまたは電源モードを ON または ACC にしないでください。
  ヒルスタートアシストが作動を停止し，思わぬ事故につながるおそれがあります。

使い方

J00721900177

1. ブレーキペダルを踏んで車両を完全に停止させます。
2. ブレーキペダルから足を離します。
   ヒルスタートアシストがブレーキ力を保持し，車両の後退を約 2 秒間防止します。
3. アクセルペダルを踏み込みます。
   ヒルスタートアシストは，車両の発進に合わせて，徐々にブレーキ力をゆるめます。

アドバイス

- ヒルスタートアシストは，つぎの条件がそろったときに作動します。
  - エンジンがかかっている。
  - セレクターレバーがⓅまたはⓃ以外の位置に入れてある。
  - ブレーキペダルを踏んで，車両が完全に停止している。
  - 駐車ブレーキを解除している。
- ヒルスタートアシストは，ブレーキペダルから足を離す前にアクセルペダル踏み込むと作動しません。
- ヒルスタートアシストは，坂道を後ろ向きに登るときにも作動します。
- ヒルスタートアシスト作動中に車体下から作動音がすることがあります。これはヒルスタートアシストが正常に作動していることを示すもので異常ではありません。

警告表示

J00722000061

システムに異常があると表示灯が点灯します。このときつぎの警告のうち，いずれかが同時に表示されます。

警告表示　A タイプ

警告表示　B タイプ

アドバイス

- 表示の組み合わせは，お車によって異なります。

このような場合は，つぎの方法で処置してください。

1. 安全な場所に車を止め，エンジンを停止します。
2. 再度エンジンをかけ，表示灯および警告表示が消えるか確認します。

表示が消えれば異常ありません。消えないときや，たびたび表示するときは，通常走行には支障はありませんが，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠注意

- 警告が表示されるとヒルスタートアシスト が作動を停止します。慎重に発進してください。

ブレーキアシスト

J00722201132

ブレーキアシストは，緊急制動時などにブレーキペダルを強く踏み込めない運転者を補助し，より大きな制動力を確保する装置です。
ブレーキペダルを素早く踏み込んだときにブレーキが強くかかるようになります。

⚠注意

- ブレーキアシストはブレーキ性能以上の制動力を発揮させる装置ではありません。ブレーキアシストを過信せず，十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。

アドバイス

- いったんブレーキアシストが作動すると，ブレーキペダルをゆるめても大きな制動力を保持します。
ブレーキアシストの作動を停止させたいときは，ブレーキから完全に足を離してください。

アドバイス

- 走行中にブレーキアシストが作動すると，ブレーキペダルが軽く感じられることがあります。また作動音とともにペダルが小刻みに動いたり，車体やハンドルに振動を感じることがあります。これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- 走行中に限らず停車中であってもブレーキペダルを素早く踏み込んだり，いっぱいまで踏み込むと，ブレーキアシストの作動音が聞こえることがあります。
これは，装置が正常に作動していることを示すもので，異常ではありません。
- ABS 警告灯 / 警告表示または ASC 警告表示のみが点灯しているときは，ブレーキアシストは作動しない場合があります。

アンチロックブレーキシステム（ABS）

J00703000671

アンチロックブレーキシステム（ABS）とは，急ブレーキや滑りやすい道路でブレーキを踏んだときに車輪のロックを防止し，制動力を維持し，かつ安定した車体姿勢とハンドル操舵性を保つ装置です。

6

⚠注意

- ABS は制動時の車体安定性を確保するためのもので必ずしも制動距離が短くなるとはかぎりません。ABS を過信せず，十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。
- 雪道を走行した後は足回りに付いた雪や泥を取り除いてください。足回りを清掃するときはホイール付近に付いている車速感知装置や配線などを傷付けないよう十分注意してください。
- 4 輪とも同一サイズ, 同一種類の指定タイヤを装着してください。
  サイズや，種類の異なるタイヤを混用すると，ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。（車載の応急用スペアタイヤは使用できます。）
- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル（LSD）を装着しないでください。ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。

アドバイス

- つぎのような場合は，ABS の付いていない車に比べて制動距離が長くなることがありますので，速度はひかえめにし，車間距離を十分とって運転してください。
  - 砂利道や深い新雪路を走行するとき
  - タイヤチェーンを装着しているとき
  - 道路の継ぎ目や段差を乗り越えるとき
  - 凸凹道などの悪路を走行するとき

アドバイス

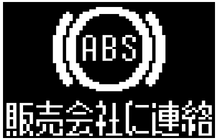
- マンホール，工事用の鉄板，白線の上，段差を乗り越えるときなど，車輪が滑りやすい状況では，車輪のロックを防止するため急制動以外でもABS が作動することがあります。
- ABS が作動すると車体, ハンドル, ブレーキペダルに振動を感じたり，作動音が聞こえます。
  また，ブレーキペダルを踏み込んだときに固く感じることがあります。
  これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- つぎのような場合は，エンジンルーム内より作動音がすることがあります。また，ブレーキペダルにショックを感じることがあります。これは ABS 装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
  - エンジンスイッチまたは電源モードを ON にしたとき。
  - エンジンをかけてしばらく走行したとき。
- ABS は, 発進後車速が約 10km/h になるまで作動しません。また，車速が約 5km/h まで下がると作動を停止します。

ABS 警告

J00704500862

警告灯

警告表示　A タイプ



警告表示　B タイプ

システムに異常があると警告灯が点灯します。また，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面にも警告表示が表示されます。
正常なときはエンジンスイッチまたは電源モードを ON にすると警告灯のみが点灯し，数秒後に消灯します。

⚠注意

- 点灯したままのとき，または点灯しないときは装置の故障が考えられますので，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

走行中に警告を表示したときは

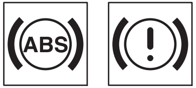
J00704601714

ABS 警告のみ表示したときは

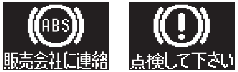
- 急ブレーキや高速走行を避け安全な場所に車を止めます。
  エンジンを停止し，再度エンジンをかけ，その後しばらく走行して警告表示しなければ異常ありません。
  しばらく走行しても警告表示したままのときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。この場合，ABS は作動せず，普通のブレーキとして作動します。
- バッテリーが電圧不足のときにエンジンをかけると，警告を表示することがありますが ABS の故障ではありません。
  このようなときは，しばらくアイドリング回転でバッテリーを充電してください。
  充電しても警告表示したままのときや，たびたび警告表示するときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ABS 警告とブレーキ警告を表示したときは

警告灯



警告表示　A タイプ



警告表示　B タイプ

ブレーキ力の配分機能が作動しないことがあるため，急ブレーキをかけたときに車体姿勢が不安定になるおそれがあります。
急ブレーキや高速走行を避け，ただちに車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へ連絡してください。

アドバイス

- 警告灯は同時に点灯し，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面には，交互に表示します。

6

電動パワーステアリング

J00703100324

エンジン回転中にパワーアシストが作動し，ハンドルの操作力を軽くする装置です。
もしパワーアシストが作動しなくなったときは，ハンドルが重くなります。この場合は，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠警告

- 走行中はエンジンを止めないでください。エンジンを止めると，ハンドルが非常に重くなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 駐車するときなどに，ハンドルをいっぱいに回す操作を繰り返すと，システムの過熱を防止するため保護機能が働きハンドル操作が徐々に重くなります。この場合，しばらくハンドル操作を控えてください。
  システムの温度が下がるとハンドルの操作力は元に戻ります。
- ヘッドライトを点灯したままで停車しているとき，ハンドル操作をするとヘッドライトが暗くなることがありますが異常ではありません。しばらくすれば元の明るさに戻ります。

電動パワーステアリング警告表示

J00704700398

警告表示　A タイプ

警告表示　B タイプ

システムに異常があるとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示します。

注意

- エンジン回転中に警告表示したときは，ハンドルが重くなることがありますので，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

アクティブスタビリティコントロール（ASC）

タイプ別装備　J00710300269

アクティブスタビリティコントロール（ASC）はトラクションコントロール機能とスタビリティーコントロール機能を持ち，アンチロックブレーキシステムと統合的に制御を行うことで，車両姿勢を安定させると共に駆動力を確保する装置です。つぎの項も合わせてお読みください。

→「アンチロックブレーキシステム（ABS）」P.6-27
→「トラクションコントロール機能」P.6-31
→「スタビリティコントロール機能」P.6-31

注意

- ASC が作動した状態でも車両の安定確保には限界があり，無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。ASC を過信せず，常に道路状況に合った安全運転を心がけてください。
- 4 輪とも同一サイズ，同一種類の指定タイヤを装着してください。
  サイズや種類の異なるタイヤを混用すると，ASC が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル（LSD）を装着しないでください。ASC が正常に作動しなくなるおそれがあります。

アドバイス

- つぎのような場合は，エンジンルーム内より作動音がすることがあります。また，ブレーキペダルにショックを感じることがあります。これは ASC 装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
  - エンジンスイッチまたは電源モードを ON にしたとき。
  - エンジンをかけてしばらく走行したとき

アドバイス

- ASC が作動すると，車体に振動を感じたり，エンジンルーム内より作動音が聞こえたりします。
  これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。
- ABS 警告灯が点灯しているときは，ASC は作動しません。

トラクションコントロール機能

J00710400156

トラクションコントロール機能は，滑りやすい路面での駆動輪の空転を防止して発進しやすくすると共に，旋回加速時の適切な駆動力・操舵能力を向上させる機能です。

⚠注意

- 雪道や凍結路を走行するときは，冬用タイヤを装着して速度は控えめにし，車間距離を十分とって運転してください。

スタビリティコントロール機能

J00710500186

スタビリティコントロール機能は，急激なハンドル操作や滑りやすい路面のカーブに進入したときなどに生じる車両の横滑りを，各車輪のブレーキとエンジン出力を制御することにより抑制し，車両の安定性を向上させる機能です。

アドバイス

- スタビリティコントロール機能は，車速が約 15km/h 以上で作動します。

ASC の ON/OFF 作動切り換え

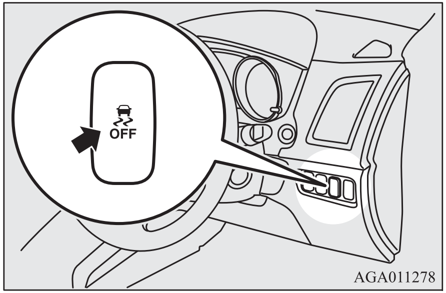
J00710800293

アドバイス

- ぬかるみ，砂地または新雪などからの脱出時に，アクセルペダルを踏み込んでも ASC の働きによりエンジン回転が上がらないことがあります。このようなときは，ASC OFF スイッチで ASC を OFF にすると抜け出しやすくなります。

エンジンスイッチまたは電源モードを ON にすると自動的に ASC は ON になります。
ASC を OFF にしたいときは ASC OFF スイッチを 3 秒以上押し続けます。

スイッチを押し続けると3秒後に，OFF 表示／表示灯が表示されます。もう一度押すと ON になります。



⚠注意

- 安全のため，ASC OFF スイッチの操作は停車しているときに行ってください。
- 通常走行時は必ず ASC を ON にしてください。

アドバイス

- ASC OFF スイッチではスタビリティコントロール機能とトラクションコントロール機能の両方が OFF になります。
- ASC を OFF にしたあとも ASC OFF スイッチを押し続けると，誤操作防止機能が働いて ASC は ON に戻ります。

ASC作動表示／ASC OFF表示

J00711600168

- ASC作動表示／ASC作動表示灯
ASC が作動すると点滅します。

- ASC OFF 表示／ASC OFF 表示灯
  ASC OFF スイッチで ASC を OFF にすると点灯します。

アドバイス

- 表示の組み合わせは，お車によって異なります。

注意

- 作動表示／作動表示灯が点滅したときは路面が滑りやすい状態か，加速しすぎています。
  アクセルペダルをゆるめて控えめな運転をしてください。
- 滑りやすい路面などでブレーキ制御が連続で作動し，ブレーキ装置の温度が上昇しすぎた場合は，ブレーキ制御によるトラクションコントロール機能の作動を一時停止します。これはブレーキ装置を保護するためで通常走行に問題ありません。（エンジン出力の制御によるトラクションコントロール機能は作動します。）
  この場合は表示／表示灯が点滅し，ブレーキ制御によるトラクションコントロール機能が停止していることを運転者に知らせます。車をいったん停車し，点滅が消えればブレーキ制御によるトラクションコントロール機能は再び作動します。

アドバイス

- エンジンをかけると表示／表示灯が点灯することがあります。これは，エンジン始動時にバッテリーの電圧が一時的に低下したためで，すぐに消灯すれば故障ではありません。
- スペアタイヤ装着時は，タイヤのグリップ力が低下するため作動表示／作動表示灯が点滅しやすくなります。

ASC 警告表示

J00715700125

システムに異常があると表示灯と，表示／表示灯が点灯します。このときつぎの警告のうち，いずれかが同時に表示されます。

警告表示　A タイプ

警告表示　B タイプ

アドバイス

- 表示の組み合わせは，お車によって異なります。

このような場合は，つぎの方法で処置してください。

1. 安全な場所に車を止め，エンジンを停止します。
2. 再度エンジンをかけ，表示／表示灯および警告表示が消えるか確認します。

表示が消えれば異常ありません。消えないときや，たびたび表示するときは，通常走行には支障はありませんが，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

クルーズコントロール（自動定速走行装置）

タイプ別装備

J00704000173

クルーズコントロールはアクセルペダルを踏まずに一定のスピード（約 40km/h~100km/h）で定速走行する装置です。

注意

- つぎのような道路では安全のため，使用しないでください。

⚠注意

- 交通量が多く車間距離が十分取れない道路
- 急なカーブや見通しの悪い道路
- 滑りやすい道路（凍結路，積雪路，砂利路，濡れた道路）
- 長い急な下り坂

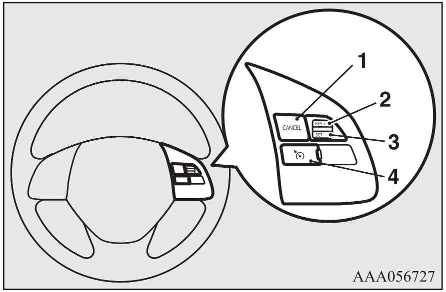
● 定速走行しないときは，安全のためクルーズコントロール機能を停止してください。

アドバイス

● 上り坂や下り坂では，状況により一定の速度を保てない場合があります。
● 上り坂では，設定した車速を下回ることがあります。
このような場合は，アクセルペダルを踏んで希望の車速まで加速してください。
● 下り坂では，設定した車速を上回ることがあります。ブレーキペダルを踏んで減速してください。この場合，定速走行は終了します。

クルーズコントロールスイッチ

J00705600163



AAA056727

1- CANCEL スイッチ
定速走行を終了するときに使用します。
2- RES ＋スイッチ
設定車速を上げたり，定速走行を終了した後，元の設定車速に戻すときに使用します。
3- SET －スイッチ
設定車速を下げたり，定速走行する車速をセットするときに使用します。
4- クルーズコントロール ON/OFF スイッチ
クルーズコントロール機能を作動または停止するときに使用します。

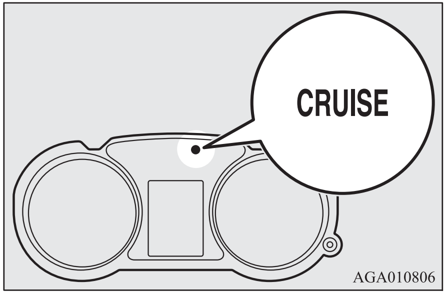
アドバイス

● クルーズコントロールスイッチを操作するときは，個々のスイッチを確実に押してください。
2 個以上のスイッチを同時に押すと，定速走行が自動的に終了することがあります。

クルーズコントロール表示灯

J00705700210

エンジンスイッチまたは電源モードが ON の状態のときに，クルーズコントロール ON/OFF スイッチを押してクルーズコントロール機能を作動させると点灯します。

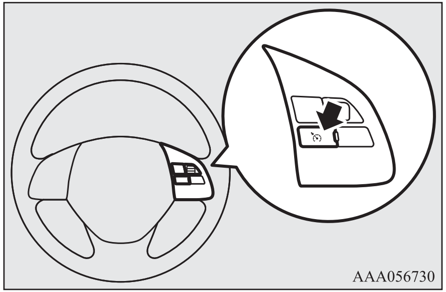


AGA010806

希望車速をセットし，定速走行するときは

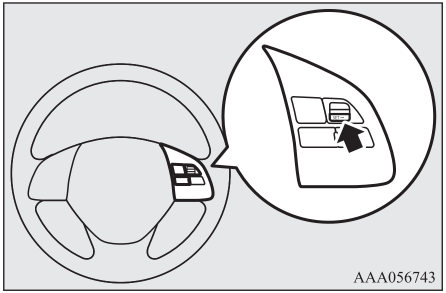
J00705800194

1. エンジンスイッチまたは電源モードが ON の状態のときに，クルーズコントロールON/OFFスイッチを押すとクルーズコントロール機能が作動し，メーター内の表示灯が点灯します。



AAA056730

2. 希望する車速まで加速または減速し，SET −スイッチを押して手を離すと，定速走行が開始されます。



AAA056743

アドバイス

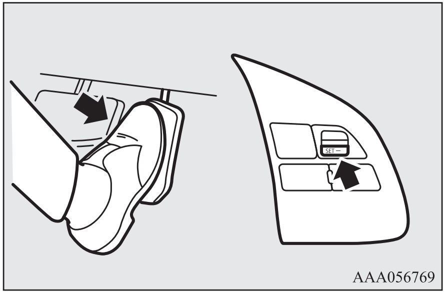
- スイッチから手を離したときの車速がセットされます。
- エンジンを止めるとクルーズコントロール機能は自動的に停止します。

設定車速を変更するときは

J00705900195

アクセルペダルを使って

希望する車速まで加速し，SET −スイッチを押して手を離します。



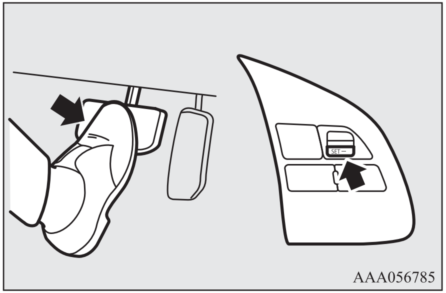
AAA056769

アドバイス

- スイッチから手を離したときの車速がセットされます。

ブレーキペダルを使って

希望する車速まで減速し，SET −スイッチを押して手を離します。



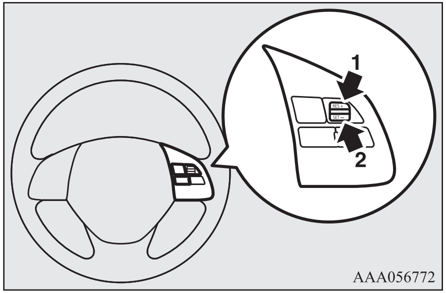
AAA056785

アドバイス

- スイッチから手を離したときの車速がセットされます。

クルーズコントロールスイッチを使って

RES ＋スイッチまたは SET －スイッチを押し続け，希望する車速になったら手を離します。



AAA056772

1- 加速したいとき
2- 減速したいとき

アドバイス

- スイッチから手を離したときの車速がセットされます。

アドバイス

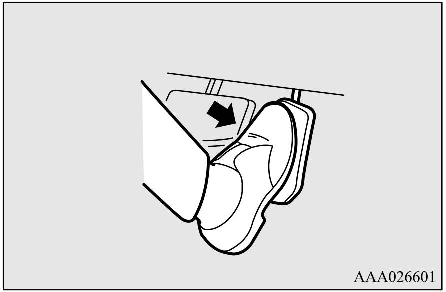
- RES ＋スイッチまたは SET －スイッチを押してすぐに手を離すと，設定車速を約 1.5km/h ずつ微調整することができます。

一時的に加速または減速したいときは

J00712900168

一時的に加速したいときは

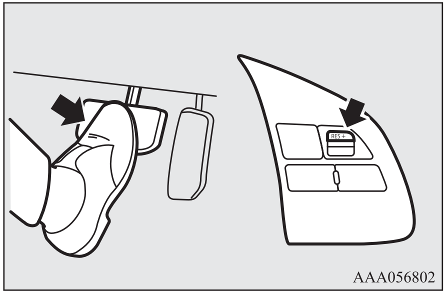
アクセルペダルを踏んで加速します。
アクセルペダルから足を離すと自動的に元の設定車速に戻ります。



AAA026601

一時的に減速したいときは

ブレーキペダルを踏んで減速します。
元の設定車速に戻すときは，RES ＋スイッチを押します。
→「定速走行終了前の設定車速に戻すときは」P.6-36



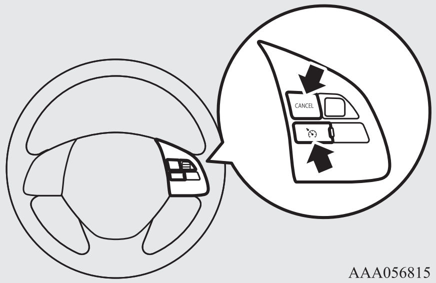
AAA056802

定速走行を終了するときは

J00706000249

つぎのいずれかの操作で定速走行が終了します。

- クルーズコントロールON/OFFスイッチを押す
- CANCEL スイッチを押す
- ブレーキペダルを踏む



AAA056815

また，つぎの場合も自動的に定速走行が終了します。

- セットした速度より車速が約 15km/h 以上下がったとき
- 車速が約 40km/h 以下になったとき
- アクティブスタビリティコントロール(ASC)が作動したとき（ASC付き車）
→「アクティブスタビリティコントロール (ASC)」P.6-30

⚠警告

- セレクターレバーをⓃにしても定速走行は自動的に終了しますが，走行中はセレクターレバーをⓃに入れないでください。エンジンブレーキが効かなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

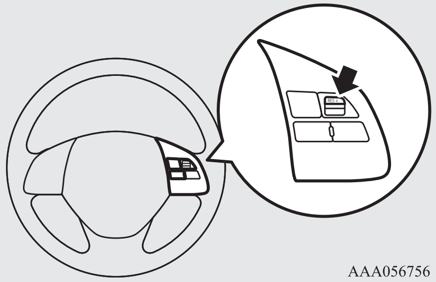
アドバイス

- 上記以外のときに定速走行が自動的に終了した場合は，クルーズコントロールに何らかの異常が発生していると考えられます。
クルーズコントロール ON/OFF スイッチを押してクルーズコントロール機能を停止し，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

定速走行終了前の設定車速に戻すときは

J00706100211

定速走行を終了した後でも車速が約 40km/h 以上であれば，RES ＋スイッチを押すことにより，元の設定車速に戻すことができます。


AAA056756

ただし，つぎの場合は RES ＋スイッチを押しても，元の設定車速に戻すことはできません。もう一度車速をセットし直してください。

- エンジンを止めたとき
- クルーズコントロールON/OFFスイッチを押したとき
- 車速が約 40km/h 以下になったとき
- クルーズコントロール表示灯が消灯しているとき

リヤビューカメラ

タイプ別装備

J00704200218

リヤビューカメラは，車両後方の映像を三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはディスプレイオーディオの画面に表示させる装置です。

⚠注意

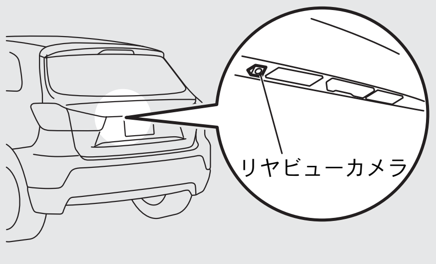
- リヤビューカメラは，車両後方の障害物などを確認するための補助装置です。
映像を表示できる範囲は限られていますので過信せず，リヤビューカメラが付いていない場合と同じように慎重な運転を心がけてください。
- 必ず自分の目で周囲の安全を確認してください。
リヤビューカメラだけを頼りに運転しないでください。

画面に表示できる範囲

リヤビューカメラが映像を表示できる範囲は図の範囲に限られています。また，リヤバンパーの両端や下部などは表示できませんので後退するときは，必ず周囲の安全を確認しながら運転してください。

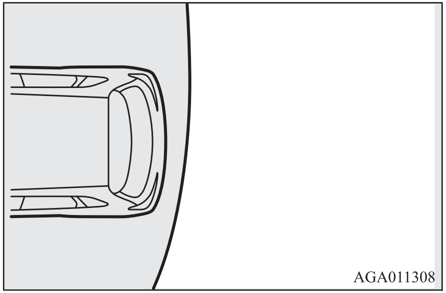
リヤビューカメラの取り付け位置

カメラはテールゲートのハンドル付近に内蔵されています。

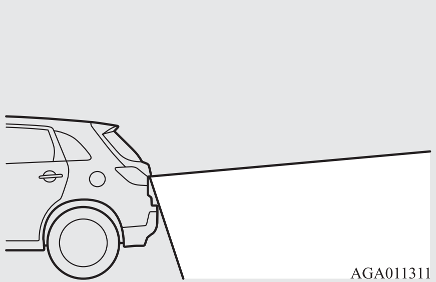


AGA011294

リヤビューカメラの表示範囲



AGA011308



AGA011311

使い方

J00707200219

エンジンスイッチまたは電源モードが ON の状態のときにセレクターレバーをⓇに入れると，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはディスプレイオーディオの画面に車両後方の映像が自動的に表示されます。

セレクターレバーをⓇ以外の位置にすると，元の画面に戻ります。

⚠注意

- リヤビューカメラは特殊レンズを使用しているため，画面の映像は実際と距離感覚が異なりますので注意してください。

アドバイス

- リヤビューカメラは特殊なレンズを使用しているため, 駐車場などの区画線は, 画面内では平行に見えないことがあります。
- つぎのような場合，画面が見づらくなることがありますが異常ではありません。
  - 暗いところ（夜間）
  - 太陽やヘッドライトの光が直接カメラのレンズに入ったとき
- カメラが熱いとき，雨や洗車などでレンズ付近の温度が低くなるとレンズが曇ることがありますが，故障ではありません。
- カメラのレンズが汚れていると，障害物が十分に確認できません。水滴，雪，泥または油汚れなどが付着したときはレンズを傷つけないようにていねいにふき取ってください。
- カメラの故障の原因となりますので，つぎのことをお守りください。
  - 衝撃を与えない

アドバイス

- ワックスを付着させない
- 熱湯をかけない
- 分解しない

● 後退時のブザーはセレクターレバーがⓇにあることを知らせるもので，障害物があることを警告するブザーではありません。

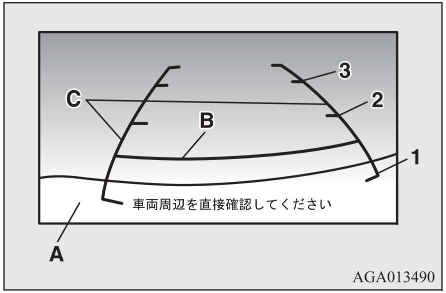
リヤビュー画面の見方

J00722900044

距離と車幅の目安となる線とリヤバンパー上面（A）が画面に表示されます。

● 赤色の線（B）は，リヤバンパーから約 50cm の地点を示しています。

● 2 本の緑色の線（C）は，車体幅から外側に約 20cm の地点を示しています。



1- おおよそのリヤバンパー後端位置

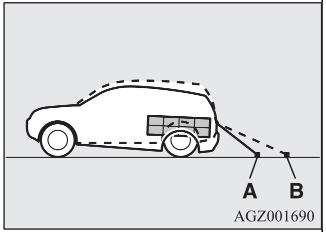
2- リヤバンパー後端から約 100cm

3- リヤバンパー後端から約 200cm

アドバイス

● 乗車人数，積み荷の状態または路面の状態などにより車両が傾いている場合，画面内の線の表示が実際と異なることがあります。
画面内の線は水平な路面上などを基準としています。このため，つぎの場合，画面に映る障害物は実際よりも遠くにあるように見えます。

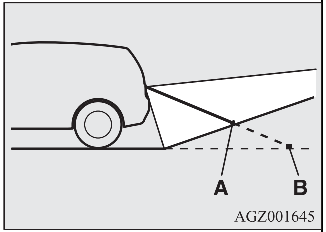
- 人や荷物の重みで車両後部が下がっているとき



A- 実際の障害物
B- 画面に映る障害物

アドバイス

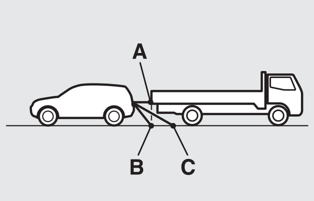
- 車両後方に上り坂があるとき



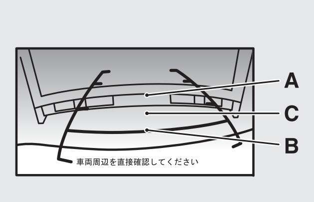
A- 実際の障害物
B- 画面に映る障害物

アドバイス

- 画面内の線は道路などの平面物を対象にしています。このため張り出し部分のある立体物との間の距離感覚が実際と異なることがあります。画面内の線を立体物までの距離の目安にしないでください。
例：画面の映像では手前からの B，C，A の順に見えますが，実際には A，B が同じ距離，C が A，B よりも遠い距離にあります。



AGZ001658



AGZ001661

6

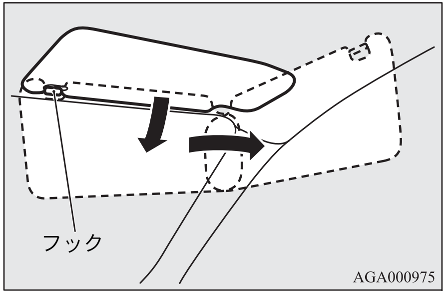
室内装備

サンバイザー.. 7-2
アクセサリーソケット 7-2
室内灯.. 7-3
小物入れ 7-6
カップホルダー 7-8
ボトルホルダー 7-9
アシストグリップ.. 7-9
ラゲッジフック 7-10
フロアマット.. 7-10
ETC 7-12
USB 入力端子... 7-24

サンバイザー

J00900100295

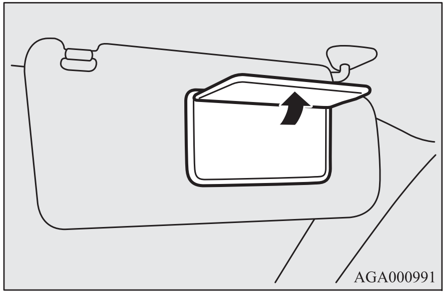
前面だけでなく，フックから外せば側面にも回せます。



バニティーミラー

J00912700214

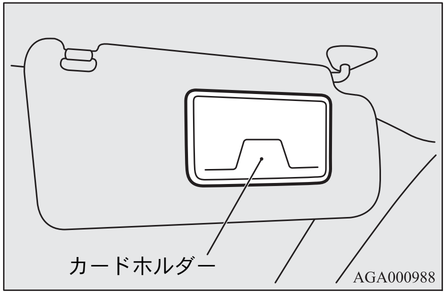
サンバイザーの裏側にあります。



カードホルダー

J00912800202

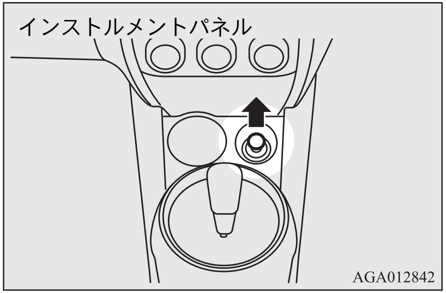
サンバイザーの裏側にあります。

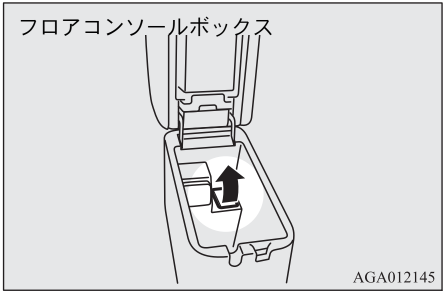


アクセサリーソケット

J00900500635

エンジンスイッチまたは電源モードが ON または ACC の状態のときに使用できます。
フタを開け，プラグタイプの電気製品の電源としてご使用ください。
必ず，12V で電気容量が 120W 以下の電気製品を使用してください。





アドバイス

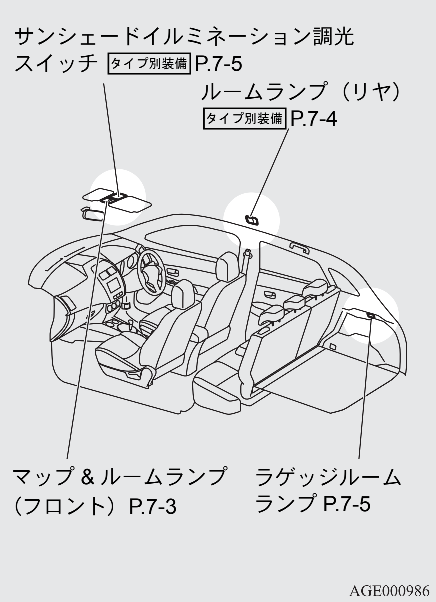
- ソケットを同時に使用するときは, 2 つのソケットをあわせて 12V で電気容量が 120W 以下の電気製品を使用してください。それ以上の容量の電気製品を使用すると，ヒューズが切れるおそれがあります。

アドバイス

- 市販の電気製品を使用しないでください。バッテリー上がりやアクセサリーソケットが損傷する原因となります。
- アクセサリーソケットを使わないときはフタを閉めておいてください。
  プラグタイプ以外のものをソケットに入れると故障したり，ショートする可能性があります。
- エンジンがかかっていないときに長い間使用するとバッテリーが上がることがあります。

室内灯

J00900800595



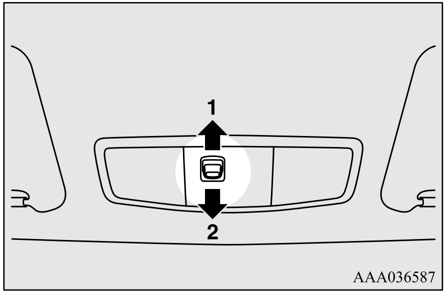
アドバイス

- エンジンがかかっていないときに長い間ランプを点灯させておくとバッテリーが上がることがあります。
  車から離れるときは必ずランプが消えていることを確認してください。

マップ＆ルームランプ（フロント）

J00900901519

ルームランプ



1-（DOOR）

いずれかのドアまたはテールゲートを開けると点灯，閉じると約 15 秒後に消灯します。ただし，つぎのようなときはすぐに消灯します。

- エンジンスイッチまたは電源モードを ON にしたとき
- センタードアロックの機能を使って施錠したとき
- キーレスエントリーまたはキーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチを使って施錠したとき

・キーレスオペレーションシステム付き車は，キーレスオペレーション機能を使って施錠したとき

アドバイス

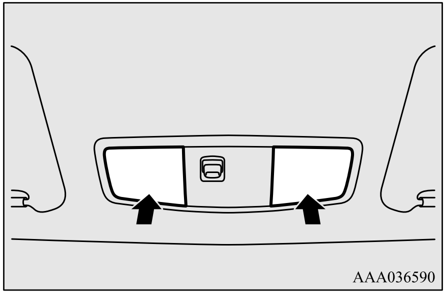
- キーを使ってエンジンをかけている場合は，ドアおよびテールゲートが閉まっているときにエンジンスイッチを LOCK にしてキーを抜くと点灯し，約 15 秒後に消灯します。
- キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているときは，ドアおよびテールゲートが閉まっているときに電源モードを OFF にすると点灯し，約 15 秒後に消灯します。
- 消灯までの時間を調整することができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

2-

ドアまたはテールゲートの開閉に関係なく消灯します。

マップランプ

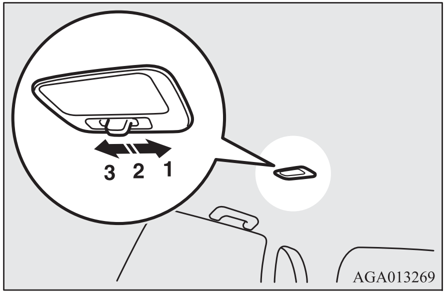
ルームランプのスイッチの位置に関係なくレンズを押すと押した側のランプが点灯し，もう一度押すと消灯します。



ルームランプ（リヤ）

タイプ別装備

J00900901522



1-（）

ドアまたはテールゲートの開閉に関係なく点灯します。

2-（●）

いずれかのドアまたはテールゲートを開けると点灯，閉じると約 15 秒後に消灯します。ただし，つぎのようなときはすぐに消灯します。

・電源モードを ON にしたとき

・センタードアロックの機能を使って施錠したとき

・キーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチまたはキーレスオペレーション機能を使って施錠したとき

アドバイス

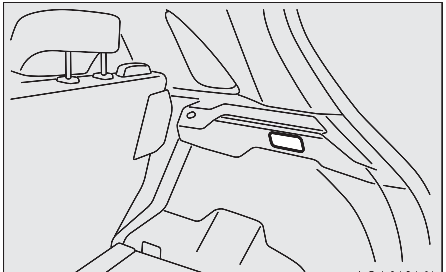
- エンジンをかけているときは，ドアおよびテールゲートが閉まっているときに電源モードを OFF にすると点灯し，約 15 秒後に消灯します。
- 消灯までの時間を調整することができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

3-（〇）

ドアまたはテールゲートの開閉に関係なく消灯します

ラゲッジルームランプ

J00901500472



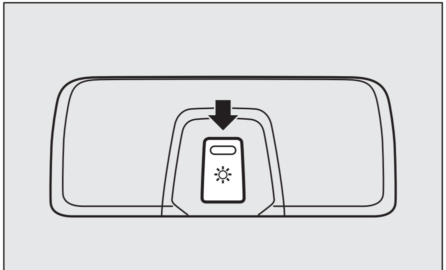
AGA012161

テールゲートを開けると点灯，閉じると消灯します。

サンシェードイルミネーション調光スイッチ

タイプ別装備

J00909400060



AGA012187

電源モードが ON または ACC のときに，サンシェードイルミネーションの光量を 3 段階に調整することができます。
スイッチを押すごとに「光量（多）」→「光量（中）」→「光量（少）」→「消灯」→「光量（多）」の順に切り換わります。

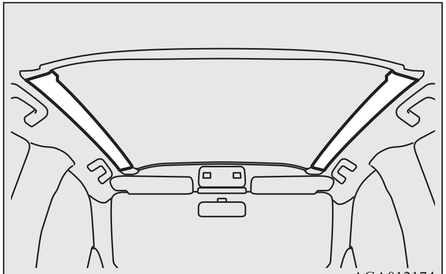
アドバイス

- 電源モードが OFF のときでも，サンシェードイルミネーションが点灯している間は光量を調整することができます。

サンシェードイルミネーション

タイプ別装備

J00909500146



AGA012174

サンシェードイルミネーションは，電源モードが ON または ACC のときに点灯します。

アドバイス

- サンシェードイルミネーション調光スイッチが「消灯」に設定されているときは点灯しません。
  →「サンシェードイルミネーション調光スイッチ」P.7-5

サンシェードイルミネーションが点灯しているときに，つぎの操作をすると，約 15 秒後に消灯します。

- エンジンをかけているときに，すべてのドアおよびテールゲートを閉めた状態で電源モードを OFF にする。

アドバイス

- 消灯までの時間を調整することができます。消灯までの時間を調整すると，ルーム＆マップランプの消灯時間も同時に変更されます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

また，電源モードが OFF の状態でも，いずれかのドアまたはテールゲー トを開けると点灯，閉じると約 15 秒後に 消灯します。
ただし，つぎのようなときはすぐに消灯します。

- センタードアロックの機能を使って施 錠したとき

- キーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチまたはキーレスオペレーション機能を使って施錠したとき

アドバイス

- サンシェードイルミネーション調光スイッチが「消灯」に設定されているときは点灯しません。
- 消灯までの時間を調整することができます。消灯までの時間を調整すると，ルーム＆マップランプの消灯時間も同時に変更されます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

7

インテリアランプ *1 オートカット機能（自動消灯）

J00901700559

*1 マップ＆ルームランプなどの車内照明

- つぎの状態で，車内照明を点灯したままにすると，約 30 分後に照明が自動的に消灯します。
  [除く，キーレスオペレーションシステム付き車]
  エンジンスイッチが LOCK の状態。
  [キーレスオペレーションシステム付き車]
  電源モードが OFF の状態。
- 自動的に消灯した後，エンジンスイッチを操作したり，ドアまたはテールゲートの開閉やキーレスエントリーまたはキーレスオペレーションシステムの操作をすると再び点灯します。

アドバイス

- インテリアランプオートカット機能（自動消灯）を働かなくすることができます。
  また，自動消灯までの時間を調整することができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

小物入れ

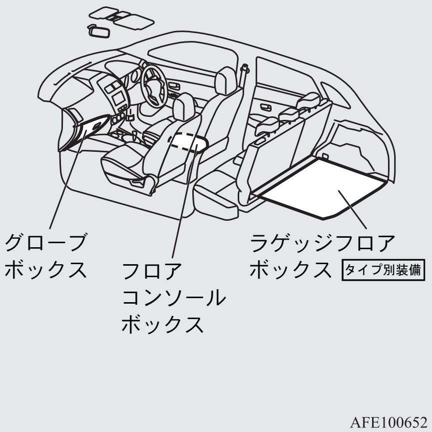
J00906701883

⚠注意

- 強い直射日光にさらされると車内が高温になるため，ライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しないでください。
  ライターなどの可燃物は自然発火したり，炭酸飲料やビールなどの缶は破裂するおそれがあります。また，プラスチックレンズまたはプラスチック素材のメガネは変形，ひび割れをおこすおそれがあります。
- 走行中は小物入れのフタを必ず閉めておいてください。万一の場合，フタや内部の小物でけがをするおそれがあります。

アドバイス

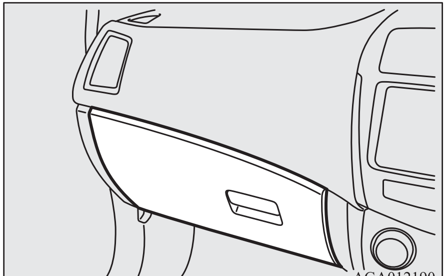
- 車を離れるときは小物入れに貴重品を入れたままにしないでください。



グローブボックス

J00907200530

レバーを引くと開きます。

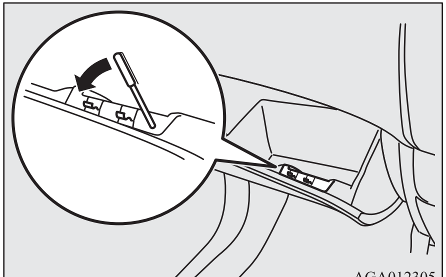


AGA012190

アドバイス

- ライトスイッチが≡D0≡, ≡Dの位置のときまたは，ライトスイッチが AUTO の位置でランプ類が点灯しているとき（オートライト付き車）にグローブボックス内のランプが点灯します。

グローブボックスの内側にペンケースがあります。

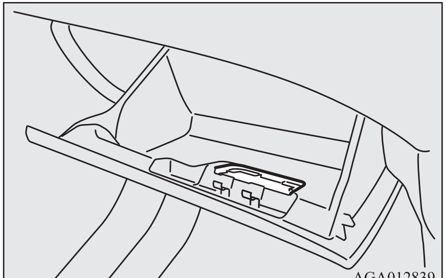


AGA012305

アドバイス

- 固定できるペンのサイズには限りがあります。大きなペンを無理に入れようとすると破損するおそれがあります。

グローブボックスの内側にカードホルダーがあります。



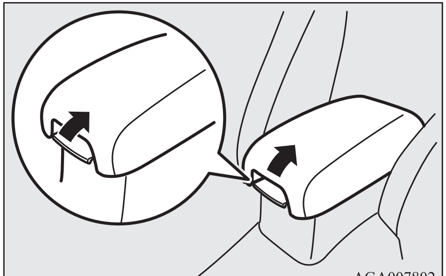
AGA012839

フロアコンソールボックス

J00908200289

A タイプ

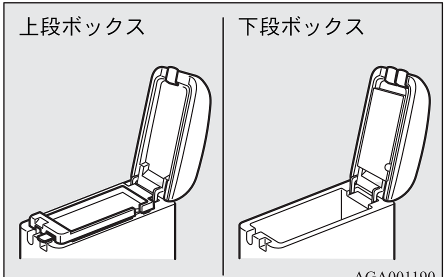
レバーを引きながらフタを開けます。



AGA007802

B タイプ

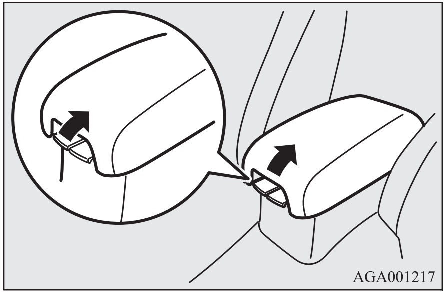
上段ボックスと下段ボックスに分かれています。
上段ボックスのフタはアームレストとしても使用できます。
→「アームレスト（ひじ掛け）」P.4-5



AGA001190

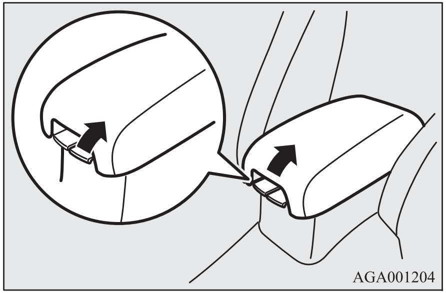
上段ボックス

右側のレバーを引きながらフタを開けます。
閉じるときはロックされるまで押します。

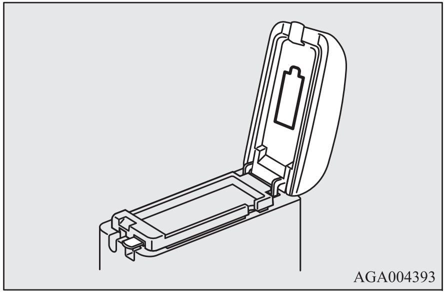

AGA001217

下段ボックス

左側のレバーを引きながらフタを開けます。
閉じるときはロックされるまで押します。


AGA001204

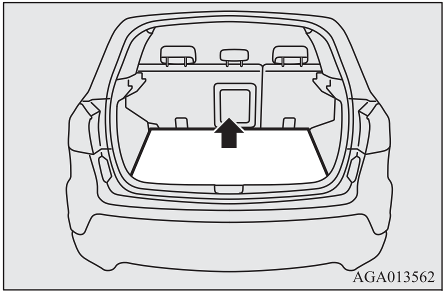
フロアコンソールボックスのフタの内側にポケットティッシュを収納することができます。


AGA004393

ラゲッジフロアボックス

タイプ別装備　J00912600154

ラゲッジフロアボードの下にラゲッジフロアボックスがあります。


AGA013562

カップホルダー

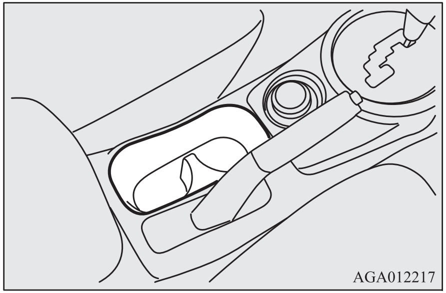
J00903801883

⚠注意

- 走行中の振動や揺れなどで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物の場合，やけどをするおそれがありますので注意してください。

フロントシート用

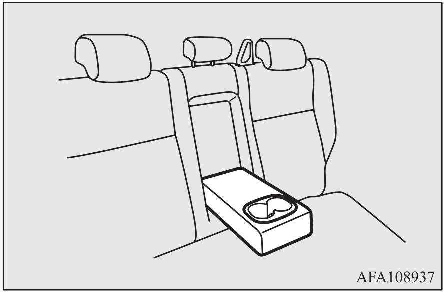
フロアコンソールにカップホルダーがあります。

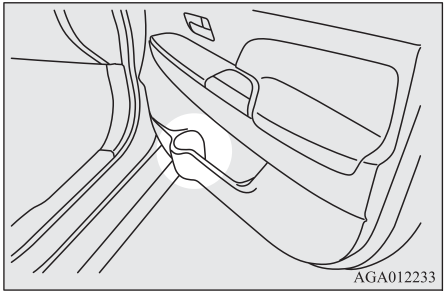


リヤシート用

タイプ別装備

アームレストを倒すとカップホルダーがあります。→「アームレスト」P.4-6





ボトルホルダー

J00905900285

⚠注意

- 走行中の振動や揺れなどで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物の場合，やけどをするおそれがありますので注意してください。

アドバイス

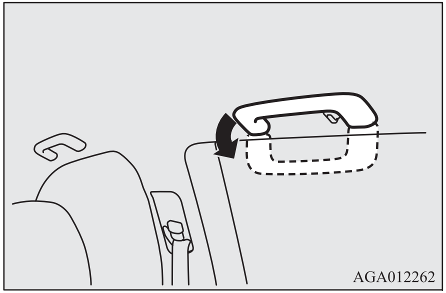
- ペットボトルなどはフタを確実に閉めて収納してください。
- ペットボトルの大きさ，形状によっては収納できないことがあります。

ペットボトルなどを入れることができます。

アシストグリップ

J00912900359

座ったときに手で身体を支えるためのグリップがあります。



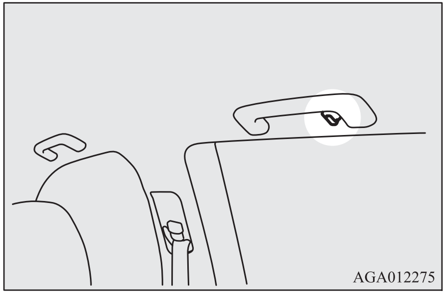
⚠注意

- アシストグリップに手をかけて乗り降りしないでください。
  アシストグリップが外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

コートフック

J00909700164

運転席側の後席用アシストグリップにコートフックがあります。



AGA012275

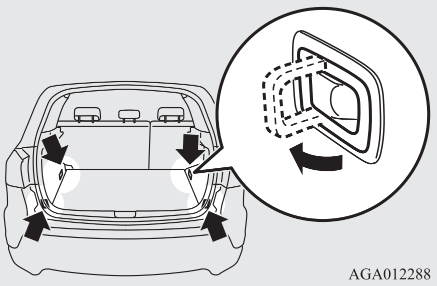
⚠警告

- コートフックには，アクセサリーなどを取り付けたりしないでください。服をかけるときは，ハンガーを使用せずに直接コートフックにかけてください。
  SRS カーテンエアバッグが正常に膨らむのを妨げたり，膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。

ラゲッジフック

J00905100418

荷室の側面にフックがあります。
荷物の固定用としてご使用ください。



AGA012288

⚠注意

- 室内にはシートの高さ以上に荷物を積まないでください。また，荷物は確実に固定してください。
  後方の確認ができなくなったり，急ブレーキをかけたときに荷物が飛び出して思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロアマット

タイプ別装備

J00922800045

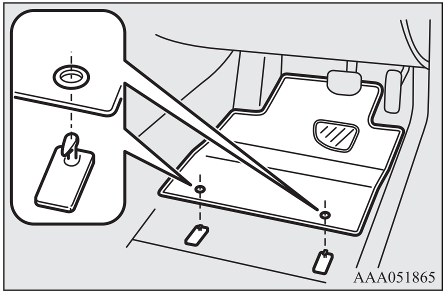
お客様のお車には，専用のフロアマットが設定されています。
フロアカーペットに装着されている固定クリップを使用し，つぎの手順で確実に固定してください。

固定のしかた

J00922901232

1. フロアマットを床の形状に合わせて敷きます。

2. フロアマットの取り付け穴に固定クリップを通し，確実に固定します。



アドバイス

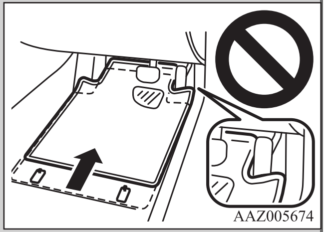
- 車種により，フロアマットの形状や固定クリップの数が異なる場合があります。詳しい固定方法はフロアマットの取扱説明書をお読みください。

警告

- 運転席にフロアマットを敷くときは，つぎのことを必ずお守りください。お守りいただかないと，フロアマットがずれて各ペダルと干渉し，思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなるなど重大な事故につながるおそれがあります。
  - 固定クリップを使用し確実に固定する
  - フロアマットを前後逆さまにしたり，裏返して使用しない
  - フロアマットでペダルをおおわない

警告

- フロアマットの上または下に，別のフロアマットを重ねて敷かない
- アクセルペダルの下に敷かない
- 三菱純正フロアマットであっても，他車種または年式の異なるフロアマットを使用しない



- 運転する前につぎのことを確認してください。
  - フロアマットがすべての固定クリップで正しく固定されていることを定期的に確認し，車内の清掃などでフロアマットを取り外した後は必ず確認する
  - エンジン停止時およびセレクターレバーがⓅのときに，各ペダルをいっぱいに踏み込み，フロアマットと干渉がなく運転に支障がないことを確認する

7

ETC

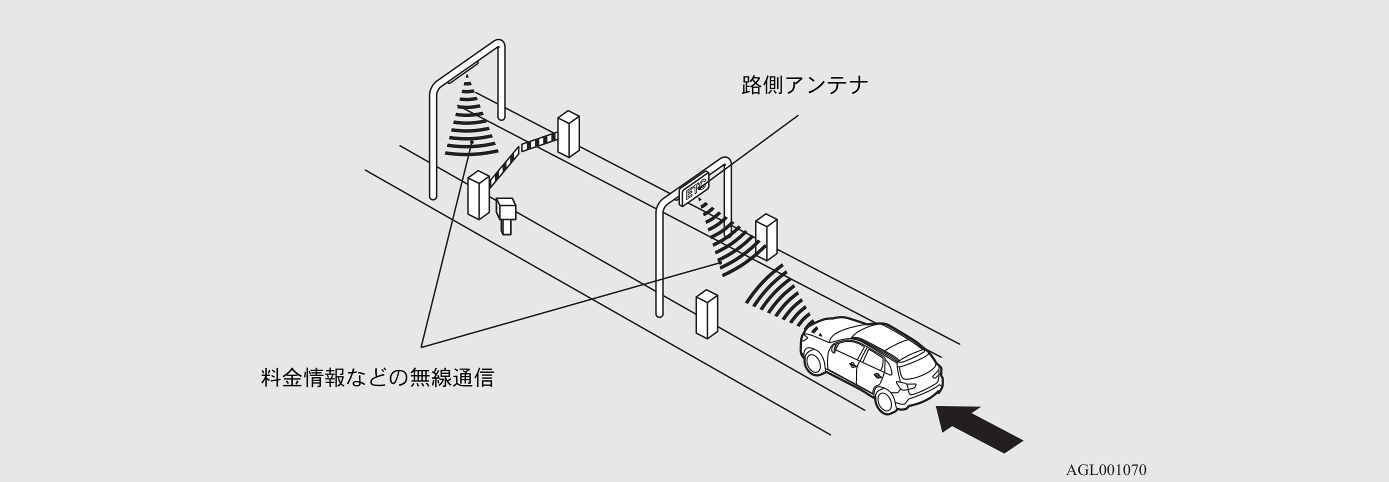
タイプ別装備

J00909900036

ETC システムについて

ETC (Electronic Toll Collection) システムは，有料道路の料金を自動で精算し，料金所の通過をスムーズに行うためのシステムです。料金所に設置された路側アンテナと，車両に装着した ETC 車載器との間で，料金情報などの無線通信を行い自動的に料金の精算を行います。

7



ETC システムを利用するときは，つぎのことに注意してください。

ETC カードを ETC 車載器に差し込む前に

- ETC カードには有効期限があります。使用する前に必ず有効期限を確認してください。→P.7-15

ETC カードを ETC 車載器に差し込んだ後

- ETC カードが ETC 車載器に確実に差し込まれていることおよび ETC 車載器が正常に作動していることを確認してください。→P.7-15
- 料金所付近でETC車載器からETCカードを抜いたり, 差し込んだりしないでください。ETC車載器がETCカードを確認するまでに数秒かかるため，料金所を通過するとき通信エラーの原因になります。→P.7-16

7

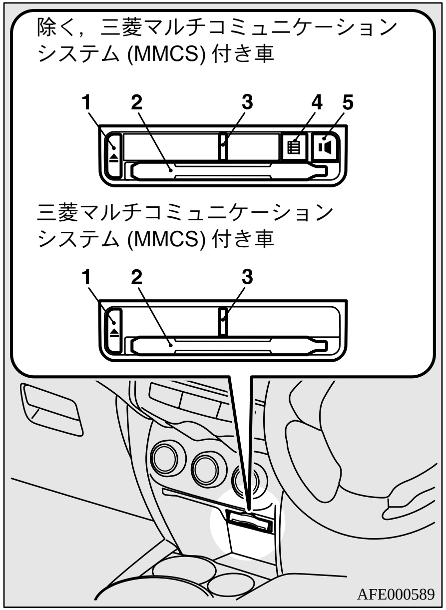
料金所を通過するときは

- ETC 車線を走行するときは前の車との車間距離を十分にとり 20km/h 以下の速度で走行してください。→P.7-16
- ETC車線に設置されている開閉バーは, ETC車載器と料金所間のデータ処理にエラーが発生すると開かないことがありますので注意して走行してください。
→P.7-16
- 開閉バーの手前では十分に減速し，開閉バーが開いたことを確認してから通過してください。→P.7-16

各部の名称

J00910100070

ETC 車載器

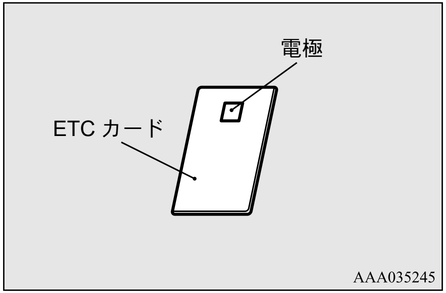


1- ETC カード取り出しボタン
2- ETC カード差し込み口
3- 作動表示灯
4- 利用履歴確認ボタン
5- 音量調整ボタン

⚠注意

- ETC 車載器は精密な電子機器部品です。故障や火災，感電の原因となりますので，つぎのことをお守りください。
  - 分解，改造をしない
  - 異物を内部に入れない
  - ぬれた手で操作しない
  - 水やジュースなどをこぼさない

ETC カード



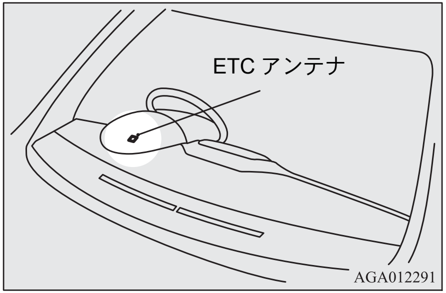
アドバイス

- ETCカードの取り扱いはETCカード発行会社が提示する注意事項にしたがってください。
- ETC カードには有効期限があります。使用する前にETCカードの有効期限をご確認ください。

アドバイス

- ETC カードは精密な電子機器部品です。故障や誤作動を防ぐため，つぎの点をお守りください。
  - 無理に曲げたり，強い衝撃を与えない
  - 水にぬらさない
  - オーディオ，パソコン，テレビなど磁気を帯びた機器の近くに置かない
- ETC カードを破損したり，紛失したときは，すみやかに ETC カード発行会社に連絡してください。

ETC アンテナ



アドバイス

- ETC アンテナ付近に物を置かないでください。通信エラーの原因になります。

ETC を初めて利用するための準備

J00910000024

ETC を利用するには，事前に ETC カードの発行と，ETC 車載器のセットアップをしておく必要があります。

ETC カードの発行

ETC カードの発行には，お客様ご自身によるお申し込みが必要です。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

ETC 車載器のセットアップ

正しく通行料金を精算するため，ナンバープレートなどお客様のお車の情報を ETC 車載器に登録する必要があります。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

アドバイス

- 一度セットアップをした後でも住所変更によりナンバープレートが変わる場合など再度セットアップが必要になることがあります。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

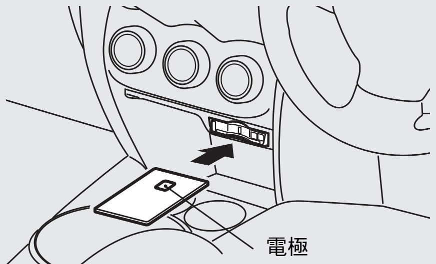
ETC を利用するときは

J00910300056

ETC は，ETC 車載器に ETC カードを差し込み，料金所に設置された ETC ゲートを通過することにより利用することができます。

運転する前に

1. エンジンスイッチまたは電源モードを ON にします。
   ブザーが鳴った後「ETC カードが挿入されていません」と音声で案内します。
2. ETC 車載器の作動表示灯が橙色に点灯したことを確認します。
3. ETC カード取り出しボタンが押し込まれていることを確認し，図の方向で ETC カードを ETC 車載器に差し込みます。



AGA012318

⚠注意

- ETC カード取り出しボタンが押し込まれていない状態で，無理に ETC カードを差し込まないでください。ETC 車載器および ETC カードが破損するおそれがあります。

4. ブザーが鳴った後「ETC が使用できます」と音声で案内します。
   ETC 車載器の作動表示灯が橙色から緑色に切り換わったことを確認します。
   これで運転する前の準備は完了です。

⚠注意

- ETC カードには有効期限があります。
  使用する前に必ず有効期限を確認してください。
- ETC カードを ETC 車載器に差し込んだ後，作動表示灯が橙色から緑色に切り換わるまでは ETC カードを取り出さないでください。
  ETC カードまたはカード内のデータが破損するおそれがあります。

車から離れるときは

1. 安全な場所に停車します。
2. ETC 車載器の作動表示灯が緑色に点灯していることを確認します。

3. ETC カード取り出しボタンを押して，ETC カードを取り出します。

⚠注意

- ETC車載器からETCカードを取り出すときは，必ず ETC カード取り出しボタンを押してください。
  無理に引き抜くと ETC カードや ETC 車載器が破損するおそれがあります。
- ETCカードをETC車載器に入れたままにしたり，車内に放置したまま車から離れたりしないでください。
  炎天下の車内は高温になり，ETC カードが変形したり，ETC カード内のデータが破損するおそれがあります。

ETC カード抜き忘れ警告ブザー

ETC車載器にETCカードを差し込んだままつぎの操作をすると，ETC カード抜き忘れ警告ブザーが鳴り，ETC カードの抜き忘れを知らせます。

[除く，キーレスオペレーションシステム付き車]

エンジンスイッチを LOCK にする。

[キーレスオペレーションシステム付き車]

電源モードを OFF にする。

アドバイス

- ETCカードをETC車載器に入れたままエンジンスイッチまたは電源モードを ON または ACC にすると，ETC カード抜き忘れ警告ブザーが鳴ることがあります。

料金所を通過するときは

J00910400031

ETC 車載器と料金所の間での通信状態を，作動表示灯と音声案内で運転者に知らせます。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）付き車は，案内のしかたが異なります。詳しくは，別冊の取扱説明書をご覧ください。

⚠注意

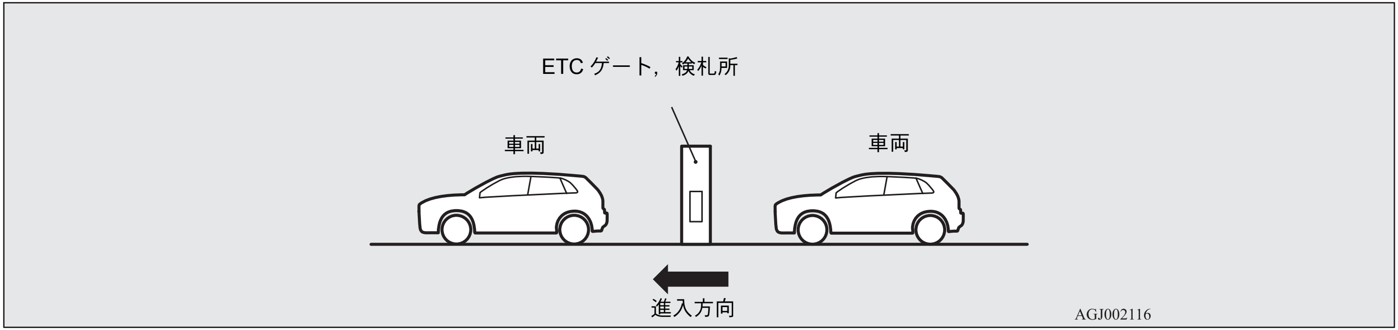
- ETC 車線を走行するときはつぎのことを必ず守り，安全を確認しながら運転してください。
  - 前の車との車間距離を十分にとる
  - 20km/h 以下の速度で走行する
  - 開閉バーの手前では安全に停車できるように十分に減速する
  - 開閉バーが開いたことを確認してから通過する

⚠注意

- 料金所付近では ETC 車載器から ETC カードを抜いたり，差し込んだりしないでください。
  ETC カード内のデータが破損したり，通信エラーの原因となります。
- 開閉バーが開かないなどの理由により ETC 車線内で停車したときは，絶対に車をバックさせないでください。
  インターホンなどで係員を呼び，指示にしたがってください。

料金所（入り口）を通過するとき

ETC ゲート（入り口），検札所を通過します。



通行できるとき

ETC 車載器の作動表示灯は緑色に点灯したまま，ブザーが鳴った後，「通行できます」と音声で案内します。

通行できないとき

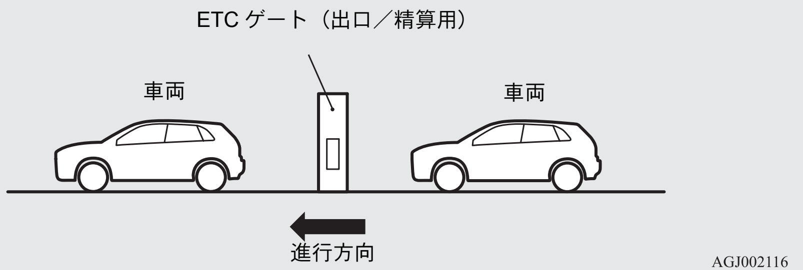
ETC 車載器の作動表示灯は緑色に点灯したまま，ブザーが鳴った後，「通行できません」と音声で案内します。
停車して料金所係員の指示にしたがってください。

⚠注意

- 後ろから他の車両が近づいている場合があるため，バックしないでください。

料金所（出口）を通過するとき

ETC ゲート（出口／精算用）を通過します。



アドバイス

- ETC ゲート（出口）を通過するときは，必ず ETC ゲート（入り口）で使用した ETC カードで通行してください。

通行できるとき

- ETC 車載器の作動表示灯は緑色に点灯したまま，ブザーが鳴った後，「通行できます」と音声で案内します。
- 料金所を通過すると「〇〇〇円利用しました」または「払い戻し料金は〇〇〇円です」と音声で案内します。

アドバイス

- 音声で案内される通行料金は，割り引きなどにより実際と異なる場合があります。

通行できないとき

ETC 車載器の作動表示灯は緑色に点灯したまま，ブザーが鳴った後，「通行できません」と音声で案内します。
停車して料金所係員の指示にしたがってください。

注意

- 後ろから他の車両が近づいている場合があるため，バックしないでください。

料金所付近で異常が発生したときは

ETC カードの差し込み異常

ETC 車載器の作動表示灯が橙色で点滅し，長めにブザーが鳴った後，「コード 01：カードを確認してください」と音声で案内します。
ETC カードが正しく差し込まれているかを確認し，再度差し込んでください。
開閉バーが開かないときは，インターホンなどで係員を呼び，指示にしたがってください。

ETC カードのデータ処理異常

ETC 車載器の作動表示灯が橙色で点滅し，ブザーが鳴った後，「コード 02：カードを確認してください」と音声で案内します。
ETC 車載器が ETC カードのデータを読み出せていません。
再度 ETC カードを差し込んでください。
開閉バーが開かないときは，インターホンなどで係員を呼び，指示にしたがってください。

通信データ異常

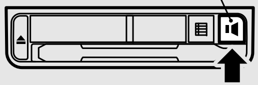
ETC 車載器の作動表示灯が橙色で点滅し，ブザーが鳴った後，「コード 06：ETC を利用できません」と音声で案内します。
ETC 車載器と料金所間のデータ処理にエラーが発生しています。
開閉バーが開かないときは，インターホンなどで係員を呼び，指示にしたがってください。

音量を調整するときは

J00910500058

除く, 三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車

ブザーおよび音声案内の音量を 4 段階に調整することができます。
音量調整ボタンを押すごとに「0 番」（消音）→「1 番」（小）→「2 番」（中）→「3 番」（大）→「0 番」（消音）の順に切り換わり，設定状態を音声（例：「0 番」「1 番」）で案内します。



AFA008372

アドバイス

- 工場出荷時，音量は「2 番」（中）に設定されています。
- 音量を「0 番」（消音）に設定していても，ETC車載器やETCカードに異常が発生した場合は，ブザーが鳴り，音声案内で運転者に異常を知らせます。

三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車

音声案内の音量を調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

アドバイス

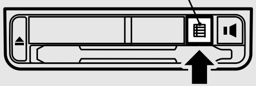
- ブザーの音量を調整することはできません。

利用履歴を確認するときは

J00910600062

除く, 三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車

利用履歴を確認することができます。
利用履歴確認ボタンを押すとつぎの通り音声で案内します。



AFA008385

ETC 車載器に ETC カードが差し込まれていないとき

ETC 車載器に記録されている現在までに ETC を利用した料金の合計を，音声で案内します。

アドバイス

- 料金の合計は 999,990 円まで記録できます。
- 利用履歴ボタンを 3 秒以上押し続けると料金の記録は消去され，「累積 0 円です」と音声で案内します。

ETC 車載器に ETC カードが差し込まれているとき

ETC システムを利用した日付および通行料金を音声で案内します。
利用履歴確認ボタンを押すごとに，日付の新しい履歴から順に音声で案内します。

アドバイス

- 利用日と通行料金の利用履歴はETCカードに記録されています。
  記録できる件数はETCカードにより異なります。

アドバイス

- 利用履歴が登録されていない場合は,「履歴はありません」と音声で案内します。
- いったん利用履歴ボタンの操作をとめて,再度利用履歴ボタンを押すと最新の利用履歴を音声で案内します。

アドバイス

- 一番古い利用履歴の案内をした後に利用履歴確認ボタンを押すと「履歴はありません」と音声で案内します。

三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車

利用履歴を確認することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

7

エラーコード

J00910801120

使用中にエラーが発生すると,ブザーの後エラーコードを音声で案内するとともに作動表示灯が点灯または点滅します。下表で内容を確認し処置してください。
処置しても再度エラーが発生するときや,たびたびエラーが発生するとき,または下表以外のエラーが発生したときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
また,三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）付き車は,案内のしかたが異なります。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

音声案内	ブザー	作動表示灯（橙色）の状態	エラーの内容と処置方法
コード 01：カードを確認してください	ピー	1 回点滅します。	ETC カードが正しく差し込まれていません。ETC カードが正しく差し込まれているかを確認し再度差し込んでください。

<table>
<tr><th>音声案内</th><th>ブザー</th><th>作動表示灯
（橙色）の状態</th><th>エラーの内容と処置方法</th></tr>
<tr><td>コード 02：カードを確認してください</td><td>ピーピーピー</td><td>2 回点滅します。</td><td>● ETC 車載器に ETC カードを差し込んだとき
差し込まれた ETC カードのデータが読み出せていません。
再度 ETC カードを差し込んでください。再度エラーが発生するときは三菱自動車販売会社にご連絡ください。
● ETC 利用時
料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。
停車して料金所係員の指示にしたがってください。</td></tr>
<tr><td>コード 03：カードを確認してください</td><td>ピー</td><td>3 回点滅します。</td><td>差し込んだカードが ETC カードであることを認識できていません。差し込んだカードや差し込み方向に間違いがないかを確認し，再度 ETC カードを差し込んでください。再度エラーが発生するときは，ETC カード発行会社にご相談ください。</td></tr>
<tr><td>コード 04：ETC を利用できません</td><td>ピー</td><td>4 回点滅します。</td><td>ETC 車載器が故障しています。三菱自動車販売会社にご相談ください。</td></tr>
<tr><td>コード 06：ETC を利用できません</td><td>ピーピーピー</td><td>約 1 秒間点灯し，その後 1 回点滅します。</td><td rowspan="2">ETC 車載器と料金所の間でデータ処理にエラーが発生しています。
料金所係員の指示にしたがってください。
たびたびエラーが発生するときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。</td></tr>
<tr><td>コード 07:</td><td>ピーピーピー</td><td>長めに 1 回点灯してから消灯し，その後 2 回点滅します。</td></tr>
</table>

音声案内	ブザー	作動表示灯 （橙色）の状態	エラーの内容と処置方法
コード 09:	ピー	長めに 1 回点灯してから消灯し，その後 4 回点滅します。	ETC 車載器が故障しています。 三菱自動車販売会社にご相談ください。
コード 10:	ピー	2 回連続で点灯してから消灯します。	
コード 11:	ピーピーピー	2 回連続で点灯し，その後 1 回点滅します。	料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。 停車して料金所係員の指示にしたがってください。

アドバイス

- 作動表示灯は，約 1 分間点滅を繰り返してから消灯します。
- エラーが発生したときは，音量調整ボタンを押して音量を「0 番」（消音）に設定していても，ブザーが鳴り音声案内で運転者に異常を知らせます。

故障かなと思ったら

J00910900023

下表で内容を確認し処置してください。
処置しても元に戻らないときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

現象	処置
エンジンスイッチまたは電源モードを ON にしたとき，作動表示灯が緑色または橙色に点灯しない	三菱自動車販売会社にご相談ください。
作動表示灯が橙色に点灯する	ETC 車載器に ETC カードが差し込まれているか確認し，再度 ETC カードを差し込んでください。

現象	処置
作動表示灯が橙色に点滅する	エラーコードの内容を確認し処置してください。 →「エラーコード」P.7-21 たびたびエラーが発生するときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。
料金所の開閉バーが開かない	停車して料金所係員の指示にしたがってください。その後，ETC アンテナの周囲に電波をさえぎる物がないか確認してください。
ETC 車載器に ETC カードを差し込むことができない	ETC 車載器に異物が入ったときは，異物を取り除いてください。 ETC カードが変形したときは，無理に差し込まず ETC カード発行会社に再発行を申請してください。
ETC 車載器から ETC カードが取り出せない	無理に ETC カードを引き抜かずに三菱自動車販売会社にご相談ください。 取り出した ETC カードが変形しているときは，ETC カード発行会社に再発行を申請してください。
請求金額が音声案内の内容と異なる	利用履歴確認ボタンで ETC カードの履歴を確認してください。 →「利用履歴を確認するときは」P.7-20 料金についてはカード発行会社にお問い合わせください。
ETC 車載器から異音がする	三菱自動車販売会社にご相談ください。
音声案内の内容がおかしい	利用履歴確認ボタンと，音量調整ボタンを同時に 3 秒以上押し続けてください。 音声案内の内容が元に戻らないときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

7

USB 入力端子

タイプ別装備 J00965100038

USB デバイスまたは iPod* を接続し，保存されている音楽ファイルを再生することができます。

ここでは USB デバイスまたは iPod の接続方法および取り外し方法について説明します。

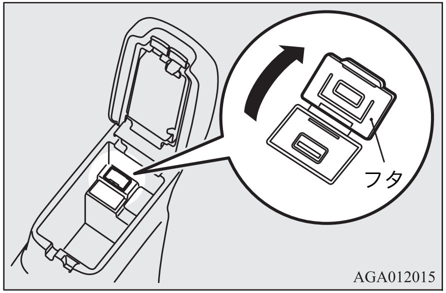
*: “iPod” は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

USB デバイス (機器) の接続のしかた

J00971500141

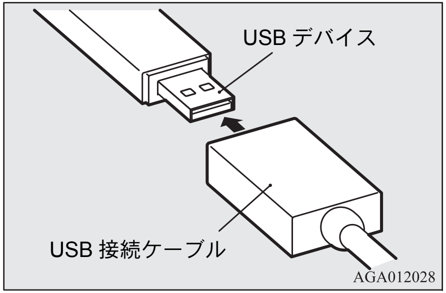
1. 安全な場所に車両を停車して，エンジンスイッチをLOCKまたは電源モードを OFF にします。

2. フロアコンソールボックスの中にある USB 入力端子のフタを開けます。



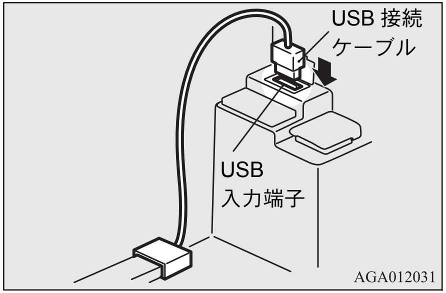
AGA012015

3. 市販の USB 接続ケーブルを USB デバイスに接続します。



AGA012028

4. USB 接続ケーブルを USB 入力端子に接続します。



AGA012031

⚠注意

- 走行中はフロアコンソールボックスのフタを必ず閉めておいてください。万一の場合，フタや内部の小物でけがをするおそれがあります。

アドバイス

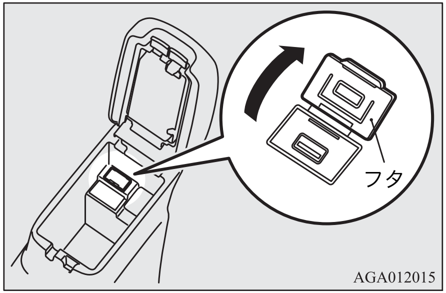
- USBデバイスをUSB入力端子に直接接続しないでください。
- フロアコンソールボックスを閉める際，USB 接続ケーブルをはさまないように注意してください。

5. USB 接続ケーブルを取り外すときは，エンジンスイッチをLOCKまたは電源モードを OFF にしてから，取り付けるときと逆の手順で取り外します。

iPod の接続のしかた

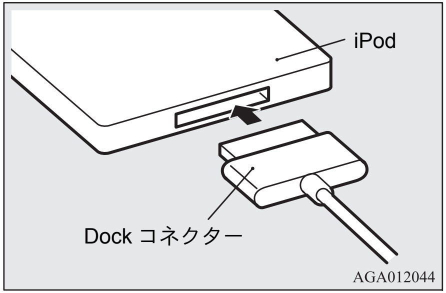
J00971600012

1. 安全な場所に車両を停車して，エンジンスイッチをLOCKまたは電源モードを OFF にします。
2. フロアコンソールボックスの中にある USB 入力端子のフタを開けます。



AGA012015

3. iPodにDockコネクターを接続します。



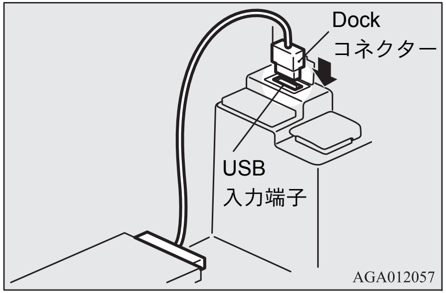
AGA012044

7

アドバイス

- Dock コネクターは Apple Inc. 純正品を使用してください。

4. USB 入力端子に Dock コネクターを接続します。



⚠注意

- 走行中はフロアコンソールボックスのフタを必ず閉めておいてください。万一の場合，フタや内部の小物でけがをするおそれがあります。

5. Dockコネクターを取り外すときは，エンジンスイッチを LOCK または電源モードを OFF にしてから，取り付けるときと逆の手順で取り外します。

接続できるデバイス（機器）の種類および対応可能なファイルの仕様

J00971700097

接続できるデバイスの種類および対応可能なファイルの仕様については，別冊の「三菱マルチコミュニケーションシステム」取扱説明書 (MMCS 付き車)，または「ディスプレイオーディオ - タッチパネル付き AM/FM ラジオ＆ CD プレイヤー -」取扱説明書（ディスプレイオーディオ付き車) をご覧ください。

アドバイス

- 接続されているUSBデバイスまたはその他のデバイスの種類によっては，正しく機能しなかったり，ご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- 最新のファームウェアにしたiPodの使用をおすすめします。
- iPod はエンジンスイッチまたは電源モードが ACC または ON のときに USB 入力端子に接続することで充電することができます。
- USBデバイスまたはiPodを車内に置いたままにしないでください。
- データ破損のおそれがあるためファイルのバックアップをおすすめします。

アドバイス

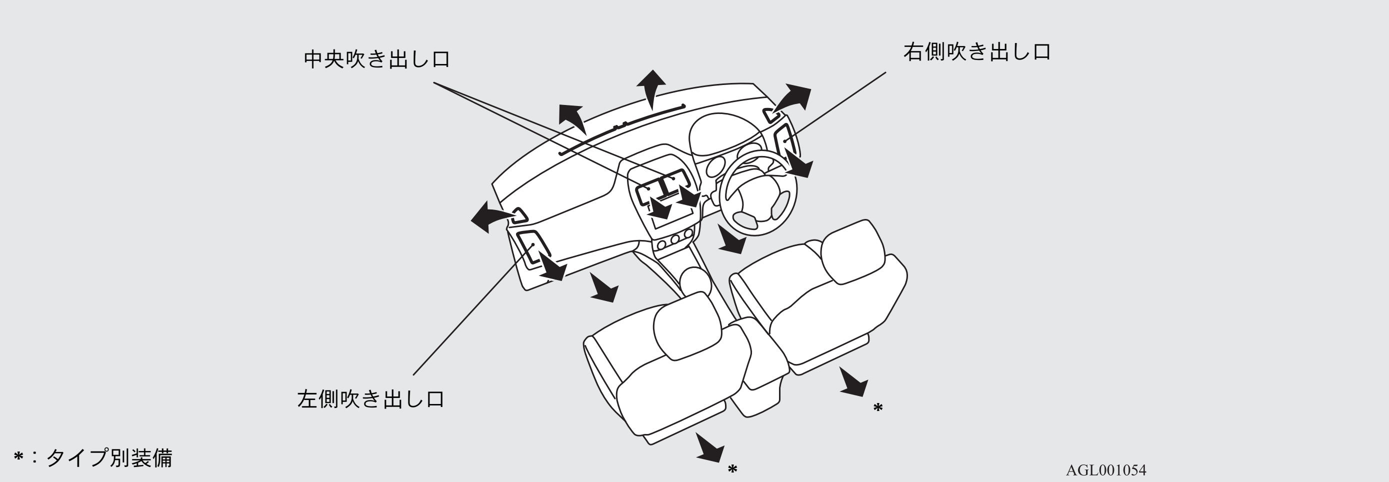
- 接続可能なデバイス以外の機器（ハードディスク，カードリーダー，メモリーリーダー etc）を USB 入力端子に接続しないでください。デバイスおよびデータが破損するおそれがあります。誤って接続した場合はエンジンスイッチを LOCK または電源モードを OFF にしてから取り外してください。

エアコン

吹き出し口 8-2
エアコン 8-3
エアコンの上手な使い方 8-9
クリーンエアフィルター 8-9

吹き出し口

J01000100701

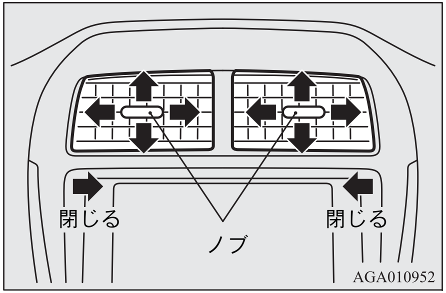


風向き調整

J01000300716

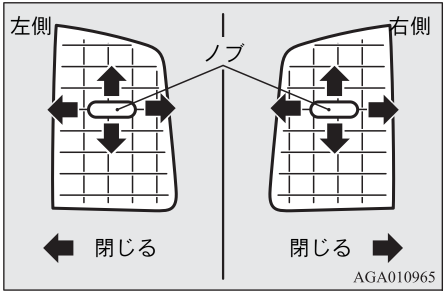
中央吹き出し口

ノブを動かして調整します。
吹き出し口を閉じるときは，ノブを内側いっぱいまで動かします。



左右吹き出し口

ノブを動かして調整します。
吹き出し口を閉じるときは，ノブを外側いっぱいまで動かします。



AGA010965

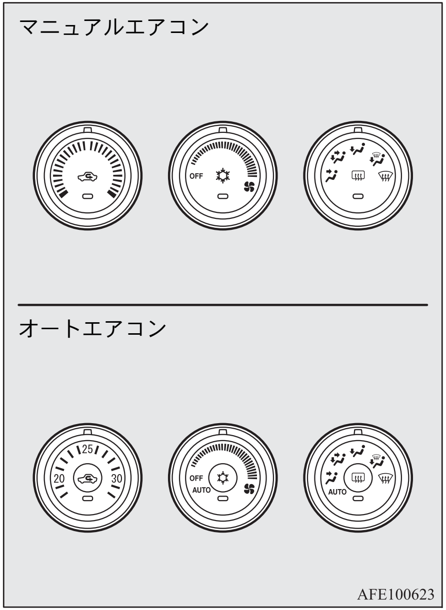
アドバイス

- 冷房時まれに吹き出し口から霧が吹き出したように見えることがありますが，これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので異常ではありません。
- 冷房，除湿効果が悪いときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- 吹き出し口に飲み物などが入らないようにしてください。エアコンが正常に作動しなくなるおそれがあります。

エアコン

J01002401819

エンジンスイッチまたは電源モードが ON の状態のときに使用できます。



AFE100623

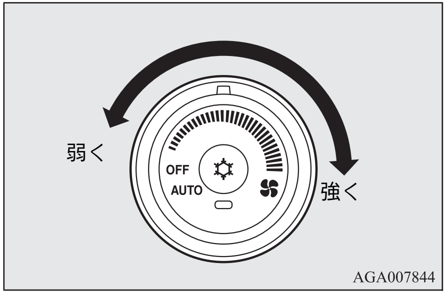
スイッチの使い方

J01002500187

風量調整ダイヤル

J01002800337

風量を強くするときは右へ，弱くするときは左へ回します。



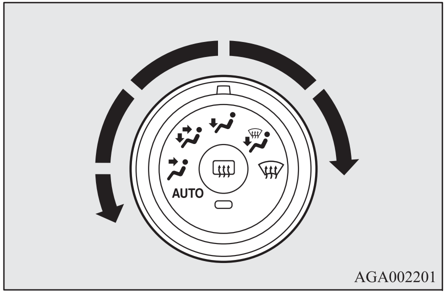
AGA007844

8

吹き出し口切り換えダイヤル

J01003201465

使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。



AGA002201

上半身に送風したいとき

上半身と足元に送風したいとき

足元に送風したいとき

足元とウインドウガラスに送風したいとき

ウインドウガラスに送風したいとき

⚠注意

- と の間で使用するときは，窓の曇りを防止するため内外気切り換えスイッチを押して外気導入にしてください。
→「内外気切り換えスイッチ」P.8-4

アドバイス

- オートストップ＆ゴー(AS&G) 付き車は，AS&G 作動中にウインドウガラスが曇ることがあります。
ウインドウガラスが曇ったときは，吹き出し口切り換えダイヤルを にして，曇りを取ってください。
- 吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にすると上半身へ多く， と の間にすると足元へ多く送風されます。
- 吹き出し口切り換えダイヤルを にすると，ウインドウガラスにも送風されます。

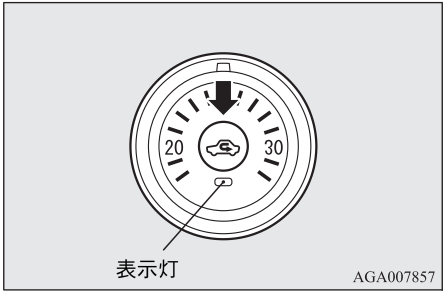
アドバイス

- 吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にすると足元へ多く， と の間にするとウインドウガラスへ多く送風されます。

内外気切り換えスイッチ

J01003400402

スイッチを押すと外気導入（外気を車内に入れる）と内気循環（外気をしゃ断する）の切り換えができます。スイッチを押すたびに音が鳴ります。内気循環に切り換わるとスイッチ内の表示灯が点灯します。



⚠注意

- 窓の曇りを防止するため通常は外気導入で使用してください。

⚠注意

- 早く冷房したいときは内気循環にします。ただし，長時間内気循環にしておくとウインドウガラスが曇りやすくなるため，ときどき外気導入に切り換えて換気してください。

アドバイス

- オートエアコン付き車は手動操作後，再度吹き出し口切り換えダイヤルまたは風量調整ダイヤルを AUTO にすると，内外気切り換えスイッチも自動制御されます。

内外気切り換えのカスタマイズ（機能の設定変更）

つぎの機能をお好みにあわせて変更することができます。

- 内外気自動制御許可：
マニュアルエアコン付き車は，エアコンが作動しているとき，内外気切り換えスイッチが自動制御されます。
オートエアコン付き車は，吹き出し口切り換えダイヤルまたは風量調整ダイヤルを AUTO にすると，内外気切り換えスイッチも自動制御されます。

● 内外気自動制御拒否：
マニュアルエアコン付き車は，エアコンが作動しているとき，内外気切り換えスイッチが自動制御されません。
オートエアコン付き車は，吹き出し口切り換えダイヤルまたは風量調整ダイヤルをAUTOにしても内外気切り換えスイッチは自動制御されません。

● 設定変更方法
内外気切り換えスイッチを約 10 秒以上押し続けます。
設定が変更されると音が鳴り，表示灯が点滅します。
- 許可から拒否へ変更した場合
音が“ ピピピッ ”と鳴り，表示灯が 3 回点滅する。
- 拒否から許可へ変更した場合
音が“ ピピッ ”と鳴り，表示灯が 3 回点滅する。

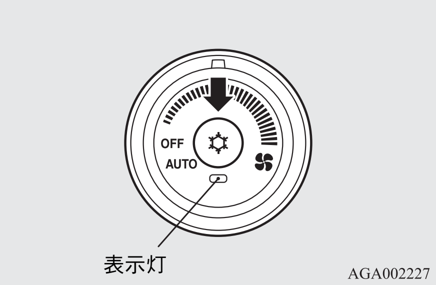
アドバイス

- 工場出荷時は「内外気自動制御許可」に設定されています。
- 吹き出し口切り換えダイヤルをにしているときは，窓の曇りを防止するため，「内外気自動制御拒否」に設定していても自動的に外気導入に切り換わります。

エアコンスイッチ

J01003500588

スイッチを押すとエアコン（冷房・除湿機能）が作動し，スイッチ内の作動表示灯が点灯します。スイッチを押すたびに音が鳴ります。もう一度押すとエアコンは停止します。



⚠ 注意

- CVT 車は，エアコン作動中はエンジン回転数が高くなりクリープ現象が強くなりますので，停車中はしっかりとブレーキペダルを踏んでください。
→「クリープ現象とは …」P.2-11

アドバイス

- エアコン作動表示灯が点滅したときは，エアコン装置に何らかの異常が考えられます。一度エアコンスイッチを押してエアコンを切り，再度スイッチを押してエアコンを ON にしてください。しばらくたってもエアコン作動表示灯が点滅しなければ異常ありません。
再び点滅する場合は三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- 高圧洗車機などを使用して，大量の水がコンデンサに付着した場合は，洗車後エアコン作動表示灯が一時的に点滅することがありますが，異常ではありません。しばらくたってから，一度エアコンスイッチを押してエアコンを切り，再度スイッチを押してエアコンを ON にしてください。水分が蒸発していれば点滅は止まります。

エアコンスイッチのカスタマイズ（機能の設定変更）

オートエアコン付き車

つぎの機能をお好みにあわせて変更することができます。

- エアコン自動制御許可：
  吹き出し口切り換えダイヤルまたは風量調整ダイヤルをAUTOにした場合や温度調整ダイヤルを最低温度にした場合，エアコンスイッチの自動制御をします。
- エアコン自動制御拒否：
  エアコンスイッチを操作しない限り，エアコンスイッチの自動制御をしません。
- 設定変更方法
  エアコンスイッチを約 10 秒以上押し続けます。
  設定が変更されると音が鳴り，表示灯が点滅します。
  - 許可から拒否へ変更した場合
    音が“ ピピピッ ”と鳴り，表示灯が 3 回点滅する。
  - 拒否から許可へ変更した場合
    音が“ ピピッ ”と鳴り，表示灯が 3 回点滅する。

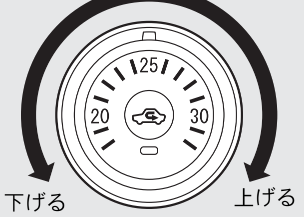
アドバイス

- 工場出荷時は「エアコン自動制御許可」に設定されています。
- 吹き出し口切り換えダイヤルをにしているときは，窓の曇りを防止するため，「エアコン自動制御拒否」に設定していてもエアコンは自動的に作動します。

温度調整ダイヤル

J01003000512

室内温度を調整します。
温度を上げるときは右へ，下げるときは左へ回します。



AGA002197

アドバイス

- エンジン冷却水温が低いときに温度調整ダイヤルを動かしても送風温度は変わりません。
- オートエアコン付き車は，温度を最高または最低に設定すると，内外気およびエアコンがつぎの通り自動的に切り換わります。
  自動的に切り換わった後に手動操作した場合は，操作した機能が優先されます。
  - 急速暖房（最高温度に設定）
    外気導入，エアコン停止
  - 急速冷房（最低温度に設定）
    内気循環，エアコン作動

アドバイス

工場出荷時は上記のように設定されています。内外気切り換え／エアコンスイッチのカスタマイズ（機能の設定変更）したときや，操作条件によっては外気およびエアコンの自動切り換えを，お好みにあわせて変更することができます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
→「エアコンスイッチ」P.8-5
→「内外気切り換えスイッチ」P.8-4

自動で使うとき

J01004000867

オートエアコン付き車

1. 風量調整ダイヤルを AUTO にします。
2. 温度調整ダイヤルで希望温度を設定します。設定温度を 18 ～ 32 の間で調整できます。

アドバイス

- 25 を基準に，お好みの温度に調整してください。

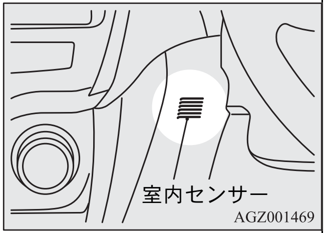
3. 吹き出し口切り換えダイヤルをAUTOにします。

吹き出し口の切り換え（を除く）風量，エアコンの ON/OFF および，内外気の切り換えの自動調整をします。

作動を止めたいときは風量調整ダイヤルを OFF にします。

アドバイス

- エンジン冷却水温が低いときに温度調整ダイヤルを動かしても送風温度は変わりません。
- AUTO 作動中に温度調整ダイヤル以外の各ダイヤル／スイッチを操作すると操作した機能が優先します。操作した機能以外は自動制御されます。
- 室温センサーをふさいだりしないでください。



目的に合った使い方

J01004100523

お好みに合わせてダイヤルを操作してください。オートエアコン付き車は，AUTO（自動）作動中でも，操作した機能が優先されます。操作した機能以外は自動制御されます。

暖房したいときは

J01013400014

マニュアルエアコン付き車

1. 吹き出し口切り換えダイヤルをにします。

アドバイス

- 吹き出し口切り換えダイヤルがのとき，ウインドウガラスにも少し送風されますが，これはウインドウガラスの曇りを防止するためのものです。

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

アドバイス

- 急速暖房したいときは，温度を最高に設定します。

3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

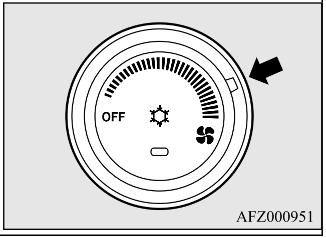
⚠注意

- 窓の曇りを防止するため外気導入（表示灯消灯）で使用してください。

4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

アドバイス

- 急速暖房したいときは，風量調整ダイヤルを矢印の位置にします。



冷房したいときは

J01013500015

マニュアルエアコン付き車

1. 吹き出し口切り換えダイヤルをにします。
2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。
3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

⚠注意

- 内気循環にすると早く冷房されますが，換気のためときどき外気導入に切り換えてください。

4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。
5. エアコンスイッチを押してエアコンを作動させます。エアコンが作動するとスイッチ内の作動表示灯が点灯します。

アドバイス

- 外気導入で使用中，エアコンが作動するとしばらくの間，内気循環か外気導入かの自動判定を行います。外気温が高い場合には，エアコンの効きをよくするために，自動的に内気循環に切り換わりスイッチ内の表示灯が点灯します。外気導入に戻すときは，内外気切り換えスイッチを押してください。

頭寒足熱にしたいときは

J01013600016

マニュアルエアコン付き車

1. 吹き出し口切り換えダイヤルをにします。

アドバイス

- 各シンボルの間にはそれぞれのダイヤル停止位置があり風量をお好みに調整できます。
  例：からに近づけるほど上半身への風量が少なくなり，足元への風量が多くなります。
  →「吹き出し口切り換えダイヤル」P.8-3

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。
3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。
4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは

J01004200670

吹き出し口切り換えダイヤルを(曇り取り）にします。エアコンが自動的に作動し，外気導入に切り換わります。
早く曇り，霜を取りたいときは風量調整ダイヤルで風量を最大にし，温度調整ダイヤルで温度を最高に設定してください。

⚠注意

- 吹き出し口切り換えダイヤルをとの間にしてもウインドウガラスの曇り，霜を取ることができますが，自動的にエアコンは作動しません。
  また，外気導入にも切り換わりません。
  エアコンの作動および外気導入への切り換えは，エアコンスイッチおよび内外気切り換えスイッチを操作して行ってください。
- 安全のため，ウインドウガラスの曇りや霜は早めに取り除いて視界確保に努めてください。

アドバイス

- サイドウインドウガラスの曇りを早く取りたいときは，左右の吹き出し口をサイドウインドウガラスに向けてください。
- 吹き出し口切り換えダイヤルをにしたときは設定温度を最低温度付近にしないでください。
  ウインドウガラスの外側に露が付くことがあります。
- 吹き出し口切り替えダイヤルを(曇り取り）の位置にすると，AS&G が作動せず，停車してもエンジンは自動停止しません。これは十分な視界を確保するためです。

曇り止めと暖房を同時にしたいときは

J01011100222

1. 吹き出し口切り換えダイヤルをつぎの位置にします。

曇り止めを優先するとき

吹き出し口切り換えダイヤルをとの間にします。

暖房を優先するとき

吹き出し口切り換えダイヤルをとの間にします。

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

8

3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

⚠注意

- 窓の曇りを防止するため外気導入（表示灯消灯）で使用してください。

4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

アドバイス

- エアコンを使用すると除湿効果があります。

換気したいときは

J01011300022

マニュアルエアコン付き車

1. 吹き出し口切り換えダイヤルをお好みの位置に設定します。
2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。
3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。
4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときは

J01004300251

トンネルや渋滞など外気が汚れているときは内外気切り換えスイッチを押して内気循環にします。
→「内外気切り換えスイッチ」P.8-4

すべての作動を停止したいときは

J01004400193

風量調整ダイヤルを OFF にします。

エアコンの上手な使い方

J01009400707

長時間炎天下に駐車したときは

車室内の温度は大変高くなります。
このようなときはドアガラスを開けて車室内の熱気を車外に追い出してください。

冷やしすぎに注意

長時間冷風を直接身体に当てないでください。冷やしすぎは身体によくありませんので，少し涼しいと感じる温度に調整してください。

定期点検を忘れずに

暑い季節になる前に冷媒ガス量の点検を行ってください。冷媒ガスが不足すると冷房効果が悪くなります。

⚠注意

- エアコンの冷媒ガスを充填する場合は，エンジンフード（ボンネット）内に貼付のエアコン冷媒ラベルに記載されている冷媒量をお守りください。規定量を超えて充填した場合，エアコンコンプレッサが故障し，エンジン停止や始動不能になるおそれがあります。

アドバイス

- エアコンの効きが悪い場合は冷媒ガスが不足またはないことが考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

クリーンエアフィルター

J01009500681

花粉やほこり，粉じんなどを取り除くフィルターを内蔵しています。フィルターに花粉やほこりなどが付着すると効

果が低下しますので，フィルターは定期的に交換することをおすすめします。
→「クリーンエアフィルターの交換のしかた」P.10-5

アドバイス

- フィルターの交換時期については別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

オーディオ

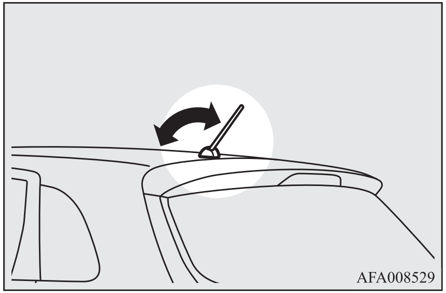
アンテナ 9-2

- ディスプレイオーディオ - タッチパネル付き AM/FM ラジオ ＆ CD プレイヤー - の操作方法については，別冊の取扱説明書をご覧ください。
- 三菱マルチコミュニケーションシステム付き車のオーディオの操作については，別冊の取扱説明書をご覧ください。

アンテナ

J01102200925

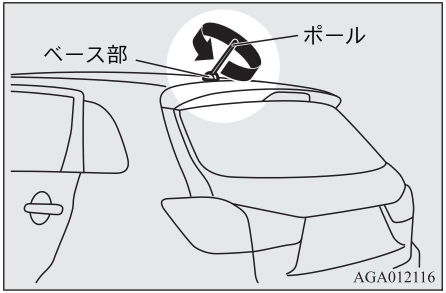
ルーフアンテナ



ラジオを聞くときは，アンテナをカチッと音がする位置まで起こしてからお聞きください。

取り外し方，取り付け方

取り外すときはポールを反時計回りにまわします。



取り付けるときは時計回りにまわしてポールをベース部にねじ込み，しっかりと取り付けてください。

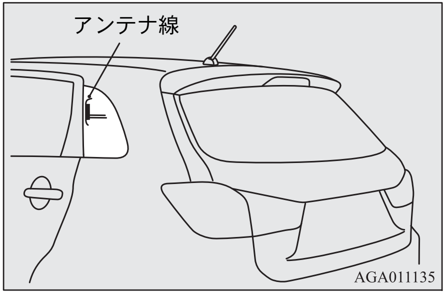
アドバイス

- つぎのようなときは，アンテナを損傷するおそれがあるため必ずアンテナを取り外してください。
  - 自動洗車機を使用するとき
  - ボデーカバーをかけるとき
  - 立体駐車場など天井の低い所へ入るとき

テレビアンテナ

タイプ別装備

テレビ用アンテナ線が左右のリヤクォーターガラスの内側にプリントされています。



アドバイス

- リヤクォーターガラスを清掃するときは，アンテナ線を傷つけないようにアンテナ線に沿って柔らかい布でふいてください。
- リヤクォーターガラスに鏡面タイプのフィルムや金属物（市販のアンテナなど）を貼り付けると，受信感度が低下する原因となります。
  また，フィルムを貼り付ける際，カッターなどでアンテナ線を傷つけると受信感度が低下するおそれもあります。

9

簡単な整備・車のお手入れ

エンジンオイルの補給 10-2
燃料噴射装置の洗浄 10-2
ウォッシャー液の点検・補給.. 10-2
バッテリー液の点検・補充 10-3
タイヤメンテナンス 10-4
クリーンエアフィルターの交換のしかた............................ 10-5
内装品のお手入れ... 10-6
外装品のお手入れ... 10-7

エンジンオイルの補給

J01200100745

エンジンオイルはエンジンの性能や寿命，始動性に大きく影響しますので，必ず指定のオイルおよび粘度のものを使用してください。
エンジンオイル量を点検しオイルが不足している場合は，三菱自動車純正エンジンオイルまたはオイル缶に ILSAC 認証マークの入ったエンジンオイルを補給してください。

→「エンジンオイル注入キャップ，エンジンオイルレベルゲージ」P.1-9
→「オイル類の量と種類」P.13-3

ILSAC 認証マーク

AAA005581

アドバイス

- エンジンオイルは通常走行でも，走行状況に応じて消耗します。
  オイル量を点検しオイルが不足している場合は，補給してください。
- エンジンオイルの点検，補給方法，交換時期については別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

燃料噴射装置の洗浄

J01200800292

燃料噴射装置の洗浄を行うことにより，本来のエンジン性能を引き出すことができます。
洗浄剤には三菱自動車純正インジェクタークリーナーを使用してください。

⚠注意

- 三菱自動車純正以外の洗浄剤を使用しないでください。燃料噴射装置が損傷するおそれがあります。
- 他の添加剤と同時に使用しないでください。エンジンに悪影響をおよぼすおそれがあります。

アドバイス

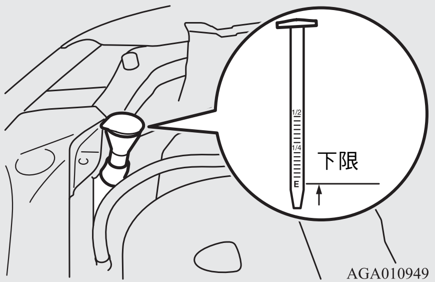
- 新車時の性能を長く維持していただくため，15,000km または 1 年ごとの使用をおすすめします。

ウォッシャー液の点検・補給

J01200200746

ウォッシャータンクのキャップを開け，レベルゲージで液量を点検します。

フロント・リヤ共用



AGA010949

ウォッシャー液が不足している場合は，三菱自動車純正ウォッシャー液を気温に適した濃度で補給してください。

使用地域・季節	希釈割合	凍結温度
通常	原液 1 に水 2	-10 ℃程度
寒冷地の冬期	原液 1 に水 1	-20 ℃程度

使用地域・季節	希釈割合	凍結温度
極寒冷地の冬期	原液のまま	-50 ℃程度

⚠注意

- 冬期は，ウォッシャー液を薄めすぎると液がウインドウガラスに凍りついてしまうことがあります。

アドバイス

- ウォッシャー液の代わりに石けん水などを使用すると，ノズルのつまり，塗装のしみなどの原因となることがありますので使用しないでください。

バッテリー液の点検・補充

J01202200072

バッテリー液を点検し，液が不足している場合は補給してください。

アドバイス

- 点検および補給方法については別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

バッテリー液を補充する時はつぎの手順でアッパーカバーとダクトを取り外してください。

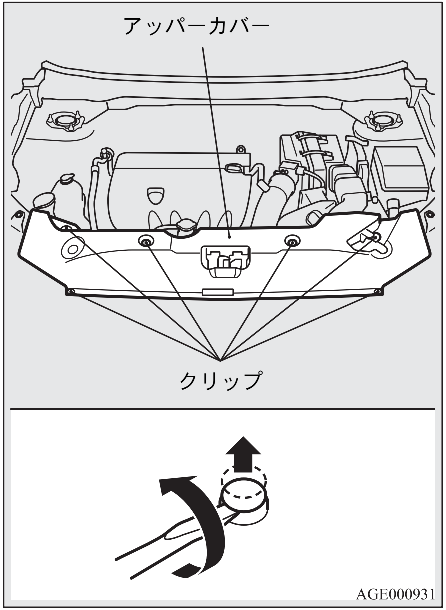
⚠警告

- 作業を行う場合は，必ずエンジンを止めてください。
  衣服などがファンやドライブベルトに巻き込まれて，けがをするおそれがあります。

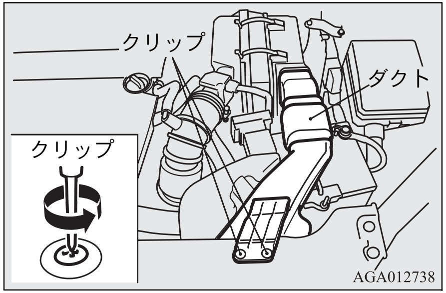
取り外すときは

J01203700016

1. クリップ 6 箇所を取り外し，アッパーカバーを取り外します。



2. クリップ（2 箇所）を外し，ダクトを取り外します。

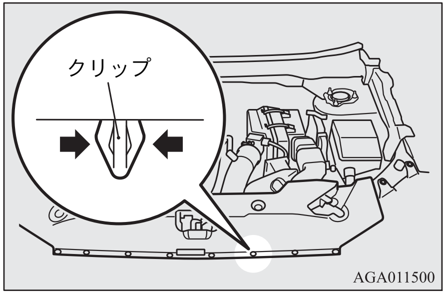


取り付けるときは

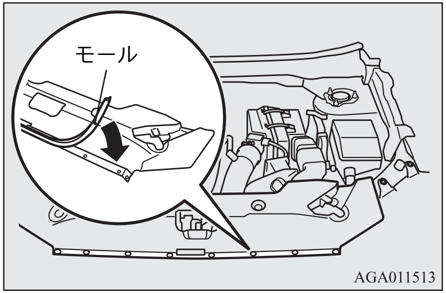
J01203800017

10

1. ダクトを取り付け，クリップ（2 箇所）で固定します。
2. アッパーカバーを裏返し，プライヤーなどでモールクリップ（8 箇所）をつまみ，モールを取り外します。



3. アッパーカバーを取り付けます。
4. モールを取り付けます。



アドバイス

- モールの山の方を車両先方にして取り付けてください。

5. クリップ 6 箇所を取り付けます。

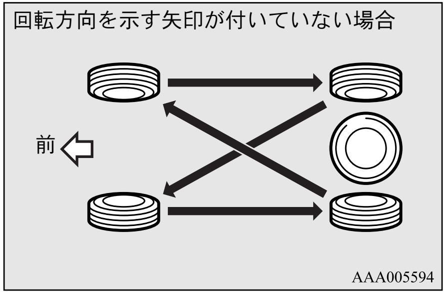
タイヤメンテナンス

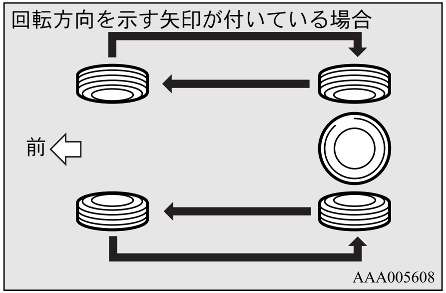
J01202100198

タイヤローテーション

J01202401299

タイヤの摩耗を均一にして寿命を延ばすため，タイヤローテーションを 5,000km 走行ごとに行ってください。



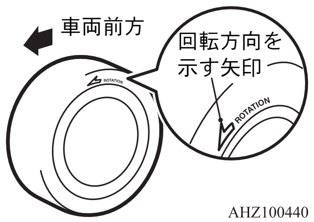


⚠注意

- 応急用スペアタイヤはローテーション作業を行うとき，外したタイヤのかわりに一時的に使用することができますが，ローテーションには加えないでください。

⚠注意

- タイヤに回転方向を示す矢印が付いているときは，4 輪で前後ローテーションを行ってください。
  タイヤを取り付けるときは車両前進時の回転方向と矢印の向きが同じになるように取り付けてください。矢印の向きが異なるとタイヤの性能が十分に活かされません。



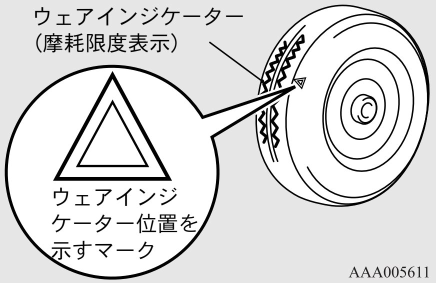
AHZ100440

- 種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので避けてください。

タイヤの摩耗

J01202500105

ウェアインジケーター（溝の深さ 1.6mm 以下）が現れたら，スリップしやすくなり危険ですのでタイヤを交換してください。



AAA005611

アドバイス

- ウェアインジケーターのマークや位置は，タイヤメーカーによって異なります。

タイヤ空気圧の点検・調整

J01202600135

タイヤの空気圧は定期的に点検し，必ず規定の空気圧に調整してください。
→「タイヤの空気圧」P.13-7

⚠警告

- タイヤの空気圧が不足したまま走行すると，タイヤが偏摩耗したり，車の安定性や操縦性を確保できなくなるおそれがあります。また，バースト（破裂）するなど重大な事故につながるおそれがあります。

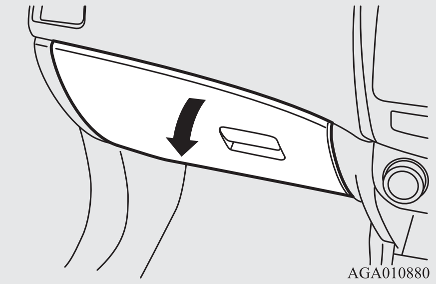
アドバイス

- 点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。
- 規定の空気圧は運転席ドアを開けたボデー側のラベルにも表示しています。

クリーンエアフィルターの交換のしかた

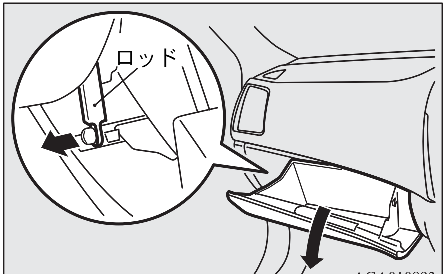
J01202000373

1. グローブボックスを開けます。


AGA010880

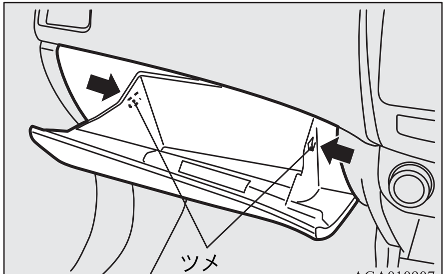
10

2. グローブボックス左側のロッドをボックス左側へ外します。



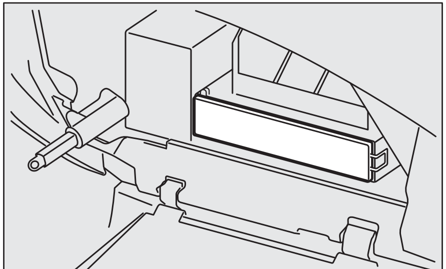
AGA010893

3. グローブボックスの側面を押しながら，左右のツメを外し，グローブボックスを下げます。



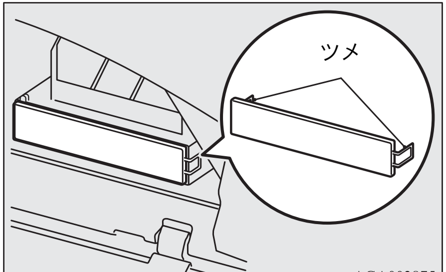
AGA010907

4. グローブボックスの奥にクリーンエアフィルターがあります。



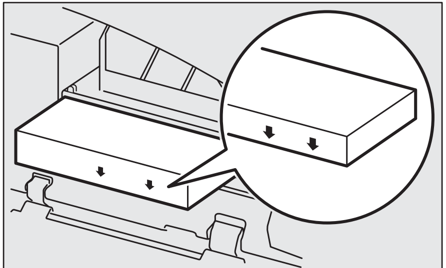
AGA003862

5. カバー左右にあるツメを外して，カバーを外します。



AGA003875

6. クリーンエアフィルターを取り出して新品と交換します。交換するときはフィルターの矢印が下向きになるように取り付けてください。



AGA003888

7. 元に戻すときは，取り外したときと逆の手順で取り付けます。

内装品のお手入れ

J01200600984

1. 電気掃除機などでほこりを取り除きます。
2. ガーゼなどの柔らかい布に，中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，軽くふき取ります。
3. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって，洗剤をきれいにふき取ります。
4. 水分をよくふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。

10

⚠注意

- シリコンやワックスを含むクリーナーや保護剤を使用しないでください。
  インストルメントパネルなどに使用すると使用箇所がウインドウガラスに映り込み，視界の妨げになるおそれがあります。また，各種スイッチなどに付着すると電装品の故障につながるおそれがあります。
- シートの下など，見えにくい場所や狭い場所のお手入れをするときは，手袋などを使用して，手にけがをしないよう注意してください。

アドバイス

- ベンジン，ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤は使用しないでください。変色やしみ，割れの原因になります。
  また，各種クリーナー類にはこれらの成分が含まれているおそれがありますのでよく確認のうえ使用してください。
- 液体芳香剤は，こぼれないよう容器を確実に固定してください。
  また，インストルメントパネルの上やランプ類，メーターの近くには置かないでください。
  含まれる成分によって樹脂部品や布材の変色，ひび割れをおこすおそれがあります。

本革

タイプ別装備

J01202700149

1. ガーゼなどの柔らかい布に，ウール用中性洗剤の 5% 水溶液を含ませて，汚れをふき取ります。
2. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって，洗剤をふき取ります。
3. 乾いた柔らかい布で水分をふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。

アドバイス

- 水をこぼしたり，雨などでぬれたときは，乾いた柔らかい布で早めに水分をふき取ってください。
- ナイロンブラシ，合成繊維類で強くこすると表面を傷つけるおそれがあります。
- 本革の汚れはカビなどの原因となります。油汚れなどは，早めに落としてください。
- 直射日光に長時間さらすと表面が日焼けしたり，硬くなって縮むことがあります。できるだけ日陰に駐車してください。

外装品のお手入れ

J01200701083

お車を美しく保つために，走行後は塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としてください。

つぎのような汚れは，そのままにしておきますと，腐食，変色，しみになるおそれがありますので，できるだけ早く洗車してください。

- 海水や道路凍結防止剤など
- 工場のばい煙，油煙，粉じん，鉄粉，化学物質（酸，アルカリ，コールタールなど）など
- 鳥のふん，虫の死がい，樹液，花粉など

⚠注意

- 下まわりやホイールを洗うときは，厚手のゴム手袋などを使用して，手にけがをしないよう注意してください。

洗車のしかた

J01202801727

1. 水をかけながら，車体の下まわりを洗います。
2. 車体上部から水をかけながら，スポンジなどで汚れを洗い落とします。
3. 水洗いで落ちにくい汚れには，中性洗剤を使用してください。
   洗車後は，中性洗剤を水で完全に洗い落とします。
4. 鳥のふんや虫の死がいなどの汚れは，水で洗い落とし，必要に応じてワックスで汚れを落とします。

5. 柔らかい布またはセーム皮で，塗装面にはん点が残らないよう水分をふき取ります。

⚠注意

- エンジンルーム内には水をかけないでください。車体の下まわりを洗車するときも，エンジンルーム内に水が入らないようにしてください。
  エンジン始動不良などの原因になります。
- 洗車後は，低速で走行しながら数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。
  ぬれたままにしておくとブレーキの効きが悪くなったり，凍結やさびによってブレーキが固着し，走行できなくなることがあります。

アドバイス

- 三菱自動車純正ワックスの使用をおすすめします。
- レインセンサー付き車は，洗車をする前にワイパースイッチをOFF 位置にしてください。AUTO 位置のままでフロントガラスに水がかかると，ワイパーが自動作動して手や指などをはさんだり，ワイパーブレードを損傷するおそれがあります。
- 自動洗車機を使用すると塗装面にブラシの傷がつき，塗装の光沢が失われたり，劣化を早めるおそれがあります。

アドバイス

- 洗浄機（コイン洗車機など）は機種によって高温，高圧のものがあります。
  車体樹脂部品の熱変形，破損，接着式マーク類のはがれ，室内への水侵入などのおそれがありますので，つぎのことをお守りください。
  - 洗車ノズルと車体との距離を十分離す。（約 70cm 以上）
  - ドアガラス回りを洗うときは，洗車ノズルをガラス面に垂直に向け，洗車ノズルとガラスとの距離を十分離す。（約 70cm 以上）
- 自動洗車機を使用するときは，部品が破損したり，車両を傷つけるおそれがありますので，ドアミラーおよびサイドアンダーミラーを格納し，アンテナを取り外してください。
  ルーフレールおよびリヤスポイラー付き車は，使用する前に必ず係員にご相談ください。係員のいないコイン洗車機などは，操作要領にしたがって洗車してください。

ワックスのかけ方

J01202900431

月に 1~2 回または，水をはじかなくなったときにかけます。
ワックスがけは，洗車後の塗装面が体温以下のときに直射日光を避けて行ってください。
塗装面が熱いときにワックスをかけると，しみの原因になります。

アドバイス

- 三菱自動車純正ワックスの使用をおすすめします。
- コンパウンド（研磨剤）入りのワックスは使用しないでください。
  コンパウンド入りのワックスを使用すると，汚れ落ちはよくなりますが，塗装面やメッキ面を削り取るため光沢が失われる原因になります。
  また，使用した布に色が付着し色落ちするおそれがあります。
  特に濃彩色は変色部分がめだちやすくなります。
- 黒色のつや消し塗装部にワックスをかけると，色むらなどが起こるおそれがありますので，ワックスをかけないでください。
  ワックスが付着したときは，温水を用い柔らかい布できれいにふき取ってください。

アドバイス

- 洗車やワックスがけを行うときは，車体の一点に強い力がかからないよう注意してください。
  力のかけぐあいや場所によっては，万一の場合，車体がへこむおそれがあります。

ウインドウガラスのお手入れ

J01203000240

ワイパーのふきが悪くなったときは，ウインドウガラス洗浄剤（ガラスクリーナー等）で清掃してください。

アドバイス

- 三菱自動車純正ウインドウガラス洗浄剤の使用をおすすめします。
- ガラスの内側を清掃するときは，電熱線を傷つけないよう電熱線に沿って柔らかい布でふいてください。

ワイパーのお手入れ

J01201100090

ワイパーゴムに異物が付着していたり，摩耗しているとふきが悪くなりますので，つぎのように処置してください。

- 異物が付着しているときは，水を含ませた柔らかい布でワイパーゴムを清掃してください。
- ワイパーゴムが摩耗しているときは，早めにワイパーゴムを交換してください。

アドバイス

- ワイパーゴムの交換については，別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

樹脂部品のお手入れ

J01201500179

スポンジまたはセーム皮で清掃します。黒色や灰色系統で表面がざらざらしている部分（バンパーやモールディングなど）およびランプ類にワックスが付着すると白くなることがあります。
ワックスが付着したときは，温水を用い柔らかい布またはセーム皮などできれいにふき取ってください。

アドバイス

- たわしなどの硬いものは，表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- コンパウンド（研磨剤）入りワックスは，樹脂の表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- ガソリン，軽油，ブレーキ液，エンジンオイル，グリース，塗装用シンナー，硫酸（バッテリー液）を付着させると，変色，しみ，ひび割れの原因になりますので，絶対に避けてください。
  万一，付着したときは，すみやかに中性洗剤の水溶液を用い柔らかい布またはセーム皮などでふき取った後，多量の水で洗い流してください。

10

アルミホイールのお手入れ

タイプ別装備

J01201600183

1. 水をかけながら，スポンジなどで汚れを洗い落とします。
2. 水洗いで落ちにくい汚れには，中性洗剤を使用してください。
   洗車後は，中性洗剤を水で洗い落とします。
3. 柔らかい布またはセーム皮で水分をふき取ります。

アドバイス

- ブラシなどの硬いものは，ホイール表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- コンパウンド（研磨剤）入りのクリーナーや，酸性およびアルカリ性のクリーナーは使用しないでください。
  ホイール塗装表面のはがれ，変色，しみの原因になります。
- スチームクリーナーなどで直接熱湯をかけないでください。
- 海水や道路凍結防止剤などが付着したときは，腐食するおそれがありますので早めに洗い落としてください。

10

塗装の補修

J01201700126

飛び石や引っかき傷などは，腐食の原因になります。
見つけたら早めにタッチアップペイントで補修してください。

アドバイス

- 三菱自動車純正タッチアップペイントの使用をおすすめします。

寒冷時の取り扱い

冬期前の点検と準備 11-2
走行前の点検 11-2
雪道，凍結路の走行 11-3
寒冷地での駐車 11-4
タイヤチェーン 11-4

冬期前の点検と準備

J01300101235

エンジンオイル

エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものに交換します。
→「メンテナンスデータ ：オイル類の量と種類」P.13-3

冷却水

冷却水が凍結するとエンジンを損傷します。不凍液（三菱自動車純正品）の濃度を 50% にします。

ウォッシャー液

ウォッシャー液（三菱自動車純正品）の濃度を 50% 以上にします。
→「ウォッシャー液の点検・補給」P.10-2

バッテリー

気温が下がるとバッテリーに負担がかかりエンジン始動に支障をきたすことがありますので液量，比重の確認をし，必要に応じて液の補給や補充電をしてください。
→「バッテリー液の点検・補給」P.10-3

タイヤチェーン，または冬用タイヤの準備

タイヤチェーンは必ず三菱自動車純正品をご使用ください。またタイヤに合ったサイズのものを使用してください。
→「タイヤチェーン」P.11-4
冬用タイヤに取り替えるときは，4 輪とも交換します。
→「タイヤ交換のしかた」P.12-14

ワイパー

寒冷地用ワイパーは，雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムで覆ってあります。
寒冷地用ワイパーに交換するときは，必ず三菱自動車純正品をご使用ください。

走行前の点検

J01300200721

日常点検時につぎの点検を追加してください。

ウインドウガラスの雪や霜を落とす

ウインドウガラスの雪や霜を落として視界を確保してください。また，ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りついていないかも確認してください。

アドバイス

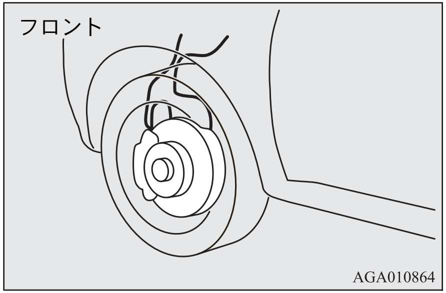
- 冬期はワイパーブレードが凍結しフロントガラスに張り付くことがあります。その場合はヒーターでフロントガラスを暖めてください。
  →「ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは」P.8-8
  フロントガラスに張り付いたまま動かすとワイパーブレードを傷めたり，ワイパーモーター故障の原因となります。

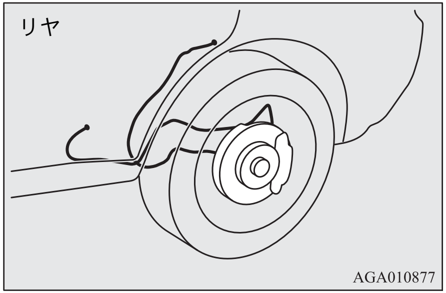
足まわりの確認

足まわりに付着した氷塊を取り除いてください。走行中に氷塊が部品を損傷するおそれがあります。

⚠注意

- 足まわりにはブレーキ関連部品が集まっています。部品や配線などを損傷させないように注意して取り除いてください。





ドアの凍結

ドアが凍結したときに無理に開けようとするとドアまわりのゴムがはがれたり，き裂が入るおそれがあります。お湯をかけて氷を溶かしてください。その後すみやかに水分を十分ふき取ってください。

アドバイス

- キー穴部にはお湯をかけないでください。凍結すると，キーが差し込めなくなります。

車に乗る前に

ペダルのすべりや，ウインドウガラスの曇りを防止するため，靴についた雪はよく落としてから乗車してください。

ペダル，ハンドル，ブレーキの効きの確認

- ペダルやハンドルの動きは円滑かどうか確認してください。
- ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。
  走り始めの極低速時にブレーキペダルを踏んで，効き具合を確認してください。

雪道，凍結路の走行

J01300300546

暖機運転について

長すぎる暖機運転は，燃料の無駄使いにつながります。環境保護のためにも暖機運転は 1 分程度を目安として最小限にとどめてください。

雪道や凍結した道路はスリップに注意

- 速度はひかえめにし，タイヤチェーンを前輪に装着，または 4 輪とも冬用タイヤに交換してください。
- 橋の上，日陰，水たまり，トンネルの出入口付近などは路面が凍結していることがあります。慎重な運転を心がけ，急ブレーキ，急ハンドル，急なアクセル操作は避けてください。

車間距離は十分に

雪道，凍結路は滑りやすいため，ブレーキの効きが悪くなります。走行中は車間距離を十分にとってください。

フェンダー内の雪は早めに取り除く

走行中にはね上げた雪がフェンダー内に着氷しハンドルの切れが悪くなることがあります。氷塊を取り除いてください。

ブレーキの効き具合を確認

雪道走行時にブレーキ装置に着氷し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。走行中は前後の車や道路状況に注意し，ときどき軽くブレーキペダルを踏んで効き具合を確認してください。

駐車後の発進は慎重に

ブレーキ装置への着氷により車輪がロックしていることがあります。車のまわりの安全を十分確認してからゆっくり発進してください。

⚠注意

- 急にアクセルペダルを踏み込まないでください。着氷によるロックが外れたときに急発進し，思わぬ事故につながるおそれがあります。

洗車は早めに

寒冷地では道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。さびの原因になりますので早めに洗車してください。特に下まわりを念入りに洗車してください。

寒冷地での駐車

J01300400462

駐車ブレーキが凍結するおそれがあります。駐車ブレーキはかけず，セレクターレバーをⓅ に入れさらに輪止めをしてください。
また軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪や積雪の重みで車の屋根などがへこむことがあります。

アドバイス

- 車の前方を風下に向けて駐車しておくと，エンジンの冷えすぎを防ぐことができます。
- ワイパーアームを立てておけば，ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りつくのを防ぐことができます。
- 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

タイヤチェーン

J01300701068

前輪駆動車ですので，タイヤチェーンは前輪に取り付けてください。4WD 車も前輪駆動を主とした四輪駆動なので，タイヤチェーンは前輪に装着してください。

⚠注意

- タイヤチェーンは後輪に取り付けないでください。

タイヤチェーンは必ず三菱自動車純正品をご使用ください。またタイヤに合ったサイズのものを使用してください。
三菱自動車純正品以外のタイヤチェーンを装着すると，ボデーなどにあたり傷をつけるおそれがあります。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
取り付け要領は，タイヤチェーンに添付の取扱説明書をご参照ください。

⚠注意

- 応急用タイヤにはタイヤチェーンは装着できません。前輪がパンクしたときは後輪を前輪に取り付けてからチェーンを装着してください。

⚠注意

- パンクタイヤ応急修理キット付き車の前輪がパンクしたときは，パンクタイヤ応急修理キットで応急修理をしてからタイヤチェーンを装着してください。
  →「パンクタイヤ応急修理キット」P.12-18
- 路上でタイヤチェーンをかけるときは，交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所を選びます。
  また，非常点滅灯や停止表示板で後続車に注意を促し同乗者は安全な場所に待機させてください。

アドバイス

- スチールホイール付き車は，ホイールカバーを外してからタイヤチェーンを取り付けてください。ホイールカバーを付けたままタイヤチェーンを取り付けると，ホイールカバーが傷つくおそれがあります。
  →「ホイールカバー」P.12-17
- アルミホイールにタイヤチェーンを取り付けるとホイールが傷つくおそれがあります。チェーンや金具がホイールにあたらないように装着してください。
- タイヤチェーンを装着したときは30km/h 以下で走行してください。
- 雪道，凍結路以外でのタイヤチェーンの装着はチェーンの寿命を短くしますので，避けてください。

もしものときの処置

警告灯が点灯または点滅したときは！ 12-2
こんなことでお困りのときは！... 12-4
故障したときは！ 12-7
発炎筒を使うときは！ 12-8
工具とジャッキ 12-8
ジャッキアップのしかた.. 12-10
スペアタイヤ.. 12-12
タイヤ交換のしかた.. 12-14
パンクタイヤ応急修理キット... 12-18
バッテリー上がりのときは！... 12-24
オーバーヒートしたときは！... 12-26
けん引.. 12-28
ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは！ 12-32
ヒューズが切れたときは！ 12-32
バルブ（電球）が切れたときは！ 12-37

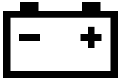
警告灯が点灯または点滅したときは！

J01400102288

アドバイス

- マルチインフォメーションディスプレイ内の警告表示は「インフォメーション画面表示一覧」の項をご覧ください。→P.5-22

ただちに安全な場所に停車し，最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。

	充電警告灯	P.5-31

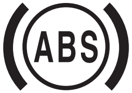
ただちに最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。

	SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯	P.4-30

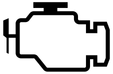
急ブレーキや高速走行を避け，ただちに安全な場所に停車し，最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。
駐車ブレーキをかけたままのときも点灯します。駐車ブレーキを解除し，消灯すれば異常ではありません。

	ブレーキ警告灯	P.5-30

安全な場所に停車し，エンジンを停止してください。
再度エンジンをかけ，その後しばらく走行しても点灯しなければ異常ありません。
消灯しないときやたびたび点灯するときは，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
ただし，ABS 警告灯とブレーキ警告灯が同時に点灯したときは，急ブレーキや高速走行を避け，ただちに車を安全な場所に停めて最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。

	ABS 警告灯	P.6-28

すぐに停車する必要はありませんが，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

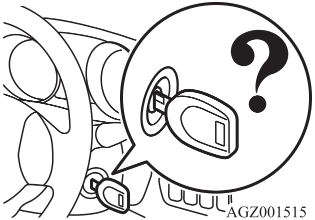
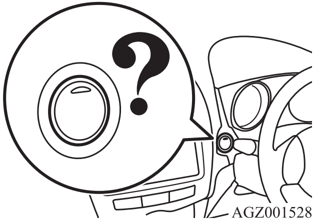
	エンジン警告灯（点灯または点滅）	P.5-31

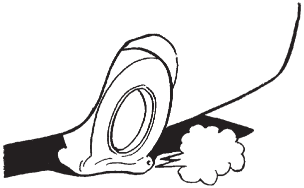
参照ページをお読みになり処置してください。

	シートベルト警告灯	P.4-11

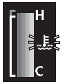
こんなことでお困りのときは！

J01400301818

現象	処置
水たまりに入った後にブレーキの効きが悪い。	前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。 「雨天時や水たまりを走行するときは」→ P.2-8
走行中にエンストした。	通常よりブレーキペダルを強く踏み続けてください。 「万一，走行中にエンストしたときは」→ P.2-10
エンジンスイッチが回らない。 （除く，キーレスオペレーション付き車）  AGZ001515	**LOCK から ACC に回らない** ハンドルを左右に動かしながらエンジンスイッチを回してください。 **ACC から LOCK に回らない** セレクターレバーがⓅに入っているか確認してください。 「キーを抜くときは」→ P.6-7
エンジンスイッチを押してもエンジンがかからない。 （キーレスオペレーション付き車）  AGZ001528	キーレスオペレーションキーが車室内にあることを確認します。 「エンジンを始動する，電源モードを切り換えるときの作動範囲」→ P.3-11 セレクターレバーがⓅに入っていることを確認し，ブレーキを踏みながらエンジンスイッチを押してください。 「エンジンの始動／停止」→ P.3-13

現象	処置
キーレスオペレーション機能が作動しない。 （キーレスオペレーション付き車）	●エマージェンシーキーを使ってドアの施錠・解錠操作を行ってください。 「キーレスオペレーションシステム：キーレスオペレーション機能を使わずに操作するときは」→P.3-18 ●キーレスオペレーションキーをグローブボックス内のキーボックスに差し込んで，エンジンの始動，電源モードの切り換えを行ってください。 「キーレスオペレーションシステム：キーレスオペレーションキーが正常に作動しないときは（電池切れなど）」→ P.3-16
セレクターレバーがⓅから動かない。	ブレーキペダルを踏んでからセレクターレバーを操作してください。 エンジンスイッチまたは電源モードが ON の状態になっていることを確認してください。 「セレクターレバーの動かし方」→ P.6-13
雨の日，湿気の多い日などに窓が曇る。 	外気導入になっているか確認してください。 エアコンを入れると効果的です。 「ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは」 → P.8-8
パンクした。 	1. あわてずに，ハンドルをしっかり持ち，安全な場所に車を停止します。 2. 応急用スペアタイヤ付き車は，スペアタイヤに交換します。 「タイヤ交換のしかた」→ P.12-14 パンクタイヤ応急修理キット付き車は，応急修理キットで応急修理をします。 「パンクタイヤ応急修理キット」→ P.12-18

12

現象	処置
エンジンがかからない。 ライトが点灯しない，暗い。 ホーンが鳴らない，音が小さい。	バッテリー上がりが考えられます。 「バッテリー上がりのときは！」→ P.12-24
マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示が表示された後，エンジン冷却水温表示が点滅していたり，エンジンの出力が急に低下する。 エンジンルームから蒸気が出ている。 Aタイプ または Bタイプ または  AGZ001267	オーバーヒートが考えられます。 「オーバーヒートしたときは！」→ P.12-26
タイヤがスリップして発進できない。 （ぬかるみ，雪道，凍結路などの発進時）	スリップしているタイヤの前後にある土や雪などを取り除きます。 ● 1. 毛布か布などがあるときは，それをスリップしているタイヤの前に差し入れて滑り止めにします。 2. 4WD 車はドライブモードを 4WD オートまたは 4WD ロックに設定します。 3. ゆっくりとアクセルペダルを踏んで発進してください。 ● 何も滑り止めにするものがないときは，前後進を繰り返して車の反動を利用して脱出します。

12

⚠注意

- 車の反動を利用して脱出するときは，車の周囲に人がいないことを確認してから行ってください。

⚠注意

- ぬかるみなどにはまったときは，むやみにタイヤを空転させないでください。タイヤがもぐり込み，かえって脱出しにくくなります。また，エンジンの高回転を続けるとオーバーヒートやトランスミッションの故障につながるおそれがあります。数回試して脱出できないときは，専門業者に依頼してください。

現象	処置
CVT が変速しない。	CVT に異常が発生し，安全装置が働いていると考えられます。お近くの三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
加速が鈍い。	CVT に異常が発生し，安全装置が働いているか，エンジン制御装置に異常が発生していると考えられます。高速走行を避けてできるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠注意

- マルチインフォメーションディスプレイ内の警告表示や警告表示が消えないときやたびたび表示するとき，またはエンジン警告灯が点灯や点滅したとき，走行中はアクセルペダルを踏んでもスピードが出なくなることがあります。停車時はアイドリング回転数が高くなり，クリープ現象が強くなることがあるため，よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

故障したときは！

J01400400708

故障して動けなくなったときは，同乗者または付近の人に応援を求め，安全な場所まで車を押して移動します。
このとき，セレクターレバーをⓃに入れてください。

踏切内で動けなくなったときは

踏切内で脱輪やエンストなどで，すぐに車を動かせないときは，すみやかに同乗者を避難させ，踏切の非常ボタンを押します。

⚠注意

- 電車が近づいているときや，緊急を要するときは，発炎筒で合図してください。

アドバイス

- CVT 車は，マニュアル車と構造が異なるため, エンジンスイッチを START の位置で保持したり，エンジンスイッチを押し続けても，緊急避難的に車を動かすことはできません。

一般道路での故障表示

追突などの事故を防ぐため，車を路肩に寄せ，非常点滅灯を点滅させるか，停止表示板などで故障表示します。

高速道路，自動車専用道路での故障表示

高速道路や自動車専用道路では，車両後方に停止表示板を置くことが義務付けられています。
人は車内に残らず，路肩を歩いて安全な場所に避難してください。

アドバイス

● 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

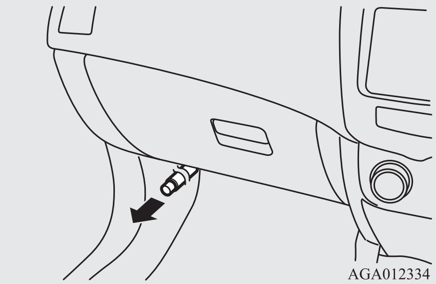
修理の連絡先

別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

発炎筒を使うときは！

J01400500363

発炎筒は，高速道路や踏切などで故障したときに使用します。
使用したときや期限切れのときは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
発炎筒は，グローブボックスの左下部に備えつけてあります。



AGA012334

⚠警告

● お子さまには，発炎筒をいじらせないでください。
● 人の顔や体に向けて絶対に使用しないでください。やけどをするおそれがあります。
● ガソリンなど燃えやすいものの近くでは使用しないでください。
火災をまねくおそれがあります。
● トンネル内では使用しないでください。
煙により視界が悪くなり，重大な事故につながるおそれがあります。非常点滅灯など他の方法を用いてください。

アドバイス

● 使い方は発炎筒に記載されています。あらかじめよく読んでおいてください。
● 発炎時間は約5分です。非常点滅灯など他の方法を併用してください。
→「非常点滅灯スイッチ」P.5-39
● 発炎筒には有効期限（発炎筒に記載）があります。

工具とジャッキ

J01400600827

⚠注意

● ジャッキは，タイヤ交換とタイヤチェーンの取り付け以外の目的には使用しないでください。
● 車両に搭載されているジャッキは，お客様のお車専用です。他の車両に使用したり，他の車両のジャッキをお客様のお車に使用しないでください。車両を損傷したり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

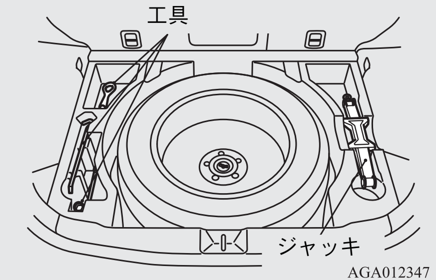
アドバイス

● 工具の種類，ジャッキの使い方は，万一のとき困らないようあらかじめ確認しておきましょう。

格納場所

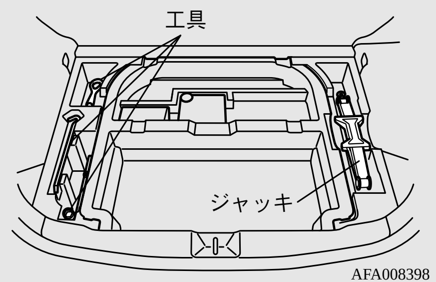
ラゲッジコンパートメント内のラゲッジフロアボード下に格納されています。

応急用スペアタイヤ付き車



AGA012347

パンクタイヤ応急修理キット付き車



AFA008398

⚠注意

- 工具やジャッキを使用した後は，元の位置に確実に格納してください。
室内などに放置すると，思わぬ事故につながるおそれがあります。

工具の種類

J01404300617

AAA038884

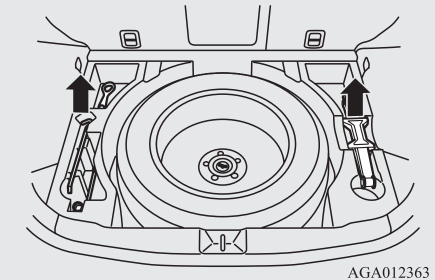
工具，ジャッキの脱着

J01404200674

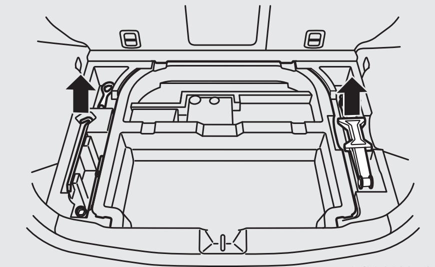
取り出すときは

1. ラゲッジフロアボードを取り外します。
2. 工具，ジャッキを指定の位置から取り出します。

応急用スペアタイヤ付き車


AGA012363

パンクタイヤ応急修理キット付き車


AGA012376

格納するときは

1. ジャッキを縮めます。

2. ジャッキ，工具を元の位置に戻します。
3. ラゲッジフロアボードを元の位置に戻します。

ジャッキアップのしかた

J01400701580

⚠警告

- ジャッキアップしたら車の下には絶対にもぐらないでください。万一ジャッキが外れたとき，重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

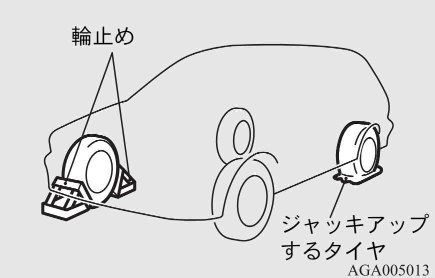
- ジャッキアップするときは安全のため，つぎのことを必ず守ってください。
  万一の場合，ジャッキが外れ思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - エンジンをかけたままにしない。
  - 人や荷物を乗せたままにしない。
  - 地面が平らで硬い場所以外では使用しない。
  - 凍結した路面では使用しない。
  - ジャッキの上や下に物をはさまない。
  - ジャッキアップ中に車をゆすらない。
  - ジャッキアップしたタイヤを回転させない。
  - ジャッキアップしたまま放置しない。

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れて，エンジンを止めます。
3. 必要に応じて非常点滅灯を点滅させ，人や荷物を車から降ろし，停止表示板を車両後方に置きます。

アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

4. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。



AGA005013

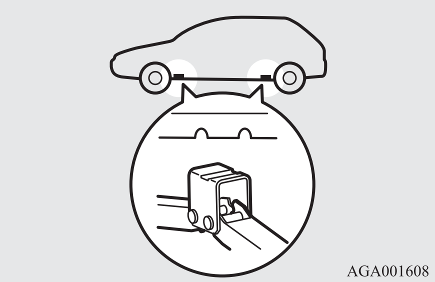
⚠注意

- ジャッキアップするときは，必ず輪止めを使用してください。
  万一，ジャッキアップ中に車両が動いたとき，ジャッキが外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

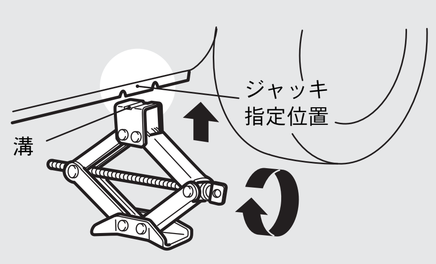
- 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

5. 工具とジャッキを取り出します。
   →「工具とジャッキ」P.12-8
6. ジャッキアップするタイヤに近い指定位置にジャッキをセットします。


AGA001608

12

7. ジャッキ頭部の溝がジャッキ指定位置にはまるまで，ジャッキを手で右に回して上げます。



AGA004797

⚠警告

- ジャッキ頭部の溝は，指定された位置以外にかけないでください。指定された位置以外にかけると，車体がへこんだり，ジャッキが倒れて，重大な傷害を受けるおそれがあります。

8. ジャッキハンドル（ホイールナットレンチ）の穴にジャッキバーを差し込み，タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキハンドル（ホイールナットレンチ）を右に回します。

AGA004364

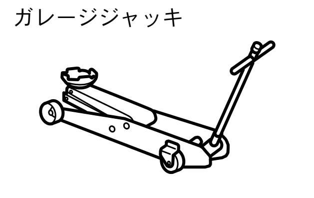
⚠注意

- 地面からタイヤが少し離れた高さ以上にジャッキアップしないでください。
必要以上にジャッキアップすると，思わぬ事故につながるおそれがあります。

ガレージジャッキを使用するときは

⚠警告

- ガレージジャッキを使用するときは，必ず指定のガレージジャッキセット位置に当ててジャッキアップしてください。指定された位置以外に当ててジャッキアップすると，車両を損傷したり，思わぬ事故につながるおそれがあります。



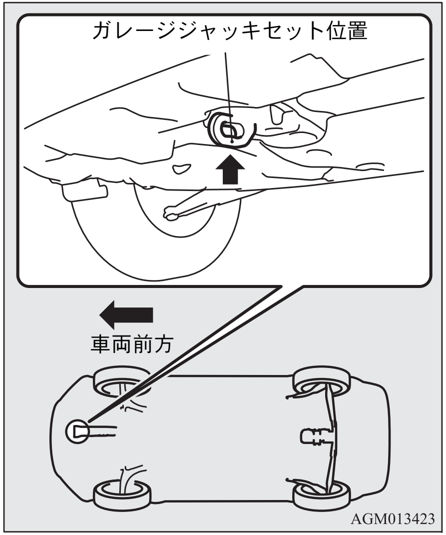
AAZ002051

- 4WD車のリヤ側をジャッキアップするときは，リヤディファレンシャルにガレージジャッキを当ててジャッキアップしないでください。リヤディファレンシャルにガレージジャッキを当ててジャッキアップすると，車両を損傷するおそれがあります。

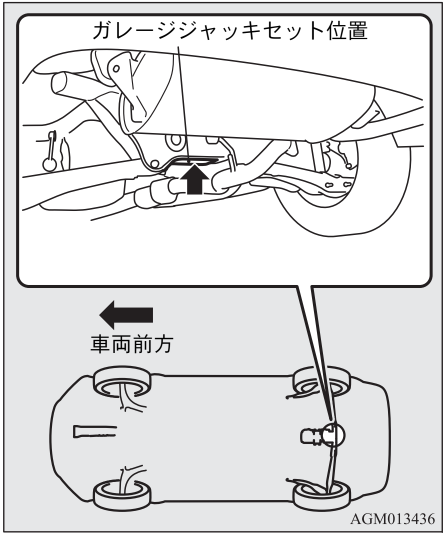
12

ガレージジャッキセット位置

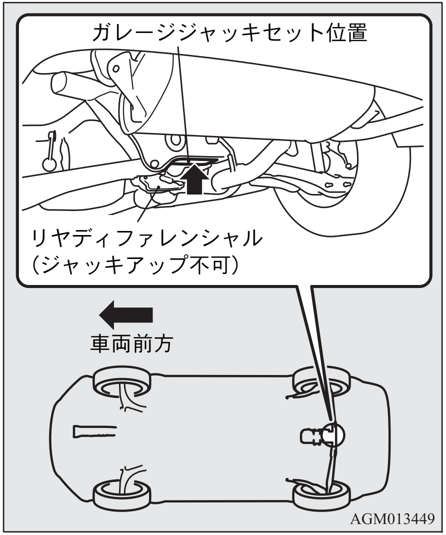
フロント



リヤ（2WD 車）



リヤ（4WD 車）



スペアタイヤ

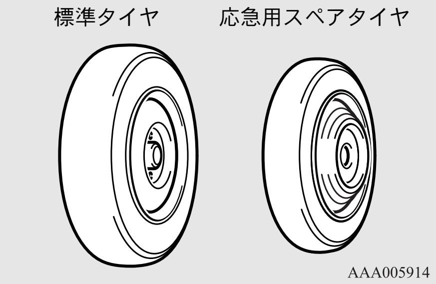
タイプ別装備

J01400801103

応急用スペアタイヤ

タイヤがパンクしたとき，パンク修理するまでの応急用として，一時的に使用するタイヤです。できるだけ早く標準タイ

ヤに交換してください。応急用スペアタイヤは，図のように標準 タイヤに比べて，直径がいくぶん小さく なっています。



⚠注意

- 応急用スペアタイヤを装着したときは，100km/h 以下のスピードで走行してください。
- 応急用スペアタイヤは，標準タイヤに比べて直径が小さくなります。標準タイヤ装着時と同じ感覚で運転しないよう注意してください。特に車高が少し低くなりますので，突起物などを乗り越えるときは十分注意してください。
- 応急用スペアタイヤにはタイヤチェーンは装着できません。チェーン装着時に前輪がパンクしたときは，応急用スペアタイヤを後輪に装着し，外した後輪タイヤを前輪に取り付け，これにタイヤチェーンを装着してください。

⚠注意

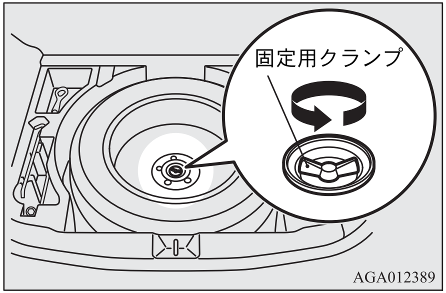
- この応急用スペアタイヤとホイールはお客様のお車専用です。他のタイヤやホイールと組み合わせたり，お客様のお車以外に使用しないでください。
- 空気圧は，定期的に点検してください。空気圧が不足している状態で走行すると，思わぬ事故につながるおそれがあります。空気圧が不足しているときは，最寄りの三菱自動車販売会社またはガソリンスタンドまで控えめな速度で走行し，指定の空気圧に調整してください。
→「タイヤの空気圧」P.13-7

格納場所

応急用スペアタイヤは，ラゲッジコンパートメントに格納されています。

取り出すときは

1. ラゲッジフロアボードを取り外します。
2. 固定用クランプを反時計回りに回して外し，タイヤを取り出します。



格納するときは

格納するときは，取り出すときと逆の手順で取り付けます。

アドバイス

- 固定用クランプは応急用スペアタイヤ専用のため，他のタイヤは固定できません。パンクタイヤはラゲッジコンパートメントのラゲッジフロアボードの下に格納してください。

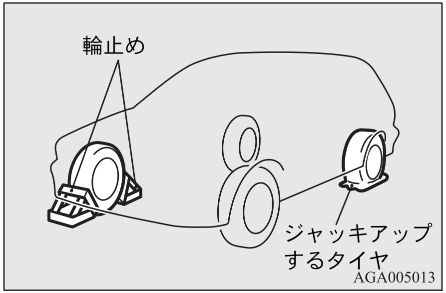
12

タイヤ交換のしかた

J01400901582

タイヤを取り外すときは

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れて，エンジンを止めます。
3. 必要に応じて非常点滅灯を点滅させ，人や荷物を車から降ろし，停止表示板を車両後方に置きます。
4. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。



⚠注意

- ジャッキアップするときは，必ず輪止めを使用してください。
  万一，ジャッキアップ中に車両が動いたとき，ジャッキが外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

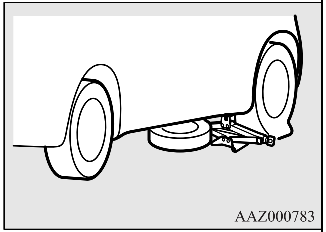
アドバイス

- 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

5. スペアタイヤ，工具およびジャッキを取り出します。
   →「工具とジャッキ」P.12-8
   →「スペアタイヤ」P.12-12

アドバイス

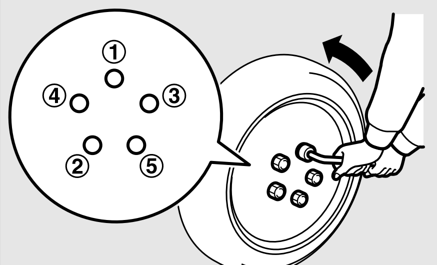
- 取り出したスペアタイヤは，万一ジャッキが外れたときのため，ジャッキ近くの車体の下に置いてください。



6. ホイールカバー付き車は，ホイールカバーを取り外します。
   →「ホイールカバー」P.12-17
7. 交換するタイヤに近い指定箇所にジャッキをセットします。
   →「ジャッキアップのしかた」P.12-10

12

8. ホイールナットレンチを使用して，ホイールナットを番号順に，手で回るくらいまで反時計回しに回してゆるめます。



AAA005943

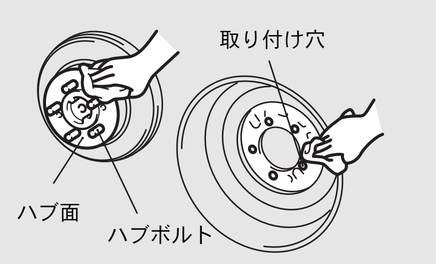
9. タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキアップします。
10. ホイールナットを外し，タイヤを取り外します。

アドバイス

- タイヤを地面に置くときは，ホイール表面を上にして置いてください。
下にして置くと，ホイールに傷がつくおそれがあります。

タイヤを取り付けるときは

1. ハブ面，ハブボルトおよびホイール取り付け穴の汚れをきれいに取り除きます。

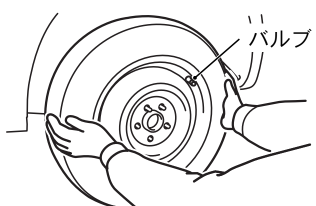


AAA005956

2. タイヤを取り付けます。

⚠警告

- タイヤを取り付けるときは，タイヤの裏表に注意し，バルブが車体外側を向くように取り付けてください。取り付けた際，バルブが見えなければ，タイヤが裏向きに取り付けられています。
タイヤの裏表を間違えて取り付けると，車両に悪影響をおよぼし，思わぬ事故につながるおそれがあります。



AAZ001937

3. 手でホイールナットを右へ回して仮締めします。

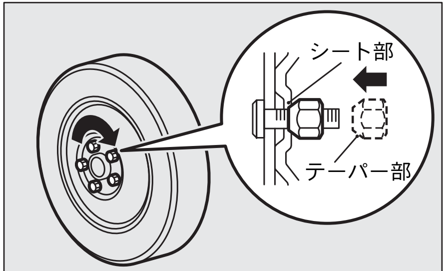
12

12

スチールホイール付き車

• **標準タイヤおよび応急用スペアタイヤ**

ホイールナットのテーパー部がホイール穴のシート部に軽く当たり，タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。
応急用スペアタイヤを取り付けるときも同様に仮締めします。

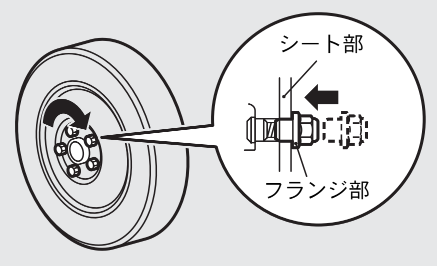


AGA001682

アルミホイール付き車

• **標準タイヤ**

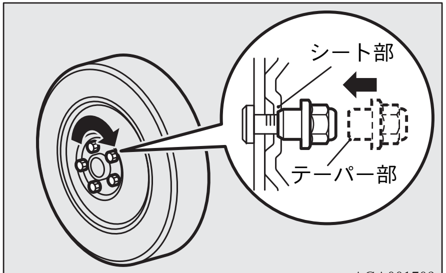
標準タイヤは，ホイールナットのフランジ部がホイールに当たり，タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。



AGA001695

• **応急用スペアタイヤ**

応急用スペアタイヤは，ホイールナットのテーパー部がホイール穴のシート部に軽く当たり，タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。



AGA001709

⚠ 注意

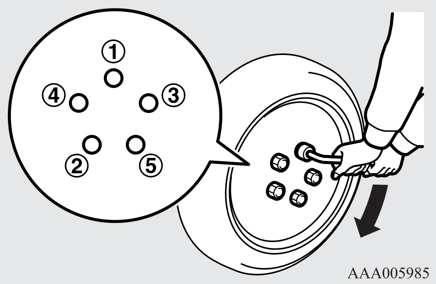
- ハブボルト，ホイールナットには油を塗らないでください。
  ネジ部，ホイールなどの損傷の原因になります。

アドバイス

- アルミホイールにはフランジナットが装着されていますが，フランジナットは応急用スペアタイヤにも使用できます。
- アルミホイールを 4 輪ともスチールホイールに変更するときは，テーパーナットを三菱自動車販売会社でお買い求めの上，ご使用ください。

4. タイヤが地面に接するまでジャッキを降ろし，ホイールナットレンチを使用して，ホイールナットを番号順に2~3回に分けて，徐々に締め付けます。最後の締め付けは，確実に行ってください。

締め付けトルク：88~108N•m
{9~11kgf•m}
（車載のホイールナットレンチの先端で350~420N｛35~42kgf｝の力）



AAA005985

⚠注意

- ホイールナットを締め付けるときは，ホイールナットレンチを足で踏んだり，パイプなどを使用して必要以上に締め付けないでください。

5. ホイールカバー付き車は，ホイールカバーを取り付けます。
→「ホイールカバー」P.12-17
6. タイヤの空気圧を点検します。
→「タイヤの空気圧」P.13-7
7. 工具とジャッキを元の位置に戻します。
→「格納場所」P.12-8
8. 交換したタイヤは，ラゲッジコンパートメントに格納します。

⚠注意

- タイヤ交換後，走行中にハンドルや車体に振動がでたときは，三菱自動車販売会社でタイヤバランスの点検を受けてください。
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。

アドバイス

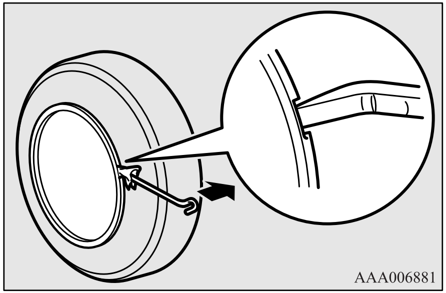
- タイヤ交換したときは，約1,000km走行後，再度ホイールナットを締め付けて，ゆるみがないことを点検してください。

ホイールカバー

タイプ別装備　J01402800517

取り外すときは

1. ジャッキバーの先に布をかぶせて，ホイールカバーの切り欠き部へ深く差し込み，タイヤ側にこじてカバーを少し浮かせます。


AAA006881

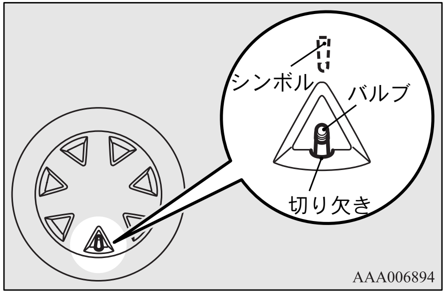
2. カバーが浮いたら，ホイールカバーの周囲に沿ってジャッキバーの差し込み位置を変えながら，少しずつこじてカバーを取り外します。

⚠注意

- ホイールカバーが外れるまでジャッキバーを使ってください。手でこじるとホイールカバーの端などでけがをするおそれがあります。

取り付けるときは

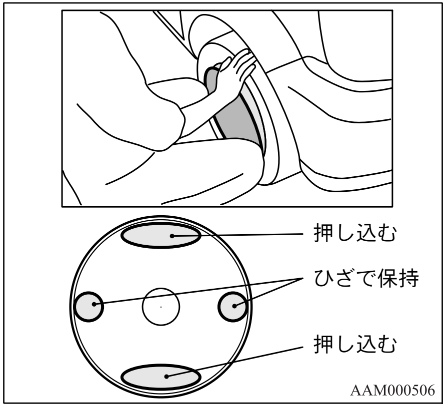
1. タイヤのバルブ（空気注入口）とホイールカバーの切り欠き部を合わせます。



アドバイス

- カバー裏側に切り欠き部の位置を表示するシンボルがあります。
  ホイールカバーを取り付ける前に，シンボルとバルブの位置が正しく合っていることを確認してください。

2. ホイールカバーの下部をホイールに押し込みます。
3. ホイールカバーの両端を軽く押し込み，両ひざで保持します。
4. ホイールカバーの上部を外周に沿って軽くたたいて押し込みます。



アドバイス

- ホイールカバーを取り付ける前に，裏面のツメがリングに正しく組み付いていることを確認してください。正しく組み付いていないとホイールカバーが外れる原因となります。また，ツメが折れているときはホイールカバーを取り付けないでください。

パンクタイヤ応急修理キット

タイプ別装備

J01403800442

本キットはタイヤ接地部に刺さった釘やネジなどによる軽度のパンクを応急修理するものです。
パンクタイヤ応急修理キット付き車には，スペアタイヤが搭載されていません。

⚠警告

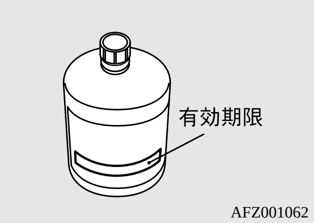
- パンクタイヤ応急修理キットは必ず三菱自動車純正品を使用してください。

⚠注意

- 応急修理剤を飲用すると健康に害があります。もし誤って飲用した場合は，できるだけたくさんの水を飲み，ただちに医師の診察を受けてください。
- 応急修理剤がもし目に入ったり，皮膚に付いたりした場合は，水でよく洗い流してください。それでも異常を感じたときは，医師の診察を受けてください。
- 応急修理剤にお子さまが誤って手を触れないようご注意ください。
- 応急修理キットで応急修理を行うときは，車を地面が平らで安全な場所に止めてください。

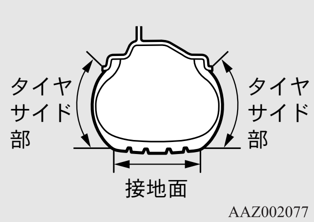
アドバイス

- つぎのような場合は，応急修理剤を使って修理することができません。
三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。JAF の営業所は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。
  - 応急修理剤の有効期限が切れているとき（有効期限はボトルのラベルに記載されています。）



AFZ001062

  - タイヤが 2 本以上パンクしているとき
  - およそ 4mm 以上の切り傷や刺し傷によるパンクのとき
  - タイヤサイド部（接地面以外の部分）が損傷を受け，パンクしたとき

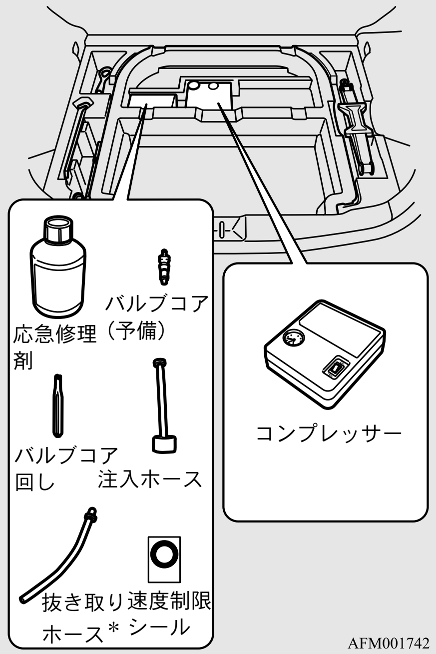


AAZ002077

  - 空気がほとんど抜けた状態で走行したとき
  - タイヤがホイールの外側へ完全に外れているとき
  - ホイールが破損しているとき
- タイヤに刺さった釘やネジなどは，抜かずにそのまま応急処置をしてください。
- 応急修理剤が衣服などに付着すると，おちないおそれがあります。

格納場所と内容

ラゲッジコンパートメント内のラゲッジフロアボード下に格納されています。



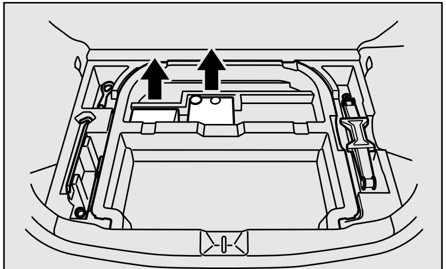
AFM001742

＊：三菱自動車販売会社でのタイヤの恒久修理，交換時に使用するホースです。お客様がパンク応急修理時に使用するものではありません。

脱着

取り出すときは

1. ラゲッジフロアボードを取り外します。
2. パンクタイヤ応急修理キットを指定の位置から取り出します。



AFA008402

12

格納するときは

取り出すときの逆の手順で行います。

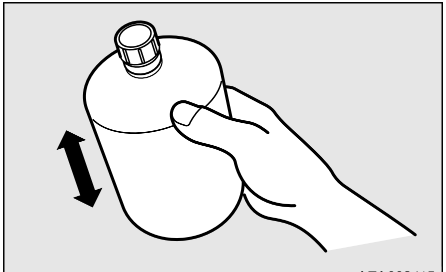
応急修理のしかた

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らな場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れて，エンジンを止めます。
3. 必要に応じて非常点滅灯を点滅させ，人や荷物を車から降ろし，停止表示板を車両後方に起きます。

アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

4. パンクタイヤ応急修理キットを取り出し，応急修理剤のボトルをよく振ります。

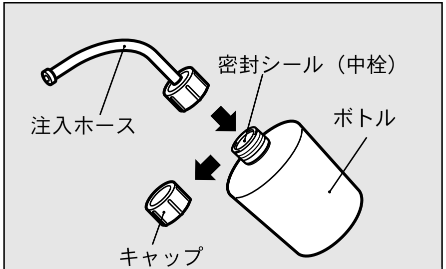


AFA008415

アドバイス

- 寒冷時（0°C 以下）では，応急修理剤の粘度が高くなり注入しづらくなることがありますので，ボトルを振る前に車内などで温めてください。

5. キャップを外して応急修理剤の密封シール（中栓）を外さずに注入ホースをボトルにねじ込みます。注入ホースをねじ込むと，密封シール（中栓）が破れ，修理剤が注入できる状態になります。

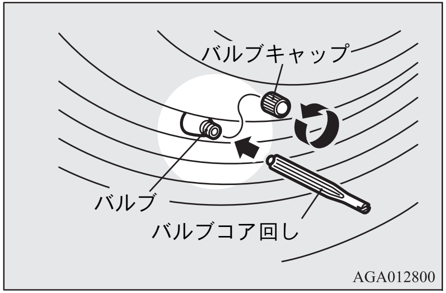


AFA008428

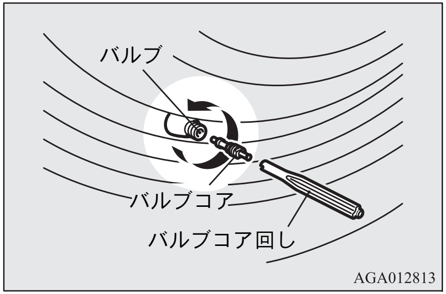
⚠注意

- 注入ホースをねじ込んだ後，応急修理剤のボトルを振ると，修理剤が注入ホースから飛び出すおそれがあります。

6. タイヤのバルブからバルブキャップを外し，ビニール袋に入っているバルブコア回しを図のように押しあてて，タイヤの空気を完全に抜きます。



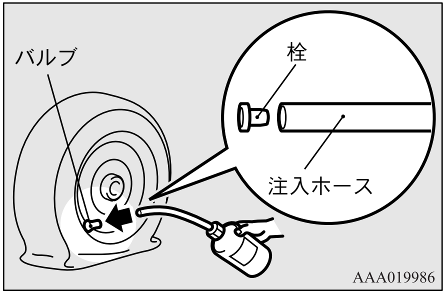
7. バルブコア回しでバルブコアを反時計回りに回して取り外します。
取り外したバルブコアは，汚れないようにきれいな場所に保管します。



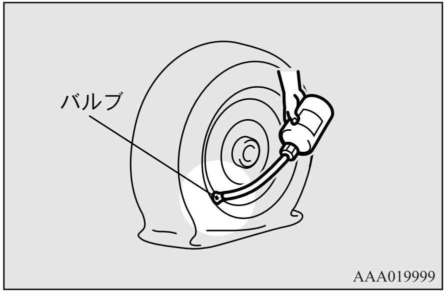
⚠注意

- バルブコアを外すとき，タイヤに空気が残っているとバルブコアが飛び出し，傷害を受けるおそれがありますので，完全に空気が抜けていることを確認してから外してください。

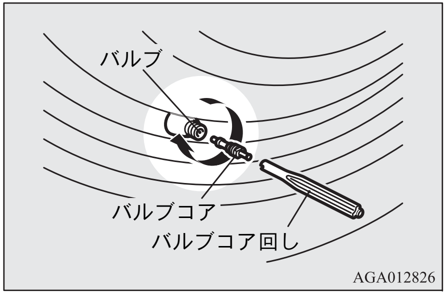
8. 注入ホースの先端の栓を取り外し，注入ホースをバルブに差し込みます。



9. 応急修理剤のボトルを逆さまに持ち，手でボトルを何回も圧迫し，ボトル内のすべての修理剤をタイヤ内に注入します。



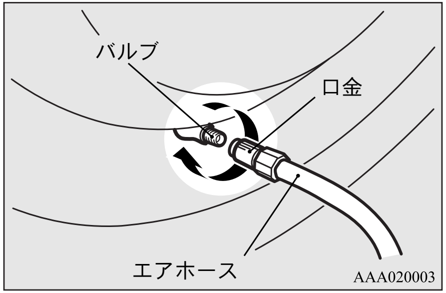
10. 注入後，注入ホースをバルブから引き抜き，バルブコアをバルブに取り付け，バルブコア回しでしっかりと時計回りにねじ込んでください。



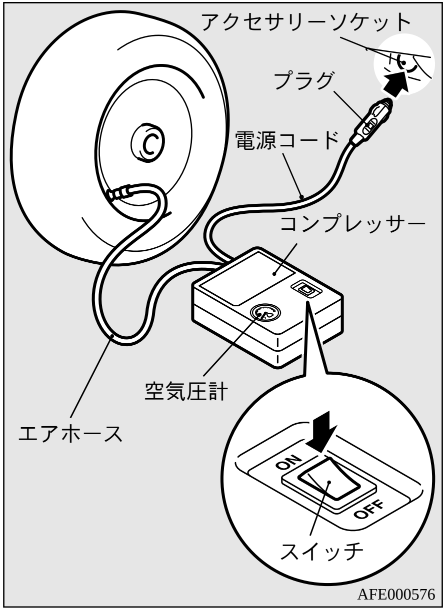
アドバイス

- 修理剤は，タイヤバルブがタイヤと地面の接地部分近く（最低部付近）以外の位置で注入してください。バルブが接地部分近くにあると，修理剤が入りにくい場合があります。
- バルブコア回しでバルブコアを外すときおよびねじ込むときは，手で回してください。工具などを使って回すと，バルブコア回しが破損するおそれがあります。

11. コンプレッサーのエアホースを取り出し，バルブに確実に取り付けます。



12. 空気圧計を上にして，コンプレッサーを置きます。
コンプレッサーの電源コードを取り出し，プラグをアクセサリーソケットに差し込み，エンジンスイッチまたは電源モードを，ACC にします。
→「アクセサリーソケット」P. 7-2
コンプレッサーのスイッチを ON にしてタイヤを指定の空気圧まで昇圧します。
→「タイヤの空気圧」P. 13-7



⚠注意

- 備え付けのコンプレッサーは，お客様のお車専用です。他の車には使用しないでください。
- 備え付けのコンプレッサーは，自動車用タイヤの空気充填用です。自動車用タイヤの空気充填や空気圧の点検以外での使用はしないでください。
- コンプレッサーの電源は，自動車用 12V 専用です。他の電源は接続しないでください。
- コンプレッサーには防水加工をしておりません。降雨時などは，水がかからないようにしてご使用ください。
- コンプレッサーは，砂埃などを吸い込むと，故障の原因になります。砂地など砂埃の多い場所に直接置いて使用しないでください。
- コンプレッサーの分解，改造などは絶対にしないでください。また，空気圧計などに衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

13.コンプレッサーの空気圧計を使用して，空気圧を点検，調整します。
空気を入れ過ぎたときは，エアホースの口金をゆるめて空気を抜きます。
タイヤがホイール内側に外れている場合は，空気が漏れないように手でタイヤ外周をホイールに向けて押すなどしてホイールとタイヤのすき間をなくすようにしてコンプレッサーを作動させてください。（すき間がなくなれば空気圧が上がります。）

⚠注意

- タイヤがふくらむとき，タイヤとホイールの間に指などをはさまないようにしてください。
- 使用中，コンプレッサーの表面が熱くなります。コンプレッサーは 10 分以上連続して作動させないでください。故障につながるおそれがあります。
- コンプレッサーの運転中に動作が鈍くなったり，本体が熱くなった場合は，オーバーヒート状態になっています。このような場合はただちにスイッチを OFF にし，30 分以上放置してください。

アドバイス

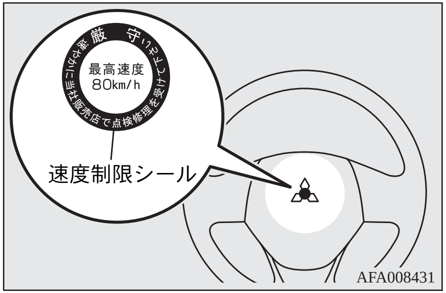
- 10 分以内に指定の空気圧に昇圧しないときは，タイヤがひどい損傷を受けているおそれがあり，応急修理剤を使って応急修理することができません。三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。

14.コンプレッサーのスイッチを OFF にしてから電源コードのプラグをアクセサリーソケットから抜きます。

アドバイス

- 本応急修理キットでタイヤに修理剤および空気を注入するだけではパンク穴はふさがりません。応急修理が完了するまで（手順 17. または 18. まで）は，パンク穴より空気が漏れます。

15.速度制限シールをハンドルの三菱マークの上に貼ります。



⚠注意

- ハンドルのパッドの指定位置以外にシールを貼らないでください。SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。

16.指定の空気圧まで昇圧できたら，応急修理キットを車に搭載してただちに走行してください。
走行は 80km/h 以下の速度で法定速度を守り，急ブレーキ，急ハンドル，急なアクセル操作を避けて慎重に運転してください。

⚠注意

- 走行中異常を感じたときは，運転を中止して三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。
応急修理完了までに空気圧が低下して安全性を損なうおそれがあります。

12

17. 10 分間または約 5km 走行後，コンプレッサーの空気圧計でタイヤの空気圧を点検します。空気圧の低下がなければ，応急修理完了です。つぎに手順 19. を行ってください。
タイヤの空気圧が不足している場合は，もう一度指定の空気圧まで昇圧し，走行します。

⚠注意

- 空気圧が最少空気圧 (130 kPa {1.3kgf/cm^2}) より低下しているときは，応急修理剤での応急修理はできません。
運転を中止して三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。

18. 10 分間もしくは約 5km 走行後，再びタイヤの空気圧を点検します。
空気圧の低下がなければ，応急修理完了です。

アドバイス

- タイヤの空気圧が指定空気圧より低下していたら運転を中止して三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。

アドバイス

- 寒冷時 (0°C 以下) では修理完了までの時間，走行距離が長くなる場合があるため，2 度目の空気圧の昇圧，走行後でもタイヤ空気圧が指定空気圧より低下することがあります。
そのような場合は，もう一度指定空気圧まで昇圧しさらに 10 分間または約 5km 走行後，もう一度空気圧を点検してください。それでも指定空気圧より低下する場合はこれ以上の運転を中止し三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。

19. すみやかに三菱自動車販売会社まで慎重に運転し，タイヤの修理，交換を行ってください。

⚠注意

- 必ず空気圧の点検を行い，応急修理の完了を確認してください。

アドバイス

- 応急修理剤の空ボトルは，三菱自動車販売会社で新しい応急修理剤をお買い求めの際にお渡しください。

アドバイス

- 応急修理剤を使用したタイヤは，新しいタイヤに交換することをおすすめします。修理・再使用する場合は三菱自動車販売会社にご相談ください。なお，応急修理後の恒久修理のとき，パンク穴を発見できず恒久修理できないことがあります。

バッテリー上がりのときは！

J01401001434

つぎのような状態をバッテリー上がりといいます。

- スターターモーターが回らない。または，回っても回転が弱くてエンジンがかからない。
- ライトが点灯しない。または，点灯してもいつもより暗い。
- ホーンが鳴らない。または，鳴ってもいつもより音が小さい。

ブースターケーブル（別売）を使用し，他車のバッテリーを電源として，エンジンをかけることができます。

⚠警告

● 救援車を依頼し，ブースターケーブルを使用してエンジンをかけるときは，取扱説明書にしたがって正しい手順で作業してください。取り扱いを誤ると，引火爆発や車両損傷のおそれがあります。

1. ブースターケーブルが接続でき，かつ自車と接触しない位置に救援車を止めます。

⚠注意

● 救援車は必ず 12V で，自車と同容量以上のバッテリーを装着している車を使用してください。

2. ライトやエアコンなど電装品のスイッチを切ります。
3. 救援車と自車の駐車ブレーキを確実にかけ，マニュアル車はシフトレバーをⓃ，CVT 車，オートマチック車はセレクターレバーをⓅに入れ，エンジンを止めます。

⚠警告

● ブースターケーブルの接続時は，救援車のエンジンも止めてください。
ケーブルや衣服などがファンやドライブベルトに巻き込まれて，けがをするおそれがあります。
● 冷却ファンはエンジン始動後，冷却水の温度により回転，停止をくり返します。エンジン運転中は，ファンに手を近づけないでください。

4. バッテリー液量を確認します。

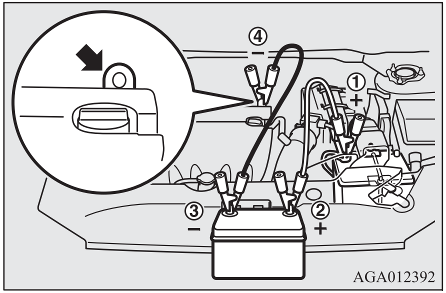
⚠警告

● バッテリー液量が下限（LOWER LEVEL）以下のままで使用しないでください。バッテリーの劣化を早めたり，発熱や爆発するおそれがあります。

アドバイス

● バッテリー液の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

5. ブースターケーブルを図の番号順に確実に接続します。
①自車のバッテリーの＋端子
②救援車のバッテリーの＋端子
③救援車のバッテリーの－端子
④図で指示の箇所（アースをとる）



⚠警告

● 接続する順番は必ず①→②→③→④の順番で行ってください。
● ④の接続は必ずイラスト矢印の位置にしてください。バッテリーの－端子に直接つなぐと，バッテリーから発生する可燃性ガスに引火爆発するおそれがあります。
● ブースターケーブルを接続するときは，＋と－端子を接触させないでください。火花が発生し，バッテリーが爆発するおそれがあります。

12

⚠注意

- ブースターケーブルのクリップは，確実に接続してください。エンジン始動時の振動で外れると，ケーブルがファンやドライブベルトに巻き込まれ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- バッテリーの＋端子は，カバーを外してからブースターケーブルを接続してください。
- ブースターケーブルは，バッテリーの容量に適したものを使用してください。
ケーブル焼損の原因になることがあります。
- ブースターケーブルに破損および腐食などの異常がないことを点検してから使用してください。

6. 接続した後，救援車のエンジンをかけ，エンジン回転数を少し上げます。
7. 自車のエンジンをかけます。

アドバイス

- AS&G OFF スイッチを押して AS&G を停止し，バッテリーが十分に充電される前にエンジンが自動的に停止することがないようにしてください。
→「AS&G を非作動にするには」P. 6-12

8. エンジンがかかったら，ブースターケーブルを接続したときと逆の手順で取り外します。
9. 最寄りのガソリンスタンドや三菱自動車販売会社でバッテリーの点検を受けてください。

⚠警告

- バッテリーを車両に搭載したままでの充電は，引火爆発や車両損傷の原因になることがあります。やむを得ず車両に搭載したままで充電するときは，バッテリーに接続されている車両側の－端子を取り外してください。
- 充電中はバッテリーに火気を近づけないでください。バッテリーからは可燃性ガスが発生しており，爆発するおそれがあります。
- 周囲の囲まれた狭い場所でバッテリーを充電するときは，換気を十分に行ってください。
- 充電するときは，すべてのキャップを外してください。
- バッテリー液は希硫酸です。皮膚についたり，目に入るとやけどや失明の原因になります。すぐに多量の水で洗い，速やかに専門医の治療を受けてください。

アドバイス

- CVT 車は，マニュアル車と構造が異なるため，押しがけやけん引によりエンジンをかけることはできません。

アドバイス

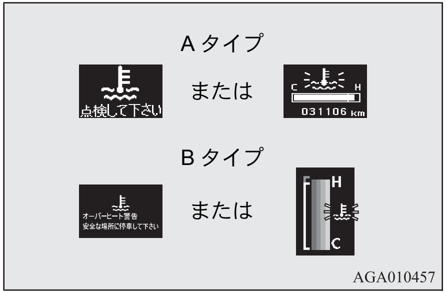
- 充電が不十分のまま車を発進させると，エンジンの回転むらが生じ，ABS 警告灯が点灯することがあります。
→「走行中に警告を表示したときは」P.6-29
- オートストップ & ゴー（AS&G）付き車専用のバッテリーが装着されています。専用のバッテリーを使用しないとバッテリーが早く消耗したり，AS&G が正常に作動しなくなる原因となります。
詳しくは，三菱自動車販売会社にご相談ください。
→「バッテリーの種類」P.13-5

オーバーヒートしたときは！

J01401101422

つぎのような状態をオーバーヒートといいます。

- マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示が表示された後，エンジン冷却水温表示が点滅していたり，エンジンの出力が急に低下する。
- エンジンルームから蒸気が出ている。



1. 車を安全な場所に止めます。

2. エンジンルームから蒸気が出ていないかどうかを確認します。

   [蒸気が出ていないとき]
   エンジンをかけたままでエンジンフード（ボンネット）を開け，風通しをよくします。

アドバイス

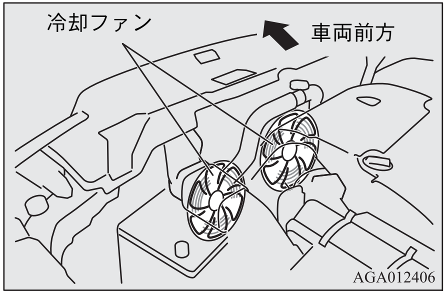
- AS&G OFF スイッチを押して，停車前に AS&G を停止してください。
  →「AS&G を非作動にするには」P. 6-12

   [蒸気が出ているとき]
   エンジンを止め，蒸気が出なくなったら，風通しをよくするためにエンジンフード（ボンネット）を開け，エンジンをかけます。

警告

- エンジンルームから蒸気が出ているときは，エンジンフード（ボンネット）を開けないでください。蒸気や熱湯が噴き出し，やけどをするおそれがあります。蒸気が出ていないときでも，熱湯が噴き出していたり，高温になっている部分がありますので，エンジンフード（ボンネット）を開けるときは注意してください。

3. 冷却ファンが作動していることを確認してください。



警告

- 冷却ファンに，手や衣服などを巻き込まれないように注意してください。

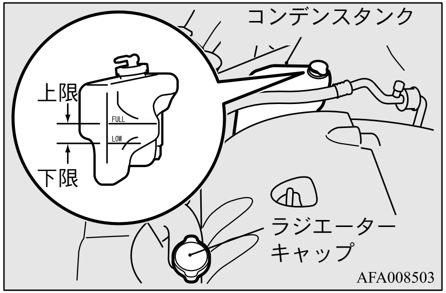
アドバイス

- 冷却ファンが作動していないときは，エンジンを止めて自然冷却します。その後，すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

4. マルチインフォメーションディスプレイ内のエンジン冷却水温表示のバーグラフが下がってきたら，エンジンを止めます。

12

5. エンジンが十分冷えてから，冷却水の有無を点検します。



⚠警告

- 通常はラジエーターキャップを外さないでください。
  冷却水には圧力がかかっているため，冷却水の温度が高いときにキャップを外すと，蒸気や熱湯が噴き出し，やけどをするおそれがあります。

アドバイス

- 冷却水の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

けん引

J01401202534

けん引はできるだけ JAF など専門業者に依頼してください。

つぎの場合は，三菱自動車販売会社にご連絡ください。

- エンジンが回っているのに車が動かない。または異音がする。
- 下まわりを点検し，オイルなどが漏れている。

また，車輪が溝などに落ちたときは無理にけん引せず，三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に依頼してください。

アドバイス

- JAF　の営業所は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

12

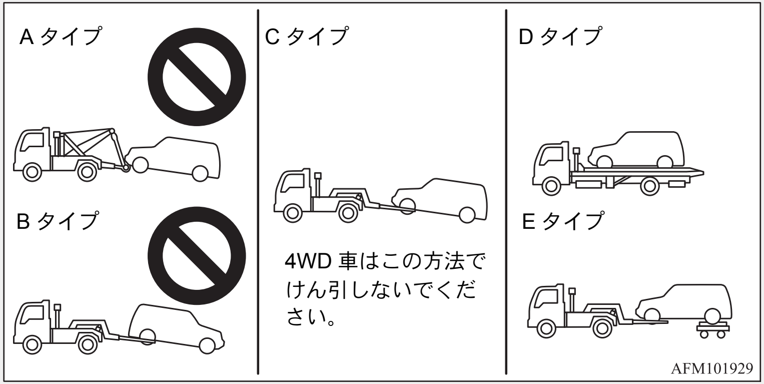
レッカー車に搬送してもらうとき

⚠注意

- 車体つり上げ式のレッカー車でけん引しないでください（A タイプ）。
  バンパーや車体が破損するおそれがあります。
- 2WD 車は，必ず駆動輪（前輪）を持ち上げてけん引するか，4 輪を持ち上げてレッカー車で搬送してください（C，D，E タイプ）。
  後輪だけを持ち上げてけん引すると，トランスミッション内部のオイル切れを起こし，トランスミッション故障の原因になります（B タイプ）。

⚠注意

- 2WD 車でアクティブスタビリティコントロール（ASC）装着車で前輪だけを持ち上げてけん引するときは（C タイプ），エンジンスイッチまたは電源モードをつぎの状態にしてください。
  ［除く，キーレスオペレーションシステム付き車］
  　エンジンスイッチが LOCK または ACC の状態。
  ［キーレスオペレーションシステム付き車］
  　電源モードが OFF または ACC の状態。
  エンジンスイッチまたは電源モードが ON の状態で行うと，ASC が作動し思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 4WD 車は必ず 4 輪を持ち上げてレッカー車で搬送してください（D，E タイプ）。
  前輪または後輪だけを持ち上げたけん引を行うと，駆動系部品が損傷したり，車がレッカー（台車）から飛び出すおそれがあります（B，C タイプ）。



- 4WD 車はドライブモードセレクターを「2WD」モードにしても，前輪または後輪だけを持ち上げたけん引はできません。

他車にけん引してもらうとき

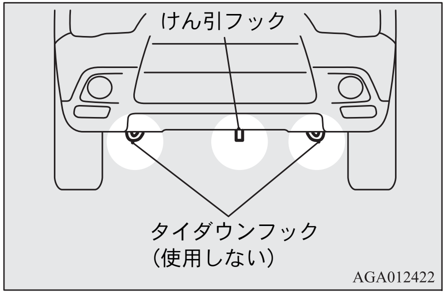
J01403901583

やむを得ず他車にロープでけん引してもらう，または故障車をけん引するときは，つぎの要領で行ってください。

⚠注意

- けん引ロープは必ずけん引フックにかけてください。

12



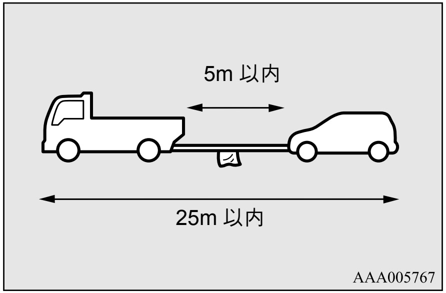
⚠注意

- タイダウンフックは，車両を輸送するときに使用するものです。けん引には使用しないでください。けん引フック以外にけん引ロープをかけると，車体が破損するおそれがあります。

アドバイス

- ワイヤーロープや金属製のチェーンなどを使用すると，車体を傷つけるおそれがあります。ソフトロープを使用するか，車体にあたる部分のチェーンに布をまくなどしてけん引してください。
- けん引ロープは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- けん引ロープは水平にしてけん引してください。水平でない位置にかけると，車体を傷つけるおそれがあります。

1. けん引ロープをけん引フックにかけます。
2. けん引ロープには，30cm 平方（タテ 30cm× ヨコ 30cm）以上の白い布を必ずつけてください。



3. エンジンはできるだけかけておいてください。
   エンジンがかからないときは，ハンドルがロックされないようにするために，エンジンスイッチまたは電源モードを ON にします。

⚠警告

- エンジンが止まっているとブレーキの効きが非常に悪くなります。またハンドル操作が非常に重くなります。

⚠注意

- エンジンスイッチまたは電源モードを ON にしておかないと，ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり，事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- AS&G OFF スイッチを押して，停車前に AS&G を停止してください。
  →「AS&G を非作動にするには」P. 6-12

4. セレクターレバーを N に入れます。
5. 後続車に注意をうながすため，けん引される車は非常点滅灯を点滅させます。
   →「非常点滅灯スイッチ」P.5-39

⚠警告

- けん引される車のエアコンは，内気循環に切り換えてください。排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。
- 急ブレーキ，急発進，急旋回など，けん引フックやけん引ロープに大きな衝撃が加わるような運転は避けてください。けん引フックやけん引ロープが破損するおそれがあります。万一の場合，その破片が周囲の人などにあたり重大な傷害をおよぼすおそれがあります。

⚠警告

- 長い下り坂ではブレーキが過熱して，効きが悪くなるおそれがあります。レッカー車に搬送してもらってください。

⚠注意

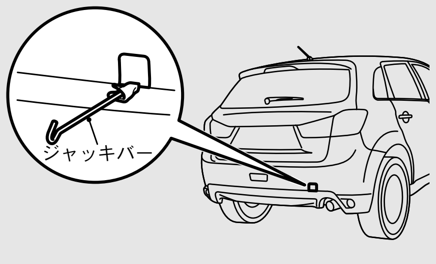
- けん引される車は，けん引車のブレーキランプに注意して，常にけん引ロープをたるませないようにしてください。
- 安全のためにけん引するときの速度は30 km/h 以下，けん引する距離は 40km 以内にしてください。この速度，距離を超えるとトランスミッションの故障の原因になります。

故障車をけん引するとき

J01404101667

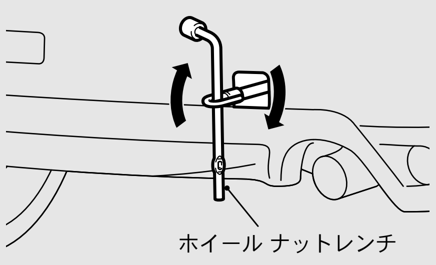
やむを得ず故障車をけん引するときは，つぎの要領で行ってください。

1. けん引フック，ホイールナットレンチ，ジャッキバーを取り出します。
→「工具とジャッキ」P.12-8
2. ジャッキバーの先に布をかぶせて，リヤバンパーの運転席側にあるフタを取り外します。



AFA008444

3. けん引フックをホイールナットレンチを使用して確実に取り付けます。

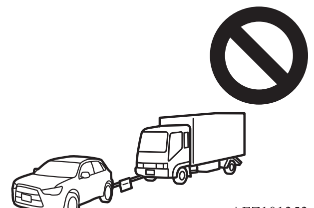


AFA008457

4. けん引ロープは必ずけん引フックにかけてください。その他は「他車にけん引してもらうとき」と同じ要領で行ってください。
5. けん引が終わったら，けん引フックを外し，指定位置に格納します。
→「工具とジャッキ」P.12-8
バンパーのフタを取り付けるときは，ツメを車体側の切り欠きに合わせて確実に取り付けます。

⚠注意

- けん引ロープは必ずけん引フックにかけてください。けん引フック以外にけん引ロープをかけると，車体が破損することがあります。
- 自車より重い故障車をけん引しないでください。
車両重量については車載の「自動車検査証」をご参照ください。


AFZ101353

- 安全のためにけん引するときの速度は30km/h 以下，けん引する距離は 40km 以内にしてください。

12

ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは！

J01401300137

ディスクブレーキには，ブレーキパッドの摩耗量が使用限度近くになると走行中に金属摩擦音（キーキー）を発生して警告する装置が設けてあります。

アドバイス

- 金属摩擦音が聞こえたときは，三菱自動車販売会社でブレーキパッドを点検してください。

ヒューズが切れたときは！

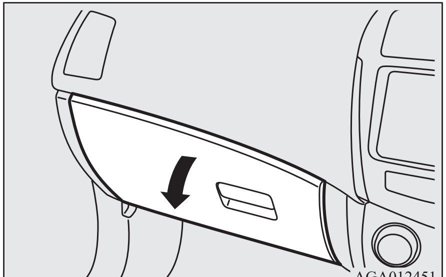
J01401501123

各種のランプが点灯しないときや，電気系統の装備が作動しないときは，ヒューズが切れているときがありますのでヒューズを点検し，切れているときは交換してください。

ヒューズボックスの位置

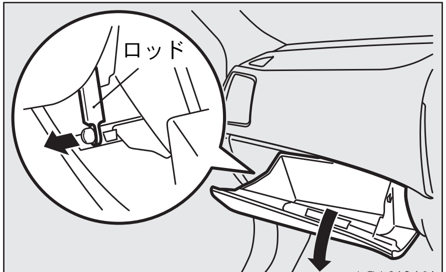
室内／グローブボックス裏側

1. グローブボックスを開けます。



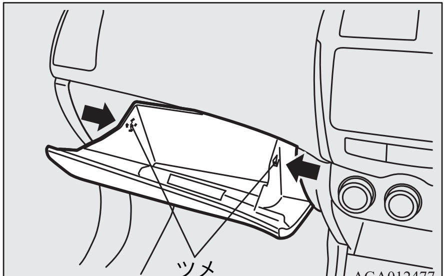
AGA012451

2. グローブボックス左側のロッドをボックス左側へ外します。



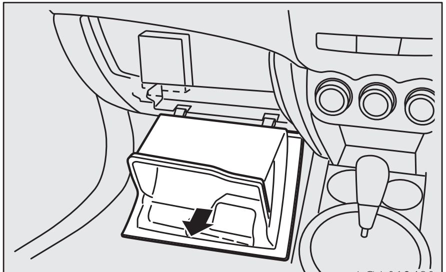
AGA012464

3. グローブボックスの側面を押しながら，左右のツメを外し，グローブボックスを下げます。



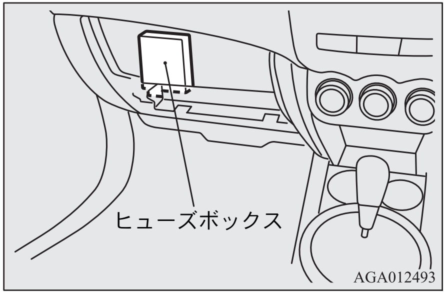
AGA012477

4. グローブボックスの止め具を外して，グローブボックスを外します。



AGA012480

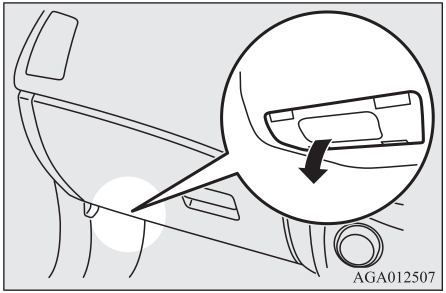
5. グローブボックスの奥にヒューズボックスがあります。



6. グローブボックスを戻すときは，逆の手順で取り付けます。

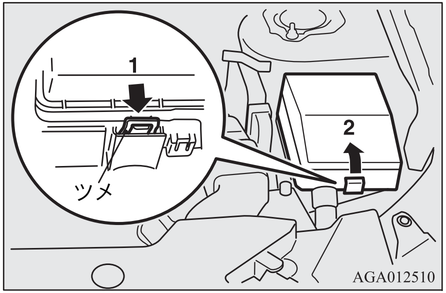
室内／グローブボックス下側

グローブボックス下側のカバーを外します。

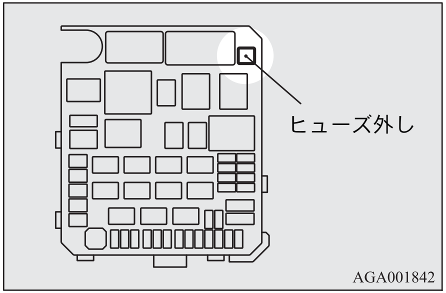


エンジンルーム内

1. ツメを押してロックを外します。
2. カバーの手前を持ち上げてカバーを取り外します。



ヒューズ外しはヒューズボックス内にあります。



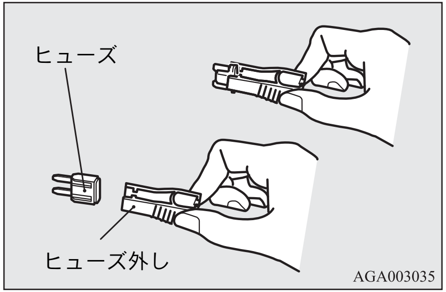
ヒューズの交換

1. エンジンスイッチまたは電源モードをつぎの状態にします。
   [除く，キーレスオペレーションシステム付き車]
   エンジンスイッチが LOCK の状態。
   [キーレスオペレーションシステム付き車]
   電源モードが OFF の状態。
2. 該当する装備を受け持つヒューズおよび容量を確認します。
   →「各ヒューズの受け持つ装備および容量」P.12-34

アドバイス

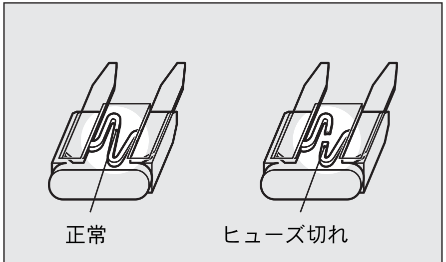
- 各ヒューズの受け持つ装備および容量は，室内はグローブボックスの裏側にエンジンルーム内はヒューズボックスカバーの裏側に記載してあります。

3. ヒューズ外しを使用してヒューズを引き抜きます。ヒューズ外しは，エンジンルーム内のヒューズボックス内にあります。



AGA003035

4. ヒューズを点検し，切れているときは予備のヒューズと交換します。



AGA003048

警告

- 取り付けてあるヒューズと同じ容量のヒューズを使用してください。針金，銀紙などを使用すると，電線の過熱により火災のおそれがあります。

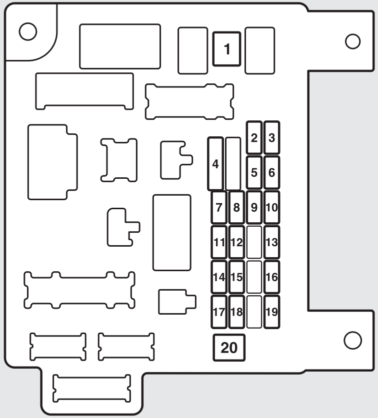
アドバイス

- ヒューズを交換しても再び切れるときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズが正常で該当する装備が作動しないときは，他の原因が考えられます。すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

各ヒューズの受け持つ装備および容量

J01403701464

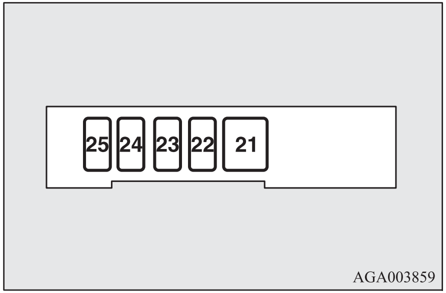
室内／グローブボックス裏側



AGE001114

12

室内／グローブボックス下側

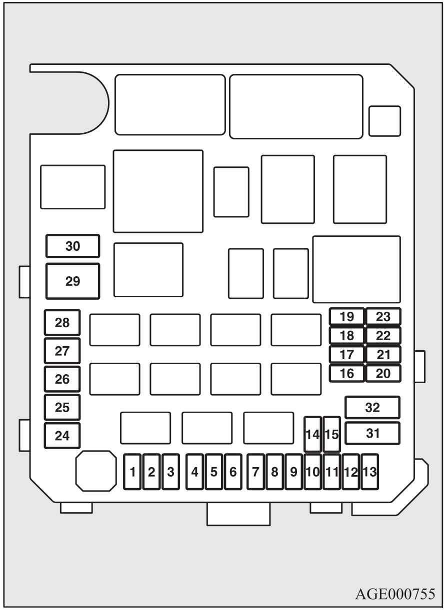


NO.	表示	装備	容量
1		ヒーター	30A
2	STOP	制動灯（ブレーキランプ）	15A
3		リヤフォグランプ	10A
4		フロントワイパー	30A
5		オプション	10A
6		ドアロック	20A
7		ラジオ	15A
8		コントロールユニットリレー	7.5A
9		室内灯（ルームランプ）	15A
10		非常点滅灯	15A

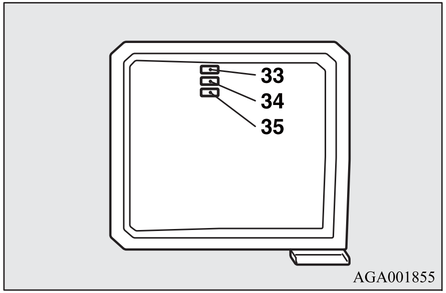
NO.	表示	装備	容量
11		リヤワイパー	15A
12		メーター	7.5A
13		シガレットライター／アクセサリーソケット	15A
14		イグニッションスイッチ	10A
15		サンルーフ	20A
16		ドアミラー	10A
17		4WD	10A
18		後退灯（バックアップランプ）	7.5A
19		アクセサリーソケット	15A
20		パワーウインドウ	30A
21		デフォッガー	30A
22		ヒーテッドドアミラー	7.5A
23		助手席パワーシート	25A（20A）
24		運転席パワーシート	25A（20A）
25		シートヒーター	30A

- 装備仕様の違いにより，ヒューズはない場合合もあります。
- 上記の表は，各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

エンジンルーム内



ヒューズボックスカバー裏側



NO.	表示	装備	容量
1		フロントフォグランプ	15A
2		エンジン	7.5A
3	A/T AMT	オートマチックトランスミッション	20A
4		ホーン	10A
5		オルタネーター	7.5A
6		ヘッドランプウォッシャー	20A
7		エアコン	10A
8	/	ETV/ オイルクーラーファン（ツインクラッチSST 車）	15A
9		セキュリティーホーン	20A
10		ワイパーディアイサー	15A
11	—	—	—
12	P/GATE	パワーゲート	30A
13	DRL	デイタイムランニングライト	10A
14		ヘッドライト（上向き）（左）	10A
15		ヘッドライト（上向き）（右）	10A
16		ヘッドライト（下向き）（左） ディスチャージ	20A
17		ヘッドライト（下向き）（右） ディスチャージ	20A
18		ヘッドライト（下向き）（左） ハロゲン	10A
19		ヘッドライト（下向き）（右） ハロゲン	10A
20		ENG/POWER	10A
21		イグニッションコイル	10A
22		ENG/POWER	20A
		フューエルラインヒーター	25A
23		フューエルポンプ	15A
24		スターター	30A
25		バルブリフトコントロール	40A
26	ABS	ABS	40A
27	ABS	ABS	30A
28		エアコンコンデンサーファンモーター	30A
29		ラジエーターファン	40A

NO.	表示	装備	容量
30	IOD	IOD	30A
31	♬	オーディオアンプ	30A
32	EDC	ディーゼル	30A
33	—	スペアヒューズ	10A
34	—	スペアヒューズ	15A
35	—	スペアヒューズ	20A

- 装備仕様の違いにより，ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は，各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

7.5A，25A，30A のスペアヒューズはありません。ヒューズが切れたときは，つぎのヒューズで代用してください。

7.5A:10A スペアヒューズ

代用したときはなるべく早く正規容量のヒューズに交換してください。

25A:20A スペアヒューズ

代用したときはなるべく早く正規容量のヒューズに交換してください。

30A:30A オーディオアンプヒューズ

代用したときはなるべく早く正規容量のヒューズを補給してください。

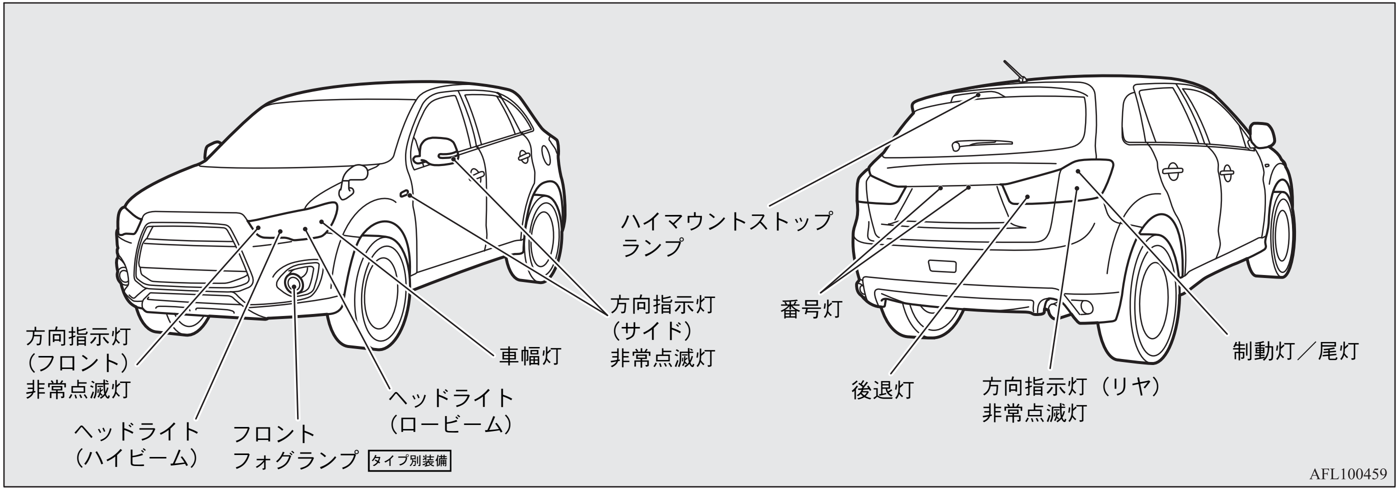
バルブ（電球）が切れたときは！

J01401602046

ヒューズが切れていないのにランプが点灯しないときは，バルブ（電球）が切れているときがあります。
バルブ（電球）を点検し，切れているときは交換してください。

バルブ（電球）のワット数

車外照明



ヘッドライト	除く，ディスチャージヘッドライト付き車	ハイビーム [ハロゲン球]	60 W （HB3）
		ロービーム [ハロゲン球]	55 W （H11）
	ディスチャージヘッドライト付き車	ハイビーム [ハロゲン球]	60 W （HB3）
		ロービーム [ディスチャージ球]	35 W
車幅灯			5 W （W5W）
フロントフォグランプ タイプ別装備			55 W （H11）

後退灯		16 W (W16W)
番号灯		5 W （W5W）
方向指示灯 非常点滅灯	フロント	21 W （WY21W）
	サイド（フェンダー装着タイプ）	5 W
	リヤ	21 W （W21W）

●（　）内はバルブ（電球）の型式を示しています。

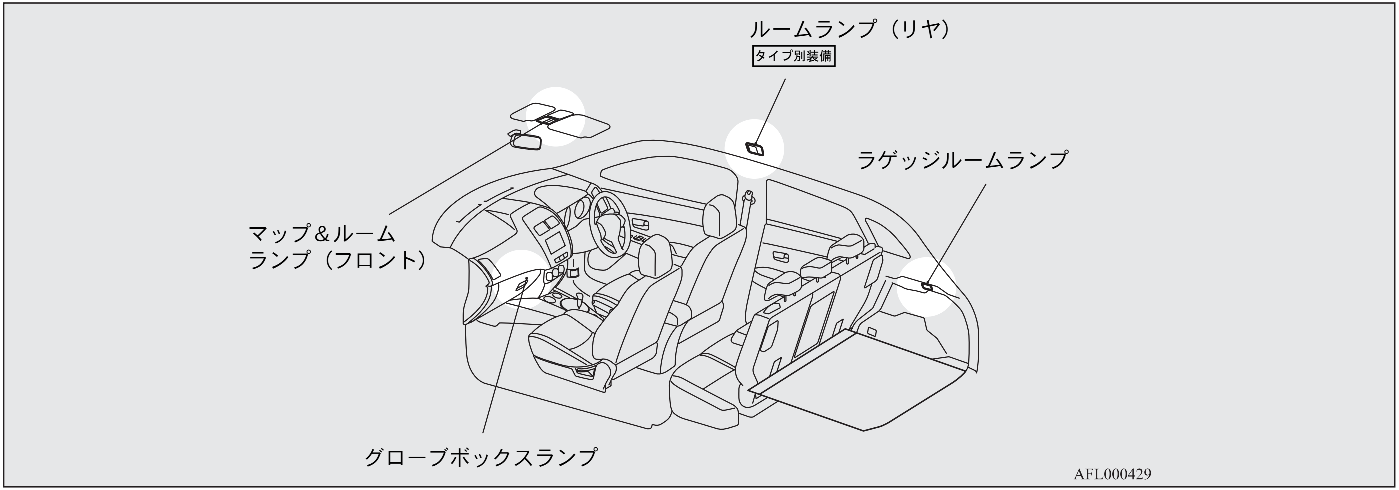
⚠注意

●ディスチャージヘッドライトの修理・バルブ交換の際は必ず三菱自動車販売会社にご相談ください。
電源回路，バルブおよび電極部分には高電圧が発生しており，感電するおそれがあります。

アドバイス

●フロントフェンダーに装着されている方向指示灯（サイド）の修理・交換は三菱自動車販売会社にご相談ください。
●ドアミラーに装着されている方向指示灯（サイド），制動灯／尾灯およびハイマウントストップランプはバルブ（電球）ではなく LED を使用しています。修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。

車内照明



マップ＆ルームランプ（フロント）	8 W
ルームランプ（リヤ） タイプ別装備	8 W
ラゲッジルームランプ	5 W
グローブボックスランプ	1.4 W

バルブ（電球）の交換

J01401700812

ここではおもなバルブ（電球）の交換方法を記載しています。記載されていないバルブの交換については，三菱自動車販売会社にご相談ください。

1. 該当するランプスイッチを OFF にして，エンジンスイッチを “LOCK” または電源モードを OFF にします。
2. 該当するランプのワット数を確認します。
→「バルブ（電球）のワット数」P.12-37

⚠注意

- 消灯直後はバルブの表面が高温になっているため，やけどをするおそれがあります。
  バルブの表面が十分冷えてから交換してください。

アドバイス

- バルブを交換するときは，同じワット（W）数，同じバルブ色のものを使用してください。
- 新しく交換するバルブの表面に触れないでください。
  油などが付着すると，点灯したときの熱で蒸発して，レンズ内側が曇ることがあります。
  バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の3% 水溶液を含ませて, 油をふき取ってください。
- ランプ本体やレンズを外すときは，車体を傷つけないよう十分注意してください。
- バルブを交換した後は，ランプが正しく点灯するか確認してください。

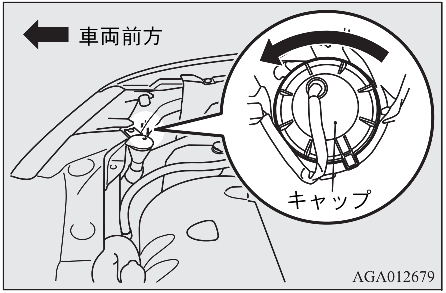
アドバイス

- 雨の日や洗車後などに，レンズ内側が曇ることがあります。
  これは湿気が多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で，機能上の問題はありません。
  ランプを点灯すると熱で曇りはとれます。
  ただし，ランプ内に水がたまっているときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

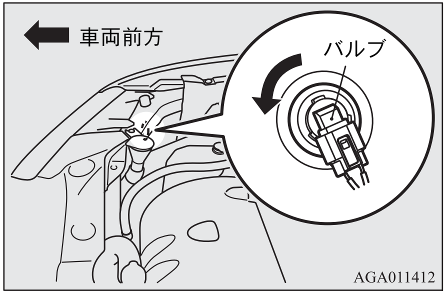
ヘッドライト（ハイビーム）

J01401902876

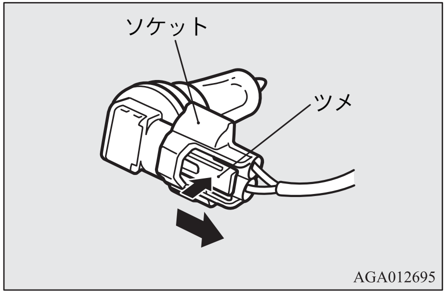
1. キャップを反時計回りに回して外します。



2. バルブを反時計回りに回して外します。



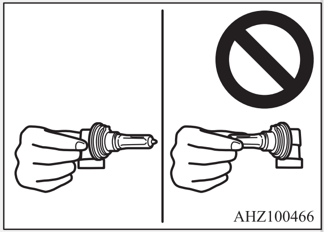
3. ツメを押しながら，ソケットを引き抜きます。



4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

⚠注意

- ハロゲンバルブは，バルブ内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。
- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
  点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
  バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の 3％水溶液を含ませて，油をふき取ってください。

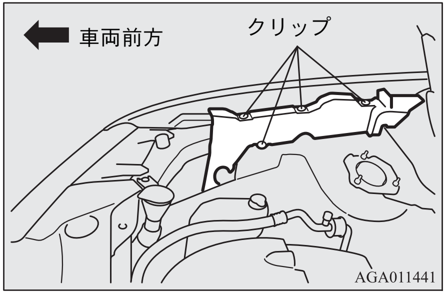


ヘッドライト（ロービーム）

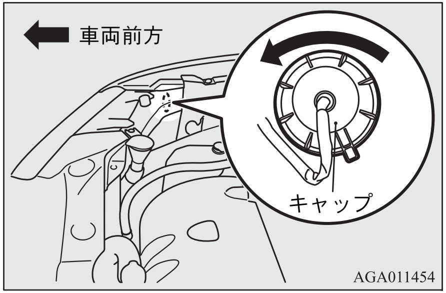
J01401902889

除く，ディスチャージヘッドライト付き車

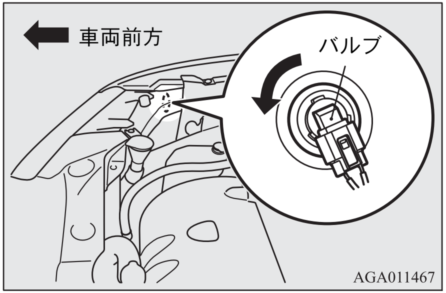
1. クリップにマイナスドライバーなどを差し込み，こじてクリップ（4 箇所）を取り外した後，サイドカバーを取り外します。（サイドカバー付き車のみ）



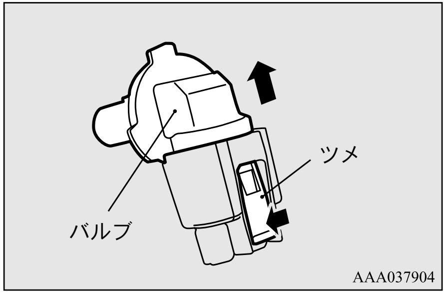
2. キャップを反時計回りに回して外します。



3. バルブを反時計回りに回して外します。



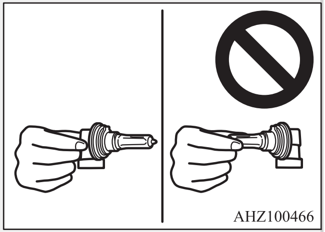
4. ツメを押しながら，バルブを引き抜きます。



5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

⚠注意

- ハロゲンバルブは，バルブ内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。
- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
  点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
  バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の3% 水溶液を含ませて，油をふき取ってください。



ヘッドライト（ロービーム）

J01401800145

ディスチャージヘッドライト付き車

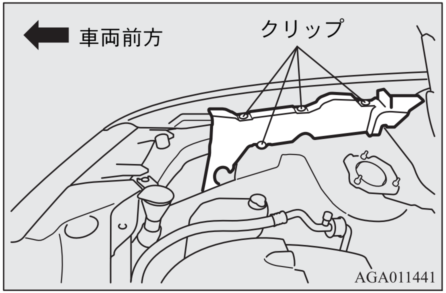
⚠注意

- ディスチャージヘッドライトのバルブ交換の際は必ず三菱自動車販売会社にご相談ください。
  電源回路，バルブおよび電極部分には高電圧が発生しており，感電するおそれがあります。

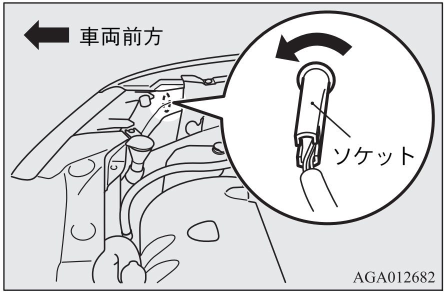
車幅灯

J01402000766

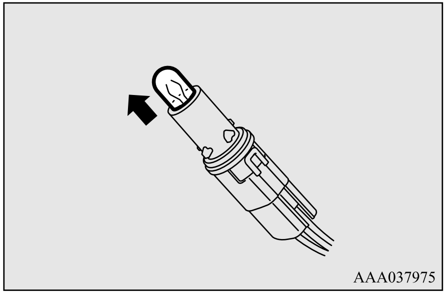
1. クリップにマイナスドライバーなどを差し込み，こじてクリップ（4 箇所）を取り外した後，サイドカバーを取り外します。（サイドカバー付き車のみ）



2. ソケットを反時計回りに回して外します。



3. ソケットからバルブを引き抜きます。



4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

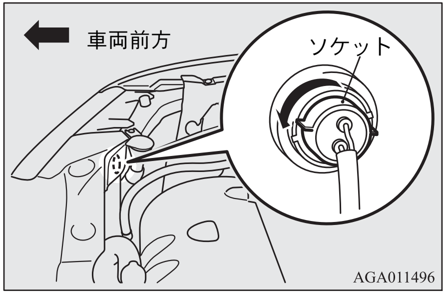
12

方向指示灯（フロント）

J01402101849

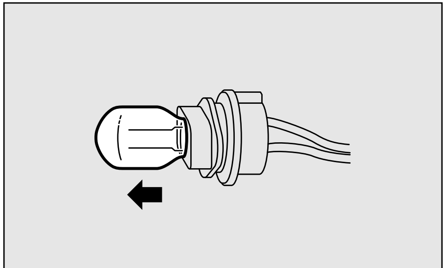
取り外すときは

1. アッパーカバーを取り外します。
   「取り外すときは」P. 10-3
2. ソケットを反時計回りに回して外します。



AGA011496

3. ソケットからバルブを引き抜きます。


AAA038028

取り付けるときは

1. 取り外したときと逆の手順でバルブを取り付けます。
2. アッパーカバーを取り付けます。
   「取り付けるときは」P. 10-4

方向指示灯（サイド）

J01402200511

アドバイス

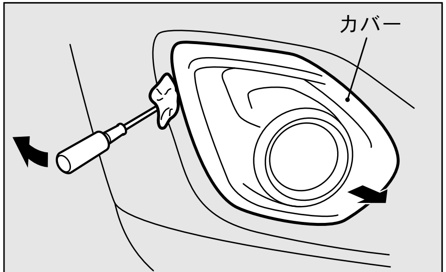
- フロントフェンダーに装着されている方向指示灯（サイド）はバルブ（電球）のみの修理・交換はできません。
  修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。
- ドアミラーに装着されている方向指示灯（サイド）はバルブ（電球）ではなく LED を使用しています。修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。

フロントフォグランプ

タイプ別装備

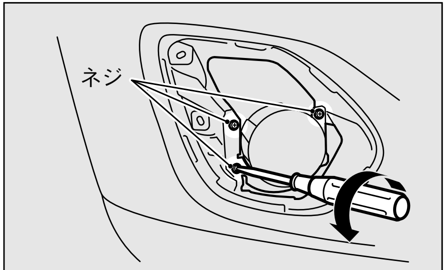
J01403201964

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んで，フォグランプカバーをこじて外します。



AFA008460

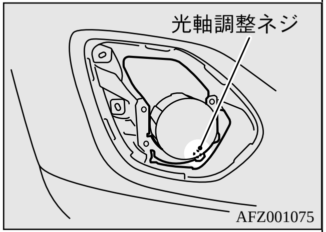
2. ネジ（3 箇所）を外し，ランプ本体を取り外します。



AFA008473

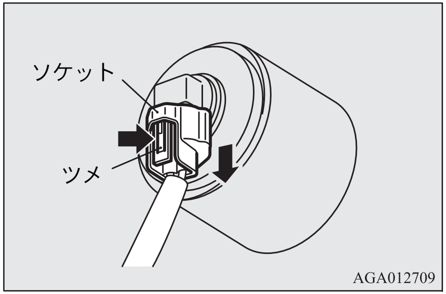
アドバイス

- ネジを外すときに，誤って光軸調整ネジを動かさないように注意してください。



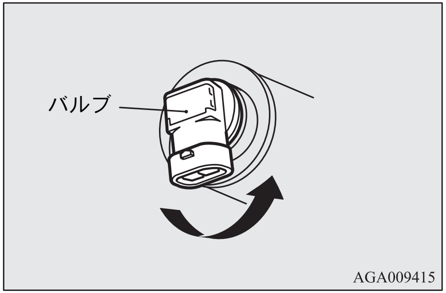
AFZ001075

3. ツメを押しながらソケットを引き抜きます。



AGA012709

4. バルブを反時計回りに回して外します。



AGA009415

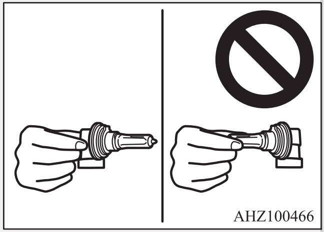
5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

⚠注意

- ハロゲンバルブは，バルブ内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。

⚠注意

- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
  点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，油をふき取ってください。

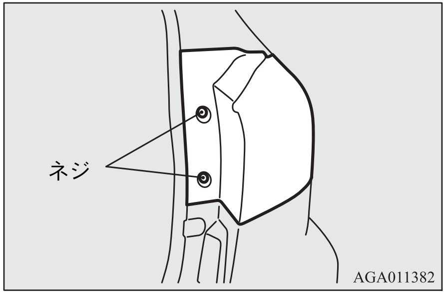

AHZ100466

12

リヤコンビネーションランプ

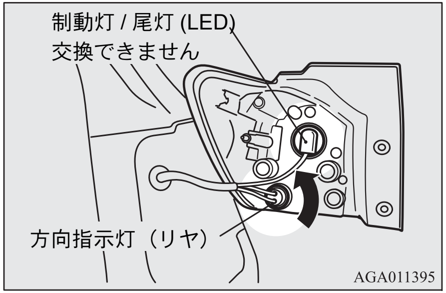
J01403000659

1. ネジ（2 箇所）を外し，ランプ本体を取り外します。



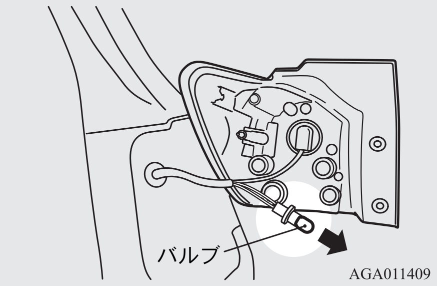
AGA011382

2. ソケットを反時計回りに回して外します。



AGA011395

3. ソケットからバルブを引き抜きます。

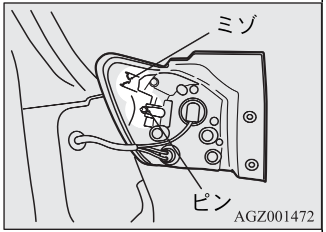


AGA011409

4. 取り付けるときは，取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

- 制動灯/尾灯はバルブ(電球)ではなくLEDを使用しています。修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。
- ランプ本体を取り付ける際はランプ本体のピンを車体側の穴に，ミゾを車体側のクリップ位置に合わせ，取り付けます。

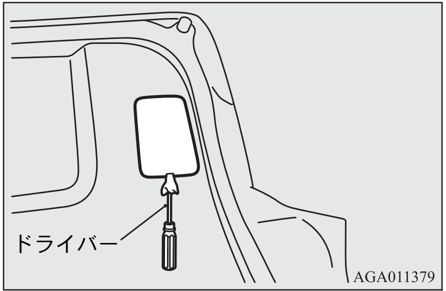


AGZ001472

後退灯

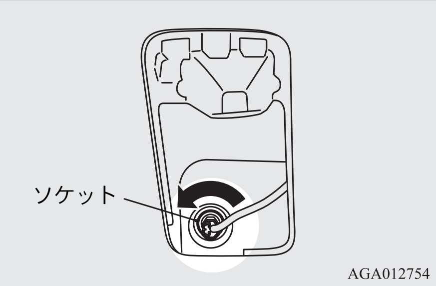
J01402500224

1. テールゲートを開けます。
2. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどをカバーの切り欠き部に差し込み，カバーをこじて外します。



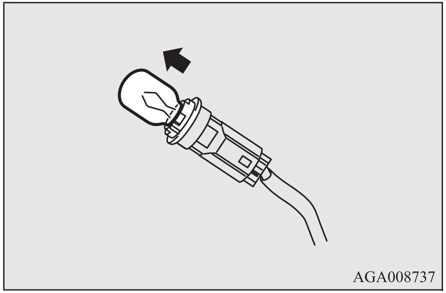
AGA011379

3. ソケットを反時計回りに回して外します。



AGA012754

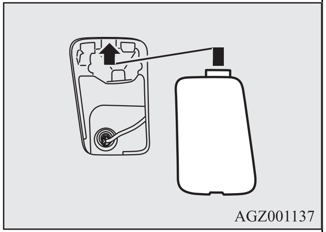
4. ソケットからバルブを引き抜きます。


AGA008737

5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

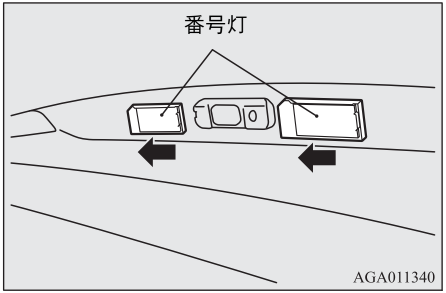
- カバーを取り付けるときは，ツメを車体側の穴に合わせて取り付けます。


AGZ001137

番号灯

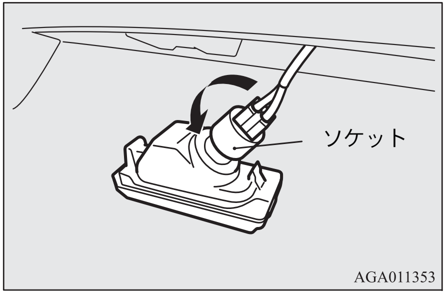
J01402600603

1. ランプ本体を車体左側へ押しながら外します。



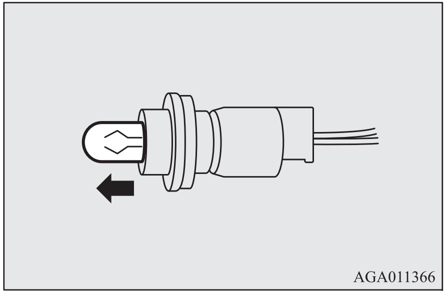
AGA011340

2. ソケットを反時計回りに回して外します。



AGA011353

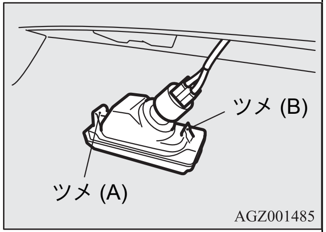
3. ソケットからバルブを引き抜きます。


AGA011366

4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

- ランプ本体を取り付けるときは，ツメ (A) を先に入れ，ツメ（B）を後で合わせて取り付けます。



AGZ001485

ハイマウントストップランプ

J01402700109

アドバイス

- ハイマウントストップランプはバルブ（電球）ではなく LED を使用しています。修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。

サービスデータ

メンテナンスデータ 13-2
タイヤ，ホイールのサイズ 13-6
タイヤの空気圧 13-7
カスタマイズ（機能の設定変更） 13-8

メンテナンスデータ

J01600101339

- 日常点検，定期点検の内容およびエンジンオイルなど油脂類の交換時期については，別冊の「メンテナンスノート」に詳しく記載してありますのでお読みください。
- 車両寸法（全長，全幅，全高），車両重量，エンジン型式，排気量については車載の「自動車検査証」をご参照ください。

燃料の量と種類

J01600500091

項目	容量	使用銘柄
2WD 車	約 63L	無鉛レギュラーガソリン
4WD 車	約 60L	●燃料は指定されたものを補給してください。→P.2-2

13

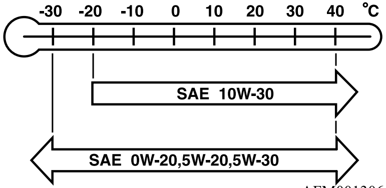
オイル類の量と種類

J01601201816

項目	容量	使用銘柄
エンジンオイル	約 4.3L（オイルフィルター内約 0.3L を含む）	（下表および図参照）

<table>
<tr><th>三菱自動車純正銘柄</th><th>API 分類</th><th>ILSAC 規格</th><th>SAE
粘度番号</th></tr>
<tr><td rowspan="4">ダイヤクイーン SN</td><td rowspan="4">SN</td><td rowspan="4">GF-5</td><td>0W-20</td></tr>
<tr><td>5W-20</td></tr>
<tr><td>5W-30</td></tr>
<tr><td>10W-30</td></tr>
<tr><td>ダイヤクイーン SL</td><td>SL/CF</td><td>—</td><td>10W-30</td></tr>
</table>

- エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものを使用してください。



AFM001306

アドバイス

- 0W-20 は最も省燃費性に優れたオイルです。
- 悪路や山道，登降坂路の走行，短距離走行の繰り返しなど厳しい条件（シビアコンディション）での走行は通常走行と比べてエンジンオイルの劣化が早くなります。このような使われ方をしたときは通常より早めに交換してください。
- 生産終了などの理由により，該当するオイルが入手できなくなる場合があります。
その場合は該当するオイルより上のグレードのオイルが使用可能となります。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

13

オイル類の量と種類

J01600601897

項目	容量	使用銘柄
オートマチックトランスミッション（CVT）オイル	約 7.1L	三菱自動車純正ダイヤクイーン CVTF-J4

⚠注意

- オートマチックトランスミッション (CVT) オイルは，指定の純正ダイヤクイーン CVTF を必ずご使用ください。
  それ以外のオイルを使用すると，トランスミッションが破損するおそれがあります。

項目	容量	使用銘柄
リヤディファレンシャルオイル（4WD 車）	約 0.4L	三菱自動車純正ダイヤクイーン スーパーハイポイドギヤオイル SAE80 （GL-5）
トランスファーオイル（4WD 車）	約 0.47L	三菱自動車純正ダイヤクイーン スーパーハイポイドギヤオイル SAE80 （GL-5）
ブレーキ液	所要	三菱自動車純正ダイヤクイーン ブレーキフルードスーパー 4（DOT4）

13

冷却水の量と種類

J01600700602

項目	容量	使用銘柄
冷却水（コンデンスタンク内約 0.65L を含む）	約 7.5L	三菱自動車純正ダイヤクイーン スーパーロングライフクーラントプレミアム

ウォッシャー液の量と種類

J01600800443

項目	容量	使用銘柄
ウォッシャー液	約 4.5L	三菱自動車純正ウォッシャー液

点火プラグの種類

J01600900659

使用銘柄	電極のすきま
NGK: 日本特殊陶業製 :DILKR6D11G	1.0 ～ 1.1mm

● 点火プラグの点検，交換は三菱自動車販売会社に依頼してください。

バッテリーの種類

J01601400680

型式
Q-85*

＊：オートストップ＆ゴー(AS&G) 付き車専用のバッテリーが装着されています。専用のバッテリーを使用しないとバッテリーが早く消耗したり，AS&G が正常に作動しなくなる原因となります。詳しくは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

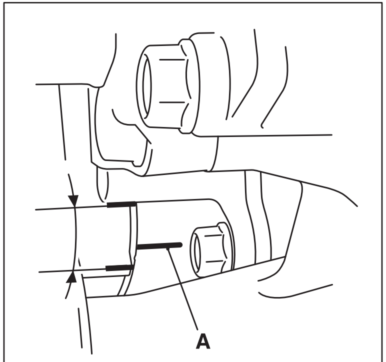
⚠警告

● バッテリーの＋端子と－端子を間違えないように取り付けてください。

● バッテリーを取り付けるときは，＋端子から先に接続してください。－端子から先に接続した場合，万一，＋端子が他部品に接触すると火花が発生し，バッテリーが爆発するおそれがあります。

整備基準値

J01601000631

項目	サービスデータ	
ブレーキペダル	遊び	3~8mm
	踏み込んだときの床板とのすきま（踏力約 500N｛約 50kgf｝）	85mm 以上
駐車ブレーキ	引きしろ（操作力約 200N｛約 20kgf｝）	6~7 ノッチ
ベルトのたわみ量	 AAM008645	インジケーター（A）が範囲内にあること（ネジ（1 箇所）を外し，コンデンスタンクを取外して確認します。）

タイヤ，ホイールのサイズ

J01600201633

タイヤ，ホイールを交換するときは，つぎのことをお守りください。

- 4 輪とも同時に交換してください。
- 指定サイズのタイヤ，ホイールを装着してください。

タイヤ，ホイールのサイズなどは三菱自動車工業が国土交通省に届け出をしています。

⚠注意

- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。
- 4WD 車は 4 輪に駆動力がかかるため，必ず同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを使用すると，駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼き付きなどの重大な故障となり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  タイヤおよびホイールを交換する際は三菱自動車販売会社へご相談ください。
- ホイールは，リムサイズやオフセット（インセット）量が同じでも，車体に干渉するため使えないときがあります。お手持ちのものを使われるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

タイヤ	ホイール
215/65R16 98H	16×6 1/2J（46mm）〔114.3mm〕5 穴
215/60R17 96H	17×6 1/2J（46mm）〔114.3mm〕5 穴

（　）内は，オフセット（インセット）量（ホイールの取り付け面とリムの中心との距離）
〔　〕内は，PCD（ホイール取り付け穴のピッチ円直径）
冬用タイヤなどについても表中のサイズのものをご使用ください。

タイヤの空気圧

J01600300943

タイヤサイズ		空気圧（**kPa {kgf/cm²}**）
標準タイヤ	215/65R16 98H	240 {2.4}
	215/60R17 96H	220 {2.2}
応急用タイヤ	T125/90D16 T155/90D16	420 {4.2}

13

カスタマイズ（機能の設定変更）

J01600401459

つぎの機能をお好みの設定に変更することができます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

13

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
キーレスエントリー（除く，キーレスオペレーションシステム付き車）	リモコンスイッチで UNLOCK スイッチを押したときに解錠されるドアおよびテールゲート → P.3-5	すべてのドアおよびテールゲート	○
		運転席のみ	
	リモコンスイッチで UNLOCK スイッチを押した後，自動的に施錠されるまでの時間 → P.3-4	約 30 秒	○
		時間を長くする	
	リモコンスイッチで施錠・解錠したときの非常点滅灯による作動確認 → P.3-4	施錠時 :1 回点滅 解錠時 :2 回点滅	○
		施錠時 :1 回点滅 解錠時 : 点滅しない	
		施錠時 : 点滅しない 解錠時 :2 回点滅	
		施錠時 :2 回点滅 解錠時 :1 回点滅	
		施錠時 :2 回点滅 解錠時 : 点滅しない	
		施錠時 : 点滅しない 解錠時 :1 回点滅	
		点滅しない	
	リモコンスイッチでできるドアミラーの格納・復帰操作 → P.3-4	作動する	○
		作動しない	

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
キーレスオペレーションシステム （キーレスオペレーションシステム付き車）	キーレスオペレーションシステムでできる操作 → P.3-7	全機能	○
		ドアの施錠・解錠機能のみ	
		エンジンスタート機能のみ	
		全機能を働かなくする	
	キーレスオペレーションキーのスイッチまたはキーレスオペレーション機能で解錠されるドアおよびテールゲート → P.3-20	すべてのドアおよびテールゲート	○
		運転席のみ	
	キーレスオペレーションキーのスイッチまたはキーレスオペレーション機能で解錠した後，自動的に施錠されるまでの時間 → P.3-11，3-19	約 30 秒	○
		時間を長くする	

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
キーレスオペレーションシステム （キーレスオペレーションシステム付き車）	キーレスオペレーションキーのスイッチまたはキーレスオペレーション機能で施錠・解錠したときの非常点滅灯による作動確認 → P.3-11，3-19	施錠時 :1 回点滅 解錠時 :2 回点滅	○
		施錠時 :1 回点滅 解錠時 : 点滅しない	
		施錠時 : 点滅しない 解錠時 :2 回点滅	
		施錠時 :2 回点滅 解錠時 :1 回点滅	
		施錠時 :2 回点滅 解錠時 : 点滅しない	
		施錠時 : 点滅しない 解錠時 :1 回点滅	
		点滅しない	

13

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
キーレスオペレーションシステム（キーレスオペレーションシステム付き車）	リモコンスイッチでできるドアミラーの格納・復帰操作 → P.3-18	作動する	○
		作動しない	
	キーレスオペレーション機能で施錠・解錠した時の作動確認ブザーの有無 → P.3-11	有り	○
		無し	
	リモコンスイッチで施錠・解錠した時の作動確認ブザーの有無 → P.3-19	有り	
		無し	○
	ドア閉時のキーレスオペレーションキーの持ち出し監視機能の有無 → P.3-17	有り	
		無し	○
セキュリティーアラーム[*1]	システムの設定 → P.3-28	警報作動する	
		警報作動しない	○
	車内警報時間 → P.3-33	標準	○
		時間を短くする	
センタードアロック	セレクターレバーを使って解錠[*2] エンジンスイッチまたは電源モードが ON のときにセレクターレバーをⓅに入れる → P.3-24	解錠する	
		解錠しない	○
	エンジンスイッチまたはプッシュスイッチを使って解錠[*2] エンジンスイッチを LOCK にする，または電源モードを OFF にする → P.3-24	解錠する	
		解錠しない	○

*1 : お客様自身でもカスタマイズ（機能の設定変更）可能です。
→「セキュリティーアラームの設定変更のしかた」P.3-29

*2 : エンジンスイッチまたはプッシュスイッチを使って解錠する機能と，セレクターレバーを使って解錠する機能のいずれかを設定することができます。

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
ヘッドライト	自動点灯のタイミング （オートライトコントロールセンサーの感度調整） → P.5-33	標準	○
		早くする	
		遅くする	
	ヘッドライトオートカット機能（自動消灯） → P.5-34	作動する	○
		作動しない	
	降車後照明として利用するときのライトスイッチの位置 → P.5-34	のみ	○
		と	
	ウェルカムライトとして点灯させるライト → P.5-36	車幅灯点灯	○
		車幅灯およびヘッドライト（ロービーム）点灯	
		点灯しない	
	カミングホームライトとしてヘッドライトが点灯する時間 → P.5-37	約 15 秒	
		約 30 秒	○
		約 60 秒	
		約 180 秒	
		機能を働かなくする	

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
方向指示灯	車線変更時の 3 回点滅機能 → P.5-38	作動する	○
		作動しない	
	車線変更時の 3 回点滅機能が作動するまでのレバー操作時間 → P.5-38	短い	○
		長い	
	方向指示灯が作動するエンジンスイッチの位置または電源モードの状態 → P.5-38	ON	○
		ON または ACC	
フロントワイパー	間けつ作動 （除く，レインセンサー付き車） → P.5-41	車速感応	○
		車速感応無し	
	自動作動 （レインセンサー付き車） → P.5-41	雨滴感応	○
		車速感応	
		無し	
リヤワイパー	間けつ作動時間 → P.5-44	約 8 秒	○
		時間を短くする *3	
		時間を長くする *3	
		連続作動にする	
	セレクターレバーを R に入れたときの自動作動モードの作動条件 → P.5-44	フロントワイパー またはリヤワイパーが 作動中	○
		リヤワイパーが INT 位置で作動中のみ	

装備	調整機能	設定項目		出荷時の設定
フロント ウォッシャー	ウォッシャー液を噴射させたときのワイパー作動 *4 → P.5-44	連動する	ワイパーが連動作動し，さらに約 6 秒後にワイパーがもう 1 回作動する	○
			ワイパー連動作動のみ	
		連動しない		
	インテリジェント ウォッシャー機能 → P.5-44	有り		○
		無し		
リヤウォッシャー	ウォッシャー液を噴射させたときのワイパー作動 *4 → P.5-44	連動する		○
		連動しない		

*3 : 連続作動モードあり
→「リヤワイパー／ウォッシャースイッチ」P.5-44

*4 : フロントウォッシャー・リヤウォッシャーの「連動する」「連動しない」の設定変更はそれぞれ単独で変更されず同時に変更されます。

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
ドアミラー	自動格納・復帰の条件 → P.6-4	キーレスエントリーまたはキーレスオペレーションシステム機能に連動（LOCK で格納，UNLOCK で復帰）	○
		エンジンスイッチまたは電源モードに連動（運転席ドアを閉めて ON で復帰，OFF で運転席ドアを開くと格納）	
		車速約 30km/h 以上で復帰	
		自動格納・復帰しない	

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
エンジンスイッチ・電源モード	エンジンスイッチまたは電源モードがACCのときに自動的に電源をカットする機能 → P.3-13，6-6	30分後にカットする	○
		60分後にカットする	
		電源をカットしない	
マップランプ&ルームランプ（フロント） ルームランプ（リヤ）	ドアを閉じたときに消灯するまでの時間（遅延消灯） → P.7-3	約15秒	○
		時間を短くする	
		時間を長くする	
		遅延消灯機能を働かなくする	
室内灯	点灯し続けたとき，自動的に消灯するまでの時間（自動消灯） → P.7-6	約30分	○
		時間を短くする	
		時間を長くする	
		自動消灯機能を働かなくする	
エアコン	内外気切り換え・ エアコンスイッチの自動制御 → P.8-4，8-5	許可	○
		拒否	

A

ABS（アンチロックブレーキシステム）... 6-27
ABS警告灯 6-28
AS&G 6-9
ASC OFF スイッチ(アクティブスタビリティコントロールオフスイッチ) .. 6-31
ASC OFF表示 6-31
ASC(アクティブスタビリティコントロール).. 6-30
ASC警告表示 6-32
ASC作動表示 6-31

C

CVT
INVECS-III CVT 6-13

E

ETC 7-12
ETC アンテナ............................. 7-14
ETC カード 7-14
ETC 車載器 7-14

I

INFO（マルチインフォメーション メータースイッチ）................................ 5-3
INT 5-41, 5-44
ISO FIX対応チャイルドシート........ 4-15

M

MIST 5-41

S

SRSエアバッグ 4-22
SRSエアバッグ警告 4-14, 4-30
SRSカーテンエアバッグ................. 4-23
SRSサイドエアバッグ 4-23
SRSニーエアバッグ 4-28

U

USB入力端子.................................. 7-24

ア

アームレスト（ひじ掛け） 4-5, 4-6
アクセサリーソケット....................... 7-2
アクティブスタビリティコントロール（ASC） 6-30
アシストグリップ.............................. 7-9
アルミホイール 10-9
アンチロックブレーキシステム（ABS）... 6-27
アンテナ 9-2

イ

ETC 7-12
ETC アンテナ.............................. 7-14
ETC カード 7-14
ETC 車載器 7-14
ISO FIX対応チャイルドシート 4-15
インテリアランプオートカット機能（自動消灯）.. 7-6
インフォメーション画面............ 5-4, 5-6
INVECS-III CVT............................... 6-13

ウ

ウインカー（方向指示レバー).......... 5-38
ウインドウガラスのお手入れ.......... 10-9
ウォッシャー
ウォッシャー液の点検・補給 10-2
フロントウォッシャースイッチ.. 5-44
リヤウォッシャースイッチ 5-44

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

エ

エアコン
- エアコンの上手な使い方 8-9
- オートエアコン 8-3
- 吹き出し口 8-2

エアバッグ
- SRS エアバッグ.......................... 4-22
- SRS エアバッグ警告.................. 4-14
- SRS カーテンエアバッグ 4-23
- SRS サイドエアバッグ 4-23

ABS 6-27
ASC... 6-30
ASC OFF表示 6-31
ASC警告表示 6-32
ASC作動表示 6-31
ACC電源オートカット機能 3-14, 6-7
エマージェンシーキー 3-18
エンジンイモビライザー（盗難防止装置）3-3
エンジンオイル 13-3
- エンジンオイルの補給 10-2
- エンジンオイル量の点検・補給...... M

エンジン型式.. S
エンジン警告灯 5-31
エンジンスイッチ 6-6
エンジンのかけ方 6-7
エンジンフード（ボンネット）.......... 3-37
エンジンブレーキ.............................. 2-9
エンジンルーム 1-9
エンジン冷却水温表示..................... 5-10

オ

オートエアコン 8-3
オートストップ(AS)......................... 6-9
オートマチックトランスミッション
- CVT 6-13
- CVT 車の運転のしかた................ 6-19
- セレクターレバー........................ 6-13

オートライトコントロール 5-33
オーバーヒート 12-26
応急用スペアタイヤ 12-12
お手入れ
- アルミホイール 10-9
- 洗車 10-7
- 塗装の補修................................ 10-10
- ワックス 10-8

オドメーター（積算距離計） 5-11

カ

カードホルダー 7-2
外装品のお手入れ............................ 10-7
カスタマイズ（機能の設定変更） 13-8
カップホルダー 7-8
寒冷時の取り扱い 11-2

キ

キー 3-2
- エマジェンシーキー.................... 3-18

キーレスエントリー 3-4
キーレスオペレーションシステム 3-7
キックダウン.................................. 2-11
機能の設定変更（カスタマイズ）...... 13-8
緊急制動信号システム 6-25

ク

区間距離計（トリップメーター）...... 5-11
曇り取り
- ウインドウガラスの曇り取り 8-8
- リヤウインドウデフォッガースイッチ 5-45

クラクション（ホーンスイッチ）...... 5-45
クリープ現象.................................. 2-11
クリーンエアフィルター................. 10-5
クルーズコントロール（自動定速走行装置）.. 6-32

ケ

警告

14

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ABS 警告 6-28
シートベルト警告 4-11
警告灯 5-20, 5-30
ABS 警告灯 6-28
SRS エアバッグ警告灯 4-14
エンジン警告灯 5-31
充電警告灯 5-31
プリテンショナー警告灯 4-14
ブレーキ警告灯 5-30
警告表示
ASC 警告表示 6-32
充電警告表示 5-32
燃料残量警告表示 5-10
半ドア警告表示 5-9
ブレーキ警告表示 5-31
ヘッドライト（光軸調整機構付）警告表示 5-38
油圧警告表示 5-32
けん引 12-28

コ

コートフック 7-10
交換
タイヤ 12-14
バルブ（電球）........ 12-40
ヒューズ 12-32
工具 12-8
後退灯
バルブ（電球）の交換 12-46
バルブ（電球）のワット数 12-37
小物入れ
フロアコンソールボックス 7-7
ラゲッジフロアボックス 7-8

サ

サービスデータ 13-2
サービスリマインダー 5-12
サイドアンダーミラー 6-5
サンシェード 3-36
サンシェードイルミネーション 7-5
サンシェードイルミネーション調光スイッチ 7-5
サンバイザー 7-2

シ

シート 4-2
チャイルドシート 4-15
荷室の作り方 4-7
フロントシート 4-3
フロントシートヒーター 4-5
ヘッドレスト 4-6
シートベルト 4-8
３点式シートベルト 4-10
プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト 4-14
シートベルト警告 4-11
CVT
INVECS-III CVT 6-13
室内灯 7-3
サンシェードイルミネーション 7-5
マップ＆ルームランプ（フロント）........ 7-3
ラゲッジルームランプ 7-5
ルームランプ（リヤ）........ 7-4
自動定速走行装置（クルーズコントロール）........ 6-32
ジャッキ 12-8
ジャッキアップ 12-10
車幅灯 5-33
バルブ（電球）の交換 12-43
バルブ（電球）のワット数 12-37
車幅灯表示灯 5-30
車両重量 .... S
車両寸法 .... S
充電警告灯 5-31
充電警告表示 5-32
修理の連絡先 .... M
樹脂部品のお手入れ 10-9

ス

スピードメーター 5-2
スペアタイヤ 12-12

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

セ

制動灯
バルブ（電球）の交換 12-46
バルブ（電球）のワット数 12-37
積算距離計（オドメーター）............ 5-11
セキュリティーアラーム................ 3-28
セレクターレバー 6-13
洗車 10-7
センタードアロック 3-24

タ

タイヤ
空気圧 13-7
スペアタイヤ（応急用）............ 12-12
タイヤ，ホイールのサイズ......... 13-6
タイヤチェーン 11-4
タイヤローテーション 10-4
タイヤ交換 12-14
タイヤパンク応急用修理キット.... 12-18
タコメーター.................................... 5-2

チ

チェーン（タイヤチェーン）............ 11-4
チャイルドシート 4-15
助手席へのチャイルドシート取り付け時の注意................................... 4-20
チャイルドプロテクション（後席ドア安全施錠装置）.................................. 3-25
駐車ブレーキ
駐車ブレーキ 6-2
ブレーキ警告灯 5-30
チルト･テレスコピックステアリング 6-3

テ

テールゲート 3-26
テールランプ（尾灯）
バルブ（電球）の交換.............. 12-46
バルブ（電球）のワット数 12-37
定期点検 .... M
電球（バルブ）............................... 12-37
電子制御4WD機構 6-22
電動パワーステアリング 6-29

ト

ドア 3-23
施錠・解錠................................. 3-23
センタードアロック 3-24
チャイルドプロテクション 3-25
テールゲート 3-26
ドアミラー.. 6-4
ドアミラー調整スイッチ 6-4
盗難防止装置（エンジンイモビライザー）3-3
ドライブモードセレクター 6-22
トリップメーター（区間距離計）...... 5-11

ナ

内装品のお手入れ 10-6

ニ

荷室の作り方.................................... 4-7
日常点検 .... M

ネ

燃料残量警告表示 5-10
燃料噴射装置の洗浄....................... 10-2
燃料補給口（フューエルリッド）...... 3-38

ハ

パーキングブレーキ（駐車ブレーキ）. 6-2
排気量 .... S
ハイドロプレーニング現象.............. 2-8
ハイマウントストップランプ
バルブ（電球）の交換 12-48
バルブ（電球）のワット数....... 12-37
ハザードランプ（非常点滅灯）
バルブ（電球）の交換 ... 12-44, 12-46
バルブ（電球）のワット数....... 12-37

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ハザードランプスイッチ（非常点滅灯スイッチ）........ 5-39
発炎筒........ 12-8
バックミラー（ルームミラー）........ 6-3
バックランプ（後退灯）
　バルブ（電球）の交換........ 12-46
　バルブ（電球）のワット数........ 12-37
バッテリー上がり........ 12-24
バッテリー液量の点検・補給........ M
パドルシフト........ 6-18
バニティーミラー........ 7-2
バルブ（電球）
　交換........ 12-40
　ワット数........ 12-37
パワーウインドウ........ 3-34
パワーステアリング
　電動パワーステアリング........ 6-29
パンク（タイヤ交換）........ 12-14
パンク応急用修理キット........ 12-18
番号灯
　バルブ（電球）の交換........ 12-47
　バルブ（電球）のワット数........ 12-37
半ドア警告表示........ 5-9
ハンドルの前後・上下調整（チルト・テレスコピックステアリング）........ 6-3

ヒ

ヒーテッドドアミラー........ 6-5
ひじ掛け（アームレスト）........ 4-5, 4-6
非常点滅灯........ 5-30
　バルブ（電球）の交換.... 12-44, 12-46
　バルブ（電球）のワット数........ 12-37
非常点滅灯スイッチ........ 5-39
非常点滅表示灯........ 5-30
尾灯
　バルブ（電球）の交換........ 12-46
　バルブ（電球）のワット数........ 12-37
ヒューズ........ 12-32
表示
　ASC OFF 表示........ 6-31
　ASC 警告表示........ 6-32
　ASC 作動表示........ 6-31
表示灯........ 5-20, 5-30
　クルーズコントロール表示灯........ 6-33
　車幅灯表示灯........ 5-30
　ドライブモードインジケーター.. 6-23
　非常点滅表示灯........ 5-30
　フロントフォグランプ表示灯........ 5-30
　ヘッドライト上向き表示灯........ 5-30
　方向指示表示灯........ 5-30
表示灯・警告灯・インフォメーション画面表示一覧........ 5-20
日よけ（サンバイザー）........ 7-2
ヒルスタートアシスト........ 6-26

フ

フェード現象........ 2-9
フォグランプ
　バルブ（電球）の交換........ 12-44
　フロントフォグランプスイッチ.. 5-39
　フロントフォグランプ表示灯........ 5-30
フューエルリッド（燃料補給口）........ 3-38
プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト........ 4-14
プリテンショナー警告灯........ 4-14
ブレーキ
　アンチロックブレーキシステム（ABS） 6-27
　制動灯（尾灯）........ 12-46
　ブレーキ液量の点検・補給........ M
　ブレーキ警告灯........ 5-30, 5-31
　ブレーキパッドの摩耗........ 12-32
ブレーキアシスト........ 6-27
ブレーキ警告表示........ 5-31
ブレーキランプ（制動灯）
　バルブ（電球）の交換........ 12-46
　バルブ（電球）のワット数........ 12-37
フロアマット........ 7-10
フロントウォッシャースイッチ........ 5-44
フロントシート........ 4-3

14

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

フロントシートヒーター.................. 4-5
フロントフォグランプ
バルブ（電球）の交換.............. 12-44
バルブ（電球）のワット数....... 12-37
フロントフォグランプスイッチ...... 5-39
フロントフォグランプ表示灯......... 5-30

ヘ

ベーパロック................................... 2-9
ヘッドライト.................................. 5-33
バルブ（電球）の交換.. 12-41, 12-42, 12-43
バルブ（電球）のワット数....... 12-37
ヘッドライト（光軸調整機能付）警告表示 5-38
ヘッドライト上向き表示灯............. 5-30
ヘッドライトオートレベリング...... 5-38
ヘッドライトレベリングスイッチ.. 5-37
ヘッドレスト................................... 4-6

ホ

ホーンスイッチ.............................. 5-45
ホイール
タイヤ，ホイールのサイズ......... 13-6
ホイールカバー............................ 12-17
方向指示灯
バルブ（電球）の交換.... 12-44, 12-46
バルブ（電球）のワット数....... 12-37
方向指示表示灯.............................. 5-30
方向指示レバー.............................. 5-38
ポジションランプ（車幅灯）............. 5-33
バルブ（電球）の交換............... 12-43
バルブ（電球）のワット数....... 12-37
ボトルホルダー................................ 7-9
ボンネット（エンジンフード）.......... 3-37

マ

マップランプ.................................... 7-4
バルブ（電球）のワット数....... 12-37
マルチインフォメーション メータースイッチ.. 5-3
マルチインフォメーションディスプレイ 5-2

ミ

ミラー
サイドアンダーミラー.................. 6-5
ドアミラー.................................. 6-4
ドアミラー調整スイッチ.............. 6-4
バニティーミラー......................... 7-2
ヒーテッドドアミラー.................. 6-5
ルームミラー............................... 6-3

メ

メーター
オドメーター.............................. 5-11
スピードメーター......................... 5-2
タコメーター................................ 5-2
トリップメーター........................ 5-11
メーター照度調整ボタン.................. 5-2
メンテナンスデータ........................ 13-2

ユ

USB入力端子................................. 7-24
油圧警告表示.................................. 5-32

ヨ

4WD車取り扱い上の注意.............. 6-24
4WD車の上手な運転...................... 6-24

ラ

ライセンスランプ（番号灯）
バルブ（電球）の交換.............. 12-47
バルブ（電球）のワット数....... 12-37
ライトスイッチ.............................. 5-33
ラゲッジフック.............................. 7-10
ラゲッジフロアボックス.................. 7-8
ラゲッジルームランプ...................... 7-5

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

バルブ（電球）のワット数 12-37
ランプ
バルブ（電球）の交換 12-40
フロントフォグランプ 5-39
マップランプ................................. 7-4
ラゲッジルームランプ 7-5
ルームランプ.......................... 7-3, 7-4
ワット数.................................... 12-38

リ

リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ 5-45
リヤコンビネーションランプ........ 12-46
リヤビューカメラ........................... 6-36
リヤワイパー／ウォッシャースイッチ ... 5-44

ル

ルームミラー.................................... 6-3
ルームランプ（室内灯）...................... 7-3
サンシェードイルミネーション 7-5
マップ＆ルームランプ（フロント）.... 7-3
ラゲッジルームランプ 7-5
ルームランプ（リヤ）.................... 7-4

レ

冷却水量の点検・補給........................... M

ワ

ワイパー 5-40
リヤワイパースイッチ................. 5-44
ワイパーウォッシャースイッチ 5-44
ワックスのかけ方 10-8
ワット数（バルブ）.......................... 12-38

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

J09300101589

純正品のおすすめ

- お客様のお車に最適な純正品をご使用ください。
- 純正品は，厳しい検査に合格し，その品質が保証されています。また，三菱自動車販売会社を通じてお求めになれます。
- 新車時の性能と快適な乗り心地を長く維持していただくために，点検や交換の際は，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 三菱自動車指定の純正品や油脂類以外のものを使用すると，故障などの原因になることがあります。
- 純正品にはこのマークが貼ってあります。

MITSUBISHI MOTORS
GENUINE PARTS

事故が起きたときは！

あわてずにつぎの処置をしてください。

● 継続事故防止

続発事故を防ぐため，車を路肩などの安全な場所に移動させ，エンジンを止めます。
エンジンを始動するときは，燃料漏れがないことを十分確認してください。

● 負傷者の救護

- 医師，救急車などが到着するまでの間，可能な応急手当を行います。
  この場合，とくに頭部に傷などがあるときは，そのままの姿勢で動かさないようにしますが，続発事故のおそれがあるときは安全な場所に移動させます。
- 外傷がなくても医師の診断を受けてください。後になってから後遺症が出るおそれがあります。

● 警察への届け出

事故が発生した場所，状況および負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し指示を受けます。

● 相手方の確認とメモ

相手方の氏名，住所，電話番号を確認し，事故の状況をメモします。

● ご購入された販売会社と保険会社への連絡

万一にそなえて

安心のため，自賠責保険（強制保険）のほかに任意自動車保険にも加入しましょう。
詳しくは三菱自動車販売会社へご相談ください。